滿洲日報
六月十七日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 木村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

經濟會議の重要主張 物價引上げ問題

英米と佛の意見對立す

【東京特電十七日發】ロンドン來電によれば十二日より十五日までの一般討議で各國代表は世界的不況の打開を說き會議の目的が何處にあるかを論ずることには一致したが、然らば如何にしてこの目的を達すべきかについては各國とも具體的提案をなさなかつた、經濟會議の大勢を支配するのは英米佛三大國の內協議で、日本、イタリー、ドイツは傍系に立つてゐる、英米間には戰債支拂の協定、爲替比率暫定的安定協定案が成立したから貨幣安定後に來る問題は金と物價との關係に關する國際政策である、英米はポンド、弗が、金本位より離脫するに至つたのは特に物價の安過ぎたためとなし、イギリスに卸物價の騰貴を求めてゐる、これに對しフランスは國內物價はこれ以上暴騰し得ない程度に達してゐるとて英米の物價引上げ策を喜ばず自由放任說を可としてゐるやうで、英米對フランス間に可なりな開きがあり、何れにせよ物價引上げ問題は經濟會議を一貫する主張で、これと爲替その他の重要經濟條件がどう決められるかは一般に重視されてゐる

米國通貨協定に反對

經濟會議重大難關に逢着

【ロンドン十六日發國通】國際金融市場を支配するポンド、弗、法の比價安定は爲替相場の變動に惱む世界經濟界刻下の急務であり通貨休戰が關稅休日協定に缺くことを得ない附帶要件だとは國際經濟會議各國代表の一致した見解だがイングランド銀行、フランス銀行ニューヨーク聯邦準備銀行並びに英米佛三國財務當局は會議の一般討議と並行して着々通貨安定策の協議を進めつゝあり、此等三ケ國代表は十六日更に會議を開き審議を遂げることゝなつた

【ロンドン十六日發國通】本日の通貨金融委員會で米佛間に意見對立を生じ經濟會議は俄然重大難關に逢着した、卽ち昨日英米佛三國代表間に弗と磅及び法貨の比率安定に關し暫定的合意的であつたがこの試案に對しワシントンの米本國政府は右弗貨の暫定比率を不滿足なりとして承認せず、ウーディン財務長官は此種の協定は何等關知せずと公式聲明を爲し、その旨米代表部に通告し來たので、ハル首席代表以下俄然周章狼狽、更にワシントン政府に請訓した、他方フランス側は弗及び磅貨の安定を以て絕對必要事だとし、これなくしては通貨委員會はその事業を進める事は出來ないと頑强に主張して讓らないので、米政府の態度如何では經濟會議そのものゝ前途も俄に逆睹し難い形勢となつた

通貨金融委員會

二分科委員會を設置

【ロンドン十六日發國通】十六日午後三時から非公開で開會された通貨金融委員會の分科委員會組織委員會は審議二時間四十分の後午後五時四十分散會した、右委員會ではチエンバーレン英藏相の提案に基き左の二分科委員會を設置するに決定した

一、卽時對策委員會
二、恒久對策委員會

兩委員會で審議さるべき主要題目は左の通りである

▲卽時對策委員會
一、信用政策
一、物價水準
一、爲替變動並びに統制の阻止
一、負債並びに融資の再開

▲恒久對策委員會
一、貨幣準備
一、中央銀行の職能
一、中央銀行政策の調整
一、銀行問題

伊藤委員 意見開陳

經濟委員會で

【ロンドン十六日發國通】本日の經濟委員會には伊藤述史氏が出席、委員の自由討論に際し日本委員の個人的意見として左の點を强調した

一、重要ならざるものを第二として重要問題から先づ片つけると
二、技術的問題は專門委員會にて處理すること
三、貿易制限の如き重要問題は具體案を基礎にして討論すること
四、關稅休日協定を基礎として考慮すること
五、國策的可能性を緊密に研究すること

關稅休日參加 四十一ケ國

【ロンドン十六日發國通】關稅休日協定に對し既に四十一國が參加を通告した旨十六日公表された、而して右四十一國は世界全貿易の約八割を占める諸國である

吉林治安維持

【新京電話】治安維持に關する吉林省縣參事官及び警察指導官の打合會第一日は十六日午前十時より大同自治會館において關東軍司令部原田第三課長、軍政部兒島顧問、民政部竹內總務司長、長尾警務司長以下民政部各司課長、吉林省九縣參事官警務指導官出席し開會、竹內司長先づ開會の辭を述べ原田課長、長尾司長の講演あり、治安維持委員會の警備關係の說明あつた後各縣參事官の意見希望を逐次述べて各次提案をなし協議の後午後四時散會したが、十七日も引續き協議の筈

日米平和條約の重點

經濟會議後華府にて交涉

【東京十七日發國通】日米兩國間の恒久平和を確立すべき平和條約問題に關しては內田外相も政治的影響重大なるに鑑み愼重なる態度を以て研究を重ねてゐるが、其後出淵駐米大使より外務省に達した情報によればルーズヴエルト大統領及びその側近者も日米間に平和條約を締結することの政治的意義を認めつゝも國際經濟會議進行中に同問題を具體化することを欲せざる意向判明したので、內田外相も經濟會議の終了後ワシントンにおいて日米相互間通商關係調整のための[illegible]交涉行はるゝこともあるべき時迄右問題の具體化を差控へることに略方針を決定した、而して其際討議の基礎となるべき條約案は左の要點が內定されてゐる

一、條約案はブライアン條約案乃至ケロッグ條約案を基礎とする
一、米政府の汎米モンロー主義留保を承認すると共に滿洲國及び支那關係事件を適用範圍外に置く日本モンロー主義をも留保事項と爲すこと

波蘭、滿洲國と通商條約交涉

駐哈領事ド氏歸任後

【ハルビン十七日發國通】過般歸國した在ハルビン、ポーランド領事ドクラス氏は來る二十一日頃ポーランドより歸來する事になつてゐるが、同領事は歸來後は直に新京に赴きポーランド滿洲國の通商條約締結交涉を開始する事になるだらうと傳へられてゐる

大阪敎育團

新興滿洲國の敎育制度並びに敎育狀況視察の目的を以て豫て朝鮮經由來滿しハルビン、新京、奉天等奧地各方面を視察中であつた大阪市港區第一回滿鮮敎育視察團一行團長三橋節氏以下九名は十六日午後七時五十分着列車で來連し遼東ホテルに投宿したが團長三橋節氏を訪へば語る

この度滿洲の敎育視察の爲に參りましたが、奧地各方面を視察しまして先年私が參りました當時と比較しまして各地とも發展の素晴らしいのには驚きました、新京では鄭總理初め田邊參議、小磯參謀長等にも御面會を得まして色々とお話を伺ひました、殊に軍部の方々の努力して居られるには吾々としてもこれを目の當り見て甚だ感謝に堪へない次第です、それから滿洲人の敎育の實際を見ましたが滿人兒童が何れも落つきがあり、かなり禮儀の正しい所があり、吾々に對しても非常に打ちとけた物腰態度等は寧ろ內地の兒童敎育上兒童の訓練上我々敎育者として大いに考慮を拂はなければならぬといふことを痛感しました

なほ一行は十七、八兩日に亙り大連市內及旅順見學の上十九日出帆のあめりか丸で歸國する

初等敎育研究會總會

關東州初等敎育研究會第三十三回第二部總會は二十四日旅順公學堂講堂において開催されるが、當日は午前中開會挨拶後、入退會者報告監督官の指示及び時局に對する決議をなした上、關東廳外事課長代理御厨信市氏の講演あつて休憩午後は普蘭店公學堂前田潤胤氏の「勞作教育について」の研究發表、引續き談話題として、金州公學堂岩本幸吉氏の「作業を主としたる訓練の實況」附屬公學堂郭鳳鳴氏の「作業訓練の實際」貔子窩公學堂森脇六十一氏の「學堂訓練について」及び同題にて伏見臺公學堂植田金次郎氏の談話的協議を行ひ午後三時閉會の豫定だが、三時十分より堂庭で會員懇親會を開く事になつてゐる

北平守備隊分列式　北支那駐屯軍北平守備隊交代兵は本月上旬到着し邦人保護の任に就いてゐる、寫眞は東單牌樓における分列式

胡漢民を盟主に西南獨立政府

近く聲明書を發表

【上海特電十七日發】胡漢民を始め西南派の各要人は數日來香港に參集して重要會議を續けてゐたが右會議の結果胡漢民を盟主として廣東、廣西、福建の三省を合同して西南の獨立政府を樹立する事に決定し近く聲明書を發表することゝなつた、しかしながら一部ではこれが實現は疑問視せられてゐる

北支の新政權

政務整理委員會成立す

【北平特電十七日發】日支停戰協定成立後の北支治安維持を中心として組織された行政院駐平政務整理委員會は十七日成立した、當日は先づ黃郛委員長より挨拶があつた後日支停戰協定成立前後の動靜その後の交涉顚末を詳細報告した後、同委員會を構成する人選を決定し中立地帶の撤兵後における警備方法を始め總數四十萬と號せられた北支駐在支那各軍の地盤整理對馮玉祥問題等具體的協議に入つた、この委員會が成功を收むれば將來は同會が實質的に北支の政權を掌握するに至るであらう

【北平特電十七日發】南京政府行政院駐平政務整理委員會は十七日舊外交部廳舍において正式に成立した、政務整理委員會の管轄區域は河北、山東、山西、察哈爾、綏遠の五省にして沈鴻烈も委員に加へられる筈で、北支における新政權はかくて陣容成つた譯である、政務委員會が察哈爾省を管轄することになつた結果該省における各軍の裁撤は委員會の手に歸した譯である、委員會は馮玉祥に對し近く馮を林墾督辦に任命した上、政治的方法をもつて馮の勢力を分散すべく企圖してをり、孫殿英に對しては靑海督辦に任命すること確實であるが、孫の赴任は疑問視さる

李軍の處置問題

于學忠の意見表明

【北平十七日發國通】來平した于學忠は冀東處置問題について左の如く語つた

李際春部の希望は
一、改編後の人數を一萬名まで留むる事
一、冀東に駐防せしむる事
の二項であるが、第一項は調査によれば同軍は實際上一萬に達し居らず、その要求を容るれば必ず土匪を以つてその不足を補ふべく、これは整理上困難だから同軍改編後の兵數は五千に止めたい、第二項の要求についてはこれを容せば地方秘收行政整理の進行上障碍となるべく同軍駐防地點については尙商議續行の上決定したいと考へてゐる

委員會管轄

【南京十七日發國通】行政院會議は十六日午後汪精衛主席の下に開會、北平政務整理委員會の管轄範圍その他について左の如く決定を見た

一、北平政務整理委員會の管轄範圍を改めて河北、山東、察哈爾綏遠、山西の四省及び北平、青島の二市となす
一、沈鴻烈を北平政務整理委員に加ふ
一、北平市長周大文の辭職を認め袁良を北平市長に任ず
一、開灤鑛務局督辦の辭職を認め章保世を以つて之れに任ず

南京政府辭令

【南京十七日發國通】南京政府は十六日附左の如く發令した
一、北平市長周大文依願免本職、江西省政府委員袁良任北平市長
二、政務整理委員會委員黃紹雄、丁文江、依願免本職

委員長午餐會

【北平十七日發國通】開會式を終つた各委員は一應宿所に引揚げたが、正午再び會合、黃委員長の迎賓館における委員歡迎午餐會に臨んだ、席上黃郛、何應欽、韓復榘、于學忠、宋哲元、徐永昌等の間に馮玉祥問題が論ぜられた模樣である

熱河行 (十一)

武藤夜舟

南天門

曉天を衝いて、わが爆擊機は轟々たるプロペラの音勇ましく、彼我の砲戰は忽ちにして開始せられ、機關銃の爆音は山間にこだまし五月十一日既に南天門附近の敵陣地を奪取し、司令部は門外上甸子へ前進す。南天門外道路の兩側には多數の敵の死體散在し、異樣の臭氣鼻を衝く。

化學工業の課長任命

滿洲化學工業會社はいよ/\近く工事に着手するので職制を設けて陣容を整へると共に左のごとく課長級を任命發表するところあつた

庶務課長を命ず　渡邊奉綱
經理課長兼用度課長を命ず　河本茂次郎
建設事務所長兼建設事務所事務長兼同工務部長を命ず　深山遠藏
建設事務所計畫部長を命ず　後藤久生
東京出張所長事務取扱を命ず　小林理一

なほ本職制は甘井子工場完成までの暫定的のもので、從つて社員數も少いが工場運轉と共に新採用社員を入れて正式の職制をつくる筈

うらる丸の船客

【門司特電十七日發】十九日大連入港豫定のうらる丸主なる船客諸氏

愛國婦人會長本野久子、堀內陸軍中將、龜井夫人、小野新三、大連窯業社長津上延治、大阪商工議員中島幾三郎、三井物產社員鳥羽貞三、齋藤貞藏、土木技師高野宗久、姬路新報重役松浦謙次郎、服部時計店淺沼謙之助、金子利八郎、園田定吉、中島靈圓、永井直雅

人事

▲尾之上弘信氏(外務省情報部員)約三週間の豫定で滿洲各地視察のため十七日入港のあめりか丸で來連ヤマトホテル投宿
▲角田慶嗣氏(陸軍步兵大尉)同上
▲水谷光太郎氏(滿鐵顧問)同上
▲二木謙三氏(醫學博士)同上
▲曾根田誠作氏(支洋公司專務)同上歸連
▲藤原銀次郎氏(貴族院議員)同八時着列車で着連直ちに十時出帆のばいかる丸で隨員三名と共に離滿
▲大阪府貿易館主催滿洲視察團(一行二十二名)同上
▲東京遠征滿洲軍柔道選手(一行三十四名)同上
▲奉天省立第三師範學校生徒(三十三名)同七時發列車で離連
▲大連キリスト敎會商業講習生(百七十名)同上
▲旅順中學生徒(一行五百八十六名)同七時半着列車で着連
▲旅順公學校生徒(二百八十八名)同上
▲秋田商業生徒(三十名)同八時着列車で同上
▲日下辰太氏(關東廳內務局長)同上歸任
▲米內山震作氏(關東廳調查課長)同上
▲中山安德氏
▲青木新一氏
同上

◇高橋さんの言分が又變つて「增稅は考へ物」達磨さんの心理こそ常に考へ物。
◇政友會、雨降つて地固まる、尤も雨はこれから煩い程降る。
◇政治家としては立派だが總裁商賣は落第、と鈴木親分酷く見縊られたもンだ。
◇學者としては立派だが總長商賣は落第、と同じく見縊られる人に小西博士あり。
◇泥棒の信用證文を逆に行つて泥棒に貸金請求をした銀行がある、サテ/\銀行業務も複雜だ。

東天紅 (116)

田中純 作　林一三 畫

留守宅(七)

あちこちと、三四軒も電話をかけて、やつと一臺の自動車を狩り出すまでには、それから三十分近くもかゝつた。

二人は、すぐに、神田家に驅けつけた。

しかし、かうして、初對面からいがみ合つた二人は、自動車が神田家の玄關に着くまで、お互に口を利き合はせなかつたほどに、どちらも、惡い印象を持ち合つてゐた。

田舍者で、世間のブルジョア生活に就いては何も知らない相良にすれば、こんな場合に、自動車を要求したりするこの醫者が、ひどく不誠實で冷淡であるやうに思へたし、原氏にすれば、こんな深夜に、無理矢理に他家を叩き起した上に、夜道を歩かせやうとまでするこの男の無禮さが、氣に食はな

……

を利かして、自動車くらゐよこしたら好いんだ。醫夫人とか何とか言はれても、やつぱり、お孃さん育ちは駄目だな)

眠いところを起されて、一層不機嫌になつて居るこの醫者は、自動車の中で、そんなことまで考へてゐた。

而も、かうした焦立つた心境の中で、醫者は、しばしば、重大な誤診をやるものである。

實際、今夜の自分を、理不盡に叩き起された犧牲者のやうに感じてゐた原氏は、最初から、病人の容體を輕く見やうとするやうな、一つの先入觀念に捉はれてゐた。

(なアんだ。こんなことで私を叩き起したのですかい?)

さう言つてやりたい意地を感じてゐたのだ。

彼は、患者を見ないさきから、

だから、室子を一通り診察して發熱度も大したものでないことを知ると、腸の方に多少不安な點のあることを感づいてゐながら

「いや、これア、お騷ぎになるは

……

滿蒙學術調査團が愈よ熱河踏破
七月下旬に東京出發

【新京電話】陸軍省及び外務省の後援の下に畏くも陛下恩賜の學術獎勵金及び内務省對支文化事業費より經費を受けて科學的調査未着手の熱河を踏破し調査をなすべく徳永博士を首班とする滿蒙學術調査團は愈々實現されることになり一行は來る七月下旬東京發八月三日錦州より熱河に入り滿蒙開發の文化的工作の第一歩に入ることゝなつた、尚ほ研究科目及び擔當者は次の如くである

一、調査科目
▲生物學(植物學、動物學、人類學)
▲地學部(地層學、古生物學、構造地質學、岩石學、鑛物學、地理學)

一、各科目擔當者
▲團長 早大教授、東大講師 理學博士 工學博士 徳永重康
▲植物學 東大教授、植物園長 理學博士 中井猛之進
東大助手 理學博士 本田正次
植物學教室勤務 理學士 北川政夫
農林省囑託 岸田久吉
▲動物學 京城帝大豫科教授 森 民藏
▲人類學 東大囑託 八幡一郎
▲地學部 地層學及び古生物學 外務省上海自然科學研究所主任、研究員東北帝大講師 理學博士 清水三郎
東北帝大副手 理學士 松澤勳
▲構造地質學、岩石學及び鑛物學 前地質研究所技師 理學士 伊原敬之助
外務省上海自然科學研究所助手 理學士 佐藤捨三
▲地理學 東大助教授 理學士 多田文夫

この外醫師一名、測量技師一名、通譯四名及び警備として陸軍將校二名、警備員三十名、合計約五十人でこれに人夫約三十名を使用する筈である、なほ一行は熱河内園場、赤峰、烏丹城まで調査の歩を進める筈で十月二十日北票に歸着し解散するはずである

學生調査隊も渡滿の準備
先發の角田大尉來る

すく〳〵と成長しつゝある新興の滿洲國を、向學心に燃ゆる若人の手によつて、あらゆる專門的な見方から調査研究し併せて日滿學生をしつかり結びつけるべく計畫された日本全國の各大學專門學校學生よりなる約千三百名の滿洲調査隊は、着々渡滿の準備を進め愈々七月十五日世界週航々路の一萬噸級汽船りお・で・じあねーろ丸を仕立て、神戸出帆華々しく渡滿することになつた、全學生は夫々の專門から、工、鑛、商、農業、土木、植林、動植物等十數班に分れ、約一ケ月の豫定で南滿より北滿、更に熱河の奧深く、それ〴〵食糧、衛生、警備各班を引きつれ實地につき徹底的に探査を進めることになつてゐるが、十七日入港のあめりか丸でその尖兵となり滿鐵、關東軍方面と下準備をなすべく近衛師團附歩兵大尉角田慶福氏が來連した氏を船中に訪へば語る

學生は各大學、專門學校から選拔されたものばかりだから、何れも身體頑健で、困苦に堪へる自信のあるものばかりです、まだ匪賊等の危險もあることだし奧地にはいるのだから充分準備をなさいへておく必要があるので、一行より一足先にやつて來ました、學術調査隊といふことになつてゐるが、根本の目的は滿洲國の學生としつかり提携させることにあるのです、學生達は危險を冒しても目的を達すると皆大乘氣で、その準備を急いでゐます【寫眞は角田大尉】

全滿列車のスピード・アップ
國鐵の新ダイヤ成る

【奉天電話】來る九月一日より一齊に實施する國線新ダイヤの編成については鐵路總局旅客課において鋭意完成を急いでゐたが大體において出來上つたので更に各鐵路局と協議の結果最後案を決定し來る二十二日管理各鐵路局の代表者を招集の上打合せ會を開催し新ダイヤについては協議することになつた

なほ編成された新ダイヤにおいては山海關と吉林間、雄基と新京間、營口と鄭家屯間の直通列車が運轉されることになつてゐるので實施の曉は現行の大連チチハル、奉天チチハル、大連吉林の各直通列車の運行と共に六大直通列車によつて全滿交通のスピード・アップに一大拍車が加へられる

建國記念體育大會
中等學生四千名參加

關東州學校體育聯盟並に關東體育研究所共同主催による建國記念の關東州內男子中等學校體育大會は十七日午前八時三十分より大連運動場において大連一中、二中、商業、旅順中學、旅順高等公學校男子部の五校、四千餘名參加の下に擧行、定刻全生徒中央役員席前に整列、君ケ代合唱裡に中央ポールに國旗を掲揚し、日下內務局長開會の辭後體育歌合唱、合同體操をなし直に各競技に移つたが折からの小雨を侵して各出場選手奮戰、スタンドを埋める各校應援團はそれ〴〵應援歌を高唱して聲援を與へる午前中の戰績左の如し

籠球
大連一中 23（[illegible]）18 旅順高公
旅順中學 29（[illegible]）13 大連商業

排球
大連商業 2（[illegible]）0 旅順中學
旅順高公 2（[illegible]）0 大連二中

庭球
旅順高公 4（[illegible]）0 大連二中
大連一中 1（[illegible]）旅順中學
旅順中學（一〇―六）旅順高公
大連二中（一二―一）大連一中
旅順高公（八―五）大連商業
大連二中（一二―一〇）旅順中學

陸上競技
▲青年組百米豫選 A組一着光田五郎(一)一一秒四、二着高還義(公)三着近田忠雄(二)B組一着藤島博(商)一一秒六、二着文安福(公)三着水野慶馬
▲八百米決勝 一着見寶林(公)二分一一秒九、二着裴文孝(公)三着立石義輝(旅)
▲四百米豫選 A組一着光田五郎(一)五八秒五、二着中原勝巳(商)三着林保彦(二)B組一着大内輝明(二)五八秒三、二着福田耕作(商)三着多田功(旅)
▲砲丸投決勝 一等張永惠(公)一一米、二着柳憲清(旅)一一米〇一、三着品川重定(二)一一米
▲百米決勝 一着光田五郎(一)一一秒五、二着藤島博(商)三着高還義(公)

劍道
大連商業(一三―一一)大連一中
大連二中(一八―四)旅順中學
大連商業(一六―九)旅順中學
大連二中(一八―一〇)大連一中

柔道
大連二中(四―一)旅順中學
大連商業(三―二)大連一中
大連一中(三―三)大連二中
大連商業(六―一)旅順中學

名譽の除隊兵惡心を起す
郵便貯金帳を盜んで私印を僞造し捕はる

身は支那駐屯軍の名譽ある除隊兵でありながら生活難から心の驕が狂ひはじめ、天魔に魅入られて惡に手を染め、一度は良心の呵責から春日池に身を投じて自決せんと決心し、遺書まで認めたが、遂に天網遁れ難く死の前に小崗子署司法係の手に逮捕され今は私印僞造行使詐欺窃盜の罪名の下に取調べを受ける除隊工兵一等兵がある

原籍山口縣、當時播磨町百ノ一素人下宿川本方吉津清(二四)は昭和六年一月十日現役兵として第五師團隷下工兵第五大隊に入營し同年末天津方面の事態急迫するや臨時派遣工兵部隊に編入されて天津に出動、昭和七年十一月まで幾度か重大任務に當り無事滿期となつて除隊宇品に凱旋したが

打ちよせる不況は彼に職を與へず折からの滿蒙熱とかつて大連にゐた經驗から本年二月來連、前記川本方に下宿し市内信濃町羽月商店の世話によつて魚行商を行つてゐたが思はしくないので最近では爲すこともなく坐食してゐる内遂に金に窮して惡心を起し同宿の北田保次が料理店「此花」で夫婦共稼して貯金し百餘圓の郵便貯金帳を虎の子のやうにして持つてゐることを知つて去る十四日夫婦の稼に出た後を狙つて右百十五圓記入の通帳を窃取し小崗子平和街一番地支那印判店にて北田の私印を僞造し十五日大山通郵便局より九十五圓を詐取し、その足で小崗子德勝街十三品川樓に繰込み美代子(二二)を相手として居つゞけをきめ込んでゐたが十六日夜遂に良心の呵責にたへかねて十七日朝春日池に投身すべく決心し下宿先きと警察に宛てた遺書をしたゝめてゐるところへ擧動不審から密偵を續けてゐた小崗子署刑事係員に右の犯罪事實をつきとめられ品川樓で難なく逮捕された

吉津は逮捕當時軍隊手牒と殘金二十圓の郵便通帳とのみ所持し九十五圓の金は全部使ひはたしてゐた

行金横領で服役し誣告の告訴を提出
正隆銀行を相手取り

行金横領で入獄した元正隆銀行員が「あれは正當な貸付だ」と主張し法人たる銀行を相手取つて誣告の告訴を提出し目下大連署司法係で正隆關係者につき取調べてゐる興味ある事件がある――現在熊本市二本町五〇一居住草壁義雄(三八)は去月二十五日正隆銀行四平街支店を相手取り誣告の告訴を四平街警察署に提出したが、當時の事件關係書類が本店に保管されてゐるといふので去る十五日事件が大連署司法係に移牒された、告訴の内容は

告訴人草壁は大正九年十月二日正隆に採用され四平街支店詰となつた、しかして大正十二年一月草壁は奉天票買付資金として當時の四平街支店長代理竹田計二郎氏(現安東支店長)の承諾の下に金二萬圓を手形證書によつて貸付を受けその後一萬圓を返濟した、然るに大正十三年右貸付の不整理を理由に免職となり郷里熊本市に歸省したところ昭和二年初頭正隆四平街支店の口頭告訴により文書僞造詐欺の罪名を被せられ同年六月二十九日熊本裁判所で懲役一年を言渡されて服役した、昭和三年六月廿九日刑務所を出所して見ると四平街支店から一萬六千六十七圓五十二錢の貸付金請求の書狀が送達されてゐた、右は明かに正隆は貸付金と認めてゐるが故に請求して來たものでこれに對し文書僞造行使詐欺で自分を訴へ前科の汚名を着せたことは誣告であるといふのである

貸金でない
山本正隆支配人談

右に就き正隆銀行山本支配人語る

草壁に對し當行として金を貸付けた覺えは全然ありません、この事件は草壁が四平街支店勤務當時客の當座預金一萬數千圓を使ひ込んで帳簿を誤魔化してゐたことが判り、草壁は逸早く姿を晦まして終つたのです、私の方では警察に捜査願を出して置きましたところ、熊本で捕へられ一年の懲役となつたといふことを後で聞きました、貸付形式で請求したといふことは整理上單にその形式を執つたまでゝ當行としては損害金を請求したもので、これを奇貨として貸付金だと主張し當行を相手取つて誣告の告訴をするとは實に不徳義極まることであると思つてゐる、どつちが正當かは當局の御取調べで明瞭となるでせう

滿洲修養團發團式へ
二木博士來る

榮養學界の權威として知られてゐる二木謙三博士は本年三月傳研、東大等すべての公職を勇退し修養團常任理事として活躍中であつたが二十五日新京において行はれる滿洲修養團の發團式に平沼團長代理として出席すべく十七日入港あめりか丸で尾形榮造氏帶同來連した(寫眞は二木博士)

開魯にコレラ發生
城内外に猖獗の模樣

【奉天電話】最近開魯にはコレラ發生し十七日現在までに城内に四五名城外に相當數の患者を出し猖獗してゐる模樣である

監禁邦人釋放

【天津十七日發國通】停戰協定成立と同時に支那側より軍事探偵の嫌疑で不當に拘引監禁されてゐた邦人はそれ〴〵釋放されたが北平軍事分會に依り軍事探偵の嫌疑で半年に亙つて支那監獄に監禁されてゐた田中忠三君も日本側の嚴重な抗議により十六日釋放され當地天津病院に引取られ目下加療中である

慘殺邦人氏名

【天津十七日發國通】去る十四日北票線古冶北方十支里趙各莊に於て支那敗殘兵のために慘殺された邦人は安原健一と稱するもので他に一名の邦人と鮮人は何れも負傷して居る事が判明したが身許その他に就いては詳細は不明である

鮮銀平壤支店を襲つた首魁逮捕
逃亡中に警官を射殺

【平壤十七日發國通】朝鮮銀行平壤支店襲撃の陰謀を企て警官に拳銃を亂射した儘逃走した赤色ギャングの首魁平壤府内倉田里生れの徐元俊(二七)は共犯安永俊の逮捕された後も杳として行方をくらましてゐたが十日黄海道で富田巡査部長を射殺し平南警察隊數百名に包圍されその警戒線を突破したが十六日遂に逮捕された、右に關し平南警察部は左の如く發表した

十六日午後十一時十分徐元俊は平南平原郡東松面青龍、酒業朴載煥方に潛伏中を平原移動搜査班金致信、高木滿兩巡査に逮捕され犯人所持の自動式拳銃及び實彈十一發も押收したが死傷者は無かつた

柔道遠征軍けさ出發
七年振りで

全滿の精鋭を網羅して東京學生柔道聯盟並に全鐵道省柔道軍と對戰することになつた全滿洲軍三十三名の強豪は榮ある滿洲軍の歴史を飾るべく必勝の意氣に燃えて十七日出帆のばいかる丸で七年振の内地遠征の途についた【寫眞は一行】

運動選手の體力を調査研究
滿鐵衛生課で準備中

運動選手の體力測定、筋肉、骨格の異常發達の調査研究は既に内地大學に於いて行はれてゐるが滿鐵衛生課では今回滿洲の運動選手に就いて醫學的調査をなす計畫を樹て內々準備を進めてゐる

是が調査は醫學各部門に亘り骨格、筋肉は勿論内臟試驗まで行ふので大連醫院、衛生研究所の助力を求めねばならぬので近く協力方を折衝するが又運動直後の狀態を調査する爲め體育係と協力の上先づ第一期には陸上競技の選手を對象として調査を行ふ筈である

この完全なる研究の結果を得るには五ケ年を要するがこの研究によつて滿洲風土との關係及び運動選手の肉體的基準を發見し得られるものとして期待されてゐる

ハルビンの路上に爆彈

【ハルビン特電十六日發】北電發電所爆破未遂で市民が極度に不安に驅られてゐる矢先又復十六日朝四時頃モストワヤ街の邦人密集地城内に爆撃用の爆彈を通行人が發見し大騷動を演じた、目下鑑定中だがハルビン入城當時の不發爆彈

デ盃準決勝 日濠組合せ

【パリ十六日發國通】十七日よりパリで行はれる日濠デ盃庭球戰歐洲ゾーン準決勝組合せは十六日抽籤の結果シングルス左の如く決定した

十七日 布井對クロフォード 佐藤對マクグラス
十九日 布井對マクグラス 佐藤對クロフォード

舞臺裝置家の八木畫伯來滿

洋畫家にして舞臺裝置の權威八木淳一郎氏は師弟關係にある故坪内逍遙氏の歌舞伎「名殘の尾花夜」に背景し尾上梅幸の家藝とまでなつた「お夏狂亂」において名技に加ふるに名彩を以てし舞臺効果に名聲を博し以來西歐オペラの照明に傳統支那文藝の追求に特に新劇運動舞臺裝置の一人者として知られてゐるが、此度滿蒙新國家の舞臺研究のため來連し近く何等かの形式に於て作品發表の豫定である

金塊詐欺求刑

金塊密輸の事實を聞き込んで去る四月八日瀬川キヌが神戸から金の延棒八本(八貫五百匁)を市内千歳町二六伊藤義丈方へ持ち込んだのを見とゞけて小崗子署の刑事と詐稱し件の金塊を詐取した青島章邸路廟住太三郎(二[illegible])青木清藤(二[illegible])にかゝる詐欺被告事件の公判は十七日午前十時大連地方法院高木判官かゝり開廷、岡本檢察官代理は廟住に懲役二年、青木に懲役十月を求刑した判決言渡は來る二十三日

揚子江大增水

【北平十六日發國通】漢口來電によれば揚子江の增水は日一日と尺度を增し十六日正午遂に四十二尺に達し民國二十年大洪水の水深より三尺高く既に漢口特別三區は浸水し益々增水の模樣あり、兩岸の住民は大恐慌を來してゐる

僞刑事捕はる

十五日午後十時過ぎ長者町停留所附近に現れた僞刑事は十七日午前二時頃長安街六八番地の街路上において逮捕した、犯人は金州管内黄明廟會屯家屯十一の李慶吉(二[illegible])と云ひ長者町の僞刑事々件を始め同樣手段の犯罪數件を自白した

マ機消息不明

【晩選十七日發國通】カムサッカ方面ペトロ方面もマターン機の機影を認めず消息不明である

大江氏結婚

大連新聞工務局職長として多年同社に勤務の大江清美氏は今般三井鑛水氏夫妻の媒妁で山田三平氏方鈴木きの女と婚約なり來る廿三日結婚式を擧げ同夜遼東飯店で披露宴を張る由

水道掃除日割

大連民政署では來る十九日から左記日割によつて第三回の水道鐵管掃除を施行するから例によつて該當日は時々洞濁し又は斷水するこ[illegible]

▲十九日 山手町、三春町、日吉町、秋月町、日出町、雲井町
▲二十日 朝日町、大江町、久方町、明治町、三室町、紅葉町
▲二十一日 伏見町、松山町、常盤町、羽衣町、取町、千代田町、東山町、汐見町、常盤町、錦町、博文町、伏見町、山手町、大平町、香
▲二十二日 山縣通、東公園町、淡路町、紀伊町、彌生町、博文町、千歳町、大黑町、惠比須町、桑町
▲二十三日 龍田町、東公園町、須磨町、土佐町、淺間町、三笠町、明治町、鹿島町、初瀬町、惠比須町、宏濟街、平和街、西崗街、大龍街、得勝街
▲二十四日 千代田町、淺間町、初瀬町、汐見町、三笠町、鹿島町、寶町、西崗街、得勝街、大龍街、平和街、福壽街、永樂街、新起街
▲二十五日 櫻花臺、向陽臺、初音町、西崗街、同仁街、久壽街、泰公街、德政街、財神街、聖集街

野球問合電話

午後五時迄 六三四八
午後五時より 四四九一
左の電話以外の御問合せは絶對にお斷りいたします

天氣予報

十八日 南東の風 曇り 驟雨模樣

滿潮 午前七時一〇分 午後七時〇五分
干潮 午前零時〇五分 午後零時五五分

各地溫度(十七日午前十一時)
大連 二三 奉天 二四
旅順 二〇 新京 二三
營口 二二 新義州 二五

善鬼惡鬼 (109)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

傳助殺し (二)

引窓から照すお瀧の龕燈提灯に匕首が不氣味に光つた。片手につかんだ柄が、がく〳〵慄へるらしく、傳右衛門はしばらくまごついてゐたが、柄へ兩手をかけた。拜み突きといふ構へだ。

引窓の見張は、隨分氣を揉んでゐるのだが、中々はかどらない。思はず知らず、身もだえをしたので、引窓がガタリ。

途端に、傳助が寢がへりを打つたか、眼をさましたか、もく〳〵と蒲團の搖れたけはひだ。

傳右衛門は慌てた。

只もう、無茶苦茶になつてほど老いぼれた傳助である。女の力ながら、年増ざかりのお瀧にさつて、手に立つ敵ではなかつた。

「こゝを、こゝんところを。早く〳〵」

お瀧は囁いた。

「へイ、へイ」

漸く起き上つた傳右衛門も、助太刀が出來たと思ふと氣が強くなつた。

匕首を兩手に摑んで、老人の胸のあたりを、腹のあたりを、滅多斬りに斬りつけさいなんだ。

はげしい呻り聲。

七轉八倒のもだえ。

でも、三太刀四太刀は斬つたとて、女の手許をのぞき込むのだ尻目にかけて

「まだ少しあぶないから、お前さん、しつかりやつてお了ひ」

匕首を男の手に持たせる。

「お、お前さん、ついでにやつてお了ひなさいまし」

「へん、こんな手荒なことは、女のすることぢやないさ」

「へイ」

お瀧の目が血走つてゐるので、傳右衛門は否も應もいひ得なかつた。

止むを得ず、本當に止むを得ず傳助をもう一度、ぐいと刺し通した時

「傳さん、一寸上を見て御覽」とお瀧がつんと笑ひを含んだ聲で云つた。

「えッ」

何氣なしに、顏をあげた目の前に、ちかちかと光つた龕燈提灯、それは、何者か、眞黒な男の手に握つて、さしつけられてゐるのであつた。

傳右衛門は二度びつくりである

「あつ」と叫んで尻餅をついた頬桁を、コツンと蹴とばされた。

「そんなに手荒にするんぢやないよ、氣の弱い男だからさ」

女はから〳〵と笑つた。

「ちげえれえ役者見てえな色男だつけな」

眞黒な男も笑つた。顏も手も、本當に眞黒な男である。

「エイ」と突き、突きはづして又二太刀目を。

傳助が、悲鳴をあげてはね起きた。はねとばされた傳右衛門の上へ、蒲團をかぶせて

「ごろぼう、ごろぼう」と叫ぶ。

さうなると女の度胸はしつかりしてゐる。引窓の綱に手をかけるが否や、つる〳〵とすべり下りてすぐに傳助のうしろへ廻つたお瀧片手をのどへ、片手を口へあてゝ老人のあたまを自分の胸へぐいと抱きしめた。

「ウッ、ウッ」と二三度呻つて、宙をもがいたが、立居も儘ならぬ思ふ頃、お瀧は

「そんな事ぢやダメだよ」

あたまごなしに罵つて、老人の身體を傳右衛門へドンと投げつけるやうに突飛ばすと、傳右衛門は傳助もろとも、一たまりもなく、仰向けに打倒れた。

「こつちへお貸し」

さう云つて、傳右衛門の手から匕首を引つたくつたお瀧、蒲團をつかんで這ひずりまはつてゐる傳助を、存分にえぐつて、到頭息の根をとめて了つた。

「だ、大丈夫ですかえ」

傳右衛門が、四つん這ひになつ

近代やくざ風景

桃色のギャング映畫

『非常線の女』試寫評

近代やくざ風景を銀幕に描いた桃色のギャング映畫である、セームス槇の原作、池田忠雄の脚色、小津安二郎の監督で、主演者は田中絹代と岡讓二、物語は大東京の暗黑街を背景とした與太者の義理人情、戀愛、そして友愛を扱つたもので近代的スリルの拔粹篇とも言ふべき作品

拳闘家あがりの讓二(岡讓二)は相當顏の賣れた與太者だつたその情婦時子(田中絹代)は晝は會社のタイピストとなつて社長の息子に口説かれ、夜は姐御らしく振舞つてゐた、或夜讓二はダンスホールを荒す與太者をノシた、その男らしさに身内にしてくれと賴んだのは學生の宏(三井秀男)だつた、宏の姉和子(水久保澄子)の純情に打たれた讓二を嫉妬する時子、そして時子がまた和子の純情を見せられて讓二と共に稼業から足を洗はうとする時、姉の店の金を盜んだ宏が讓二に救ひを求めた讓二は時子を說き伏せて社長の息子から金を強奪して姉弟に與へたが、その時既に非常線は張られてゐた、そして時子は愛するが故にピストルで讓二を射つた

このストオリを小津監督は「また逢ふ日まで」に示したやうな良さを以て押し切り才腕を揮つて與太者生活を描き、姉弟愛を絡ませてしがない與太者の悲しみを語つた日本映畫に珍しい作品である

岡讓二の與太者は勿論適役だし田中絹代もよく、三井秀男、水久保澄子、逢初夢子らのバイプレイも小津監督の優れた俳優指導でぴつたりとした氣分を出してゐる【寫眞は岡讓二の與太者と田中絹代のその情婦】

『叫ぶアジア』

中央映畫館上映

松竹映畫『非常線の女』と共に

來る十九日から公開

本社主催で去る十二、三日兩夜協和會館にて一般公開に先だち有料試寫會を催し兩夜とも超滿員の盛況を呈し大好評を博した藤原義江主演トーキー「叫ぶアジア」は愈々來る十九日から中央映畫館にて華々しく市中一般公開することになつた、プログラムは「叫ぶアジア」及び松竹蒲田の特作品で才人小津安二郎監督、田中絹代、岡讓二主演のギヤング映畫「非常線の女」興味ある近來の名映畫として期待されるもので?われらのテナー藤原義江が銀幕に愛國的軍歌「討匪行」を唄ふ人氣と共に全市の映畫ファンを熱狂せしめるであらう(寫眞は非常線の女の一場面)

うわさ話

映畫國營論を提唱してゐる淺岡信夫氏が來る二十日頃東京を出發し來滿する▲要件は沖、横川兩烈士の三十年記念を逆へ再びこれが映畫化が計畫されてゐるので、そのロケハンを兼ねて各關係方面との折衝のため▲大阪で實演してゐる伏見直江が「女國定」などを呼び物に來滿したいとの希望を傳へて來てゐる▲近來の名映畫として推賞されてゐる入江たか子の「瀧の白糸」はいよ〳〵月末映樂館封切と決り、それまでに寬壽郎の「山を守る兄弟」大會をやる▲來連中だつたパテーベビー輸入元伴野商店主は今朝の「はと」で北行

本社特選 新棋戰 (其二)

平手　先六段△飯塚勘一郎　六段▲齋藤銀次郎

【圖は二三歩迄の局面】△飯塚氏持駒歩

▼齋藤氏持駒なし

△二三角成　▲同銀　△四八銀　▲八四歩　△八八銀　▲八五歩　△七七銀　▲四一玉　△五七銀　▲七四歩　△六八玉　▲三三銀　△七八玉

【土居八段講評】飯塚君の二二角成は手損ではあるが、角換へを止めて、若し四八銀では四四銀以下五筋より攻勢を採らるゝと味方の角の働きが薄くなるから、譜の如く直に角換へをしたのは局面上至當の對策である、但し四八銀の處は一旦六八銀と指し、而して後に四八銀と指す方が本筋である、齋藤君の八四歩は誤つた作戰で三三角打、八八角と打たせ、四四銀とトリ、五筋より攻勢を採る處である。

【萩原七段解說】飯塚氏の二二角成は、然で四八銀では敵に四四銀と指され、次に五五歩と五筋を壓迫されると面白くないから交換したのであつて、この角を交換しておけば位負けも逆襲の機會があつて響きが薄いのである、齋藤氏の八四歩は、此處で三三角と打つて敵に八八角と打たせ、次に四四銀と指して五筋を壓迫すると言ふ指方では、飯塚氏の二二角を交換したのが無効になる樣に思へるが、これは、二二銀の働きが重いと言ふ理由で八四歩と指したのである、飯塚氏の八八銀は、次に七七銀と上り敵の飛車先の歩の交換を避ける意味であつて、この局面に至つては先手は飛車先を切り後手は切れない、これが卽ち先手後手の微妙な差であつて、何れこの差が先手の德として現れ棋勢に大影響を及ぼす事になるであらう

(昭和八年十二月二十五日第三種郵便物認可)

滿洲日報

發行人　鈴木茂三郎
編輯人　橋本喜代治
印刷人　木村武盛
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

定價　一ヶ月　金一圓二十錢
　　　一部　金五錢

廣告料　普通一行　金一圓三十錢
　　　　特別一行　金二圓六十錢
　　　　場所指定　二割以上増

陣鼓高く鳴り渡る　實滿定期野球戰（第一回）

雨雲を蹴散らし空飛ぶ神秘の白球

沸き立つファン大衆の前　堂々、滿倶まづ勝つ

13A−5

全滿野球ファン待望の一夜は明けて本社主催大連實業團對滿洲倶樂部定期野球爭霸戰第一回戰は十七日午後四時卅分より滿倶球場に於て擧行された**この日數日來の熱風は何處へか、朝來の曇天はポツリ〳〵と雨を伴ひたゞならぬ風雲に一抹の殺氣を加へる、**晝過ぎる頃より漸く雨足も止みグラウンドを掃くが如く淸め水無月の空は紺碧ならねど白雲漂はしその切れ間より陽はサン〳〵と降りそゝぎ**南の微風またスタンドを切り絶好の野球日和、定刻前早くも觀衆は續々と入場し超滿員、その數實に二萬、**午後二時半實業チームが入場續いて滿倶が入場、觀衆の拍手裡にフリーバッチングに移つたが數旬に亘る猛練習に雨軍とも當り出で打擊は物凄く吉田、松木、片岡、山下、濱崎の猛打に觀衆は昂奮の絶頂に躍つてゐる、午後三時四十分滿倶を先頭に工場バンドの奏するマーチにつれて入場式を行ひダイヤモンドを一周し本壘を中心に兩軍整列、滿倶永澤、實業安藤兩主將の手によつてセンター後方大ポールに君ケ代の奏樂に榮光に輝く日章旗は靜かに揚げられた莊嚴の氣場内を壓す裡に本社松山社長の手に滿倶永澤、濱崎、片岡に優勝旗、優勝盃の返還式あつて本社細野編輯局長一場の挨拶を述べシートノック終つて兩軍挨拶をなし**河本滿鐵理事の手より始球式の球は投ぜられ滿倶片岡捕手のミツトに收まつた、この一球に心魂ともに賭け滿倶五年連勝の望みなるか、實業敗辱の恨みをはらすか、**その第一戰を飾むべく午後四時三十分井口新次郎氏主審のプレーボールの聲は球場に響き渡り、尾崎昇次郎、川久保喜一兩氏壘審の下に緊神一番戰ひの火蓋は切つて落された（カットは入場式）

實業	0	0	0	0	2	2	1	0	0	5
滿倶	0	0	1	1	3	8	0	0	A	13A

◇一回　▼實業第一打者中川投手フライ後安藤兄良く選球し四球に出たが玉井第一球を打てば一壘直球となり安藤兄さ併殺を喫す▼滿倶　柴原二—二後投手越ゴロを放つて單打さ見えたが二壘よく取つて一壘に刺す永澤空振の三振山下ればつて二壘ゴロる▼滿倶　片岡一—〇の後四球を選んで出で杉谷二度バントを失して二—一の後直球を右中間に二壘打し片岡三進滿倶絶好のチヤンスを迎へたが濱崎左翼フライに退き高須淺く守つた遊擊の正面をゴロで衝き二死となり和田左飛に空しく因藤好投してピンチを切り拔ける

◇二回　▼實業松木二—一後二遊間を破り吉田投飛で二死後渡邊ストレートを叩いて遊擊右に直球單打して出たが藤澤の遊匍に渡邊二壘に封殺さ

◇三回　▼實業因藤第一球を遊越單打し野原の投前犧バントに送られて二進し**中川ストレートの四球で一死走者二、一壘に據り實業好機を迎へれば**安藤兄一壘ゴロして因藤、中川三、二壘に進み玉井もストレートの四球で滿倶背水の陣を布く實業二死ながら滿壘となり松木期待されたが〇—一後高目の球を左翼に淺くフライし實業も機を逸す▼滿倶　小池ストレートの四球に出で柴原の三壘線に沿ふ犧バントに送られて小池二進しさらに一壘の二壘高投に一擧三壘を占める、永澤一—一の後バントを二回失敗して三振に退き二死後山下二—一後一越單打し小池**勇躍生還滿倶早くも一點を先取す**（山下の代走和田）續く片岡二—三後四球杉谷も二—一後よく選球して四球に出で和田、片岡三、二進し二死滿壘となつたが濱崎

◇四回　▼實業吉田中堅フライ後渡邊二—三よりよく選球して四球に出でたが安藤（兄）の遊匍に二壘に封殺され因藤見送つて三振▼滿倶　選球主義に出て高須四球に出づれば（實業因藤を退け岩瀬投手となる）和田初球を投前に犧バントを試みたが**投手高須を二壘に封殺し二壘手併殺をあせつて一壘に低投し和田一擧二進續く小池第一球を打つて一壘左を拔き和田二壘より長驅本壘を衝いて還る**柴原二—三の後盛んにればつて四球に出で小池二進し一死走者二、一壘寄りの好機に永澤三壘ゴロで小池柴原三、二進し山下二匍に退き、**滿倶再び一點を得る**

◇五回　▼實業野原二—三より盛んにればつて四球に出で中川投前犧バントして野原を二壘に送り續く安藤（兄）**第一球直球を左中間に二壘打して野原を先づ還し**玉井一—〇の後三壘線にバントを試みて内野單打さなり安藤（兄）三進す**實業の觀衆騷然と聲援する中に松木中堅に大きなフライを上げ安藤（兄）還り同點となり**玉井中堅より本壘に送球する間に二盜し吉田遊匍低投に生き玉井三進したが渡邊遊匍して吉田を二壘に封殺すこの回**實業よく好機をつかんで二點を報い觀衆熱狂す**▼滿倶片岡三度四球に出で續く杉谷第一球高目の内角に入るカーヴを打つて右中間に三壘打し片岡還り濱崎杉谷のスクイズバント見事になり杉谷還り前進して球を取つた遊擊これを一壘に高投して濱崎一擧二壘を得高須の右飛に濱崎三盜を試みて成り和田の右中間單打に濱崎も亦還り續く小池も遊擊右に直球單打し和田二進柴原の二匍に小池二壘に封殺され和田三進したが永澤の左線寄りの飛球は**左翼中川好進して轉倒しながらつかんだが滿倶再びリードす**

◇六回　▼實業藤澤投前ゴロの後岩瀬近目のカーヴを中前單打し中堅の後逸する間に好走二壘を占め續く野原の三遊間單打に岩瀬三進し中川の遊擊を襲ふゴロを三壘手飛び出して之を失し走者生き岩瀬還る野原二進走者二、一壘に據り尚は好機、續く玉井直球を左中間單打し野原還り兩軍の差一點となる中川直ちに二壘より一擧本壘を衝いたが左遊捕の好リレーに惜しくも刺される▼滿倶（實業吉田退き松尾右翼に入る）山下中前單打し一順して山下二—三の後低目の直球を空振して三振し二死さなつたが片岡二—一後直球を叩いて**左越二壘打し和田小池柴原の三者を一掃して益々得點を加へる**杉谷打者の時投手暴投に片岡三進し杉谷四球に出で二盜後濱崎右飛に滿倶の攻擊漸く止んだがこの回一擧八點を收めその差九點となる

◇七回　▼實業（滿倶山口投手となり濱崎左翼に入り和田退く）松木左翼線寄りの二壘打して出で松尾右飛渡邊中飛で二死後藤澤の三壘左りを拔く單打に松木三進し更に左翼後逸に本壘に還り藤澤二進したが副島右飛に僅かに一點を酬いしのみ▼滿倶高須右飛山口三振、小池中飛

◇八回　▼實業野原死球に出で中川左飛後玉井の二壘越單打に野原二進したが松木空振して三振▼滿倶（實業安藤退き立石三壘に入る）柴原中飛、永澤三匍山下右飛

◇九回　▼實業最後の攻擊に入り松尾の代打上本二匍後渡邊三遊間單打して出で藤澤投飛、副島の代打昆舍利中前單打し渡邊二進したが野原左飛に空しく**十三A對五で滿倶大勝す**（閉戰七時十分）

（實業）		打	得	安	犧	盜	三	四	刺	補	過
7	中川	3	0	0	1	0	0	1	3	0	1
5	安藤兄	3	1	1	0	0	0	1	0	1	0
5	（立石）	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
4	玉井	4	0	3	0	1	0	1	1	5	1
3	松木	5	1	1	0	0	1	0	9	0	1
9	吉田	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0
9	（松尾）	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0
PH	（上本）	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2	渡邊	4	0	2	0	0	0	1	4	1	0
8	藤澤	5	0	1	0	0	0	0	3	0	0
1	因藤	2	0	1	0	0	1	0	0	1	0
1	（岩瀬）	2	1	1	0	0	0	0	0	1	0
1	（副島）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
PH	（昆舍利）	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
6	野原	2	2	1	1	0	0	2	1	1	1
	計	37	5	12	2	1	2	6	24	11	4

（滿倶）		打	得	安	犧	盜	三	四	刺	補	過
9	柴原	3	1	0	1	0	0	2	2	0	0
4	永澤	6	0	0	0	0	3	0	3	2	0
3	山下	6	1	2	0	0	1	0	8	0	0
2	片岡	2	2	2	0	0	0	3	3	0	0
6	杉谷	3	2	3	0	1	0	2	1	3	1
1•7	濱崎	4	2	1	0	1	0	1	4	3	1
8	高須	3	1	0	0	0	0	2	4	0	1
7	和田	4	2	2	0	0	0	0	1	1	0
1	（山口）	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
5	小池	3	2	2	0	1	0	2	0	0	0
	計	35	13	12	1	3	4	12	27	9	3

▲三壘打—杉谷▲二壘打—安藤兄、玉井、松木、片岡、杉谷▲併殺—滿倶1（山下）▲暴投—副島1▲試合時間—二時間四十分

めちやくちや

因藤君がノックアウトされ岩瀬君もまた交り副島君と更に代るその副島君も漸く危くなると意外實業團應援席から「ピツチヤーカハレー」となる、一體どこを應援して居ることやら。

火事と間違へる

フイルデイングの終了時間を知らすサイレンが球場に鳴り響く一ファン「おい火事らしいぜ」知つたか振りのファン「チエッあんなもので選手の度膽を拔かうとして應援してやがる」これでは新らしく球場につけたサイレンも夜通し泣き通すデス。

噓の河本理事

山西滿鐵理事以下の阿彌陀會員連メーンスタンド上に陣取る、始球式で河本理事の投球ぶりに特製の大拍手を送る、そのわけは？阿彌陀會通の一記者曰く「これは次の會合に河本理事から罰金を徵收する支拂命令だ、先づその名目の一、始球式に祭り擧げられた罰金その二、新聞に寫眞が乘つた罰金その三、見事ストライキだつた？罰金その四、觀衆から拍手を受けた罰金等々」……さは知らぬ河本君大きな奴をハックシヨン。

滿洲事變論功行賞

第八回分をきのふ公表

【東京十七日發國通】滿洲事變第八回論功行賞は六月十七日内閣から御裁可を經て公表された、今次の分は主さして昨年五月より九月における滿洲各地において名譽の戰死を遂げた百七十六名に對するもので、内百七十一名は金鵄勳章を授與せられた、主なる殊勳者左の如し

- 功七級旭日八等　獨立守備隊第一大隊步兵曹長　芳賀芳次郎
- 同　同　池田延藏
- 功七級旭日八等　獨立守備隊第二大隊步兵伍長　澁谷忠司
- 同　獨立守備隊第二大隊步兵上等兵　渡邊春治
- 同　騎兵曹長　佐藤君男
- 功七級旭日八等　步兵伍長　丸田淸一
- 同　第三大隊步兵曹長　船戶安次
- 功六級旭日七等　步兵上等兵　關根伊之助
- 同　波木龜太郎
- 同　杉浦重雄
- 同　渡邊春次
- 功七級旭日八等　步兵伍長　堀內源市
- 同　獨立守備隊第五大隊步兵上等兵旭日八等　黑澤興
- 同　步兵曹長　村山成義
- 功七級旭日七等　步兵上等兵　荒木德一
- 同　同　安田德
- 功七級旭日八等　步兵伍長　遠藤榮一郎
- 獨立守備隊第六大隊步兵伍長　渡邊嘉幸
- 同　森川幸次
- 同　藤谷金次郎
- 同　上等兵　春日井淸
- 同　土谷政雄
- 功七級旭日八等　步兵曹長　木脇義盛
- 功六級旭日七等　關東軍野戰自動車隊輜重伍長　小澤由藏
- 功七級旭日八等　關東軍鐵道中隊工兵上等兵　伊藤周作
- 同　山口定二
- 功七級旭日八等　關東軍憲兵隊憲兵伍長　嘣嶋末松

勝因二三

滿洲倶樂部監督　中澤不二雄氏

◇…先づ調子の好い岩瀬君が投げて來ると思つた、因藤君だつたのでジリ〳〵攻めて二、三點差をつければ岩瀬君が出て來ると見た岩瀬君が立つさ妙に實滿戰氣分が濃厚になつてチーム全體が緊張する、どうかして四五回で當りが出て來た所へ岩瀬君を迎へたいと思つた、遂に私共の念願は果たされて乘り切つた所へ岩瀬君を迎へたそれつさばかりに好球を見逃さず打つて出たそれが今日の勝因第一
◇…丁度當りが出だして三日目位の上向のバツテイングであつた事がその二
◇…堅くなり勝ちな第一回戰に全員がのび〳〵とプレーした事が

敗將寡默

大連實業團監督　前田叢司氏

完全に敗けました、敗軍の將今更何にをか語らんです、然し我々は全力を盡して戰ひました、明日の試合にも正々堂々ベストを盡して戰ひませう

その三
◇…得點の目標を六、七點においてあさは濱崎、山口兩投手に任せて一路邁進したのが當りました

出迎へませう凱旋勇士を

十八日午前七時着驛

勇士の慰靈祭

十八日午後五時十分着驛
同　六時より埠頭構内で

政務整理委員會

【北平十七日發國通】本日の河北政務整理委員會の開會式に際し委員長黃郛の宣言演說は左の通りである

布

山に居る六載林泉に安住して世事を問ふ所なかりしに内憂日に滋く外交危機に瀕し遂に中央の命に依り國の爲め民のため出山此の難局に處せんさするに至れり成敗は顧みる所に非ず偶々北上の際北津騷然たるの時、郛非才此の大難を負ひて朝夕心を痛む目前測る可きものは主として河北人心の安定に在り、第二は卽ち戰苦の恢復にして此の二者を併用して以て漸次政務を整理せんとす、現在前方の軍事は正に終熄し河北整理の方案はその實施期に入れり、中央政府は地方長官に命じて民意を尊重し環境に應じ適切なる救濟を期す、本内政將た言に非ず實行にあり本會の職責亦これにあり以て迅速にこれが達成を期せんとす、海内同憂の士は郛等の此の期待を諒し極力激勵を賜はりたし、本會の成立に際し謹んで全國人士に所懷を披瀝す

本庄中將親任

【東京十七日發國通】本庄侍從武官長、濱崎參謀次長、阿部臺灣軍司令官三中將の大將親任式は十九日午前十時宮中で齋藤首相侍立の下に執り行はれることに決定したなほ阿部臺灣軍司令官は臺灣にあるため官記傳達さるゝ筈

【東京十七日發國通】大將昇任さ共に濱崎參謀次長は軍事參議官專任さなり參謀次長は參謀本部附植田謙吉中將が參謀次長に補せらるゝ旨發表さるゝ筈

＝寫眞說明＝　國旗揭揚式（上右）河本理事の始球式（左上）優勝旗返還式（左下）スタンドを埋める觀衆（下）

社説

滿洲國金禁輸と買上の實效 大に期待すべし

滿洲國が、懸案となつてゐた金輸禁止法と、產金買上法とを決定し、愈々實施の運びに至つたことは、產金採金が直前の問題となつてゐる際、最も必要にして適切の處置で、吾人は寧ろ其の遲かりしを感ずる位である。而して金の禁輸法と買上法とは、必然兩立すべきもので、一方を差措いて他方だけ實施さるべき性能を有しない。畢竟禁輸のために買上の必要があり、買上ぐるために禁輸の必要が存するので、兩者の運用が併行して、初めて效果的であることは言ふ迄もない。然るに舊政の國事に、搾取と重壓とを以て臨んだ舊軍閥は、禁輸を頻りに嚴重に觸れ廻りながら、毫も買上の方法を講ぜず、概ね之を沒收し、然らざる場合も二束三文に叩き落して、私腹を肥してゐたのだから惡評言語に絶する。隨つて禁輸は實際的には效果なく、支那や其他の方面への密輸出が行はれてゐたので、滿洲建國後も其の風が習慣的に殘り、中央銀行當局は流石に商賣柄だけに、此の事に氣が附き、今回の法制を促進したのである。

◇

元來金を持出してはならぬが買つてはならぬといふのでは、假令採金禁止であつても、頗る無理な制度で、舊軍閥ならばこそ斯かる無法な處置も執れたのだ。苟も一國若くは一地方等が金禁輸を決するからは、當然產金の始末を考へねばならぬので採金禁止だから產金はないといへばそれ迄だが、產金採金でなくても他に金を得る方法はあるので、これが悉く其の國若くは其の地方で、無効無益であり且つ無代價同樣に歸するのではなく金は國民若くは住民の厄介物となるだけである。殊に支那、滿洲は、金の自由鑄造を許さない貨幣制度——金に關係なき銀貨幣——の國であるから、金本位國の自由なる鑄造と異なり、金を鑄貨幣に對して商品化する外なきに之を許さず、賣ることも持出すことも許さず又買上げることもせぬのだから、金は何の役にも立たぬものになる。而も彼等の支配階級は、之を他に持出して利益を得てゐたのだから密輸密賣の行はれることも、必須の事象となる譯である。

◇

最近金本位を離脱した國は、日本を始め各國共に、金の自由鑄造を停止した。此の點では恰も既往の滿洲と略同一の狀態にある。併し其の次に來るものは民間に在る金——產金採金の處分法であつて、各國共に金禁輸を行ふと同時に金の買上を行ふか又はそれに代るべき方法を執つた。然るに過去の滿洲は銀貨幣國で實際は銀紙幣國である。而してその銀の準備さへせぬ程だから、ましてや金の準備等する筈がない。それ故に一向金の必要などはなかつた。加之外國貿易關係にすら金の必要はなかつた。それは輸出超過國で、對外決濟資金を要しなかつたのではなかつた。借りたものは返さねば、日本の借款に對するが如き態度を採つたのもその一因だが、すべての國際決濟は上海の金銀市場を介して行はれたから滿洲が自ら金の世話を焼く必要がなかつたのである。誠に都合が好く出來てゐたもので、金に對する內外の貨幣價も商品價も何等頓着する所なく、採金禁止だから金が在る筈がないとして總べてを國法違反に卷き込んで見付け次第に取り上げてゐた。故に殘る所は唯、首腦者自身の懷ろを肥すべき商品價の高低が頭の中に徂徠した位のものだ。今更云ふべきでもないが、頗る無法なことが行はれたもので、過去の銀貨幣國——銀紙幣國のいゝかげんなからくりに就いて、再吟味の必要を感ずると頗る痛切である。

◇

如上の觀點に於て、滿洲國の金の禁輸法と買上法とは既往の虐政を如實に解消する正當の方法で、吾人は王道政治の具現なる斯かる現實問題に就いて發見することを、最も欣快とするものである。而して其の取扱は日本と同一であるから、之を日滿統制經濟の線上に現はすと、結論的に共通幣制に落着く。而してその前提工作は金の蓄積であるこれにより見るも、產金國として囑望さるゝ滿洲國が何時までも銀本位國たることに滿足しないことを察知することが出來る。特に世界の金本位離脱國が貨幣制度の將來に惱みを持ちつゝ、互に經濟的交錯を生じ、又各國間に尖銳なる關稅爭を起してゐる現勢から見て、此れが將來日滿兩國の頭上に齎らさるべき福音の豫告たる感なしとせぬ。誠に歡ぶべき事態といはねばならぬ。

爲替比率協定問題と帝國政府の態度
通商障碍撤去主義堅持

【東京十七日發國通】英米爲替比率協定が成立すれば日本にも參加要求があるものと見られてゐるが外務當局は大藏省側とも連絡を取り研究し、左の態度を持す事になつた

一、爲替ダンピング稅、ボイコット輸入禁止等通商上の重壓下にある我國として固定的爲替比率に束縛されるは損害はあつても利益は無い

一、從つて日本では上記の障碍撤去に關する國際規約が成立せねば無條件に比率協定に參加し得ず

さて英米兩國の爲替比率協定主義に對して通商障碍の撤去主義を堅持して居る

他國の爲替も安定
英米佛爲替協定成立の影響
◇…高橋藏相の意見

【東京十七日發國通】英米佛三國間に爲替安定の協定成立の報に關し高橋藏相は十六日左の如く語つた

英米クロス協定成立に關する報道は正金への電報でも同じやうな情報を見た、斯かる協定が進められてゐることは事實のやうであるが未だ確報に接してゐない、たゞ英米クロス協定に關してル大統領が議會から與へられた權限については多少疑問の餘地もあるが若しアメリカがこの比率協定に失敗するならばアメリカは極端なナショナリズムに陷らざるを得なくなるであらう若し英米クロスが完全に成立したなら之により裁定を行ふ他國は便宜を得ることゝなる代りに英米クロスはそれだけ責任が重くなる譯だ、その例は南米爲替に對する磅、金解禁後の圓の裁定につき同樣な事がいへると思ふ、英米クロスの安定さへ出來れば他國の爲替も安定するが、たゞ戰債問題が片づかぬ限りこの解決は難しい、米議會が戰債棒引に反對してゐるのでル大統領も困つてゐるやうだ、若し爲替比率協定が出來れば各國中央銀行間で早晚實行することにならう、經濟會議はあれだけ大がゝりな會議だから爲替比率の協定位は當然成立せしむべきだ、なほ關稅については無條件最惠國約款が成功しなければ日本としては有條件最惠國約款と互惠主義とを併用して行く外はないだらう、印度が今回の行動を改めぬ限り日本は印棉を買はぬだけで、日本商品を買つて呉れるところから原料を買へばよいと思ふ

印度の休日參加は全く有名無實
わが外務當局指摘

【東京十七日發國通】印度の關稅休日案參加は既報の如く有名無實にして且つ政略的のものだが、右に關し外務當局は左の諸點を特に指摘した

一、印度政府は關稅休日案に參加したとはいへその條件として殆ど印度主要產業全部並びに英本國產業にして對印輸出に重大關係あるもの、全部に對して將來自由に關稅を引上げ得べきことを留保してゐるのだから、印度の關稅休日案參加は有名無實だ

二、而して綿製品に對しては實際には今日まで印度の必要とする保護關稅引上げを終つてゐるので將來に對して綿業保護法による引上げを行はざるものと解し得るが、印度政府の所謂關稅休日案に參加せる犧牲は僅にそれのみだ

なほ印度政府が斯くの如く事前に關稅引上げを實施し、又はその準備をなしたる上關稅休日案に參加せるは經濟會議を愚弄せる行爲であり印度通商を有利に導かんとする政略的行爲と見られる

シムラ會議の商工省代表

【東京十七日發國通】シムラ會議の性質上關稅貿易の技術的交涉を必要とするので澤田、三宅兩氏の外務側以外に商工省からも全權派遣を內定した候補者としては貿易局長寺尾進氏が最も有力でこれを機會に貿易對策の轉機を期待さる

聯盟事務局の對極東放送

【ジユネーヴ十六日發國通】聯盟事務局は來る十八日日曜日から毎日曜日極東に向け放送を行ふに決定した、時間は午後十一時から四十五分間（滿洲時間月曜日午前六時から四十五分）波長は三十一・三及び三十八・四七メートル、英、佛、スペイン三ケ國語で各十五分間である

時期を早めた治外法權撤廢
日滿協議會開催近し

【新京電話】日本の滿洲國に對する治外法權撤廢は愈々議熟し、十六日新京で第一回治外法權撤廢協議會を開催したが、之により今後日滿協議會が開催される氣運になつたものと見られるが、日本側が斯くの如き治廢時期を早めた理由としては

一、日本が滿洲國を承認した以上その獨立權を益々鞏固ならしめる爲、滿洲國司法制度の完備を急いでゐるのは在滿日本人の發展を積極的に助長する爲、滿洲國の司法警察制度が日本人に堪へ得られる域に達し政治的見地よりこれを速かに撤廢し而して徐々にその完備を俟つの可を覺つたこと

二、滿洲國の法令も着々その緒につき既に採用法令は司法部案を決定し、法制局に廻附し近く法制審議會の決定を見るはずで右採用法令は滿洲國の獨自の立場に適合せる基本的法律であり、日本の如き煩雜に過ぎる六法の如きは滿洲國としてはその必要を認めざること

三、滿洲國司法部にては愈々日本司法官の滿洲國入りを決定し近く日本司法部の權威の入滿を見るはずで、右は最高司法機關たる高等法院に配屬せしめて、これが實現後は滿洲國司法權の最高部門を主として日本人が掌握することになり、在滿日本人としてさしたる不便なきこととなるで難關としては滿鐵附屬地の警察權問題であるが右に關してはある程度の辦法を發見した模樣である

法權撤廢 促進有利
日本側の意嚮

【新京電話】滿洲國に對する日本の治外法權撤廢時期については巷間種々傳へられてゐたが、最近日本出先官憲の意嚮は一時の情勢より著るしくその時期を早めんとするに傾き過般阿比留司法部總務司長の上京に際して日本中央部が獲た意嚮によればこの際政治的に撤廢する方が有利だといふ事情もあり、滿洲國としてもこれに力を得て撤廢に先立ち施設並びに法令の制定を急ぎつゝあるがこの劃期的重大案件も意外に早急に解決を見るに非ざるやと觀測されてゐる

滿洲國側の準備進捗

【新京電話】滿洲國における日本の治外法權撤廢は今後一年乃至一年半を目標に着々その準備を急いでゐるが、既に基本法律たる採用法令に關しては司法部案の決定を見近く法制審議會を經て公布の筈である、又日本司法官の招聘は大同二年度豫算で十八名採用と決定既に判事二名、檢事三名、書記五名、翻譯官五名、書記補三名の人選を終り、近く國務院會議を經て發表のはずで右十八名は七月中旬までは着任のはずで着任の上は新京、奉天、ハルビン、吉林の各高等法院に配屬することになり、現行監獄の改善、日本人の看守採用も一部は既に實施され、又最も重大視されてゐる滿鐵附屬地警察權問題に關する滿洲國の意嚮は州外勤務の警察官をその儘滿洲國警察機構の下に移管するといふ原則で日本側も異議なき模樣である

八觀相

五十行以內 中篇はさらす 投書歡迎

この頃の放送
自烈亭

◇JQAKに御伺ひします。私はホックストン附けレシーバーで聽取してゐますが、秋から四月末位迄は內地中繼も頗る明瞭に聽かれますが、其後は殆ど聽取不可能の事があり、亦強い南風の日は當地のも聞えぬのです

◇この狀態は毎年の事ですが、去る四月上旬滿日紙上に「京城が十キロ？放送になると大連は五月上旬頃これをタッチする事によつて夏期における從來の緊が一掃され、晝間は內地のスポーツ放送も夜間は毎晩內地中繼放送ができる。だから今迄のファンの不滿は完全に解消する」と發表された。

◇然るに今日の狀態は一向その模樣がない。この記事は貴局のデマか、それ共技術か機械がそれに至らぬのか、或はホックストンなるが爲に不可能なのでせうかこの點をお訊ねしたい。

◇なほ未だ京城よりのタッチが不完全とすれば、右滿日記事の所謂ファンが惠まれるのは一體何日頃からですか以上につき首肯し得るお答へを希ひます。

お答へ ◇四月頃より夏にかけては一般に空中狀態が不良になりまして「ラヂオ」の聽取には都合の惡い季節であります。天候の工合で特にその狀態が不良となることもあるやうであります。

◇京城放送局十キロ放送の中繼は既に試驗的に實行致して居ります。未だ「プログラム」に載せるまでにはなつてゐませんが、過般の早慶野球戰の實況その他時々京城からとつて居ります、此等の場合は豫かじめ「アナウンサー」からお知らせして居りますから御承知願ひます（大連放送局）

丁交通總長

【ハルビン十七日發國通】來哈した交通部總長丁鑑修氏は十六日夜北滿鐵道クラブに日、滿、蘇人三千餘名を招待し酒席には日、滿、蘇の美妓八十餘名侍り空前の盛宴を張つた主客歡を盡し和氣譪々裡に同夜十時散會した

關稅懇談會出席

【奉天電話】滿洲國協和會主催で二十五日ヤマトホテルにおいて開催の滿洲國關稅問題に對する日滿官民懇談會に中央政府財政部から源田稅務司長が出席することに決定した

國幣發行高

【新京電話】中央銀行毎週（二日より八日）平均額（圓以下切捨）

發行高 一二一、七二二、八四二
準備額 七四、〇八八、〇三二
保證額 四七、六三四、八〇九
輔幣發行額一萬五千五百五十圓

大槻醫官勅任

【東京十七日發國通】本日左の通り發令さる

關東廳醫院醫官 大槻滿次郎
勅任官を以て待遇せらる

關東廳辭令（十七日）

關東廳警部 引地源次兵衛
同 廣田一
同 木下關藏
兼任關東廳專賣局屬（各通）

人事

▲酒井龜一郎氏（救世軍西北東京聯隊長）十七日離連挨拶のため本社來訪
▲張田豐次郎氏（救世軍南滿大隊長）十七日新任挨拶のため本社來訪
▲大山文夫大佐（關東軍法務官）十七日朝八時着列車で來連
▲日本タビ北海道支店視察團（十四名）同上
▲古川達四郎氏（奉天鐵道事務所長）同上遼東ホテル投宿
▲浦島榮吉氏（營口國際支店長）同上ヤマトホテル投宿
▲齋藤茂一郎氏（南昌洋行主）同上
▲鈴木穆氏（關東軍特務部顧問）同九時發はとで新京へ
▲出石於菟彥氏（內務省警察講習所教頭）
▲大橋熊雄氏（天津駐屯軍參謀陸軍少佐）十七日來連、遼東ホテル投宿

取殘された馮玉祥
今や進退全く谷まる
(上) 北平特派員 風間阜

馮玉祥が張家口で「抗日同盟軍總司令」に就任したのは五月二十六日で、時日支間和平解決の空氣濃厚であつて、遂日停戰協定が調印され、一般はほつと安心した時であつた、從つて馮玉祥があたまつて抗日の大旆をかゝげた意義について何人も疑念を抱いた。激し世を擧げて和平を希望せる際強ひて抗日を表明したのは抗日を看板にして蔣介石打倒に躍るものであり、これには內部的に相當の聯絡と自信があるものと考へられたからである。廣東派との呼應、閻錫山、韓復榘との糾合も噂に上つた。對日問題が一段落ついて再び紛糾なる內戰を惹起し、河北は戰禍を免れ得ないと觀られたのである。

×

しかるにその後一向廣東派に呼應する者無く、その態度に深甚の關心を持たれた韓復榘は對內的保障には一切參加せざる旨を表明し、閻錫山自身は何等の意思表示をしなければ閻錫山の代表として徐永昌は何應欽を會見し、一切中央の立場に服從する旨を表明し、又閻錫山が何等實際的援助をなさる形勢が無く、各派代表の張家口會議は幾度か報ぜられたけれども、各方面の實力者にして實際行動を示したものは無い。

×

一報道によると廣東派は馮に對し百五十萬元の軍費支給を約したが一部分がこれを持ち行くことになつてゐたが一向約を實行せず、部下の中に廣東派を離れ得ざる事情ある旨を通じ、馮は廣東派の不信を憤慨して持つて來ることが出來なければ、こちらから人を派遣するとて、部下の李鳴鐘を九日出發せしめたと傳へてゐる。恐らく廣東派は馮玉祥の反蔣運動が幾分物になる見込みがついた場合軍費も支給する算段であつたらうが、今の狀態では大金を捨てるに等しいと見て躊躇してゐたものであらう。胡漢民は西南政府が馮を第三集團軍司令（軍制を革め陳濟棠軍を第一集團、蔣廷楷の十九路軍を第二集團に）に任命することを主張したが、陳濟棠も白崇禧も賛成せぬと傳へてゐる。反蔣の本意が斯くの如き狀態であるから、爾餘の反蔣政客軍人は洞ケ峠から下らぬのは無理も無い。

×

馮玉祥としては乃公一度抗日の采配を揮へば、反蔣分子の糾合は一擧手一投足の勞に過ぎずと考へたであらう。しかしそれが、二ケ月前であつて前線に自ら出馬したのであれば後日發言の機會もあつて人を納得せしむる日もあつたらう。抗日戰線には一兵も動かさずして、一般が平和に傾いてからの抗日では氣のぬけたビールよりもなほ相手にされねばかりか却つて有害無益として人を顰蹙せしめる作用しか無かつた。

×

張家口でお山の大將となつてゐたのでは世間の動きはわからぬし馮玉祥麾下の人はみな失意の政客軍人であつて、何事であれ事を起しさへすれば何かになると考へてゐる人々である。その人々に冷靜な判斷がつく譯はなし、それが縱令ついたとしてもそれを獻言したのではものにならない。事敗れた場合はそれまでゝ損は無い、結局出目で撫てゝ物にしようとする。それが大勢を挙く逐次漸であつたのだから、いくら敵本主義の反蔣政客でも二の足を踏む。馮と最初から一致の行動を取つたのは方振武一人だけであり、方自身馮と共鳴したのか、それとも一肚あつての仕事か判らぬ。當然參加すると思はれた孫殿英、馮占海は中央服從を表明し、吉鴻昌も馮を離し牽制して……

×

馮玉祥の獨立が對內的にものにならぬと見て蔣介石一派はいさゝか安心の態であるが、對日的にはいろいろの推測が行はれる。日本は察哈爾の局面が支那自身の手で處理し得れば傍觀的態度を取るとか、日本は鄭桂堂を驅使して察東の鄭據を企てゝゐるが、實は鄭桂堂は日本の捨てるところであり彼に鄭が勝てば彼を利用して察哈爾の腹地に侵入せしめ幸ひ支配の實權を支配する肚であり、彼が敗るれば消滅するから熱河の害を除き得るとなしてゐるといひたことは日本の察哈爾に對する壓迫が嚴重となり、事態が擴大すれば察東は長城類似の局面となり張家口は危急に陷り、結局內戰は免れても對外戰はまぬかれ難いと悲觀してゐる者もある。

通信會社募株
鮮銀で取扱ふ

今回成立を見るにいたつた滿洲電信電話株式會社は總株百萬株の中日滿兩國政府の現物出資による引受株數が四十五萬株、日滿兩國の贊成人引受株が二十七萬株、殘餘二十八萬株はこれを公募に附し、七月一日より四日迄申込を受ける筈であるが、滿洲では大連、奉天、新京三鮮銀支店の外、滿洲中央銀行總行及び奉天、大連、ハルピン、チチハル、安東、吉林の各分支行で取扱ふこととなつてゐる尚は申込證據金は一株二圓五十錢で申込株數が募集株數を超過した場合には設立委員において適宜割當を決定する由、委細は二十五日頃發表を見る筈

奉山鐵路輸送規程改正

【奉天電話】奉山鐵路は昨年一月三日北寧鐵路より獨立と同時に奉山鐵路貨物輸送規程を制定し今日までこれを實施してゐるが同輸送規程では貨物の輸送關係などを考慮し應急的に制定せられたるため幾多不利の點を有つてゐたが今回奉山鐵路と滿鐵社線との貨物輸送の直通聯絡を計る上から該規定を改正し新に地方的貨物運賃規程を制定することになつた、これがため十七日奉天鐵路局員池田勇氏は奉山鐵路總局と打合せを行つた結果こゝに意見が一致したなほ本規程の改正により從來認められなかつた貨物に對する賠償的の爲替證保、貨金の着拂その他着荷地の自由變更なしに取扱ふので貨物託送者には非常に便利となるのである

小觀大觀

全滿各地に散在する自警團の統一、鐵道愛護村の計畫、皇軍の國內治安傾注▲治安維持策が次第に考案され、その考案が着々實行されて行く▲治安維持の一方、產業の創造發達も着々考案され實行される▲誠に賴もしい新國の進行振りだ、之れも一に日滿兩國人の和親協力による▲安東に、鮮人子弟の爲めに中等學校創立の運動起る、鮮人の幸福たるのみならず、滿洲國の發達に資するもの▲印度の關稅休日參加は其名あつて、其實なし、ズルイ〳〵▲英國政府とグルたる事勿論で、此不誠意は大英帝國の沽券に關する▲印度が態度を改めれば日本は印棉を買はぬだけ、日本品を買つてくれる所から原料を買ふまでさ▲高橋藏相の口吻は相變らず樂天的、どこかにユーモアと皮肉もしさがある▲政友會の政策は增稅を考慮せんとする。高橋藏相は成るべくこれを考慮せざらんとする▲兩者衝突の兆早くも現る、增稅問題では內閣內部にも異見あらん、政界の梅雨はまだ去らぬ▲京大事件は、小西總長の辭任だけで片着きさうになく、學生側の風雲頗る不穩になつて來た▲問題は京大內部に移つたと、文相樂觀の模樣だつたが、又ぞろ文部省に押戻されないだらうか。

市況（十七日）

株式 東新保合 五品變らず

內地東新保合を入れ當市東新五品とも變らず

後場

◇定期（單位十錢）

銘柄		當限	先限
五品	寄	二九五	二九九
	中	二九五	—
	引	二九五	二九九

◇延取引

銘柄	寄值	高值	安值	大引
五品	二四	—	—	—
東新	10K0	10K0	10K0	10K0

特產 大豆軟調 一般氣乘薄に

後場の定期は大豆は休日控へに一般氣乘薄で軟調を辿り豆粕は不申豆油は閑散ながら強保合を示し高粱も人氣なく閑散保合を辿つた

◇定期後場（銀建）

▲大豆（軟調）單位噸

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四十八車

▲普通大豆（出來不申）
▲豆粕（出來不申）
▲豆油（強保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
九月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 五百箱

▲高粱（保合）單位噸

限月	寄付	高値	安値	大引
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 三車

▲包米（出來不申）

◇現物後場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）（裸物）	五〇八〇	五〇七〇
出來高	三十車	
普通大豆（袋込）（裸物）	五〇一〇	五〇一〇
出來高	二十車	

豆粕 出來不申
豆油 出來不申
高粱 出來不申
包米 出來不申

錢鈔 鈔票保合

材料なく釘付商狀にて至極く閑散

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高值	安值	大引
期近	10K00	10K10	10K00	10K二五

出來高 期近四十九萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	—	[illegible]	—
二時半	—	[illegible]	—
三時半	—	—	—

出來高 銀對洋五千圓

商品 麻袋變らず 綿糸保合

綿糸、麻袋とも保合つて市場變なく出來不申

市場電報

神戶特產

大豆現物	六六〇
大豆先物	五八〇
豆粕現物	一九〇
豆粕先物	三八七
滿洲小麥	六一〇
豆油現物	不申

大阪株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
大株	一一八五〇	一一八二〇
大新	一二二一〇	一二二四〇
鐘紡	一二三七九〇	一二三七四〇
鐘新	一一一一〇	一一一一〇
東株	不申	不申
東新	二〇八〇〇	二〇八一〇
日糖	八五四〇	不申
郵船	不申	四六五〇
滿鐵	六六五〇	不申
滿鐵新	不申	不申

大阪株式（短期）

	大新	東新	鐘新	滿鐵
寄値	二二〇一〇	二二〇五九〇	一一五〇	六八六〇
引値	二二〇九〇	二二〇六九〇	一一五〇	六八七〇
高値	二二〇九〇	二二〇六九〇	一一五〇	六八七〇
安値	二二〇一〇	二二〇五九〇	一一三〇	六八六〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
六月	二三三一	二三三四
七月	二三九〇	二三九八
八月	二四三九	二四四一

神戶期米

限月	後場寄	後場引
六月	二三三三	二三四〇
七月	二三九六	二四〇三
八月	二四四六	二四五一

東京期米

限月	後場寄	後場引
六月	二三二一	二三三一
七月	二三九四	二四〇三
八月	二四五五	二四六一

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
六月	二一〇〇	二一〇〇
七月	二〇五七〇	二〇五五〇
八月	二〇四〇〇	二〇三九〇
九月	二〇二〇〇	二〇一一〇
十月	二〇一四〇	二〇〇一〇
十一月	二〇一〇〇	一九九三〇
十二月	二〇〇二〇	一九九三〇

家庭

母の日を前にして……【上】
皇太后陛下の御仁德を仰ぎ奉る

慶城にて　和泉德一

六月二十五日は　皇太后陛下御生誕の佳日であります、この佳き日を迎ふるに當りまして　陛下の御仁德の一端を皆樣へお傳へ申上げ度く存じます。

□……□

顧みますと、大正十四年の恰度今頃でありました。武藏野は新綠に燃え立つて居りました。私は二三の學友とこの武藏野を賞でながら所澤方面へ出掛けたことがあります。その途次、東京から所澤街道のほとんど絡る頃合の所で、全生病院なる一見病院らしくない病院を發見しました。道行く農人に尋ねますとそれは癩病院であるとのこと。幼な心に映じた癩患者の哀れな姿を思ひ出し、この病院を訪れることに議一決して、一同は刺を通じました。院長は快よく私共を招じ、癩に就ての近代醫學の說明をされ、更にその研究室を案內され、癩菌がどんなものであるかを顯微鏡を以て說かれ、各樣の病狀に就て一々標本を示し、熱心にこの病が傳染病であることを說明して下さいました。私共は茲で始めて癩病は血筋でも遺傳でもないことを知り、病人を隔離すれば癩病はなくなること、この病院はその隔離病院であることを知りました。

□……□

院長は更に倦むことを知らない如く、私共の先に立つて病室を案內し、一人々々の病人について說明して下さいました。病室の一巡が濟みますと、これは輕患者の家ですと云つて靑々と繁る並木の下に立並ぶ家々を見せて下さいました。其處には私共が幼心に映じてゐる癩病人ならぬ溫かい家庭人としての癩患者を見るのでした。老人、若い者、女、子供、それが嬉々として戲れ、働き、勉强してゐるではありませんか。机もあれば碾臺もあります。座蒲團、繪畫、鳥籠、金魚、庭には花、泉水迄造られてありました。並木道を拔けますと、小學校、禮拜堂、工場、それから廣々とした農場、富士山を望見する牧場迄あります。その牧場に丸々と肥えた乳牛が夕陽に映えてゐました。この牛は田母澤號と云ふ牛で、重患者用の牛乳はこの牛が供給してゐるとのことでした。この牛に就て院長光田健輔先生は謹んで申し上げますと、改まつて私共に次のやうな話をして下さいました。

□……□

皇后樣（只今の皇太后陛下）は外國の高貴な人々が傳道僧となつて我が國に渡來し、癩病人の不幸な有樣を見、これを我が國の各所で看病してゐるのを御承知になり常にこれらの人々に對し御慰問の御言葉を下さるとのことであります。殊に沼津の御用邸に近い復生病院へは、御用邸御成りの都度に御使御差遣のよし拜承して居ります。しかるところ先年陛下には日光田母澤の御用邸御成りの御途次、當病院のことを御承知になり直に御使を以て金一封の御手許金御下賜がありました。外國の人々への御慰問に感泣して居りました私共は、この突然の御下賜に恐懼申上げたのであります。私共は日本人としての當然の責務をなしてゐるに過ぎません。日本人が日本人の癩患者を看病するのは當然であると思ひます。熟議の結果、御坤德を永くお傳へ致さればと存じその御下賜金を以て購ひましたのがこの乳牛であります。この二匹の仔牛はこの母牛の產んだものであります。御坤德は永遠に擴つて盡きない乳となり、不幸な人々の血となり肉となるでありませう。患者達は朝夕この田母澤號を通じ、大內山なる陛下の御仁德を伏拜んで居るのであります（御寫眞は皇太后陛下）

涼風呼ぶ夏の寵兒
紙張り扇子全盛の傾向
子供用に萬國旗扇子のお目見得

▼▼…一九三二年の夏を征服した絹張扇子も今年は心機一轉して日本趣味横溢の紙張扇子に移行してこの夏は紙張全盛の傾きがあります、勿論絹張が全然その姿を隱したわけではなく絹張も方面によつては歡迎されてはゐます

▼▼…殿方用としては從來の樣な大型から漸次細目になり地が短く七寸五分どころで間數が多くなり、色調は銀鼠、鼠系の無地ものが中心となつてゐます

▼▼…婦人物は地が六寸五分どころ、色調はやはり鼠系統に靑色で、模樣は秋草模樣ぼかし雲次いで花模樣、中には祇園舞子のダラリの帶姿等があり總體的に日本趣味豐なものが多くなつて來てゐます、紙扇子だけに、デザインが自由に取扱はれ、日本扇子の味はひを充分に發揮してゐます、お値段は三十錢位から一圓どまり

▼▼…絹張扇子は南洋方面に多く輸出される關係上、南洋植物とか南洋風景を入れたものが多いやうです、お値段は三十錢から一圓五十錢

▼▼…子供物として今年新しく出來たものに寫眞のやうな萬國旗扇子があります、萬國の旗を扇子の模樣にとり入れたものでお値段は二十三錢、それに子供に親みの多い童話のサルカニ合戰、カチカチ山といつた繪を描いたものが子たちの人氣を呼んでゐます、お値段は三十五錢

▼▼…團扇は別段これといつた變り型もありませんが、今年のモードとしては柄の柄に透し模樣が入つてゐる位でせう、何といつても上物は京團扇の黑塗柄でせう型はやはり楕圓形のものが一般にうけてゐます、模樣は御所車、秋草柳といつたものが中心で、お値段は十錢から五十錢、三本一組五十錢から一圓五十錢、五色團扇が五十錢、一圓

▼▼…團扇立は團扇以上に工風を凝されてゐます、型は帆かけ、筏、水車と水に因んだものが多くお値段は一圓から一圓四、五十錢

▼▼…團扇掛は女竹、ごま竹が主で籠を荒く或は細く編み方に變化をつけてあるところが變化してゐる位でせう、お値段は四十錢から一圓（三越調べ）

子供のお話會
兒童圖書館で

電氣遊園內の大連伏見臺兒童圖書館では來る十八日午後一時から一二年生の兒童を中心としたお話會を開きますが、お話するのは南滿敎育會の今永茂氏と元本社記者の靑山捨夫氏です、なほ當日はお母さま方の來聽をも大いに歡迎してゐますが、會のあとで座談會を開くさうです

小河童を送り出す家庭への注意
先づお友達を選んでお遣り
泳ぐ時間は長きに亘らぬ事

六月も中旬を過ぎ暑さもいよいよ本格的となり焼けつくやうな陽光は、自由に水の世界を征服しようとする河童連を開設されたプール、海水浴場へと誘ひ、日曜毎に郊外は益々賑やかになつてゆきますが、放課後や日曜を待ちかねてプールへ繰出して行く腕白盛りの河童連を持つ親達にとつては心配ごとが一つふえたわけです、住宅近くにプール、海水浴場でもあればさして案じることもありませんが、家を離れ相當の遠距離を電車などで友人と海水浴に送らなければならない家庭の人たちは充分そのお友達を選び、なるべくなら知人で相當水泳の心得あるものと同道させることが必要です

そして　泳ぐ時間を定めて長時間にわたらせないことです一寸した不注意のため取返しのつかない悲劇を招くことがよくあります、又虛弱兒で醫師に止められてゐない限りはプールに海邊に連れ出して鹽風にあたらせる一方無理をしない範圍で水泳の稽古をさせることも耐久力を作る意味で大切だと思ひます

風儀上の關係で裸體になる事は喧しくいはれてきましたが、室內や人目にふれぬ庭園などで裸體になる事は寧ろ奬勵したいと思ひます、裸體では禮儀を缺くといふ說を出す人もありますがこれも時と場所を考へて特別やかましくいつて重い着物などを着せる必要はないと思ひます、出來る限り女兒の通學服も袖無しノーストッキングやランニングシャツの樣なものを着せ自然の生活に近づかせ出來る限り輕裝主義に願ひたいものです（香川大連嶺前校長）

家庭顧問

顏一面にカブレやうのもの

【問】二十三歲の人妻で三月末から顏一面にカブレ樣のものが出來、醫師に診せましたら急性濕疹とかで注射を三本もしましたが一向よくなりません。ひどい時は癩病か梅毒みたいで髮の毛一本でもふれると蟲がゾロゾロ這ひまはるやうな惡感があり搔くと其處がカブレた樣になるのです、娘時代にも夏は吹出物ですゐ分なやまされましたが今年も今からこれではどんなに苦しめられることだらうと心配でなりません、何卒よき療法を御敎示賜はり度う存じます（なやめる人妻）

賣藥で治療しても不可の時專門醫に

【答】濕疹やらカブレやら診察しないとわかりませんが試みに水楊酸〇・五グリセリン二〇・〇アルコール八〇・〇の調劑を毎日一回づつ塗布してごらんなさい、暫くつゞけて見て段々枯れるやうなら連用し、若し反對に痒さが増したり顏がほてつたり汁が出たりするやうでしたら塗布をやめて專門醫の治療をお受けなさい（辻慶太郎）

下腹に大きな塊りがある

【問】二十七歲の人妻で結婚以來六年になりますが未だ一人も子供がございません、一昨年の春も昨年の春も月經が三ケ月もとまり下腹に塊りが出來て恰度姙娠の樣になりました、その度に醫師に診せましたが初めのうちはどちらも姙娠だと申され一度は腹帶まで致しました、そのうちにお腹の塊まりも段々小さくなり月經がはじまりましたきりで今度も昨年の十一月月經があつたきりで今日まで一度も月のものを見ず下腹におへその上までの大きさの塊りがあります、別に姙娠したやうにも思ひませんが夜中になると胃に物でも閊へて來るやうに苦しくお腹を壓へると痛みます、體は九年前に一度チフスを致しましたきりほとんど病氣らしい病氣も致しませんが、何か病氣なのでせうか（惱むF子）

專門醫の診斷を是非受けなさい

【答】月經とお腹の腫物と何か關係があるやうにも考へられます、月經が無くてお腹に腫物が出來て月の經過につれて增大するとすれば普通の場合は姙娠でせうが又病氣で子宮內の輸卵管內に月經血が溜つて「ヘマトメトラ」「ヘマトザルピンクス」等の病氣もありますが極めて稀有の事です、專門醫の診斷が是非必要と存じます（岩男其二郎）

衣服の色合と容貌

衣服の色合はその人の容貌によつて違へればなりません、色の白い人はどんな色でも大抵は似合ふものです、その點黃色人種である日本婦人は餘程注意すべきであつて、お化粧することは顏を綺麗にするばかりでなく、衣服を引立たせることにもなるわけです、そのうちでも白色は色の白い晴れやかな顏の所有者によく似合ふもので、衣服の色が他の色であつても、衿とか袖口だけにでも白を使ふと引立つものです、けれども沈み勝ちなすぐれない顏色の所有者は白をさけてその代りにクリーム色などをあしらひ、その沈み勝ちな顏を目立たせない樣にすることです、黑色も色の白い晴れやかな方には上品でよいが、沈み勝ちな方にはその缺點を一層強く感じさせますから避けるやうにしなければなりません。

ミツタン ト ポンコ　センソウ ノ マキ（7）

橋本清史作並繪

ヒトリ ノ ヘイシ ガ ツキアカリ ノ ナカヲ テキ ノ テツジヨウモウ ヘ チカヨル

アア テキ ノ ホシヨウ ガ コレヲ ミツケテ シマツタ ツキ ガ アカルク ヒカツテヰル

ホシヨウ ハ ネラヒヲ サダメテ ヰル ガ ヘイシ ハ キ ガ ツキマセン

ドント 一パン テツジヨウモウ ヘ チカヨツタ ヘイシ ハ ウタレテ シマヒマシタ

滿日各地版

縣長會議に現れた吉林省縣政改善策
討議をつくされた七項目要旨 今後の躍進期待さる

【吉林】吉林省各縣十六縣の縣長會議並に種々の用件を以て去る五日吉林發ハルビンに向つた熙省長三橋顧問、三浦總務廳長一行は十四日午前十一時半着列車にて無事用件を了へ歸吉したが、赴哈中に於ける主要問題であつた賓江、阿城、方正、富錦、双城、依蘭、樺樹、樺川、葦河、延壽、同江、密山、珠河、寧安、寳縣、勃利以上十六縣長會議は第一回の事とて可成りの收穫を擧げた、該會議に於て討議せる事項は大略次の如くである

第一項 地方財政＝各縣に於ては或は匪患に遭ひ或は水害を蒙り收支相償はざる點免れ難く縣に於てはこの收入不足に對し如何なる辦法を以て財政維持をなすか又今後如何にして收入の增加と支出の緊縮を圖らんとするか

第二項 私帖取締＝事變以來往々にして叛軍が强制的に私帖を發行せるもの多數有り或は又地方財政の窮乏に當りて私帖を發行せるもの等あるもこの私帖は實に商民に對して害を殘す事甚しく一方國家の幣政統一上より見ても大なる障害となり現在財政部に於て之が取締り方を嚴命し省に於ても本年中には回收すべき旨通令せるも有期限內に回收出來得るか否かの辦法討議をなした

第三項 春耕＝去歳匪地方の擾亂を肆にしてより大半は今尚播種をなさず今や春耕の時に至りて各地方は比較的安穩に歸し地方春耕貸款の發給も既に濟み各縣に於てはこの機を利用し完全なる春耕を督催し尚又各縣長に於ても實情に則したる辦法を講じ實行すべきである、依つて此の實則辦法如何

第四項 剿匪＝各縣に於ける大匪團は既に掃蕩されたるも小匪の竄動今尚跡を絶たず、今や繁茂期を控へて再び地方の擾亂を畫するやも計り難し之が徹底的掃討を期し以て萬災を未然に防止すべきである

第五項 警團並に自衞團＝地方の治安は警團及び保衞團の協力により確保されるものであるがこれに對しては汰弱留强大いに內部の改善が必要であり、各縣近來の保衞團は鄉民の集合せるものに非ざれば匪賊を改編せるものにしてこれに如何なる訓練を施してこれを實際に有効なるものとし又警備自衞團における現在の缺點及びこれに對する改善方法等に關して縣長に實狀を說明せしめ完全なる辦法を作成每日實施の要あり

第六項 實業＝農商工林礦等の事項は富國の根本である各縣における既設の事業成績及び今後の振興辦法を研究し天興の富を埋むる事無く之で新國家の富源發見を考究すべきである

第七項 教育＝文明國は教育の普及を最も重視す各地方に於ける學校の教授方法の改善及び一般人民の親國家に對する認識の促進過去における教育上の缺點の有無を如何に調査すれば將來の改善方法を明瞭にし得るやこれに對する討究

以上の如き內容にて今後遠からず新縣政も實施される運びとなつて居る、右に依る諸項の研究は實に實質的な參考となるべく今後の各縣長が努力せんとする新方針で大いに期待すべきであらう

面當に自殺
夫に情婦あるを知り 中年增女の嫉妬

【奉天】市內千代田通り二番地德昌公司自動車々庫前商店生れ李秋山（三）の妻李周氏（三〇）が十五日午後四時ごろ多量の阿片を嚥下し苦悶中を家人が發見し大騒ぎとなり直に最寄の醫師の應急手當を加へたが間もなく絶命した、屆出により奉天署から永松警部補等が現場に赴き檢視をなし死體は夫李秋山に引渡した、原因は李周氏は鄉里にあつて夫と別れて生活してゐたが最近奉天で同棲することゝなつた何も知らない周氏は夫大事に忠實につとめてゐた處その信ずる夫には外に美しい情婦のあることを知り痴話喧嘩の末夫への面當てに嫉妬自殺を圖つたものであると

父母に置去られ二少年哀れ
奉天警察に保護願ひ

【奉天】頼む父親は情婦と出奔し頼る母親は働きに出たまゝ歸らず途方に暮れてゐる哀れな二少年…大分縣生れ野田しづゑ（三五）は野田喜三郎と結婚し市內青葉町に居住し二人の間には四人の子供をなしたがその後夫の死亡後はしづゑのかよわい細腕によつて一家を支持して來た、しかし女の身で充分な働きも出來ず川合もこうした一家をかゝへながら働かうともせず彼は女給と共に何處にか行方を晦ました

男の無情を怨む間もなく生活に窮したしづゑは他所の家庭の手傳ひをして僅かばかりの收入でその日の生活を續けて來たが女の身で十歳の男の子を頭に四人の子供を抱へて一家を支へることは容易なことではなかつた

そこでしづゑは現在まで隣同志で面倒を見て呉れた孫王良方に三人の子供を預け一人の女の子をつれて出て行つた、その後時々送金はあつたが僅かばかりにしかも何時送つて來るか判らぬのでこれをあてにすることも出來ない有樣であつた

その後預けられた三人の子供の內最年少の三才の子供がこの程死亡し奉天署その他附近の人々の同情によりこれを葬ることが出來たが最近頼む母親の送金もトント絶えしかも今はどこに行つて働いてゐるのやら見當もつかぬので殘された二少年野田員利（一〇）は目下加茂小學校の三年生それに可憐な哲ちゃん（六歳）は孫の妻を頼りに通學しお母さんくとしたつてゐる有樣を見て何人も泣かされてゐるが十六日もその員利が風邪の模樣で療養も出來ず遂に奉天署に保護を願ひ出た

新しい苦難に喘ぐ東邊道の鮮農たち
經濟調査團歸奉語る

【奉天】東邊道南部地帶の土地經濟調査のため去月二十六日奉天驛から瀋海線で出發した朝鮮總督府の吉田技師一行の調査班に加はり東邊道を東部に橫斷し鴨綠江を下り安東まで行程千四百支里、途中幾多の艱苦と闘つて警備の重任を果した奉天署の岩根部長以下十二名は十六日十九時二十五分の安奉線列車で

無事 歸奉したが岩根部長は疲勞の色も見せず頗る元氣で左の如く語つた

二十六日奉天を出發し瀋海線の南雜木に一泊、それから愈よ東邊道に入り永陵街で二泊、附近の調査を行ひ、六月一日永陵街を出發して二日々恒仁に到着、同地では二日間調査をなし五日恒仁を出で沙尖子に向ひ同地から船に乗つて渾河を下り鴨綠江に出て朝鮮側の蓮潭に到着、八日に同地を出發し江岸の調査をなしつゝ永甸河口に行き十一日寛甸に着いた

寛甸 では一日間の調査をなし同地から二班に分れ長甸河に出で一緒になり十三日義州に到着對岸九連城の調査をなし十五日義州を出發して同日安東署に到着、調査班の警備を安東署に讓つて歸つて來たのである、一行の主なる調査は水田狀態であるが新賓、恒仁、寛甸とも多數鮮農が入りこんで水田耕作をなし早い處は植付をなしてゐる、事變當時主なる鮮農は引揚げて引揚げられなかつた鮮農が殘つてゐる關係か一般に鮮人の生活は

裕福 でない、賊とか不逞鮮人とか色々脅威を受けながら汗みどろになつて働いてゐる鮮農を見ると實に涙ぐましいものがある、事變前は小作料とか支那官憲等に不逞鮮人から壓迫を受けてこの鮮農も泣いてゐたが現在ではかうした壓迫は除去され何れも王道政治を謳歌してゐる途中馬車又は步行を續けたが道路が惡いので隨分苦しめられた匪賊も小部隊の橫行はあるが大したこともなく一體に平穩に復し一行は

一度 も賊に出會せなかつた安奉沿線をしばしば襲擊した徐文海も今は恒仁で警察大隊長となり治安維持に當つてゐる

本夫殺し死刑執行

【旅順】昭和六年八月大連寺兒溝に於て本夫孫世宜を情夫李基昌（三）と共に絞殺し原判決より終始死刑の宣告を受けてゐた孫張氏（二）兩名に對する死刑執行は十六日午後一時半旅順刑務所絞首臺において行はれた姦夫の李基昌は流石男だけに觀念の臍を固め係官に對し「自分が死んだら鄉里へ通知して呉れ」と云ひ殘し十二分で絶命したが姦婦の孫張氏は未練にも「我的不知道―不是我一仰人哪……」を連發し五名の看守が總掛かりでする目隱しを双手で對さ取る大騷ぎを演じ漸く絞首臺に上らせこれまた十三分で絶命した、この日關東廳から立會した永井某＝假名＝はこの時腦貧血を起し大騷ぎとなつた

一齊射擊して頭目を逮捕
鞍山の六名組匪賊

【鞍山】十六日午前五時頃鞍山鐵西附屬地市場內南八番町一六農商聯合會々長高如九方に六名組の匪賊團が來襲したと云ふ急報に接した鞍山署では時を移さず非常召集を行ひ阪井、栗原兩警部補の一隊は直に現場に出場し、原田警部補の一隊は賊の退路を遮斷すべく乘馬にて五家墓方面に二重、新村、本鄉の三部長の一隊は千山方面に出動、賊團を挾擊隊形を取り進擊中、阪井部隊は鞍山西方二邦里の南大路部落西端で賊影を認め一齊射擊を浴せて頭目滿天飛を逮捕した、此の頭目は高如九方に闖入の際咽喉部に貫通銃創を貫つて居た慘虐極くなき二十二歳の頭目滿天飛は咽喉部の重傷に喘ぎながら石川警察醫の注射に依つて斷末魔の峻嚴なる取調を受け恐ろしい犯行の數々を自供したが、賊團は三月二十二日夜鐵西永樂町福生祥方を襲ひ金票大洋五千數百圓を强奪し五月十一日五家墓賭博場を襲つて逃走の際鞍山署李巡捕長と遭遇交戰の上これを射殺し、越えて五月二十六日夜某遊廓で弓張嶺採鑛所守衛高橋勝利及び相澤某の兩名を人質に拉去し途中無殘にも高橋を射殺した恐ろしい犯行を自供した

またもや怪しげな鑛脈の鑑定家現る
奉天署で取調べ開始

【奉天】市內霞町五番地に心靈鑑定界の權威者有田靈鑑堂といふ看板をかゝげ本部は東京日本橋吳服町に置き鑑定を開始してから五十年間の多年の經驗を積み一度も誤つたことなしとして

一、鑛物の有無善惡及脈筋
一、石炭の有無善惡及脈筋
一、山林の立木有無
一、水脈、溫泉善惡

等實地に見ないで座居しながら地獄を知ると大袈裟な宣傳をなし良民を惑はしてゐる一婦人あり、右は有田つれ（五〇）と稱し本年三月八幡市から來住したもので常識から考へても之を見當るやうなことは想像も出來ず奉天署高等係では直にその內容を調査してゐる

鷄冠山附近逃亡匪出沒頻々
討伐軍の追擊愈々急

【鷄冠山】第二次三角地帶討伐にわが精鋭なる軍隊の間髪を入れざる急追をうけて、本據を失したる匪賊共は四分五裂の狀態にて田舍の純朴なる農民の物資を荒し廻し野獸性のありたけを發揮し物資の比較的潤澤なる附屬地沿線に殺到し電信、電話の妨害、辻强盜的の暴狀或ひは邊鄙の地より匪賊の害を恐れて附屬地接壤地に避難してゐる、金になりさうな滿洲人の人質を目的とし、時恰も漸く繁茂期に入らんとする時期に際し、これら鼠賊の出沒も活氣つき、被害到る所に起り軍警當局も頭を痛めて居る、主なる被害左の如し

一、五月二十九日夕方鷄冠山南方の路傍畑に仕事中の王樹祥（六七）は二名の匪賊に拳銃をつきつけられ人質として拉去された山中に約十名程の匪賊同僚が居たらしいと
一、六月十日午後十一時頃當地を隔る五支里の林家堡子に系統不明の二十名位の匪賊襲擊し來り曹慶風宅に向け盛んに發砲遂に曹慶風を人質として拉去した、猶曹慶風長男曹書斌（二一）は腕に貫通銃創を受けた
一、通遠堡東方高地に六月十四日午前零時二十分頃約八十名の匪賊現れ附屬地に向けて一齊射擊の火蓋を切り一時は大騷ぎを演じたが軍警の果敢の應戰に算を亂して退却した

吉林の庭球戰

【吉林】愛と汗＝スポーツと健康憾ましき春は何時しか濃綠の滴る頃となつて日光と戰ひ身を鍛へ吹き出づる汗躍る肉世を擧げてスポーツ狂時代へ＝過般擧行のオール吉林四チーム野球リーグ戰は芽出度く終末を告げた、運動界は此度は庭球熱へと猛進することゝなり早くも滿鐵、滿洲國では猛烈な練習が續けられてゐる、依つて十八日日曜日を期して午前九時より滿鐵コートに於て猛練習の決算が行はれることになり各五組に入り組んでその日の來るを遲しと早くもファンの胸を躍かしてゐる

不良井戶檢査

【奉天】奉天署衞生係りでは傳染病の流行時期をひかへ滿鐵衞生係と協力して市內の個人所有の井水の水質檢査を行つたが井戶の數百五十餘個ありその中半數はアンモニヤ、クロール、亞硝酸を含有し飲料水には不適當でこれ等不良井戶の所有者に對し夫々濾過後使用すべく命じた

狂犬病豫防

【鷄冠山】本署に於ては左記の日割によつて注射を決行する事となり共の當日犬牌を附せざる犬は撲殺見次第野犬として撲殺するとの事愛犬家諸子の注意を促す、又當日は附屬地接壤部落畜犬も無料注射をなすと

▲日割 六月十九日（自午前九時至午後四時）湯山城、高麗門 六月二十日（同）鳳凰城 六月二十一日（同）通遠堡、草河口 六月二十二日（同）鷄冠山

特務機關移轉

【チチハル】松室前特務機關長の熱河へ轉任後特務事務機關の事務は正陽街警備司令部顧問部內に執務中であつたが今回儀我中佐の着任を見十日より事務所も舊松室公館跡儀我公館內に移轉された

猩紅熱豫防注射施行

【公主嶺】警察署と地方事務所より各戶に注意書を配付した如く公主嶺における猩紅熱の權病者は本春より二十名の多數となりこれが豫防注射を十三日より二十日まで午前十時より正午まで公會堂にて一般に無料豫防注射を施行しつゝあるので此際もれなく豫防注射をせられたいと

陸上運動會猛練習開始

【公主嶺】公主嶺體育協會第二回陸上大運動會を來る二十五日新運動場に於て盛大に擧行することに決定したので出場五團體の選手は酷暑をものともせず猛練習中であるが本年は各團體とも選手に移動があり各種協議の勝敗に豫想がつかず頗る興味を以て一般より當日を待たれて居る

井上獨立守備隊司令官視察

【開原】獨立守備隊司令官井上中將は六月十六日午前十時二十分驛頭に出迎へた官民兩軍分會員青年團員及小學公學普通學校生徒に一々敬禮に挨拶して驛長室に入り休息の間もなく自動車にて通江口に向ひ午後五時歸開同五十五分發列車にて鐵嶺に向つた

故川上上等兵莊嚴な告別式
十六日市民俱樂部で

【瓦房店】故陸軍步兵上等兵川上武雄君の遺骨は五月十三日悲しき姿となりて到着したが松永〇〇隊長〇〇方面に出動中にあるので延期されてあつた告別式は松永〇隊長目出度凱旋準備も整ひ六月十六日午後三時より市民俱樂部において莊嚴に執行された

祭壇正面には故陸軍步兵上等兵川上武雄之靈の名旗を揭げ白布に包まれた悲しき姿の遺骨を上段に安置、ありし日の勇氣潑剌たる俤を偲ぶ半身像を奉安地方事務所より贈られた、供物を備へ武藤關東軍司令官、井上守備隊司令官、滿鐵正副總裁、岩田〇隊長、松永〇隊長、その他各方面から贈られたる花環を飾り小川昭和寺草部本願寺兩住職の讀經香煙縷々として立ち昇る松永〇隊長の部下を思ふ弔詞に一同哀愁の涙を誘ふ次ぎに戰友總代故川上等兵、瓦房店地方事務所長、酒井在鄉分會長、石井地方委員議長、松尾副分會長の弔詞朗讀次ぎに久保中尉、武藤司令官、井上守備隊司令官、滿鐵正副總裁其他數十の弔電奉讀午後四時川滿官民參列者一同故人の冥福を祈つて退散した

不良洋車夫橫行
出鱈目の賃金を强要 奉天署で徹底取締

【奉天】最近附屬地內における洋車夫は定額外の料金を要求し殊に婦人と見れば途方もない出鱈目の賃金を要求するので奉天署ではかうした不良洋車夫を徹底的に取締つてゐるが十六日午前十時ごろ南三條通りと彌生町十七番地との交叉點に於て皇姑屯興隆街居住の洋車夫が乗客に對し不當な料金を要求してゐたので直ちに申告され奉天署において一圓の科料に處せられた、一般市民も十五丁まで十錢奉天驛から中央廣場または滿大醫院までは五錢であるから御注意！

遼陽片々

二十有八年朝な夕な空中高く飜つて在住民を氣强く住はせた我が日の丸の御旗が去る卅一日限り仰ぎ見ることを得なくなつた遼陽は誠に淋しい感がする▲外務省が大藏省の豫算難とかで遼陽と鐵嶺の二領事館を撤廢したことは誠に失敗と云はねばならぬ▲張學良軍閥當時は手も足も出し得ず帶のやうな附屬地に共食ひしてゐた邦人が滿洲事變で籠の鳥が放たれた如く何れの土地へも活躍し得る時期到來せるに撤廢とは氣がしれぬ▲二萬や三萬のはした金を彼れ之れ云ふ樣では滿蒙の開拓も外務省では到底やりきれぬ▲領事及館員の送別會に遼陽、鞍山其の他からの出席者多く二百餘名に達して盛會ではあつたが何となく淋しい會であつた▲滿洲國の彩票二彩が地方事務所の小使君に當つた奉天では鮮人店員が一等に當つたと地方事務所の小使の顔頗る朗かである▲衞戍病院入院中であつた兵士二十名傷癒えて十六日再び前線へ向つた見送りの官民に御陸で全快前線へ參り靈忠奉公致しますと挨拶萬歳聲裡に出發した▲第〇〇團に屬する電信隊員〇〇名十六日夜到着▲鞍山守備隊の慰靈祭に遼陽時局委員會から代表者が參列した

各地片々

◇吉林 家屋の拂底と比例して騰貴する家賃中央銀行吉林分行では目下所有の家屋家賃が市中一般に比較して實に大なる差額があり却つて修繕費の方が高くなるので缺損續きの折柄この程一戶につき約四、五元見當の家賃値上げを斷行する事となつた

◇營口 曩に海邊警察局長宮部光利氏は神戶川崎造船所に於て行はれる警備艇進水式に參列の爲め出發したことは既報の通りであるが今回艤裝完了せるを以て海鳳、海瑞の二隻受領の爲め同局警長以下三十四名は來る二十六日營口發神戶に向ふ筈

◇營口 十四日付左記通牒を石田組合長の名を以て會員全體に配布した

去る五月二十三日臨時總會に於て御說明申上候通り從來持口數五口以上と相成居候處今回は庶民金融本來の主旨に基き一口以上の出資と改定仕候に就ては從來五十圓以上拂込の分を御希望により一口分だけ出資金として据置き過剩金は御拂戾致し候も差支無之候間來る二十日までに御申出有之度右貴意候

◇奉天 奉天故宮博物館は二十日が恰度事變後滿一周年となるので在奉新聞記者其他知名士を招待し觀覽せしむることになつた

沿線往來

▲長山鞍山警署長 十五日新京へ
▲山田鞍山地方事務所長 十五日大連本社へ十八日歸任の筈
▲森景樹氏（鞍山地方事務所長）遼陽領事館員送別會列席の爲め十五日來遼、同夜歸鞍
▲林清勝氏（鞍山地方委員議長）同上
▲加藤政人氏（鞍山實業會長）同上
▲野尻彌一氏（鞍山日日社長）同上
▲青木喚吉氏（滿銀鞍山支店長）同上
▲上田竹龍氏（鞍山驛長）同上
▲鈴木精一氏（正隆銀行鞍山支店長）同上
▲貴島奉天衞戍病院長 同上

讀者奉仕大福引
安東本紙販賣店計畫

【安東】滿洲日報安東販賣店文榮堂では最近愛讀者激增を記念し且つ謝恩の意味で愛讀者奉仕大福引を催すことゝなり月極讀者に漏れなく空籤無しの福引券を贈呈するが景品は次の如くである

等	本數	景品
一等	（一本）	金側時計
二等	（二本）	置時計
三等	（三本）	萬年筆
四等	（四本）	皮財布
五等	（五本）	クリ出鉛筆
等外	空籤なし	タオル

抽籤は七月十五日でその結果は滿日紙上に發表する

冷酷極まる樓主に悲慘死の復讐
「きはらし」藝妓謎の自殺未遂
北滿の「籠の鳥」悲話

【チチハル】市內邦人料理店「きはらし」に於て續いて二名の抱へ藝妓の服毒自殺未遂事件があつた、樓主側では外聞を恐れ事件の內容を極秘に附してゐるが仄聞する所によれば今度の事件は巷間よく傳ふる「冷酷なる樓主に虐げらる〻彼女等」の內面生活の悲慘な一斷層を暴露したものとして非常なセンセイションを捲き起しつ〻ある、事件の概略は次の如きものである

同店藝妓千丸こと內藤廣子（一九）＝靜岡縣田方郡錦田村生れ―は本月一日午後三時頃多量の阿片を服毒し苦悶中を家人に發見されたが樓主側では極秘を守つて昏睡狀態の同人を放置して醫師の診察を求めず二日を經過するうち同家の藝妓が氷嚢用の氷を日本赤十字病院に貰ひ受けに行つた事から院長堀清氏の聞くところとなり、往診の結果右事實が判明するに至つたが

堀醫師は昏睡狀態の同人に應急處置を施したる結果漸く意識を恢復するに至つたが越えて四日には又々同樓抱へ藝妓梅千代こと高木さつき（一九）―廣島縣廣島市小在町生れ―が服毒自殺を計つた騷ぎに今度は本人の容體が險惡なので事件の抹殺を恐れ堀醫師の來診を求めた處、ベロナルを服用せる事判明したので直に處置を施したる結果漸く一命はとりとめた

父の病氣を苦に
「きはらし」樓主談

斯く前後二回迄も同一居より自殺者を出すに至つた「きはらし」の內情は略想像に難くないが右に就き樓主は語る

千丸が自殺を計つたといふのはどうして外部に漏れたかしれませんがそれは梅千代との間違ひではないでせうか、梅千代は郷里の父親が病氣のため最近憂鬱さうにして居ました、それに國元へ送金を斷つた爲め思ひ餘つてあんなつまらぬ事をした事と思ひます、別に虐待云々といふ事はありません

千丸の事に就いては堅く口を緘して語らぬので記者は尚ほ「本人は事實多量の阿片を呑んだと言つて居るではないか」と追及するとくのことに「阿片は呑みましたがあれは客の置き忘れて行つたのを飲んだのです、自殺云々とは思へません、別に込み入つた事情はありません」と白を切つた

何所までも金が仇
千丸の話

一方千丸は

そんな事は新聞に書かずに下さい、それは私共を殴つたり、監禁したりする樣なひどい事をした事はありませんが私共の萬事不行届から樓主に歡迎せられぬ事は事實です、親兄弟に別れ金といふ名に縛られ遠い北滿の籠の鳥でたゞ一人暮らさればならぬ私達の境遇は一面非常に生活をセンチなものにします一寸女將から叱られたりするとツイ氣が滅入つて死ぬといふ事まで考へさせられます、强くならねばならぬとは思ひながら、つい弱い女となつて仕舞ひます「きはらしに」でも一寸散步に出かけて歸りが遲くなると「時間の線香代」をつけられます、どこでも私達は金で苛まれて居るのですが、せめて外出の自由位……私の口からはこれ以上樓主の惡口を聽かずに下さいと輕く逃げた

吉林に大公園新設
名實備る山紫水明鄕

【吉林】山紫水明を謳はれつ〻奧山に潔く美しく華やかに徐々伸びんとする吉林都市、人口は日を追つて激增し諸種の施設工事は充實に向つて人口は正に二千五百を以て天然の美は松花江畔を中心に東に西に延びて行かんとして居る、滿洲國の將來に向つて王政充實せる大吉林都市の實現に入らんとして居る、右に關し建國日淺き滿洲國の警備を着手せし都市計畫も着々として進行し鋪設着手せる建築整理委員會にては今回吉林名所たる大公園の新設が企圖され既に土地の詮衡等が終つた模樣で現在新緑を誇つてゐる北小公園は其の第一候補地として算せられ北山より江岸に出て〻山水の美を右手に護岸道路の總延たる東大灘方面にも北山公園と趣を異にせる公園が新設さるべく依つて中央國道局よりは近く專門家實地檢分に來吉する筈で之れに依つて具體的計畫が建てられるのである

正義團內の『在家裡』四五千
小林正義團理事談

【奉天】在家裡の結社運動が滿洲において表面化して來たにたいし滿洲國正義團の常務理事小林德三氏は語る

近來支部の結社家裡會の名が今更ら世間に珍らしいもの〻やうに傳へられてゐるが、同會員中には滿洲正義團に入團してゐる者約四、五千名に達してゐる、家族會家裡會と正義團の主義精神指導については能く似た點を見受けるが、相違してゐるところは王道主義精神による國家意識を

明瞭に 正義團が有してゐることである、家裡會は聞くところによると約百年前南方支部に濫觴を有し、漸次北方に傳播し今では滿洲に擴大して來たもので、身分の高下を問はず兄弟分親分乾兒の精神があり、先輩長老を尊敬し、主義綱領に絕對服從を宣誓する根本方針としては

弱者に對する强者の壓迫を斷然團結の力で排除するのが本願であつたやうに思ふ、然し彼等は其の主義運動を表面化さず一種の精神的慰安として地下的に潜行運動をなして來たのである

正義團 としてはこれを人類愛の立場から正々堂々と表面化し世界正義を眞向に社會邪惡の打倒を叫んでゐるので、家族會員が多數正義團に加入してゐるのである、要するに彼等の主義を實行するには當然或種の犠牲を覺悟せねばならぬのであつて單に外部から何等かの方法で指導統制せんとすれば非常に困難でないかとも考へる矢張り精神的指導といふものは團體の中樞神經系統となつて大衆が動かねばならぬであらう

四平街辦事處

【四平街】滿洲國協和會四平街辦事處にては曩に支部の中堅高附氏が吉林事務局に榮轉以來甚だ不振狀態を續けてゐたが、今回京都帝大出の新人村上滿男氏をその後任に推薦本部の許可を得たので愈々本格的に活動を開始することゝなつた、同氏今後の飛躍が期待されてゐる

七勇士の慰靈祭執行
十六日鞍山で

【鞍山】去る七日東邊道羊祭塞附近で匪首鐵血の率ゐる約四百名の敵匪と激戰、實に四時間に亙り遂に之を擊退した本溪湖野坂○○隊の宮川曹長以下七勇士は壯烈無雙の戰死を遂げ鞍山○○隊本部に安置されて居たが十六日午後一時三十分から靑葉薰る練兵場で盛大な慰靈祭が執行された

練兵場の東端に設けられた祭壇には七勇士の遺骨と寫眞が祀られ滿鐵會社、製鋼所を始め各團體沿線各地から贈られた生花、花環、弔旗はさしもに廣き場內を埋め羽山少佐以下將兵在鄉軍人會、時局委員會、小中學生、青年團、青訓、時局婦人會、其他一般官民、滿洲國側代表、沿線代表と多數參列し佛教團の讀經燒香あり弔辭、弔電の朗讀あり、いとも嚴かに式を終つた

對外競射會
四平街對鐵嶺

【鐵嶺】鐵嶺體育協會大弓部では十八日全四平街大弓部選手を迎へて正午より滿鐵射場で本年始めての對外競射會を開催する、此の大會は近く奉天において行はる〻全滿選手權大會出場選手の豫選につき同好者多數の出場を希望すると

神鹿獻納
鐵嶺守備隊の斡旋で

【鐵嶺】當守備隊於保少佐が藩海線方面匪賊討伐出動記念として昨年鐵嶺神社に獻納した神鹿二頭は立派な建物の中に飼はれてゐたが間もなく牝が死亡し現在牡一頭のみなるを以て今回再び守備隊の斡旋で牝二頭が寄贈される事となり久しく獨身生活であつた牡君に花嫁を迎へるべく準備中である

鞍山中學寄宿舍を新設
滿鐵へ申請

【鞍山】鞍山中學校寄宿舍日新寮は今回製鋼所が滿鐵から分離し人員が激增するので製鋼所は此の寄宿舍を取上げ所員獨身宿舍に當ることとなつたので、中學側は急遽寄宿舍設立の要に迫られ學校側では經費十二、三萬圓の豫算で寄宿舍設置方を滿鐵に申請中であるが、近々それが認可を見る模樣である、此の寄宿舍は中學校南側の敷地に建設し來春四月に日新寮明渡しまでには竣工を見る豫定であると

勇敢に組みついて三名の滿人賊逮捕
鳳凰城白英植巡查補

【鳳凰城】十五日午後七時四十分頃鳳凰城々內領事館駐在所勤務巡查補白英植氏が事務室において書類整理中滿洲人三名突如表入口より侵入し同巡查補に組付き拳銃を强奪せんとしたのを逸早くこれを感知した白巡查補は內一名を組伏せたところ他の二名は背後より迫り拳銃のサックを捉へ奪取せんとしたる間一髮格鬪を續けつ〻拳銃を一發々々射したので賊は驚き手を弛めた瞬間白巡查補は跳起き樣一發を賊の頭部に盲貫銃創を負はせ駐在所表入口より逃走せんとするのを勇敢に追跡負傷したる賊一名格鬪の上逮捕し更に前方附屬地方面に逃走せんとした他二名を折柄立哨中の滿洲國兵四名に大聲で應援を求めたので同兵は發砲しつ〻迫り賊は其の逃路を遮斷され狼狽してゐた折柄、一方白巡查補の妻女が夫の格鬪中氣轉をきかし鳳凰城本署に急を電話したる爲め本署よりは警戒中の田坂警部補以下八名急遽出動し遂に一味三名を逮捕八時過ぎ本署に引揚げた、賊は原籍鳳城縣第一區四臺子現住所鳳凰城王某（三〇）外二名で某重大犯人なるもの〻如く鳳凰城署では渡邊司法主任の手により嚴重取調中である、なほ白巡查補の今回の勇敢且つ機敏なる行爲は署內は勿論一般からも非常に稱讚されてゐる

射擊會開く
十八日鐵嶺

【鐵嶺】鐵嶺在鄕軍人分會は十八日午前八時より衛戍病院東方の假射擊場で全鐵嶺市民の恒例射擊大會を主催する、從來の射擊は騎銃を使用したるも今回は時節柄機關銃の操縱と射擊法も一般に會得せしめ置く必要ありとし特に守備隊から現役指導官を招聘し機關銃の射擊大會をなす由、射擊距離二百米、發射彈數十發、優秀者には第一種（在鄕軍人）三十等まで第二種（其他の者）二十等までの賞品を贈るにつき一般多數の參加を希望すると、なほ拳銃試射希望者には拳銃携帶者に限り特に便宜を與ふるにつき御婦人連も擧つて參加されたいと

新鑛業條例八月中に實施か
全滿鑛區統一は困難

【奉天電話】新鑛業條例の發布は各方面にて一日も早く施行されることを期待してゐたが、新京の實業廳長、鑛務科長會議の結果、條例、細則その他に愼重審議の要あり八月中には實施される模樣であるが鑛山監督署の設置による全滿的鑛區の統一は稍鑛業行政上至難の點あるらしい、從つて實業廳の現行制度を維持する方針とみられてゐる

四人組怪漢馬車夫を襲ふ
十四日チチハル南砲臺屯で 犯人は逃亡兵匪か

【チチハル】當地南方十二支里南砲臺屯（飛行場附近）に十四日午前四時頃各自拳銃を携帶せる四人組の怪漢現れ通行中の滿人馬車夫二名を襲ひ、內一名を射殺し、馬四頭を强奪逃走した、急報に接した公安局では馬隊十四名を編成目下急追中であるが、被害者の談によれば、該匪賊の中一名は大尉、一名は中尉の肩章を附した正裝を便衣の下に着してゐた所より逃亡兵ではないかと觀られてゐる

建國記念の大運動會

【撫順】建國記念第二回撫順大運動會は滿洲國體育協會撫順支部主催の下に十八日午前九時から午後三時まで靑葉薰る附屬地永安臺競技場で開催される

參加學生は日本側撫中、工實、高女、永安、千金、東七條、新屯各小學校、普通學校の八校、滿洲側女師、女子職業、公學校、第一、第九、第十附屬、國語館附設小學校、民立第一小學校の九校合計十七校一萬五千の日滿生徒が參加四十餘回に亘り運動競技を演ずることになつて居り殺到する日滿觀衆の雜沓さとも盛況を呈することであらう、なほ演技開始に先立ち全員整列の上滿洲國旗揭揚式を擧げ夏撫順縣長の開會の辭があると

鮮農の樂土に巡查增配

【營口】鮮農の樂土營口農村に警察官派出所開設に依り既に派遣せる上に尙巡查五名巡捕五名增配せらる〻事となり不日到着の上直に同村に派遣されることになつた

西公園のプール開き
廿日撫順の

【撫順】河童跋扈の夏が來た、撫順西公園プールは二十日午後三時から開場式を行ひ直に開場する但し入場者は木札又は協會券を要しない者は入場料一回五錢を要す

なほ競泳用大プールは目下修理中につき七月一日より使用の豫定

奉天商業學校新築懇談會

【奉天】日下內務局長と在奉有力者との間に奉天商業學校々舍新築問題につき十六日午後五時よりヤマトホテルにおいて懇談會を開催の結果日下局長より奉天商業學校開設に關する說明あり次いで東洋協會の設立に拘はる關係上なほ二萬圓の設立費不足につき在奉有力者より何分援助されたき旨の挨拶ありこれに對し充分の助力を惜まざる旨有志代表の挨拶ありて閉會したが右商業學校新築は本年九月頃より實施される筈である

鐵嶺の建國記念運動會

【鐵嶺】第二回滿洲建國記念陸上運動會は既報の如く十八日午前八時より衛戍病院前の滿鐵グラウンドにおいて日鮮滿學童全部參加して盛大に擧行されるが競技は聯合體操各校對抗リレーを始め選拔選手の競技あり楊縣長以下鐵嶺滿洲側官民多數列席日本側も此の意義ある大會を盛大ならしむべく官民擧つて參加列席する筈で本日の大會は昨年度以上に盛大ならんと豫想されてゐる

旅順市參事會

【旅順】旅順市では來る十九日午後一時から左記議案に就き市參事會を開催する

一、旅順市起債の件
二、一時借入金を爲すの件
三、昭和八年度旅順市歲入歲出豫算追加更正の件
四、旅順市公告式規則中改正の件

大日本相撲
廿三日から撫順で

【撫順】大日本相撲協會の大相撲は撫順新報主催撫順體育協會、在鄕軍人會、其他後援の下に二十三、四日兩日間（雨天順延）每日午後四時より市內西四條廣場に於て開催さる〻が横綱土俵入もあり多數の好取組あることであれば早くも人氣が上つてゐる 尚入場料は次の通り

△正面棧敷一桝四人詰十圓△特等二圓△一等一圓五十錢△二等一圓△軍人、警察官、中學生五十錢

鐵嶺商議の議員會

【鐵嶺】鐵嶺商議々員會は十六日午後三時より同所樓上で開催、決算豫算報告の後創立十周年記念祝賀會開催の件を附議したが暑さの折柄とて秋まで延期するに決し、書記長改稱問題は內地會議所同樣理事と改稱するに可決した

料理講習會

【公主嶺】滿鐵地方課派遣、全權府、參謀及滿洲國警務司長等の紹介により家庭料理の講師松崎正風氏は十五日來公同日午前十時より午後四時まで公主嶺家事講習所に於て在住婦女子のため料理上の理論は別として安價なる諸材料を以て美味滋養に富み且つ手早く出來る安價料理を實習會得せしむるので多數の受講者であつた

二木博士の講演會

【撫順】二木式腹式呼吸法や玄米食の研究實行家として又本邦醫學界の權威として知られてゐる修養團常務理事東大敎授二木謙三博士の講演會は二十日午後七時から庶務課主催撫順高女講堂で開催さる〻と、尙講堂の履物は靴草履に限られてゐるので下駄の人は上履を持參されたい

鐵嶺鄕軍定時總會

【鐵嶺】在鄕軍人分會では十八日の射擊大會を好機とし正午の休憩時間を利用して午後一時から射擊會場で定時總會を開催評議員の改選を行ふにつき會員多數の出席を希望すと

庭球大會

【鐵嶺】當地松屋運動具店主催第七回庭球大會は同店寄贈のカップを中心として本日午前十時半より松島町コートで開催されるが、出場選手五十名に近く盛會であらう

辰本氏赴任

【鐵嶺】鐵嶺署高等係巡查辰本亨氏は十五日附を以て巡查部長に昇任し依願免職沙河口警察署支那語通譯として近く赴任の筈なるが、巡查山本要助氏も部長に昇任近く某方面に轉任の模樣である

藤森氏榮轉

【鐵嶺】當地金融組合初代の理事として敏腕を揮ひ今日の良好な成績を示すに至つた功勞者藤森誠氏は今回四平街金融組合理事に榮轉の旨發表された、後任には營口金融組合書記玉利氏が來任すると

秋篠少佐榮轉

【チチハル】當地の憲兵分隊長として事變以來奮鬪努力軍民兩方面に名聲嘖々たりし秋篠少佐は今回○○に榮轉さる〻事となつた、同少佐の榮轉はさる事ながらチチハルより名隊長を失ふ事は官民共に惜別の極みである

聖德會招宴

【四平街】當地聖德會では既報の如く十五日午後五時より驛構內食堂に在四新聞記者、通信員を招待來る二十七日大同電氣横廣場に於て興行する東京相撲に對し何分の助力を懇請した

鐵嶺雜聞

▲十五日午後四時頃兵器部對地方事務所の野球を觀戰中だつた藤陽商行主人佐々木喜藏氏は猛烈な直球を顏面に受け眼鏡を壞し眼に負傷して病院に擔ぎ込まれたが引續き入院加療中

▲彩票に惠まれず一般に厭氣のさしてゐた鐵嶺へ福の神も憐れに思召してか一千圓を當籤させた幸運者は石炭組合の田上長吉君だといふが御本人は違ひますようと否定してゐる、コラ奢らんと福の神に見離されるぞ

▲惡疫流行の季節到來此處數日中に九名の患者が續出した患者は子供が多い父兄達は用心すべし

育兒の栞

母親の潜伏脚氣は乳兒の便で判る

醫學博士　小田美穗

消化不良の手當では癒らなかつた乳兒の綠便が、脚氣の手當で健康便になりました。

乳兒に綠便があると、大抵の母親は、すぐに胃腸病だときめて了つて、消化劑や整腸劑——つまり消化不良の手當に終始してゐる様ですが、同じ綠便でも消化不良からでなく、乳兒が脚氣に罹つてゐる場合にも仲々多いものです。

手當だけを施して

かうした綠便には、勿論脚氣の手當が必要であつて、消化不良の手當では、到底恢復いたしません。

元來乳兒の脚氣は、母親に脚氣があつて、其お乳の中にヴイタミンBといふ榮養素が不足するのが最大の原因です。併し必ずしも母親に發病した後乳兒に現れるとは限らず、母親にはまだ少しも症狀が見えない、つまり潜伏してゐる内から乳兒だけに、その症狀として綠便の現れる事があるのです。

日外も一人の母親が、生後六ケ月目の乳兒を私の病院へ伴ひて、この子がひどい綠便が續くので、色々と消化不良の手當をしたが恢復しないと云つて診察を受けに來ました。

處が母親は、今では別に異常もないが、以前に一度脚氣を患つた事があるとの事なので、或は乳兒脚氣の爲ではないかと、脚氣の手當をしておきました處、乳兒は症狀が非常に早く輕快し、間もなく丈夫な赤ちやんになりました。

果して脚氣の爲で

之によつて、その乳兒の綠便は脚氣の爲であつた事が分りましたが、しかもその後二ケ月ほどして、母親に明かな脚氣の症狀が現れました。

つまり母親には、前から脚氣はあつたのですが、身體の抵抗力が乳兒より強いために暫く潜伏してゐたもので、その乳をのんだ乳兒の方が、却つて早く症狀を現した事を物語つてゐます。

この母親に限らず世間には、愛兒の綠便に惱みながらも、原因を消化不良許りときめて脚氣に思ひを致さず、徒らに病氣を永引かせるのみか、昂じては心臟を犯され愛兒ばかりか、母親までも生命を奪はれて了ふといふ悲慘事も隨分多い様に見受けます。

だから、母乳兒の綠便が、消化不良の手當で捗々しく恢復しない場合には、是非共、乳兒にも母親にも脚氣があるのではないかと注意しなければならぬが、それより寧ろ、乳兒に綠便を發見した時は、躊躇なく、消化不良と脚氣の兩方に對する手當をしてやる必要があります。

そして其爲には、一つの藥でこの異なつた二つの病氣を、原因的に恢復に導くといふ面白い効果をもつたヘーフエ菌劑を用ひるのが最も賢明な方法でありませう。

この藥には、脚氣に著効のあるヴイタミンBが生物中隨一といはれる豐富さの上に、A、C、D、をも含有し、而も消化を助け胃腸を丈夫にして、便通、利尿を整へ、或は全身の衰弱細胞に活力を與へて、新陳代謝を活發にする等の作用ある成分が充ちてゐます。

鳩を人間的に脚氣に罹らせ瀕死の状態に陷つたものに、ほんの僅許りのヘーフエ菌を與へると、

三時間たてば恢復

して餌を拾ふ様になる——といふ大學の動物實驗でも明かな様に、この藥に乳兒脚氣にも大人の脚氣にも面白い程の効果を奏しますがまた乳幼兒の消化不良を正便に還し、衰弱を恢復して、非常に發育をよくする等の効果にかけても、優れてゐます。

この有効なヘーフエ菌劑を、日本で最初に家庭藥に造られたのは帝大の澤村名譽教授で「錠劑わかもと」がその藥であります。

離乳期の食物はどんな物がよいか？

與へる時期とその種類

赤ちやんの離乳は、生後いく月目頃にするのがよいか——と云ふ質問をよく受けます。素人が心配されるのも御尤も、醫學上でもきまつた說はありませんが、前白齒が二つ三つ生えて來た頃にするのが最も自然であらうと思ひます。即ち、全く離乳して固形食に移るのは、生後十二ケ月から十五ケ月の間で、生後八九ケ月頃から準備としてポツ／＼お乳以外の食餌に馴れさせます。

前白齒が生える事は、自分で固形物を食べてもいい様になつた——といふ無言の警告であり、その頃になると、赤ちやんの發育を完全にするには、もう母乳だけでは、榮養が足りなくなつて來るからであります。

それで、先づ最初には、ごく薄い重湯を、お乳の前に盃に一杯づつ、一日に二回位與へ、異常がなければ、だん／＼分量も濃さも増して行き其他ビスケット、かる燒など輕い菓子を時々與へます。

かうして、乳兒の身體の樣子に注意し乍ら、月が進むにつれ、母乳の回數を少くし、反對に重湯をお混りに、お混りをお粥に——と徐々に變へて行つて、ごく自然の裡にお乳をよしてしまふのですが、勿論それだけでは榮養が不充分ですから、副食物としてほうれん草、人參、豆腐の裏ごし、鰈の様な淡い煮肴、果汁、牛熟黄卵等を少しづつ與へて、成るべく

廣い範圍に榮養を——

攝らせる事が大切です。しかし榮養分だけ澤山與へても、これを吸收する胃腸の働きを度外視する事は大へん危險で、兎角離乳期の小兒が、消化不良に犯されるのはこの不注意が最大の原因です。

胃腸に消化吸收の働きをさせる、つまり胃腸の油ともいふ物質は、酵素といつて、大人でもこの力が衰へれば食物の消化吸收は素より、胃腸を始め全身細胞その物が衰へて、種々の病氣を起しますが、特に乳兒ではまだ酵素の分泌量が少く、且その力が弱い爲に、消化不良に陷り易いのです。

處が、最近この人體——特に乳兒に缺く事の出來ない酵素、並に、優秀な各種の榮養素、リジン、ヒスチヂン等の小兒發育要素までが、ヘーフエ菌の體内に

都合よく含まれて

ゐる事が發見されました。そして澤村博士の『錠劑わかもと』がこのヘーフエ菌の全成分を内服藥に製へたものです。

之を離乳期の小兒に與へますと吸收容易な榮養素が補給されるのは勿論、夥しい酵素の作用で、胃腸はじめ内臟の組織細胞が著るしくその機能を發揮して、食物の消化吸收を非常によくしますので、食餌の變化から招き易い消化不良の心配もなく、自然榮養が佳良になつて來ます。

夜泣と寢小便

乳呑兒から三四歳までの子供は、夜泣きといつて夜中に急に物に怖えたやうに泣出し、容易に泣きやまず、親達をこまらせることがあります。これは神經質な子供に多いのです。さうしてかういふ子供は大抵身體が痩せて皮膚が蒼白く、榮養不良で、胃腸も丈夫でありません。

これには澤村博士の「錠劑わかもと」を與へますと、消化不良や便秘などの胃腸障礙が恢復に趣くと同時に、神經を養ふ効果もありますので、夜泣きも自然にやんで、身體も肥つて來る譯であります。

（記者付記）「錠劑わかもと」は二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ奉仕的廉價で東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇〇番）から頒布されて居ります。希望者は右へ藥價だけ送付すれば送費は、會で負擔して急送されます。

「乳兒の綠便も

私の産後衰弱も恢復

篠原みき

（前略）まだ生れぬ先から、丈夫で育つようにと、よその弱い子供を見る度毎に思つてたりましたがいよいよ生れてから、その願ひは裏切られてしまひました。

お乳の不足するのを牛乳で補つてゐる關係でもありませうが、どうも發育がわるく、大便にはいつも青黒いぶつぶつがまじつてゐますし、それら毎日回數が定まらず、多く出たり、僅な時間に何遍も通じがあつて、きげんも惡いので困つてゐました。（中略）

夫が會社から歸りに、會社の人から手當をきいて來たことをやつてみてもだめです。全く困つてゐました。（中略）新聞ほどでもあるまいと思ひましたが、仕方がないのでためしに藥局から「錠劑わかもと」を一瓶買つて來て、お乳の度毎に少しづつのませてみました。

生れ

て四ケ月の初めまで、まるで不規則だつた便の通じが、お藥をのませた三日目頃から、何だかよくなつた樣に思つてゐましたら、案の定ひきつづいて、きれいな黄色の大便を、毎日するやうになりました。（中略）

その爲か、きげんも大變よくなつて、何だか肥つて來たやうに思ひます。夫も大變よろこびましてやはり藥が身體に合つてゐたのだなと云つてよろこんでゐます。

私も

産後大分身體がやせてゐましたが、「錠劑わかもと」の箱の中の記事を見ると、産後にもよいとありましたので、のんでみますと御飯もおいしくたべられ之まで秘結して困つた大便がさらさら出る様になつてこの頃ではよほど元氣になりました。（中略）

赤んぼうは今月で七ケ月になりました。近所の人々が見てとても可愛ゆい赤ちやんだと、ほめてくれるので、早く丈夫になつてよかつたと、私はうれしくてたまりません。（下略）

瀧川教授問題再び燃ゆ
學校當局を糾彈し大學教室に突入
『全授業をボイコットせよ』
東大學生積極的に動く

【東京十七日發國通】豫て學校當局の集合彈壓に不滿を感じてた東大學生は十七日午前九時半より七番教室で經濟學部學生大會を開き瀧川問題の積極的支持態度を示し學校當局糾彈の氣勢を揚げ大學して文科二十九號教室に突入し折柄授業中だつた井出教授の講義をボイコットせしめ直に一千餘の學生の學生大會に移り京大、東北大學の各代表アジ演説に移り「全授業をボイコットせよ」との決議をなし學生課が襲ふべく全學生スクラムを組み校庭に躍り出でたが急報に驅つけた四十數名の警官隊のため鎭壓され、内四名は檢束取調べ中であるがこれにより東大も積極的に動き出し尖鋭化して來た

小西京大總長辭表提出

【東京十七日發國通】小西總長の辭表を託された岸書記官は十七日午前八時半入京十時半から文相官邸に粟屋次官、赤間局長、菊澤秘書課長等と會見總長の辭表を提出することゝなつた、一方文部省側でも右辭表を受理すべきや否やを愼重協議中である

大相撲　―第二日―

大日本相撲協會第二日目たる十七日は實滿戰開催日にかゝはらず明治製菓の總見、海光山後援會員等で約八分の入り、大檢建邸の連中も總出動して黄いろい聲で場内の人氣はいやが上にもあふりたてる

新横綱玉錦初日同樣堂々たる土俵入りに觀衆拍手の雨、第二部選士權は小野ケ嶽優勝して第三日目第一部に昇ることゝなり第一部においては沖ツ海、若瀬、綾櫻、太郎山、幡瀬と破竹の勢ひで破つて堂々優勝し後援者嘯月女將大喜び、打ち出し八時二十分

▲第二部　優勝戰
小野ケ嶽（吊出し）富の山
▲第一部　一回戰
太郎山（うつちやり）越の海
昇（寄り切り）襲の浦
太郎山（送り出し）鏡岩
綾櫻（上手投）土州山
沖ツ海（寄り切り）若瀬川
幡瀬川（突はなし）海光山
出羽ケ嶽（突はなし）新海
吉野岩（寄り切り）和歌島
清水川（寄り切り）若葉山

▲二回戰
太郎山（吊り出し）綾昇
沖ツ海（吊り出し）綾櫻
幡瀬川（送り出し）出羽ケ嶽
吉野岩（寄り切り）清水川
▲準優勝戰
沖ツ海（下手投げ）太郎山
幡瀬川（寄り切り）吉野岩
▲優勝戰
沖ツ海（吊り出し）幡瀬川
▲割相撲
玉錦（上手投）寶川

三日目取組
▲第一部
（綾櫻）（沖ツ海）（吉野岩）
（清水川）（綾昇）（若葉山）
（瓊の浦）（幡瀬川）（太郎山）
（若瀬川）（出羽ケ嶽）（大邱山）
（越の海）（新海）（海光山）
（鏡岩）（土州山）（小野ケ嶽）
▲第二部
（洋の花）（伊達の花）（出羽の花）
（桂川）（津峰山）（巽錦）
（九州山）（栃の峰）（三能山）
（初島）（綾若）（開月）
▲割の分
（富の山）（番神山）（不戰勝）
（笠置山）
（寶川）（玉錦）
（和歌島）（沖ツ海）

執政夫妻への贈物を捧持し
愛婦滿洲支部發會式參列の三氏・門司を出發

【門司十七日發國通】二十一日新京において擧行の愛國婦人會支部發會式參列の軍人後援會副會長堀内文次郎中將、愛國婦人會の小原新三氏、國際親和協會婦人部長本野久子三氏は愛國婦人會總裁東伏見宮妃殿下より兩儀執政夫妻に各一着づゝ贈呈相成る絹二匹を捧持し十七日正午門司出帆のウラル丸にて渡滿した

小西總長の辭表一先づ留保
『京大情勢を聽取の上に』と文部省側の意見

【東京十七日發國通】小西總長の辭表を携行し上京した岸京大書記官と文部省側粟屋次官、赤間專門學務局長、菊澤秘書課長との會見は十七日午前十時半より午後二時半迄四時間に亙り行はれたが席上岸書記官より京大問題その後の情勢を詳細報告した後「小西總長は健康その他の理由で辭意を表明した」と述べ小西總長の辭表を當局に提出した、之に對し文部省側は「從來の慣例に依り辭職する時は後任總長を推薦して辭める事になつてゐる」と述べ、夫れで小西總長が果して健康上留任出來ぬや又京大内の情勢を責任者から直接聽きたいから十九日小西總長か宮本法學部長に來て貰つて正式に聽取したい」と述べ一先づ小西總長の辭表は岸書記官に預けた、仍つて岸書記官は電話で京都の小西總長に對し當局との會見顛末を報告し責任者の上京を求めた

連を訪問した經緯を報告し結局施すべき慰留の策なき旨を述べた、その結果小西總長は遂に辭意を評議員會に表明するに至つた、ついで學部長會議を開きその席上後任總長確定するまで總長事務取扱ひとして經濟學部長たる山本美越乃博士を推薦した、よつて山本部長は午後八時すぎから經濟學部の緊急教授會を開き總長代理受諾について同意を求め滿場異議なく可決されたので、これを總長に通告總長は岸書記官をして直に自身の辭表を携帶せしめ同夜九時四十五分東上せしめた、辭意を表明した其の夜の小西總長は悲痛なおもゝちで語る

今晩私としては何にも申し上げられません、私としては最善を[illegible]

小西總長語る

【京都十七日發國通】文部省との最後的解決案も空しく十五日夜から各學部長評議員連の心配の慰留も効なく法學部教授團は十六日朝來續々小西總長に對し辭表の價達方を要請し來たり大勢既に決したので同日午後四時から協議會では評議員側よりそれ[illegible]に法學部教授[illegible]

保管中の辭表を如何に處置する
小西總長の態度注目

【京都十七日發國通】小西總長の辭意表明と共に最も問題となるのは總長の手許に保管中の法學部全教授の辭表を如何に處理するかであるが小西總長の最後からの意向はそれ等の辭表を文部當局に提出すれば最後的のものとなるとの懼から出來得る限り永く手許に保管を續ける態度を持するものと觀られてゐるが法學部教授側から辭表傳達要望の要求に至るのでその處置如何はなほ殘る問題として重視されてゐる

建國記念體育大會
ラグビーは一中辛勝
戰蹟素晴しく終了

建國記念の州内男子中等學校體育大會は引き續き十七日午後よりも大連運動場及び大連二中道場に於いてそれぐ續行されたが陸上競技に於いて八百米繼走に大連一中大會新記録を出して優勝し、ラグビーに於いては大連商業と大連一中接戰を續け一中僅かの末僅か二點の差で一中勝つ午後二時半全競技を終了し午前中と同じく全參加生徒中央役員席前に整列し國旗降下後閉會の辭あり萬歳三唱し午後三時盛會裡に終了した青年組の戰績左の如し

陸上競技

▲四千米繼走決勝（二十名宛）一着旅順高公九分二〇秒七、二着大連一中、三着大連商業
▲三段跳決勝　一等奧山敏男（商）一二米九四、二等藤島陽（商）一二米七五、三等下田宣孝（二）一二米四〇
▲四百米決勝　一着光田五郎（一）五四秒六、二着林保彦（二）三着中原勝巳（商）
▲千五百米決勝　一着蘇良玉（公）四分三五秒二、二着福佩敏勝（旅）三着立石義輝（旅）
▲走高跳決勝　一等清水克脩（一）奧山敏男（商）一米七五、三等入江晴夫（商）譚雲山（公）一米六五
▲八百米繼走決勝　一着大連一中（光田、森安、下田、内田）一分三六秒一（大會新記録）二着大連商業、三着大連二中

庭球

▲大連一中（二―四）旅順高公
▲大連二中（一―九）大連商業
▲旅順中學（一―七）大連一中

右戰績の結果順位左の如し
一等大連二中（一一點）二等旅順中學（七點）三等大連一中（五點）四等大連商業（四點）五等旅順高公（三點）

排球優勝戰
大連商業 2（一―二、二―一、一―〇）0 旅順高公

蹴球優勝戰
旅順高公 4（四―一、〇―〇）1 大連一中

籠球優勝戰
大連一中 33（二七―八、六―一〇）18 旅順中學

ラグビー
大連一中 5（五―三、〇―〇）3 大連商業

柔道
大連二中（四―四）大連商業
大連一中（六―一）旅順中學

劍道
大連一中（三―三）旅順中學
大連商業（五―五）大連二中

角力
大連實業組（一―〇―八）西大連實業組

滿洲國公使館園遊會

滿洲國公使丁士源氏は各國大公使並に各大臣以下を十五日午後三時より麻布の公使館に招いて新緑の庭園で園遊會を催した（寫眞は左より内田外相、丁士源公使、眞崎參謀次長）

抜取り犯人大連署で捕ふ

最近滿鐵埠頭構内で貨物抜取り事件が頻々として起り、各署刑事が躍起的に犯人搜査に全力を擧げてゐる矢先十六日午後二時ころ風呂敷包を抱へた青年を大連署佐々[illegible]事が不審に思ひ本署に連行取調ぶると住所不定長野縣生れ阿部鬼[illegible]（二七）といひ風呂敷包から綿紗の襦、博多帶など七點現れたので追及すると埠頭から貨物抜取りは總て同人の所爲である旨自白した、阿部は昨年末から[illegible]

猥狽して怪我

黄金町一一四宮崎善吉氏（二二）が西通六六番地先から人力車に乘り、車夫が電車道を横斷せんとしたところ一號系統電車が進行して來たのに氣付き慌て、飛び降り救助網に引きかゝつたまゝ約一間引きずられて全治二週間の重傷を負ふた

で荷造のみ翌日に廻される事情を熟知してゐて午前二時ごろ係員の居眠る時を窺つて倉庫内に忍び入り十餘回に亙り貨物抜取りをやつたものである

十六日午後十一時三十分ごろ市内

滿博追加豫算五萬圓捻出
福券の増收を棄て、設備費の節約に一決

大連市役所では滿洲大博覽會の豫算、特設館の濫設が滿洲大博覽會の地方的人氣により各府縣の特設館の増設、擴張、内容の充實を期せねばならなくなつた爲め要する經費五萬圓の捻出を滿鐵會社の補助に求めたが脆くも一蹴されたのでこれを斷念し今度は福券の増收によりバランスを合す可く追加豫算の成案を得、十七日午前十時より市長應接間に總務常任評議員會を開き提案協議したがその結果福券販賣により收入を計る事は危險が伴ひ易しとの理由の下に撤回し今度は全然根本方針を

變更し歳出豫算中の建築費、陳列戸棚及び陳列臺設備費その他を節約し約五萬圓を捻出する事にしその更正により既定の豫算範圍内で前記施設の擴張、内容の充實を圖る事に決定し正午散會したが右に就いて小川市長は語る

博覽會は豫想外の絶讃を博して豫算編成當時内地府縣の特設館など五棟か六棟位と思つてゐたのが十數棟に達しその他の特設館を合計する時は

五十棟近くにも及んで了つた、從つて、これに要する街路街燈なども擴張せねばならなくなつた、それでこれに要する費用として五萬圓の補助を滿鐵にお願ひしたのであつたが滿鐵はこれを斷つて來たので止むなくその財源を福券の増收に求め追加豫算を行ふ事に肚を決めてあつたこの前の博覽會ですら七十三萬人の入場者があつたのだから今度の博覽會でも

豫定は七十五萬人となつてゐるも百萬以上の入場者はあるものと確信する、だがこれは將來の問題であり今からこの心算で福券の増收を圖る事は非常に危險が伴ふのでこの計畫を全然放棄して根本の方針を樹て直し歳出を節約しこれを更生して既定の豫算範圍内でやつて行く事にした、つまり建築物などは終了後賣却する事になつてゐたがこれを一時貸借する形式にして建築費を節約し或は

特設館の増設により府縣の出品減少したのでそれだけ本館の建坪や陳列戸棚、陳列品の設備を縮小しその他の遣り繰りも行つて五萬圓程の金を浮かす事にした

凱旋勇士の勞を犒ふ
彌生高女の講堂で

大連彌生高女では十七日午後一時より同校講堂において赫々たる武勲を殘して内地へ凱旋する勇士五百名餘を招き各クラス代表のピアノ、ダンス、舞踊、合唱、獨唱、琴、劍舞の催しによつて勇士の勞を犒ひ閉會後茶菓を饗應し午後三時半盛會裡に散會した

遠矢少佐等に特殊の恩賞

【東京十七日發國通】滿洲事變第八回論功行賞百七十二名中拔群の殊勳者として特殊の恩賞に預かつた歩兵第十六聯隊第五中隊長遠矢少佐は昨年七月十二日夜拉哈警備隊長として守備勤務中、九千の兵匪大集團の襲撃を受け僅かに百三十名の手兵を以て奮戰同地にある八十の邦人を安全ならしめ遂に名譽の戰死を遂げた人で當時本庄司令官より感狀を授けられてゐる、又富岡上等兵は歩兵第十五聯隊第六中隊の初年兵として馬占山討伐戰に參加、昨年七月二十九日海倫東方約九里の正白旗六井の戰鬪で偉勳を樹て馬軍最後の據點と頼んだ獨立家屋を手榴彈四個を以て單身爆破に赴き、遂に我軍大捷の端を作つたものである

自轉車チューブを盜む

十六日夜十二時頃埠頭第十號倉庫附近を巡警中の監視係が怪しげな人影を認めこれを追跡逮捕し訊問したるに同人の腹部より自轉車用チューブ三本が飛び出したので、身柄を水上署司法係に突き出した取調べの結果右は居住不定李春立（二三）といひ數回に亙つて同倉庫の施錠を外し、入庫の自轉車チューブを專門に竊盜を働きこれを市内寶町復興樓に賣り飛ばし遊興に消してゐたものと自白した、同人が竊取したチューブ前後四十八本價格約六十圓に及んでゐる

夫婦喧嘩の末

市内吉野町二番地國際タイムス社内田中某の内縁の妻矢野さめ子（二一）は十九日午後九時ごろカルモチン自殺を企て苦悶してゐるを夫が發見、直ちに最寄り醫師の手當を受けた結果生命を取止めた、原因は夫婦喧嘩の末

靠天匪軍と交戰し荒木大尉戰死
牛莊西方大高坎で

【奉天電話】牛莊西方四里大高坎の西北方常殿において匪首靠天の率ゆる五百の匪賊團は王殿忠軍に包圍されてゐたが十六日朝東南方に我が包圍網脱出を企圖したが大高坎に在つた我が荒木混成〇隊は十七日午前九時半大高坎西方二キロの沙河口西方無名の部落においてこの敵を攻撃し交戰二時間の後これを東方に撃退したがこの戰鬪において荒木大尉は戰死し高橋少尉は重傷を負ひその他死傷下士官一名負傷二名を出したので川村少佐の指揮する〇〇名は十七日朝九時自動車にて牛莊を出發し進撃中である、なほ戰死した荒木大尉は原籍山形縣西村山郡川土居村出身で家族はきよえ（二七）夫人外子供四人ある

實滿第二回野球戰
愈々けふ午後二時半より實業球場で

（審判　井口新次郎、川久保喜一、尾崎昇一郎三氏）

主催　滿洲日報社

建國運動會競技種目

滿洲國の誕生を慶祝する大連市内各小學校五年以上、公學堂四年以上の滿洲建國記念第二回大連運動會は十八日午前八時半より大連運動場において開催される、當日は午前八時半集合同八時四十分一同整列、日滿兩國々旗を掲揚し國歌を合唱、同八時五十分に小川會長の開會の辭あつていよく運動競技に入るがその種目は左の通りである

▲午前中　合同體操、ドッヂボール、蹴球、ボデトレース、高樂の波、蹴球、ハンドボール、ダンス（迎春）體操
▲午後の分　體操、ボートボール、ドッヂボール、器械體操、ハンドボール、騎馬戰、ダンス、渦卷行進

終つて國旗を降下し閉會の辭あつて萬歳を三唱、解散の順序である

大連市會招集

廿日午後二時

抗日陣歿者追悼會延期

【天津十七日發國通】天津市黨部は近く官民共同して今回の抗日戰に於ける戰死者追悼會を盛大に擧行せんと準備し中央黨部の指令を仰ぎたるに中央黨部より今次停戰協定成立後日淺き今日最も戰區に近き天津に於て抗日陣歿者追悼會を盛大に擧行するは日本側の反感を招くやも知れず適當の時期迄延期すべしと命令して來た、また去る十五日黨部は孫文の廣州遭難記念祭を盛大に擧行したがその際の口號中にも抗日及び打倒帝國主義等の口號は除かれてゐた

蘆臺塘沽間列車運轉開始

【天津十七日發國通】蘆臺、塘沽間鐵道は十六日開通したので塘沽にゐた開灤鑛務局員カスチン氏は蘆臺方面の開灤炭狀況視察のため十六日同地に出張した

拳銃射撃習會中止

滿鐵運動會射撃部では十八日第十回拳銃射撃習會を行ふ筈であつたが、當日は實滿戰及び空氣銃射的場新設工事等のため取止めとした、なほその代りに十八日午前八時より同十一時まで春日池畔射撃場において小銃射撃を行ふことゝなつた

新裝のあめりか丸船室改善

十七日入港の定期船あめりか丸は定期檢査のため入渠中であつたがすつかり新しく化粧して來連、若手のうらゝ、うすりい丸に負けてなるものかと年増の厚化粧と云ふ形だが、特に一等船室の二段寢臺を一段に、三等船室の何時もかゞんでゐなければならなかつた船室を一段寢臺に改良して來た

修養團歡迎會

修養團主幹蓮沼門三氏並びに本團常務理事醫學博士二木謙三氏の歡迎會並びに講演會を大連修養團主催にて十八日午後六時より滿鐵社員倶樂部にて開催、會費四十錢申込所山城町七番地修養團滿洲聯合會

滿淵家不幸

往年關東都督府時代の高等法院首席檢察官でありその後大審院檢事となり現在は東京に於て公證人として著名なる滿淵孝雄氏の次男日出男氏（二一）は去る十日逗子に於て死去せる由

安樂椅子

實滿野球戰に見事な試球式ぶりを見せた河本滿鐵理事はその昔の河本大作大佐で軍人出身だが大の野球好き。

……◇……

「僕の野球は古いもんで幼年學校時代に仲間を集めてやつたもんだ、隊附となつてからも聯隊ところで野球チームを作つて歩いたが、ここに第十四聯隊長時代に作つた聯隊チームなんか當時北九州を風靡したもんだよ」と大變な鼻息。

……◇……

「大連へ來るやうになつて第一の樂しみは野球見物が出來ることで、もうネット裏に四つ席を取つてあるよ」と熱心なものである。

颱風圏内 (30)

畑耕一作 山田喜作畫

蠟人形 (六)

——晟也が、その家を出たのは灯ともし頃だつた。

わざと、半丁ばかり離れたところに待たせた自動車へ、彼は飛び乘つた。

二階の窓から織江の見送る顔が夕闇に白く浮んでゐた。振り返りざま、晟也は右手をあげた。

白い顔もニコリと頤をさげた——やうだつた。

「蠟人形のやうに美しい……が、蠟人形のやうに……脆い」

彼は口の中で呟いた。

「すつとお歸りになりますか？」

運轉手は訊いた。

「いや、銀座へ出てくれ」

「は」

自動車は走り出した。

晟也は、また例の如くクッションに身を埋めて、瞼を輕く閉ぢた——。

尾張町の角で、彼は降りた。

まだ宵の口なので、舖道はネオンサインや電飾や、五彩の光帶を搔き亂しつゝ、雜沓が續いてゐた。

その中を、晟也は中折帽の鍔を引きおろして、俯向き勝ちに縫つた。

カフエーへ入るのでもなく、飾窓をのぞくでもない。

なんの目的？ たゞの氣まぐれな散歩なのか？

——と、彼はC百貨店の角まで來た。ちよつとそこで佇んだ。腕時計を見た。

「八時……」

彼はなにかうなづいた。葉巻を出した。火をつけた。

「相濟みません」

いきなり、どこからか、脊のヒヨロリとした會社員風の男が近づいて來て、輕く頤をさげた。指に卷煙草をはさんでゐる。

「どうぞ」

晟也は、點火器をパチンと開けた。

瞬間二つ三つの單語を、低く口早に話した。火を貰ひながら——

「有難う」

グツと掛れ合ふやうに彼は顔をつき出した。

彼はまた頤をさげて、雜沓にまぎれ込んだ。

ゆつくりした歩調で、晟也はそこから右へ——銀座裏に出た。

BOUQUETと紅色のネオンサインで書いた看板を見届けて、彼はズツと入つた。

小さな家だが、流行ると見えて客はたてこんでゐた。テーブルもボックスも、空いてゐなかつた。

「いらつしやい」

愛嬌よく迎へたが、女給はやゝ困つたやうだつた。

「や、こゝを僕一人で占領してゐるのはいけない。君、どうですか僕と一緒におなりなすつては？、僕、相手なしで詰らながつてゐるとこです。こゝの誰も構つちやくれないし」

一隅のボックスから聲をかけた紳士があつた。

「あら、お構ひしやうとしても、あなたのはうで、うるさいつて仰有るじやありませんの？」

他の女給が口を尖らせる——眞似をした。

「難有う。お差つかへなければ」

「どうぞ」

「失敬します」

——晟也は彼と向き合つて腰をかけた。ミリオンダラアを註文した。

しばらくの間に、その紳士との會話がはずんで來た。

まつたくはじめての、見知らぬ同士らしい態度を兩人は持つてゐた。——が、客にも、女給達にも注意こそ引かなかつたが——彼等の眼は、時々妙に、合圖のやうにまたゝきかはされた。

新刊紹介

▲批判（第六號）二千年前のフアッショ革命（知是閑）神田孝平著「農商建國辨」における誤謬の必然性（住谷悦治）獨逸フアッショ革命印象記（安孫子理兵衛）瀧川問題スクラップ（三谷七郎）サウエート同盟における貨幣と流通（H・ナグラー）社會フアシズムの價格論（バルスナー）米國民に告ぐ（バーナード・シヨウ）學問の傳統的意義と近代國家の教育（長谷川萬次郎）駒込より（爾保布）暗躍と大衆、ワシントン會商よりロンドンへ（市村）世界經濟會議と日本（四方田）東支鐵道管理問題（嘉治）支那國民主義の現實（深尾）等がある（價三十錢、東京市中野區上ノ原町六番地我等社發行）

▲ソウエート聯邦事情（六月號）ソ聯の記み欧米國際政局最近の動向、ソ聯内各地發電所破壞陰謀及間諜事件の眞相ソ聯產業の心臟ドンバスの業態、都市農村の商品流通、ソ聯鐵鋼業の生產貨品騰、東支鐵道紛爭問題とその詳趨、重要事項日誌（政治、外交、軍事、一般農、工、商、交通、財政一般、社會、勞働、文化一般、露領極東、滿蒙一般、日露關係一般）研究及資料、ソウエート經濟の貨幣問題、統計ソ聯輸出統計（價五十錢、取次販賣所大連市紀伊町九一滿洲文化協會）

▲經濟會議（六月號）フアシズムの經濟理論（向坂逸郎）銀問題の欺瞞性（木村禧八郎）戰債、賠償問題（香川保譯）アメリカ經濟危機の爆發と其發展（中澤辨次郎）月報經濟（清水生）數十會社の成績と前途豫想（本社調査部）消費經濟から見た五大百貨店等々（價三十錢、東京市日本橋區江戸橋二丁目六明正ビル經濟研究社發行）

▲滿洲公論（六月號）價五十錢、大連市紀伊町九番地滿洲公論社發行

▲警察協會雜誌（第三三二號）價三十錢、關東廳警務局内發行

▲日滿往來（六月號）價三十錢、東京市中野區沼袋南二丁目一五日滿往來社發行

▲國史研究資料（第二册）價四十錢、東京市小石川區原町六十四番地勿來社發行

▲プロレタリア文化（五月號）價三十五錢、東京神田區今川小路一ノ一江戸ビル内日本プロレタリア文化聯盟發行所

▲雜誌「考へ方」は第九回の數學英語、國漢の誌上綜合試驗を企てその問題を「考へ方」七月號に發表した、其の成績と講評とは十月倍大號に發表する、目下その懸賞答案大募集中で受驗準備に勵む學生諸君の應募を望んでゐる、而も特に今年は合格賞五百名の外に最優者十四名には副賞として高級文房具を贈り、又合格者を最も多數に出した學校へは大花瓶を贈呈するといふ右問題付答案用紙は東京市神田區一橋通町の「考へ方」研究社に申込めば無料送附

▲聯珠の友（六月號）價三十錢、東京市荒川區日暮里町三七七二聯珠の友社發行

けふの放送

大連 JQAK 六月十八日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　新譜レコード（コロムビア）
▲午前十一時五十分　講演（新京より）「滿洲國の文敎に就て」文教部督學官岩間德也、ニュース
▲午後二時二十分　野球試合實況（實業對滿俱第二回戰、實業球場より）ニュース
▲午後六時　ニュース
▲講演（六時三十分）「軍用犬並勤務犬に就て」帝國軍用犬協會理事津下信義
▲大日本大相撲取組（七時、電氣遊園下相撲場より）說明大日本相撲協會行司木村庄三郎
▲ラヂオドラマ（八時）「直情」新進座一黨（場景）第一景東美容院の店内、第二景同二階中條夫妻の部屋、美容院主東宮子（北村紫郎）同院見習おしげ（若柳光子）電車の車掌中條清（吉岡春彦）清の妻百合子（潮愛子）寶石屋番頭加川二郎（木村忠生）放送指揮岡村松
▲ニュース
▲氣象通報

東京 JOAK 六月十八日

▲ヴアイオリンと管絃樂（六時三十分、日比谷公會堂より）（一）管絃樂「レオノーラ序曲第三番」ベートーヴエン作曲（二）ヴアイオリン獨奏（管絃樂伴奏）「ロマンス長調作品五〇」ベートーヴエン作曲ヴアイオリン獨奏ロベルト・ポラツク、管絃樂東京音樂學校、指揮クラウス・プリングスハイム▲小唄（七時）堀小多滿社中▲映畫物語（七時二十分）「つばさの天使」片岡擬麥、伴奏指揮宇賀神味津男▲浪花節（七時五十分）「近世遊俠傳和泉屋次郎吉」春日亭清鶴

ラジオ
にちようふろく

童話　百合の宮
大塚正明

さよならお日樣赤い空
赤い海原潮が鳴れば
お舟歸る歸る赤い日浴びて
海よさよならお舟は歸る――

★ ★ ★

島の娘の萬里ちゃんは、今日も渚の砂山で、歌をうたひながらお父樣のお舟を待つてゐます。

――其の日に限つて、お父樣のお舟はお歸りが遲い……そして夕燒の赤い海が蒼くなつた頃、お父樣も蒼い顏をして歸つて來ました

「どうかしたの?お父樣――どこかお體が惡いの?え?お父樣」

海から歸るとすぐ床の中へもぐり込んでしまつたお父樣は、萬里ちゃんがいくら聞いても啞者のやうに默つてゐます――夜が明けました。けれ共今朝に限つてお父樣は起きません――よいお日樣が上りました。けれ共お父樣は起きません。どうしたことか、お父樣はいくら何を聞いてもお返事をしてくれません。唯口をもぐ〳〵させるだけでちつとも聲が出なくなつてしまひました。さうして枕頭に坐つてゐる萬里ちゃんや萬里ちゃんのお母樣の心配顏を見てボロボロ涙をこぼしてゐるばかりです。

島の人達も心配して毎日お見舞に來ました。啞者になつてしまつたお父樣はげつそり瘦せてしまひました。そして風の強い或る晩――お父樣は急にどこへ行つたのか見えなくなつてしまひました。島の人達がいくら探しても見つかりません。

「神隱しだ、神隱しだ、萬里ちゃんのお父樣は神樣に隱されたんだ……」

――島の人達は口々にさう言ひます。萬里ちゃんはお母樣と一緒に暗い家の中で毎晩ぼんやりしてゐますと、どこからともなく

「水が無くなる……娘がかわいい……」

といふお父樣の絲のやうな細い聲がします。はつとしてお庭へ出て見ますが姿は見えません。そのうちに萬里ちゃんのお母樣は心配の餘り氣が變になつて了ひました。

「……お母樣、どうぞ靜かに休んで下さいね、お母樣――」

――萬里ちゃんがいくら宥めてもお願ひしてもお母樣は、萬里ちゃんを突きのけたり、怖い目で睨み付けたり、ゲラ〳〵と氣味惡く笑つてゐます。さうして

行く「綠の森」の、たつた一つの泉から湧いてゐた眞清水が急に一滴もなくなつてしまひました。仕方がないので島の人達はあちらこちらと井戸を掘りましたが、出てくるのはみんな辛い〳〵鹽水ばかり、そして空も燒け地も燃えるやうな熱い日照りが續きます。

「全滅だ全滅だ!島が燃えるのだ……」

島の人達は氣違ひのやうになつてお助けを神樣にお願ひしましたそのうち恐ろしい嵐の晩、萬里ちゃんのお母樣が又見えなくなつてしまひました。今度もいくら探しても見つかりませんでした。毎日お母樣を探し廻つてゐる萬里ちゃんは、暗い夜――渚の砂山で泣き〳〵眠つてしまひました――萬里ちゃんの眼の前には美しい「綠の森」が現れました。さうして森の中の深い〳〵泉の底では、お母樣が恐ろしい魔物と戰つてゐるのでした。魔物の傍らにはお父樣が前のめりに倒れてゐます。魔物は氷のやうな鎌、お母樣は姬百合の花を振りかざして、魔物が

「娘をくれ、娘をくれゝば水を出す――」

と叫ぶと

「娘はやれない!島を燒き盡す魔物のお嫁にどうして娘をやれるものか?」

と、お母樣は罵り返します。魔物は花を切取らうとしますが、花から落ちる露に打たれて手が痺びれて鎌を落します。慌てゝそれを拾ひ上げて又向つて來ます。

× × ×

翌朝、萬里ちゃんは、毎晩泊つてくれるお友達をみんな引つれて綠の森へ出かけました。さうして百合の花を澤山お友達に採つて戴きました。何時になくきれいな着物を着て來た萬里ちゃんは其の姬百合を體一ぱいに着けました「百合の精――百合の精」と娘等が手を拍つてはやしたてゝゐますうちに萬里ちゃんは泉の前へ來ました

島中の人がいくら飲んでも使つても盡きない眞清水が湧いてゐる筈なのに、今は一滴の水もありません。

「あゝ水がない、水が欲しいねえ」

娘達がみんな溜息を吐いた時、萬里ちゃんはにつこりしながら

「皆さん、水は屹度出ますよ。さようなら――」

さう言つたかと思ふと萬里ちゃんはさつと身を躍らせて泉の深い底を目がけて飛込みました。

★ ★ ★

滾々と玉なす水の湧いて溢れる泉の畔、一面の百合の花に圍まれた「百合の宮」!其處に二人の年の老いたお坊さんが住んでゐます一人は男――一人は尼さん…(終)

コドモマンガ
セッケン

こどもの考へ物　―第五十一回―
胴を斬られた人ではない　愉快な運動の一つ

これはまたナンと氣味のわるいかつこうでせう、しかし胴を斬られた人ではありません、トテモ愉快な運動で、皆さんの大すきなものです、何か當てゝください、わかつた方は來る六月二十五日までに大連市東公園町滿洲日報社內「滿日日曜附錄係」あてハガキでお答へください、正解者にはいつもの樣に二十名にご褒美を差しあげます

第四十九回の答　テツカブト

第四十九回の考へものは兵隊さんがかぶつてゐるテツカブトださうでした、抽籤して當つたのは左の人々にご褒美をあげることにしましたから、大連市內の方は本社からあげる當籤通知のハガキと引替へに新聞社でご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りいたします

當籤者

▲大連安田勇▲同吉野美代▲同今井信男▲同池田富美子▲同宮尾政雄▲同山本滿雄▲同武田米子▲同齋藤美代子▲同川田敏子▲同豐田禎介▲同西田百合光▲同木下幸子▲吉林高橋淳▲遼陽中村しのぶ▲新京小野數馬▲奉天松本倉松▲遼陽原田安江▲瓦房店安生猛▲奉天鹿野光子▲旅順町田行輝

ご褒美の中にあるミルクキヤラメルの空箱は今森永製菓で「森永キヤラメル藝術」を募集してゐますからその材料に使つてください、つくり方は「ベルトライン」と書いた看板を出してゐるお菓子やさんで敎へてくれます、なほ皆さんが應募した作品はお金にかへて傷痍軍人會に寄附されます

小學六年生の力試し室
お答は來週出します

國語

(一) 次の文を讀んで問に答へよ

裁判の目的は、決して人を爭はせ、又は人を罰することではない。此の世を不道理や罪惡の行はれない、平和な秩序正しい世の中にするのが其の目的である

若し裁判がないとしたら人々相互の爭ひがはてしなく行はれて、しかも其の爭は、力の強い者やわるがしこい者が勝つことになるであらう。若し又裁判が公平に行はれぬとしたら、せつかくの法律もねうちが無くなり、我々は安心して生活することが出來ぬ。

(1)裁判の目的(なるべく簡明に)
(2)裁判が公平に行はれない時はどうか
(3)裁判が無いとしたらどうか
(4)文中――のある「其の」はどんなにちがふか

(二) 次ぎの言葉の意味を書きなさい
(1)越路の雪
(2)諸將を配置して防備をさ怠なし
(3)民事裁判
(4)やにはに斬倒されたり
(5)島轉じ、海廻りて其の盡くる所を知らず

(三) 次の文を解釋しなさい
(イ)春は島山かすみに包まれて眠るが如く、夏は山海若綠にして目覺むるばかり鮮かなり
兩岸及び島々、見渡す限り田園よく開けて、毛氈を敷けるが如く、白壁の民家その間に點在す
(ロ)正圖得たりと、力足をふん張りてはねかへさんとせしが、ふみそこれて、あはや谷底へ轉び落ちんとす。

(四) 次の文中――の語を比べなさい
(イ)さゞなみにくだける月の夜景は一段の趣あり
(ロ)大連市は流石に內地の田舍とは趣がちがふ
(ハ)大連市は大連灣に臨めり
(ニ)市長が海軍記念式に臨めり

(五) 熟語二つづゝ作りなさい
伐　競　興　督　犯

算術　前週の答

(1)(イ) 2:1
(ロ) 乙が速い
(ハ) 牛が仕事を多くします。
(ニ) 5日でよい
(2) 25日
(3) 15kg
(4) 1:1
(5) 2時24分

化石鳥のタマゴ　世界にタッタ六つだけ

昔ニユージーランドの森林に化石鳥といふ駝鳥のやうに大きくて兩翼がなく身長十尺餘りの鳥が棲息してゐましたが、時代の進むにつれて絕えてしまつて世界中にその卵がタッタ六箇だけ殘つてゐましたところ近頃になつてオークランドの博物館へ二箇寄贈されたので館では大喜びださうです、この卵は數年前ニユージーランドの或る山中で化石鳥の骨と一緒に發見されたものだといはれてゐます

蟻が一番ご馳走　妙な東アメリカ土人　アリの市場さへある

東アフリカのカヴイロンド地方の土人の間では昔から蟻が一番おいしいご馳走とされてゐます、そして人々の求めに應じる樣に市場でも盛んに蟻を賣出してゐますが、大變景氣よく賣れます、ではそんなに澤山の蟻をどうして捕へるかといふと蟻の多いこの邊りではあちらにもこちらにも巢が小丘のやうに高く盛あがつてならんでゐます、その巢の上で蟻取りの土人達はタツ、タツ、タツ、タツ、タツと音を傳へますと蟻どもはてつきり雨だと思つてぞろ〳〵首を出すのです、それを土人達は實に素早く捕へるのださうです

われは海の子

沖の鷗をお友達に　愉快な海上生活

商船學校の練習船「海王丸」を語る

梯子一枚下は地獄――千尋の青海原を物ともせず荒波を蹴つて元氣に滿ちた生活をする海國日本にふさはしい海の征服者――商船學校の練習生八十五名を乗せた四本マストのブーケ型練習船「海王丸」(二千二百八十三トン)は三十二枚の眞白い帆をピーンと張つて、沖のかもめを道づれに、ホームポートの東京灣を船出してから八十五日目にわれらの大連を訪れました

▼……▲

これらの生徒たちは、ついこの間まで教室でいろ〳〵海の學問をしてゐたのですが、約一ケ年にわたつて實際について勉強するために「海王丸」に乗組んだものです、この實習では第一に海に慣れ、物事を耐へしのぶことの出來る力を養ふと共に、技倆をみがくのが目的です

▼……▲

海王丸の練習生は朝は早起き、夜は早寢、ほんとうに、うらやましいほど規則正しい生活をしてゐます、朝起きて、海の清らかな空氣を充分吸ひながら點呼を受けると、それから甲板洗ひやら便所のお掃除といろ〳〵の仕事を、リスさんのやうないそがしさと、快活さでいたします、そして午前八時には厳かな君ケ代のラッパで國旗が船尾に揚げられ初めて樂しい朝のご飯を喰べます、航海中風が吹いて來ると當番のもの――練習生の半數は命令一下、お猿さんのやうに繩梯子を傳つて百二十尺のマストにかけあがり展帆(帆を張る)して、六、七マイルの速さで愉快な帆走を始めるのですが、風がやむと今度は縮帆(帆をたゝむ)して焼けるやうな船底にもぐり込み玉の汗を流しながら機關操縦によつてプロペラーで船を走らせるのです、當番の生徒が斯うして一生懸命に實習してゐる間に非番の生徒たちは教室でいろ〳〵な勉強や氣象、海流の實際を教官から學びます

▼……▲

海上生活者にとつて一ばん大切なのは水です、一日生徒八人が使ふ水はバケツに一ぱいですが、それで口をすゝいだり顔や身體を洗つたりするのです、長い航海になると二ケ月位もかゝり自然野菜類が切れて、干大根や梅干ばかり食べてゐるのでフラ〳〵に弱りますから、そんな時にはライムジウスといふのをのまされて元氣を恢復します、そして三日目位に來る時化にもまれ〳〵てだん〳〵練習をつんでゆきますが、かうした苦しみのうちにも生徒たちには別の樂しみがあり、ゆく港々で見聞をひろめ、月の夜などは靜かな海面を眺めながら、習ひ覺えた尺八やマンドリン、ヴァイオリン等に旅情をなぐさめるのです、かくて五年半の修業がつむとやがて立派な青年運轉士、機關士となつて大きい船に乗込んでゆく時の彼等のうれしさは格別なものなのです

手旗信號の練習

港に入つて船足を休めた海王丸

お猿さんのやうに　號令が下る、生徒たちはスル〳〵ツとマストにかけ上り、大きな帆を下したり、巻いたりします(上)は鈴のやうにとまつた生徒が、教官の號令を待つ(下)はマストにかけ上る場面です

帆走の舵取り　船が港を出て、四本マストに三十二枚の帆を張つて、心地よく走り出すと二人がゝりで、ドウですこんなに大きな舵を操縦するのです

ヤシのからで甲板みがき　潮風で赤銅色にやけた元氣な生徒たちは朝點呼をうけると、今度はごらんの通りヤシのからで甲板みがきです

家庭漫畫

猛獸使ひが細君に叱られるさ……　佐方幸

この一卑怯者めッ早く出て來いッ

さあー來るなら來て見ろヨ

幸

それは結婚した日なのです

妻「貴方何處へ出かけるの、御食事は……?」

夫「野球を見にさ、飯は食ひ度くないよ」

妻「貴方、今日はどういふ日だかおぼえてる……トテモうれしかつた日よ知つてる」

夫「おぼえてるとも……たしか五對三で早稻田が慶應に勝つた日だらう……ナ」

セイ坊

落語 笑ひぐすり　柳亭花紅

昔、田舎に佛頂さいふ人が居りました、この人は生れて世の中に四十五年も生存して居ますが、只の一度も笑つたことがないさいふ餘程の變人で、人が面白い滑稽味のある話をするさ、その反對に腹を立てる、愛嬌のない人の事を世に佛頂面さ云ふが、此の人から始まつたらうさ噂をしましたが、これは判りません、それですから御内儀さんもお嫁に來て、今年で十八年にもなるが、旦那の笑ひ顏を一度も見たことがないので、何うか笑はせるやうな工夫は無いものかさ種々考へて見ましたが、他に是さ云ふ分別もないので、懇意なお醫者に何か良い藥はないものでせうかさ相談しますさ、其の先生が

先「それには良い藥があります、それをお持ちになつて、刻んで酒に浸して置いて、その酒を燗をしてのませて御覽なさい、味に變りはないからのむ人も飲みよい、たゞ少し色がつくだけで別に害にはならないから」

女「ヘエ、どうも有難うぞんじます、先生これは椎茸ではございませんか」

先「イヤ／＼、それは椎茸ではない、紅葉茸さ云ふので、紅葉の木の根に出來る茸で俗に笑ひ茸さいふのだ、此品を酒に浸してのむ時は、どんな人でも自然さをかしくなつて來て笑ひ出すさいふ不思議な效能のあるものだから、持つて行つて試めして御覽なさい」

女「ヘエ、どうも有難うございます……種々恐れ入ります、左樣なら」

さ喜んで歸つて參りまして、早速お酒に紅葉茸を浸して置いて、その晩にお酒の燗をして持つて參りまして

女「サア、お酌をいたしませう」

佛「アイヨ、オヤ／＼この酒は色が赤いやうだが、何うかしたのぢやないか」

女「イエ、別にどうもいたしませんが、實は藥が入つて居りますのです」

佛「エツ、藥——何の藥が入つて居るのだえ」

女「ネエ貴郎、妾が此方へ嫁入りましてからもう今年で十八年になりますわねえ」

佛「さうか、おれは別に年を數へもしなかつたが、早いものだなア昨日今日さ思つて居たが光陰は矢の如くもう十八年になるかねえ」

女「その永い間にあなたは妾のまへで一度もお笑ひあそばした事がございませんが、何かお氣に召さない事でもありますのですか、此頃は慣れましたから、何さも思ひませんが、初めの内は御機嫌を損じたことかさ、どの位心配したか知れませんですよ」

佛「詰らないことを云ひなさるな、なにもおまへが憎くて笑はぬのではない、おれにはどうしても他人のやうに笑ふことが出來ないのだよ、世間の人がおかしさうに笑つて居るのを見るさ、何だか馬鹿々々しくなつて來て、却て腹が立つ、自分でも詰らな質ださは思つて居るが、これだけはどうも生れつきで仕方がない」

女「それではまつたく、あなたは笑ふ事がお嫌ひなのですかねえ」

佛「ウム、さうだ、大嫌ひだ、おまへさ夫婦になつて十八年だが、おれはその前うまれた時から四十五年の間、一度も笑つた事が無いのだ」

女「それに就いて妾も一度あなたのお笑ひなさるお顏を見度いさ今日は湯島の先生のところへ伺つて何か良い藥は無いものかさお願ひしましたさころ、それでは此の藥を酒に入れて、飲ませて御覽なさい、自然さ笑ひ出すことは請合ふさ斯う仰しやつて、お藥を下すつたので只今お酒に入れましたのでございますから、何卒召上つて見て下さいまし」

佛「エツ、それでは先生のところへ頼みに行つたのか、おまへは馬鹿だナ、下すつた藥は氣休めだ、世の中に笑ふ藥さ云ふ物があるものか」

女「それでも物は試しさいふことがありますから、まあ話のたねに召上つて御覽なさいまし」

佛「さうおまへがすゝめるなら飲まない事も無いが、世の中に笑ふ藥があるなぞさ、ウム何だ、別に味は違はない、少し氣にすれば茸の香りがするやうにも思はれるサア悉皆飲んだが別にをかしくも何んさも無いよ」

女「どんな名藥を飲んださて直ぐ效くものではございません效くにしても身體へ廻るまでは少しは間があります、そのかはり效いて來るさ自然さ笑ひ出します」

佛「おまへはさういふが、わたしは何んさもないよ」

女「イ、エ、いまにをかしくなつて來ますよ」

佛「アレ何さもないさいふのに」

女「駄目ですよ、いくらあなたが强情を張つても、お藥が廻つて來ますさ、お笑ひになりますよ」

佛「わたしは生涯笑ひませんよ、笑ひませんさいふのに、何故おまへはそこで妙な顏をして居るのだ、おまへこそ笑つて居るぢやア無いか、おれは笑はないよ、ウフ、、おまへがそこでウフ、、笑つて見たつて……ウフ、、、アハ、、、おれは笑やアしないよ、ウフ、、、フフ、、ハフフ、、アウフ、、、ニおれが笑ふものか、ウフフアハ、、、、ナ、、」

女「それあなたおわらひ遊ばしたぢやアございませんか」

佛「ウフフハ、、アハ、、、、ナ、、」

女「それ御覽なさいナ、お笑ひになつてお在でゞす」

佛「ウフ、アハ、ウフ、、アハ、何時俺が笑つたよ、ウフ、、イヤサいつ俺が笑つたよ、ウフ、、それはお前の氣のせゐだ、アハ、、、ウフ、、おれが藥を飲んだから今に笑ふだらうさ思つて居るおまへの氣が笑ふやうに見えるのだ、ウフ、アハ、、ウフ、アハ、、、イヤ少し變だぞ、ウフハ、、ア、これは妙だ、アッハ、、ア、ウフ、、アッハ、、、ア、どうも可笑しいぞ、ウフ、、アハ、、、ア、イヤ人間さいふ者は妙なものだナアハ、、、ウフ、アッハ、、、ア今までアッハ、、、、おれは笑つた事が無いのだが、アハ、、ア、ウフ、、、アハ、、、お前があんな藥をアッハ、、、ア飲ませたんで、さゝさめごゝさめごが無いアーウフ、、アッハ、、何うも苦しい口が利けねえ、アハ、、、、ア、エヘ、、、ウフ、、アハ、、、、、あゝをかしい、エヘ、、アハ、、、妙なものだ、アッハ、、、ア、お前さ俺さは他人同士がエヘ、、他人同士がフ、、夫婦になつてアハ、、、、そゝそれが夫婦になつたさきにアハ、、、アひゝゝ一つ違ひだつたが、アハ、、、、十八年たゝ經つてもアハ、、、ひひ一つ違ひだ、ア、どうも變らぬ、エヘ、、、アハ、、、夫婦になつた時にはアハ、、、、おまへは髷を島田に結つて居つたがアハ、、、ア、エヘ、、、今は丸髷になつた、アハ、、、その時おまへの顏には眉毛があつたが、エヘ、、、アハ、、、、いゝ今はその眉毛も失くなつてしまつた、アハ、、、、アお前の顏がのつぺらぼうになつてしまつた、アッハ、、、ア、ウフ、、、、エヘ、、、、オオ前が笑ふさアッハ、、、アおまへの目が細くなる、變な顏になる、これは堪らぬアハ、、、、エッヘッヘ、、ウッフ、、、アッハ、、、、ア」

さ止度もなく佛頂は笑つて居る。

さて笑ふ門には福來るさ云ふは能く申した事で、世界中の黄金が笑に吸收されてのこらず佛頂の家へ自然さ集まつて來ました、それ以來何に手を出しても調子好く、世にいふトン／＼拍子に儲かつて終に佛頂は笑つた爲めに大富豪さなり濟ませました、これも笑つたゆゑさその黄金を山のやうに積上げては毎日其の前に坐り、顏の形を崩してゲラ／＼佛頂は嬉しさうに笑つて居ります。

するさ大變なのは天國でございませんのは、お天道樣やお月樣、木火土金水の星なぞが急に生活難に襲はれて來た、そこで或る日臨時集會を催して、種々協議を開くさ、今日の隊長お天道樣が卓の前に立ち、赤い顏を一層赤くして拳にて卓をうち

天「諸君……此頃天國に黄金がなくなつたのは下界に佛頂さいふ變り者があつて、生れて四十五年さいふ永い間一度も笑つたことがない、さころがその女房のお藏さいふ者が心配をして、醫者から紅葉茸、俗に笑ひ茸さ云ふ物を貰つて來て、それを佛頂に服ませた、然るに良藥の効目は恐ろしく、さしも永い間笑つたことの無い佛頂も、藥の力に笑はされ、それから笑ひ出して少しも笑ひが止まらず今もつて笑つて居る、それは宜しいがこれがために永年天國に蓄へて在つた黄金は皆佛頂の家に集まつてしまつたのである、そこで諸君、此のまゝに捨て置けば、天國は貧國さなつて、果は滅亡いたすであらう、就ては失ひし黄金を元の天國に呼戻すには天國にても下界の佛頂に負けぬやうに笑はんければ、黄金は再び天國には戻らぬ、さすれば天國はます／＼不景氣さなり、銀行ギャングなぞが再出しては大事であるから、向後は下界の佛頂の笑ひ聲を消すやうな大聲にて笑つて頂きたい、サア諸君、今や天國の起つ起たざるは偏に諸君の努力にあり、努めよや諸君、笑へよや諸君、予は第一に笑ふべし」

さお天道樣が大きな口を開いて

「アハ、、、ア、ウフ、、、アハ、、、エヘ、、、、ウフ、、、アハ、、、ア」

盛んに笑ひ初めた、これに次いでお月樣が

「オホ、、、ハ、、、フ、、、アハ、、」

さ笑ふ、小さい星連中なぞはこゝぞ生活安定の、危機なりさこれ亦大口を開き

一同「アッハ、、、アハ、、、エッヘ、、、ウッフ、、、アハ、、、ウフ、、、ヘ、、、、ハ、、、、ウワッハ、、、」

さ後援をした、イヤその陽氣なこさ、するさ佛頂の家に居た黄金が此の笑ひ聲を聞いて、そろ／＼天國へ出かけようさしたので、これは大變、天國へ戻られては折角集めた黄金が無になるさ、佛頂は大口を開いて

佛「アッハ、、、ヘ、、、、アッハ、、、アハ、、、エヘ、、、アッハ、、、、」

さ笑ふさ黄金が一寸立止まつたから

佛「オイ／＼おまへ方は、何處へ行くのだへ、、、」

金「ヘエ、、、あの通り天國で笑つて居りますから、天へ戻りますのでございます」

佛「アッハ、、、ア、そんなら天へ行くには及ばない」

金「ヘエそれは何う云ふ譯で」

佛「あれはみんな空笑ひだ……」

家庭滿洲語 紙上講座

第十三課

一
1 在（ツア(エ)イ）。那兒（ナール）
2 在。這兒（ツエ(ア)ル）
3 在。那兒
4 在。那兒

二
1 你（ニー）在。那兒
2 我（ウオー）在。這兒
3 他（ター）在。那兒
4 他在。那兒

三
1 帽子（マオツ）在。那兒
2 帽子在。上頭（スアントウ）
3 鞋（シエ）在。那兒
4 鞋在。底下（テ(イ)ーシア）

四
1 狗（コ(ア)ウ）在。那兒
2 狗在。外頭（ワ(エ)イトウ）
3 貓（マオ）在。那兒
4 貓在。裏頭（リートウ）

【譯語】

一 (1)何處に在る(居る)か (2)此處に在る(居る) (3)何處に在る(居る)か (4)其處(彼處)に在る(居る)

二 (1)汝は何處に居るか (2)私は此處に居る (3)彼人は何處に居るか (4)彼人は彼處に居る

三 (1)帽子は何處に在るか (2)帽子は上に在る (3)靴は何處に在るか (4)靴は下に在る

四 (1)犬は何處に居るか (2)犬は外に居る (3)猫は何處に居るか (4)猫は内に居る

【說明】

在 は人又は他の物の在り所を表示する言葉である。

這兒 は此處さいふ場所を示す言葉である。

那兒 は第八課の**那個**の樣に矢張り調子が二通りあつて第四聲の那。兒は（そこ、あそこ）であるが、第三聲の。**那兒**は（どこ）さ問ふこさに成る。

上頭 の二字が上さいふことで、頭の字は別に深い意味が無いから第二聲の調子は無くなつて、只輕く言へばよい。

外頭（そと）**裡頭**（うち、なか）の頭も右さ同樣で有る。

底下 も二字續けて下さいふことに成る。

發音上の注意

在 ツア（エ）イは口を明けてツアさ發音し、エさイの間で終るので、決してツワイさ口をすぼめるのではない。

底 テ（イ）ーはテーでもチーでもない、此音を出すには、舌の尖を齒齦につけて、奥齒を嚙みしめる樣にし、口を横に開きテ（イ）ーさ發すればよい。

狗 コ（ア）ウは（ア）さ口を開け氣味にしてコを發し、後で口をウさすぼめるので、カオさならぬ樣注意されたい。

前週の答

(1)你去開門 (2)他沒來 (3)怎麼沒來 (4)關窗戸了麼 (5)沒關窗戸 (6)他出去了麼 (7)沒出去 (8)沒進來

【問題】次の言葉を支那語に譯せ

(1)皆何處に在るか (2)皆中に在る (3)生徒は何處に居るか (4)皆外（ソト）に居る (5)一つは上に在る (6)一つは下に在る (7)貴方のは何處にありますか (8)私のは此處にあります (9)彼人のは無いか (10)彼人のはあそこにある

一年前の回顧

滿倶恨を呑む（六月十八日）

一勝一敗の戰績を殘してファンの人氣をいやが上にも沸騰させた本社主催の實滿第三回戰は十八日午後四時二十五分から實業團球場において擧行、兩軍よく攻め、よく守り第六回までは得點なく、息詰るやうな緊張を示しましたが、ラッキーセブンに入り、實業山田の二壘右後方に放つたフライを二壘手落して生かし、武井の三側バントを投手一壘に高投して出壘せしめ、續く中川のバントを濱崎三投して間にあはず、無死滿壘さし、藤澤三振の後、次打者高橋へのカーヴ、肘をかする死球さなつて山田生還、最初の一點をあげ、つゞく渡邊の三遊間ゴロに武井、中川勇躍生還、その後高橋三盜して刺れ渡邊本壘を衝かんさして憤死しましたが、これに反し滿倶は必死の奮戰も甲斐なく遂に三對零で涙を呑みました

滿洲國少女使節（同十九日）

滿洲國最初の國際使節さして日本に使する滿洲各民族の花——津田壽美子、和泉美幸、金君姫、俞毓順、楊雲、雷靜濃の六孃に石田豐子女史に引率されて、十九日朝大連につきましたが、大連埠頭は出迎人で大賑はひを呈しました

滿倶雪辱成る（同 上）

十九日午後二時四十分から滿倶球場で擧行された實滿第四回戰においては、滿倶は前日の慘敗を雪辱せんさの意氣に燃えつゝも第一、二、七回に各一點を實業に物され滿倶は第四回に一點を返したのみであつたさころ、第七回裏に至つて必死の攻撃遂に功を奏して一擧四點を入れ形勢逆轉、實業の挽回成らず、五A對三で勝ち、兩軍二勝二敗の同率さなり、興味いよいよ最高潮に達しました

湯崗子襲擊さる（同二十日）

二十日午前零時五十五分、頭目海寛の部下約七十名の騎馬隊が湯崗子驛、溫泉玉泉館および守備隊分遣隊等を三隊に分れて襲ひ來つたので、玉泉館にあつた澁谷上等兵はこれを邀擊して即死、菊地二等看護長、渡上等兵は急を守備隊に報告せんさして何れも名譽の戰死を遂げました

實業覇圖空し（同二十一日）

昭和七年度の覇者を決する實滿第五回戰は二十一日午後四時二十五分から實業球場で擧行されましたこの日滿倶は充分休養した山口をプレートに送り實業は木下を連投させましたが、滿倶の銳鋒は最初から物凄く、一回一點、三、五回各三點、八回一點さ計八點をあげたるに反し、實業ナインは前日の元氣なく僅かに九回裏一點を得たのみで滿倶に四年連勝の名を爲さしめました

溫度うなぎ登り（同二十二日）

たゞ／＼しい歩みをつゞけてゐた滿洲の溫度も、二三日前から鰻のぼりに登つて、營口以北は三十度を示し、大連は二十二日正午二十七度、滿洲の夏はいよ／＼本腰さなりました

少女使節晴の入京（同二十三日）

滿洲國少女使節六名は二十三日夜石田女史に引率されて東京入りしましたが、一行を歡迎する群衆は驛頭を埋め、物凄い熱狂振りでした

滿洲國不承認要求（同 上）

十九國委員會を前に支那代表は事務總長に秘密覺書を提出しましたが、その内容は、わが國の滿洲國承認決議につき注意を促し、調査報告が總會で審議されるまで滿洲國の既成事實を有效さ認めずその原則を確認すべしさ要求したものださいはれました

福本海關長罷免（同二十四日）

總稅務司メーズ氏は二十四日一つの聲明を發するさ共に、福本大連海關長が保管銀行に寄託してある稅收を送金せよさのメーズ氏の命令を履行しないことを攻擊し、宋子文の許可を得て福本海關長を命令不服從の廉で罷免したさ發表しました

今週の獻立　山崎さとえ

	朝	晝	夜
日	豆腐の味噌汁 燒海苔	トーストパン ほうれん草スープ フルーツサラダ	胡瓜肉詰め ホワイトソース あわびの三杯酢
月	蕗の味噌汁 小蝦の佃煮	鯖の鹽燒 卸し大根	牛片さ三つ葉の清汁 すゞきのフライ 春菊のおひたし
火	小蕪のみそ汁 白魚の卸し和へ	茹り玉子 さろろ昆布のお汁	茗荷竹の清汁、鯛の刺身 ちぎりいもさじゆんさいの甘酢
水	あさりの味噌汁 らつ京	あんかけ豆腐 かぶらの甘酢	鯛のうしほ、燒豆腐さ莢いんげんの煮つけ、胡瓜さしその酢の物
木	落し玉子さ海苔のみそ汁 鹽昆布	鮭のコロッケ 生キャベツ	青豆のスープ ビフテキ 野菜サラダ
金	若布のみそ汁 生玉子	かしわのライスカレー 福神漬	やまさ芋のふわふわ汁 鯖すし ほうれん草ひたし
土	ふだん草のみそ汁 ざぜん豆	海苔巻 椎茸さ三つ葉のすまし汁	ロールキャベツ 鯛さマカロニの南蠻燒 うどの三杯酢

關東軍參謀部原作

叫ぶアジア

これは聖戰に殉じて藝術を捨てた若き聲樂家の愛國物語てす

★…蒼茫と暮れかゝる滿洲の野を、南へ南へとひた走つてゐた歐亞連絡の國際列車は、ほの暗い夕闇の中で長槍と青龍刀とモーゼルをかざした匪賊のために包圍された、非常號笛を聞いて我が日本軍の先驅車が馳けつけた時には、既に各國人四名の人質が拉致された後であつた。人質となつた二名の外人と一名の日本人は冷酷な鞭の下に喘ぎながら雪の曠野を數日間引き廻されて、やうやく北滿の或る部落、匪賊唐聚山の根據へと到着した、本陣は酒と女と歌とに、ごつたかへしてゐたが、人質の四名は物置小屋で鎖のやうに痛い寒風を防がねばならなかつた

★…その夜が明けて……、唐聚山は人質を金と替へるべく四通の要求書を作り人質の署名を強要した、だがその中で、唯一人の日本人、歐洲からの歸途を襲はれた聲樂家藤野義人だけは、署名をどうしても肯じなかつた、そのため鞭は風を切つて鳴つた、靴は彼の身體に飛んだ、だが……

「この屈辱が日本人の俺にどうして忍べるものか」

と、藤野は目を瞑り、唇を噛んだ、そして遂に藤野は銃殺されることになつてしまつた、陰慘な監禁室に銃殺の前の夜は明けて行つた

★…突然！藤野に救ひの手が伸びた、しかも支那服姿の美しい乙女が救ひ主だつた、匪賊の目をかすめて村外れまで導いて來た乙女は、數日間の食糧をつけた馬と、一つの磁石を藤野にあたへた

★…南へ、南へ、どこまでも南へ！、意外、乙女は凛とした日本語で云つた、驚きつゝも藤野は乙女の好意に無言で感謝し、教へられたまゝ南へ！荒涼たる曠野を走つた、そして漂泊の三日間、食盡き馬も斃れて唯死を待つのみとなつた時、天の助けか、遠くに鐵道線路を發見した……藤野が我に歸つた時、彼は溫かい日本軍人の手に看護されてゐた、乘りすてられてゐたモーターカーを無意識で藤野は運轉してゐたが、そこを北村中尉が發見して救つてくれたのだつた、歐洲に於て苦學中覺えた自動車の運轉が彼の身を助けたのだ

★…それから數日……藤野はすつかり元氣になつたが、突然北村部隊に出動命令が下つた、出動！強行軍！藤野は故國に歸るべく、この北村部隊に從つて數里離れた驛に向つたが粉骨碎身國家のために活躍する皇軍の勇士を鼓舞するため、行軍しながら卽興の「討匪行」を聲高く唄ひ始めた

どこまでつゞくぬかるみぞ
三日二夜を食もなく
雨ふりしぶく鐵兜

反復して唄ふ歌、唯感激の歌だ、この歌に泣く者の中に苦力通譯として臨時に傭はれ從軍してゐる支那少年があつた、この少年こそ、かつて藤野を救つた匪首唐聚山の娘紅蘭で、彼女は母を日本人に持つてゐたゝめ、日本戀しく、又藤野戀しく、彼の後を慕つて來たのであつた

★…北村部隊は豫定通り小驛に到着したが、既にその時驛は匪賊に遠巻きにされ、危急は迫つてゐた、鐵道は破壞され、電話線は切斷されてゐる、しかも大事な裝甲モーターカーの運轉手は斃れてしまつてゐた、軍の行動は休止を許されない

「ようし、モーターカーなら私が運轉しませう」

決然として云ひ切つた藤野は直に滿鐵社員の帽子をかぶり、少數の兵士と修繕工を乘せてまつしぐらに匪賊にとりまかれた中へ飛び込んで行つた、小刻みに震へる機關銃、兵士も滿鐵現業員もつぎつぎに斃れて行く、最後に藤野も匪賊がさか落しにして來た貨車を顚覆さすべく、脫線機をとりつけんとして傷いてしまつた、その時應援の我が裝甲列車が到着した、前進だ、前進だ！

「藤野しつかりしろッ」

北村中尉は云ひすてるなり部下を指揮して敵の中に斬り込んで行つた、血なまぐさい硝煙、雨霰とふる彈丸、戰ひは尙續く、討匪行、討匪行、討匪行、討匪行！

藝術を捨てゝ聖戰に殉じようとした藤野は今重傷に斃れ、純情の乙女紅蘭の手厚い看護をうけてゐる

唐聚山討伐に出動の北村部隊……(島耕二)

匪賊團國際列車を襲撃す

日本を慕ふ匪首の娘紅蘭

匪賊に襲はれた國際列車內

○○驛警備の滿鐵現業員

紅蘭を私刑に處せんとする匪賊

聲樂家藤野を救ふ紅蘭
(藤原義江と千葉早智子)

國際列車を救援の先驅車

明治四十年十二月五日第三種郵便物認可

滿洲日報

六月十七日發行

大連市東公園町卅一番地　發行所　株式會社滿洲日報社

經濟會議の重要主張 物價引上げ問題 英米と佛の意見對立す

【東京特電十七日發】ロンドン來電によれば十二日より十五日までの一般討議で各國代表は世界的不況の打開を說き會議の目的が何處にあるかを論ずることには一致したが、然らば如何にしてこの目的を達すべきかについては各國とも具體的提案をなさなかつた、經濟會議の大勢を支配するのは英米佛三大國の內協議で、日本、イタリー、ドイツは傍系に立つてゐる、英米間には戰債支拂の協定、爲替比率暫定的安定協定案が成立したから貨幣安定後に來る問題は金と物價との關係に關する國際政策である、英米はポンド、弗が、金本位より離脫するに至つたのは特に物價の安過ぎたためとなし、イギリスに卸物價の騰貴を求めてゐる、これに對しフランスは國內物價はこれ以上昂騰し得ない程度に達してゐるとて英米の物價引上げ策を喜ばず自由放任說を可としてゐるやうで、英米對フランス間に可なりな開きがあり、何れにせよ物價引上問題は經濟會議を一貫する主張で、これと爲替その他の重要經濟條件がどう決められるかは一般に重視されてゐる

二、技術的問題は專門委員會にて處理すること
三、貿易制限の如き重要問題は具體案を基礎にして討論すること
四、關稅休日協定を基礎として考慮すること
五、國策的可能性を緊密に研究すること

關稅休日參加 四十一ケ國

【ロンドン十六日發國通】關稅休日協定に對し既に四十一國が參加を通告した旨十六日公表された、而して右四十一國は世界全貿易の約八割を占める諸國である

吉林治安維持

【新京電話】治安維持に關する吉林省縣參事官及び警察指導官の打合會第一日は十六日午前十時より大同自治會館において關東軍司令部原田第三課長、軍政部兒島顧問、民政部竹內總務司長、長尾警務司長以下民政部各司課長、吉林省九縣參事官警務指導官出席し開會、竹內司長先づ開會の辭を述べ原田課長、長尾司長の講演あり、治安維持委員會の警備關係の說明あつた後各縣參事官の意見希望を逐次述べて各次提案をなし協議の後午後四時散會したが、十七日も引續き協議の筈

米國通貨協定に反對 經濟會議重大難關に逢着

【ロンドン十六日發國通】國際金融市場を支配するポンド、弗、法の比價安定は爲替相場の變動に惱む世界經濟界刻下の急務であり通貨休戰が關稅休日協定に缺くことを得ない附帶要件だとは國際經濟會議各國代表の一致した見解だがイングランド銀行、フランス銀行ニューヨーク聯邦準備銀行並びに英米佛三國財務當局は會議の一般討議と並行して着々通貨安定策の協議を進めつゝあり、此等三ケ國代表は十六日更に會議を開き審議を遂げることゝなつた

【ロンドン十六日發國通】本日の通貨金融委員會で米佛間に意見對立を生じ經濟會議は俄然重大難關に逢着した、卽ち昨日英米佛三國代表間に弗と磅及び法貨の比率安定に關し暫定的合意的であつたがこの試案に對しワシントンの米本國政府は右弗貨の暫定比率を不滿足なりとして承認せず、ウーディン財務長官は此種の協定は何等關知せずと公式聲明を爲し、その旨米代表部に通告し來たので、ハル首席代表以下俄然周章狼狽、更にワシントン政府に請訓した、他方フランス側は弗及び磅貨の安定を以て絕對必要事だとし、これなくしては通貨委員會はその事業を進める事は出來ないと頑強に主張して讓らないので、米政府の態度如何では經濟會議そのもの〻前途も俄に逆睹し難い形勢となつた

通貨金融委員會 二分科委員會を設置

【ロンドン十六日發國通】十六日午後三時から非公開で開會された通貨金融委員會は審議二時間四十分の後午後五時四十分散會した、右委員會ではチエンバーレン英藏相の提案に基き左の二分科委員會を設置することに決定した

一、卽時對策委員會
二、恒久對策委員會

兩委員會で審議さるべき主要題目は左の通りである

▲卽時對策委員會
一、信用政策
一、物價水準
一、爲替變動並びに統制の阻止
一、負債並びに融資の再開

▲恒久對策委員會
一、貨幣準備
一、中央銀行の職能
一、中央銀行政策の調整
一、銀行問題

伊藤委員意見開陳 經濟委員會で

【ロンドン十六日發國通】本日の經濟委員會には伊藤述史氏が出席、委員の自由討論に際し日本委員の個人的意見として左の點を強調した

一、重要ならざるものを第二として重要問題から先づ片づけること

北平守備隊分列式　北支那駐屯軍北平守備隊交代兵は本月上旬到着し邦人保護の任に就いてゐる、寫眞は東單牌樓における分列式

日米平和條約の重點 經濟會議後華府にて交涉

【東京十七日發國通】日米兩國間の恒久平和を確立すべき平和條約問題に關しては內田外相も政治的影響重大なるに鑑み愼重なる態度を以て研究を重ねてゐるが、其後出淵駐米大使より外務省に達した情報によればルーズヴエルト大統領及びその側近者も日米間に平和條約を締結することの政治的意義を認めつゝも國際經濟會議進行中に同問題を具體化することを欲せざる意向判明したので、內田外相も經濟會議の終了後ワシントンにおいて日米相互間通商關係調整のための互惠交涉行はるゝこともあるべき時迄右問題の具體化を差控へることに略方針を決定した、而して其際討議の基礎となるべき條約案は左の要點が內定されてゐる

一、條約案はブライアン條約案乃至ケロッグ條約案を基礎とする
一、米政府の汎米モンロー主義留保を承認すると共に滿洲國及び支那關係事件を適用範圍外に置く日本モンロー主義をも留保事項と爲すこと

波蘭、滿洲國と通商條約交涉 駐哈領事ド氏歸任後

【ハルピン十七日發國通】過般歸國した在ハルピン、ポーランド領事ドクラス氏は來る二十一日頃ポーランドより歸來する事になつてゐるが、同領事は歸來後は直に新京に赴きポーランド滿洲國の通商條約締結交涉を開始する事になるだらうと傳へられてゐる

大阪教育團

新興滿洲國の教育制度並びに教育狀況視察の目的を以て渡滿朝鮮經由來滿しハルピン、新京、奉天等奧地各方面を視察中であつた大阪市港區第一區滿洲教育視察團一行團長三橋節氏以下九名は十六日午後七時五十分着列車で來連し遼東ホテルに投宿したが團長三橋氏を訪へば語る

この度滿洲の教育視察の爲に參りましたが、奧地各方面を視察しまして先年私が參りました當時と比較しまして各地とも發展の素晴らしいのには驚きました新京では鄭總理初め田邊參議、小磯參謀長等にも御面會を得まして色々とお話を伺ひました、殊に軍部の方々の努力して居られるには吾々としてもこれを目の當り見て甚だ感謝に堪へない次第です、それから滿洲人の教育の實際を見ましたが滿人兒童が何れも落つきがあり、かなり禮儀の正しい所があり、吾々に對しても非常に打ちとけた物腰態度等は寧ろ內地の兒童教育上兒童の訓練上我々教育者として大いに考慮を拂はなければならぬといふことを痛感しました

なほ一行は十七、八兩日に亘り大連市內及び旅順見學の上十九日出帆のあめりか丸で歸國する

初等教育研究會總會

關東州初等教育研究會第三十三回第二部總會は二十四日旅順公學堂講堂において開催されるが、當日は午前中開會挨拶後、入退會者報告監督官の指示及び時局に對する決議をなした上、關東廳外事課長代理御廚信市氏の講演あつて休憩午後は普蘭店公學堂前田興鼎氏の「勞作教育について」の研究發表、引續き談話題として、金州公學堂岩本幸吉氏の「作業を主としたる訓練の實況」附屬公學堂郭鳳鳴氏の「作業訓練の實際」貔子窩公學堂森脇六十一氏の「學堂訓練について」及び同題にて伏見臺公學堂樋田金次郎氏の談話的協議を行ひ午後三時閉會の豫定だが、三時十分より堂庭で會員懇親會を開く事になつてゐる

北支の新政權 政務整理委員會成立す

【北平特電十七日發】日支停戰協定成立後の北支治安維持を中心として組織された行政院駐平政務整理委員會は十七日成立した、當日は先づ黃郛委員長より挨拶があつた後日支停戰協定成立前後の動靜その後の交涉顚末を詳細報告した、同委員會を構成する人選を決定し中立地帶の撤兵後における警備方法を始め號稱四十萬と號せられた北支駐在支那各軍の地盤整理對馮玉祥問題等具體的協議に入つた、この委員會が成功を收むれば將來は同會が實質的に北支の政權を掌握するに至るであらう

胡漢民を盟主に西南獨立政府 近く聲明書を發表

【上海特電十七日發】胡漢民を始め西南派の各要人は數日來香港に參集して重要會議を續けてゐたが右會議の結果胡漢民を盟主として廣東、廣西、福建の三省を合同して西南の獨立政府を樹立する事に決定し近く聲明書を發表することゝなつた、しかしながら一部ではこれが實現は疑問視せられてゐる

【北平特電十七日發】南京政府行政院駐平政務整理委員會は十七日舊外交部官舍において正式に成立した、政務整理委員會の管轄區域は河北、山東、山西、察哈爾、綏遠の五省にして沈鴻烈も委員に加へられる筈で、北支における新政權はかくて陣容成つた譯である、政務委員會が察哈爾省を管轄することになつた結果、該省における各軍の裁撤は委員會の手に歸した譯である、委員會は馮玉祥に對し近く馮を林墾督辦に任命した上、政治的方法をもつて馮の勢力を分散すべく企圖してをり、孫殿英に對しては靑海督辦に任命することゝ確實であるが、孫の赴任は疑問視さる

李軍の處置問題 于學忠の意見表明

【北平十七日發國通】來平した于學忠は灤東處置問題について左の如く語つた

李際春等の希望は
一、改編後の人數を一萬名まで留むる事
一、灤東に駐防せしむる事

の二項であるが、第一項は調査によれば同軍は實際上一萬に達し居らず、その要求を容るれば必ず土匪を以つてその不足を補ふべく、これは整理上困難だから同軍改編後の兵數は五千に止めたい、第二項の要求についてはこれを容せば地方秘收行政整理の進行上障碍となるべく同軍駐防地點については尙商議續行の上決定したいと考へてゐる

委員會管轄

【南京十七日發國通】行政院會議は十六日午後汪精衞主席の下に開會、北平政務整理委員會の管轄範圍その他について左の如く決定を見た

一、北平政務整理委員會の管轄範圍を改めて河北、山東、察哈爾、綏遠、山西の四省及び北平、青島の二市となす
一、沈鴻烈を北平政務整理委員に加ふ
一、北平市長周大文の辭職を認め袁良を北平市長に任す
一、開灤鑛務局督辦の辭職を認め章保世を以つて之れに任ず

南京政府辭令

【南京十七日發國通】南京政府は十六日附左の如く發令した

一、北平市長周大文依願免本職、江西省政府委員袁良任北平市長
二、政務整理委員會委員黃紹雄、丁文江、依願免本職

委員長午餐會

【北平十七日發國通】開會式を終つた各委員は一應宿所に引揚げたが、正午再び會合、黃委員長の邸館における委員歡迎午餐會に臨んだ、席上黃郛、何應欽、韓復榘、于學忠、宋哲元、徐永昌等の間に馮玉祥問題が論ぜられた模樣である

熱河行（六） 武藤夜舟

南天門

喊聲を衝いて、わが爆擊機は轟々たるプロペラの音勇ましく、彼我砲聲は忽ちにして開始せられ、機關銃の爆音は山間にこだまし五月十一日既に南天門附近の敵陣地を奪取し、司令部は門外上甸子へ前進す。

南天門外道路の兩側には多數の敵の死體散在し、異樣の臭氣鼻を衝く。

化學工業の課長任命

滿洲化學工業會社はいよ〳〵近く工事に着手するので職制を設けて陣容を整へると共に左のごとく課長級を任命發表するところあつた

庶務課長を命す　渡邊奉綱
經理課長兼用度課長を命す　河本茂次郎
建設事務所長兼建設事務所事務長兼同工務部長を命す　深山達藏
建設事務所計畫部長を命す　後藤久生
東京出張所長事務取扱を命す　小林理一

なほ本職制は甘井子工場完成までの暫定的のもので、從つて社員數も少いが工場運轉と共に新採用社員を入れて正式の職制をつくる筈

うらる丸の船客

【門司特電十七日發】十九日大連入港豫定のうらる丸主なる船客諸氏

愛國婦人會長本野久子、堀內陸軍中將、龜井夫人、小野新三、大連窯業社長津上延治、大阪商工議員中島幾三郎、三井物產社員鳥羽貞三、齋藤貞藏、土木技師高野宗久、姬路新報重役松浦謙次郎、服部時計店淺沼謙之助、金子利八郎、園田定吉、中島鹽圓、永井直雅

人事

▲尾之上弘信氏（外務省情報部員）約三週間の豫定で滿洲各地視察のため十七日入港のあめりか丸で來連ヤマトホテル投宿
▲角田慶嗣氏（陸軍步兵大尉）同上
▲水谷光太郎氏（滿鐵顧問）同上
▲二木謙三氏（醫學博士）同上
▲曾根田誠作氏（大洋公司專務）同上歸連
▲藤原銀次郎氏（貴族院議員）八時着列車で着連直ちに十時出帆のばいかる丸で隨員三名と共に離滿
▲大阪府貿易館主催滿洲視察團（一行二十三名）同上
▲東京遠征滿洲軍柔道選手（一行三十四名）同上
▲奉天省立第三師範學校生徒（三十三名）同七時發列車で離連
▲大連キリスト教會商業講習生（百七十名）同上
▲旅順中學生徒（一行五百八十六名）同七時半着列車で着連
▲旅順公學校生徒（三百八十八名）同上
▲秋田商業生徒（三十名）同八時着列車で同上
▲日下辰太氏（關東廳內務局長）同上歸任
▲米內山震作氏（關東廳調査課長）同上
▲中山安德氏（實業公論社長）同上
▲青木新一氏（新京鐵道事務所長）同上

蛇角

高橋さんの言分が又變つて「增稅は考へ物」達磨さんの心理こそ常に考へ物。

◇

政友會、雨降つて地固まる、尤も雨はこれから煩い程降る。

◇

政治家としては立派だが總裁としては落第、と鈴木親分醜く見縊られたもンだ。

◇

學者としては立派だが總長としては落第、と同じく見縊られる人に小西博士あり。

◇

滿鐵の借用證文を逆に行つて滿鐵に貸金請求をした銀行がある、サテ〳〵銀行業務も複雜だ。

東天紅（116） 田中純作　林一三畫

留守宅（七）

あちこちと、三四軒も電話をかけて、やつと一臺の自動車を狩り出すまでには、それから三十分近くもかゝつた。

二人は、すぐに、神田家に驅けつけた。

しかし、かうして、初對面からいがみ合つた二人は、自動車が神田家の玄關に着くまで、お互に口を利き合はせなかつたほどに、どちらも、惡い印象を持ち合つてゐた。

田舍者で、世間のブルジョア生活に就いては何も知らない相良にすれば、こんな場合に、自動車を要求したりすることの醫者が、ひどく不誠實で冷淡であるやうに思へたし、原氏にすれば、こんな深夜に、無理矢理に他家を叩き起した上に、夜道を歩かせやうとまでするこの男の無禮さが、氣に食はなかつた。

（大體、あの奧さんが氣が利かないんだ。そんな急病人ならば、氣を利かして、自動車くらゐよこしたら好いんだ。賢夫人とか何とか言はれても、やつぱり、お孃さん育ちは駄目だな）

眠いところを起されて、一層不機嫌になつて居るこの醫者は、自動車の中で、そんなことまで考へてゐた。

而も、かうした焦立つた心境の中で、醫者は、しば〳〵、重大な誤診をやるものである。

實際、今夜の自分を、理不盡に叩き起された犧牲者のやうに感じてゐた原氏は、最初から、病人の容體を輕く見やうとするやうな、一つの先入觀念に捉はれてゐた。

（なアんだ。こんなことで私を叩き起したのですかい？）

彼は、患者を見ないさきから、さう言つてやりたい意地を感じてゐたのだ。

だから、惡子を一通り診察して發熱度も大したものでないことを知ると、腸の方に多少不安な點のあることを感づいてゐながら

「いや、これア、お騷ぎになるほどの病氣ぢやアないです。今のところは、たゞ輕微な風邪の程度ですから、周圍であまりお騷ぎにならないで、ゆつくり安眠を攝らせれば、明日はもう癒つて來るでせうから」と言つてしまつた。

「では、別に、質の惡い熱ではないのでございますね」と、文子は訊いた。

「大丈夫です。幾らかお腹が張つて居るかとも思ひますが、かう言ふ熱のある時には、多少の不消化は有り勝ちのことですから、大して問題にするには當らないでせう。まア、ゆつくりと安眠させることが第一ですから、睡眠藥でも少し上げて見ませう」

「まア、それを伺つて、私も安心いたしましたわ」

「いや、私も、お使ひのお話しを聞いた時にはびつくりしました。何しろ、熱が四十度もありさうなお話しでしたからね」

「まア、相良さんが、そんな風におつしやつたのでございますか」

「いや、どうも、大した劍幕で叩き起しにいらしたものですからね——一體、どなたです、あの人は？」と、原氏は、わざと氣輕さうに話頭を變へた。

「良人のお友達ですの。良人が今北海道に參つてるものですから、お留守居かた〴〵來ていただいてゐるのですけれど」

「しかし、神田君の御友人にしては、隨分お若いぢやないですか」

「はア。何ですか、良人は、お若い方とばかりお交際してゐるものですから」

間もなく、醫者は、相良の運んで來た手洗水で手を洗ふと、歸つて行つた。

しかし、その歸りの自動車の中で

「どうも、あの男は怪しいぞ」と醫者は、心の中で呟いてゐた「この眞夜中に、あの男と妻君と二人きりしか起きてゐないらしかつたからな。ふふん、藝術家出身の妻君なんてものは、およそ、信用の出來ないものだて……」

滿蒙學術調査團が愈よ熱河踏破
七月下旬に東京出發

【新京電話】陸軍省及び外務省の後援の下に聖上陛下恩賜の學術奬勵金及び内務省對支文化事業費より經費を受けて科學的調査未着手の熱河を踏破し調査をなすべく德永博士を首班とする滿蒙學術調査團は愈々實現されることになり一行は來る七月下旬東京發八月三日錦州より熱河に入り滿蒙隊發の文化的工作の第一歩に入ることゝなつた、尚ほ研究科目及び擔當者は次の如くである

一、調査科目
▲生物學（植物學、動物學、人類學）
▲地學部（地層學、古生物學、構造地質學、岩石學、鑛物學、地理學）

一、各科目擔當者
▲團長　早大教授、東大講師　理學博士 工學博士　德永 重康
▲植物學　東大教授、植物園長 理學博士　中井猛之進
東大助手 理學博士　本田 正次
植物學教室勤務 理學士　北川 政夫
農林省囑託　岸田 久吉
▲動物學　京城帝大豫科教授　森 爲三
▲人類學　東大囑託　八幡 一郎
▲地學部　地層學及び古生物學 外務省上海自然科學研究所主任、研究員東北帝大講師 理學博士　淸水 三郎
東北帝大副手 理學士　松澤 勳
▲構造地質學、岩石學及び鑛物學 館地質研究所技師 理學士　伊原敬之助
外務省上海自然科學研究所助手 理學士　佐藤 捨三
▲地理學　東大助教授 理學士　多田 文夫

この外醫師一名、測量技師一名、通譯四名及び警備として陸軍將校二名、警備員三十名、合計約五十人でこれに人夫約三十名を使用する筈である、なほ一行は熱河內園場、赤峰、烏丹城まで調査の步を進める筈で十月二十日北票に歸着し解散するはずである

學生調査隊も渡滿の準備
先發の角田大尉來る

すく〳〵と成長しつゝある新興の滿洲國を、向學心に燃ゆる若人の手によつて、あらゆる專門的な見方から調査研究し併せて日滿學生をしつかり結びつけるべく計畫された日本全國の各大學專門學校學生よりなる約千三百名の滿洲調査隊は、着々渡滿の準備を進め愈々七月十五日世界週航々路の一萬噸級豪華船りお・で・じあねーろ丸を仕立てゝ神戶出帆華々しく渡滿することになつた、全學生は夫々の專門から、工、鑛、商、農業、土木、植林、動植物等十數班に分れ、約一ケ月の豫定で南滿より北滿、更に熱河の奧深く、それ〴〵食糧、衞生、警備各班を引きつれ實地につき徹底的に探査を進めることになつてゐるが、十七日入港のあめりか丸でその尖兵となり滿鐵、關東軍方面と下準備をなすべく近衞師團附步兵大尉角田懲磯氏が來連した氏を船中に訪へば語る

學生は各大學、專門學校から選拔されたものばかりだから、何れも身體頑健で、困苦に堪へる自信のあるものばかりです、まだ匪賊等の危險もあることだし奧地にはいるのだから充分準備をさとのへておく必要があるので、一行より一足先にやつて來ました、學術調査隊といふことになつてゐるが、根本の目的は滿洲國の學生としつかり提携させることにあるのです、學生達は危險を冒しても目的を達すると皆大乘氣で、その準備を急いでゐます【寫眞は角田大尉】

全滿列車のスピード・アップ
國鐵の新ダイヤ成る

【奉天電話】來る九月一日より一齊に實施する國線新ダイヤの編成については鐵路總局旅客課において鋭意完成を急いでゐたが大體において出來上つたので更に各鐵路局と協議の結果最後案を決定し來る二十二日管理各鐵路局の代表者を招集の上打合せ會を開催し新ダイヤについては協議することになつた

なほ編成された新ダイヤにおいては山海關と吉林間、雄基と新京間、營口と鄭家屯間の直通列車が運轉されることになつてゐるので實施の曉は現行の大連チチハル、奉天チチハル、大連吉林の各直通列車の運行とゝもに六大直通列車によつて全滿交通のスピード・アップに一大拍車が加へられる

名譽の除隊兵 惡心を起す
郵便貯金帳を盜んで私印を僞造し捕はる

身は支那駐屯軍の名譽ある除隊兵でありながら生活難から心の駒が狂ひはじめ、天魔に魅入られて惡に手を染め、一度は良心の呵責から春日池に身を投じて自決せんと決心し、遺書まで認めたが、遂に天網遁れ難く死の前に小崗子署司法係の手に逮捕され今は私印僞造行使詐欺竊盜の罪名の下に取調べを受ける除隊工兵一等兵がある

原籍山口縣、當時播磨町百ノ一素人下宿川本方吉津清(二四)は昭和六年一月十日現役兵として第五師團隷下工兵第五大隊に入營し同年末天津方面の事態急迫するや臨時派遣工兵部隊に編入されて天津に出動、昭和七年十一月まで幾度か重大任務に當り無事滿期となつて除隊宇品に凱旋したが

打ちょせる不況は彼に職を與へず折からの滿蒙熱さかつて大連にゐた親戚から本年二月來連、前記川本方に下宿し市內信濃町羽月商店の世話によつて魚行商を行つてゐたが思はしくないので最近では爲すこともなく坐食してゐる內遂に金に窮して惡心を起し同宿の北田保次が料理店「此花」で夫婦共稼して貯金し百餘圓の郵便貯金帳をもつて虎の子のやうにして持つてゐることを知つて去る十四日夫婦の稼に出た後を狙つて右百十五圓記入の通帳を竊取し小崗子平和街一番地支那印判店にて北田の私印を僞造し十五日大山通郵便局より九十五圓を詐取し、その足で小崗子曙廓十三品川樓に繰込み美代子(二一)を相手として居つゞけをきめ込んでゐたが十六日夜遂に良心の呵責にたへかねて十七日朝春日池に投身すべく決心し下宿先きと警察に宛てた遺書をしたゝめてゐるところへ擧動不審から密偵を續けてゐた小崗子署刑事係員に右の犯罪事實をつきとめられ品川樓で難なく吉津は逮捕された

吉津は逮捕當時軍隊手牒と殘金二十圓の郵便通帳とのみ所持し九十五圓の金は全部使ひはたしてゐた

行金橫領で服役し誣告の告訴を提出
正隆銀行を相手取り

行金橫領で入獄した元正隆銀行員が「あれは正當な貸付だ」と主張し法人たる銀行を相手取つて誣告の告訴を提出し目下大連署司法係で正隆關係者につき取調べてゐる興味ある事件がある――現在熊本市二本町五〇一居住草壁義雄(三九)は去月二十五日正隆銀行四平街支店を相手取り誣告の告訴を四平街警察署に提出したが、當時の事件關係書類が本店に保管されてゐるといふので去る十五日事件が大連署司法係に移牒された、告訴の內容は

告訴人草壁は大正九年十月二日正隆に採用され四平街支店詰となつた、しかして大正十二年一月草壁は奉天票買付資金として當時の四平街支店長代理竹田計二郎氏（現安東支店長）の承諾の下に金二萬圓を手形證書によつて貸付を受けその後一萬圓を返濟した、然るに大正十三年右貸付の不整理を理由に免職となり鄕里熊本市に歸省したところ昭和二年初頭正隆四平街支店の口頭告訴により文書僞造詐欺の罪名を被せられ同年六月二十九日熊本裁判所で懲役一年を言渡されて服役した、昭和三年六月廿九日刑務所を出所して見ると四平街支店から一萬六千六十七圓五十二錢の貸付金請求の書狀が送達されてゐた、右は明かに正隆は貸付金と認めてゐるが故に請求して來たものでこれに對し文書僞造行使詐欺で自分を訴へ前科の汚名を着せたことは誣告であるといふのである

貸金でない
山本正隆支配人談

右に就き正隆銀行山本支配人語る　草壁に對し當行として金を貸付けた覺えは全然ありません、この事件は草壁が四平街支店勤務當時客の當座預金一萬數千圓を使ひ込んで帳簿を誤魔化してゐたことが判り、草壁は逸早く姿を晦まして終つたのです、私の方では警察に搜査願を出して置きましたところ、熊本で捕へられ一年の懲役となつたといふことを後で聞きました、貸付形式で請求したといふことは整理上單にその形式を執つたまでゝ當行としては損害金を請求したもので、これを奇貨として貸付金だと主張し當行を相手取つて誣告の告訴をすることは實に不德義極まることであると思つてゐる、どつちが正當かは當局の御取調べで明瞭となるでせう

開魯にコレラ發生
城內外に猖獗の模樣

【奉天電話】最近開魯にはコレラ發生し十七日現在までに城內に四五名城外に相當數の患者を出し猖獗してゐる模樣である

鮮銀平壤支店を襲つた首魁逮捕
逃亡中に警官を射殺

【平壤十七日發國通】朝鮮銀行平壤支店襲擊の陰謀を企て警官に拳銃を亂射した儘逃走した赤色ギャングの首魁平壤府內倉田里生れの徐元俊(二七)は共犯安永俊の逮捕された後も杳として行方をくらましてゐたが十日黃海道で富田巡查部長を射殺し平南警察隊數百名に包圍されその警戒線を突破したが十六日遂に逮捕された、右に關し平南警察部は左の如く發表した

十六日午後十一時十分徐元俊は平南平原郡東松面靑龍、酒業朴載舜方に潛伏中を平原移動搜査班金致信、高木滿兩巡查に逮捕され犯人所持の自動式拳銃及び實彈十一發も押收したが死傷者は無かつた

慘殺邦人氏名

【天津十七日發國通】去る十四日北寧線古冶北方十支里趙各莊に於て支那敗殘兵のために慘殺された邦人は安原健一と稱するもので他に一名の邦人と鮮人は何れも負傷して居る事が判明したが身許その他に就いては詳細は不明である

監禁邦人釋放

【天津十七日發國通】停戰協定成立と同時に支那側より軍事探偵の嫌疑で不當に拘引監禁されてゐた邦人はそれ〴〵釋放されたが北平軍事分會に依り軍事探偵の嫌疑で半年に亘つて支那監獄に監禁されてゐた田中忠三君も日本側の嚴重な抗議により十六日釋放され當地天津病院に引取られ目下加療中である

建國記念體育大會
中等學生四千名參加

關東州學校體育聯盟並に關東廳體育研究所共同主催による建國記念の關東州內男子中等學校體育大會は十七日午前八時三十分より大連運動場において大連一中、二中、商業、旅順中學、旅順高等公學校男子部の五校、四千餘名參加の下に擧行、定刻全生徒中央役員席前に整列、君ケ代合唱裡に中央ポールに國旗を掲揚し、日下內務局長開會の辭後體育歌合唱、合同體操をなし直に各競技に移つたが折からの小雨を侵して各出場選手奮戰スタンドを埋める各校應援團はそれ〴〵應援歌を高唱して聲援を與へる午前中の戰績左の如し

▲籠球
大連一中 23（一三―四、一〇―四）18 旅順高公
旅順中學 20（一六―五、一三―八）13 大連商業

▲排球
大連商業 2（二―〇、二―一）0 旅順中學
旅順高公 2（二―一、二―一）0 大連二中

▲庭球
旅順高公 4（四―〇、〇―〇）大連二中
大連一中 1（一―〇、〇―〇）旅順中學
旅順中學（一〇―六）旅順高公
大連二中（一二―一）大連一中
旅順高公（八―五）大連商業
大連二中（一二―〇）旅順中學

陸上競技
▲青年組百米豫選　A組一着光田五郎（一）一一秒四、二着高還義（公）三着近田忠雄（一）B組一着藤島博（商）一一秒六、二着文安福（公）三着永野慶馬
▲八百米決勝　一着見寶林（公）二分一一秒九、二着裴文革（公）三着立石義輝（旅）
▲四百米豫選　A組一着光田五郎（一）五八秒五、二着中原勝巳（商）三着林保彥（二）B組一着大內輝雄（二）五八秒三、二着福田耕作（商）三着多田功（旅）
▲砲丸投決勝　一等張永惠（公）一一米二、二着柳憲淸（旅）一一米〇一、三着品川重定（二）一一米
▲百米決勝　一着光田五郎（一）一一秒五、二着藤島博（商）三着高還義（公）

劍道
大連商業（一三―一一）大連一中
大連二中（一八―四）旅順中學
大連商業（一六―九）旅順中學
大連二中（一八―一〇）大連一中

柔道
大連二中（四―一）旅順中學
大連商業（三―二）大連一中
大連一中（三―三）大連二中
大連商業（六―一）旅順中學

デ盃準決勝 日濠組合せ

【パリ十六日發國通】十七日よりパリで行はれる日濠デ盃庭球歐洲ゾーン準決勝組合は十六日抽籤の結果シングルス左の如く決定した

十七日　佐藤對マクグラス　布井對クロフオード
十九日　布井對マクグラス　佐藤對クロフオード

運動選手の體力を調査研究
滿鐵衞生課で準備中

運動選手の體力測定、筋肉、骨格の異常發達の調査研究は既に內地大學に於いて行はれてゐるが滿鐵衞生課では今回滿洲の運動選手に就いて醫學的調査をなす計畫を樹て內々準備を進めてゐる、是が調査は醫學各部門に亘り骨格、筋肉は勿論內臟試驗まで行ふので大連醫院、衞生研究所の助力を求めればならぬので近く協力方を折衝するが又運動直後の狀態を調査する爲め體育係との協力の上先づ第一期には陸上競技の選手を對象として調査を行ふ筈である

この完全なる研究の結果を得るには五ケ年を要するがこの研究によつて滿洲風土との關係及び運動選手の肉體的基準を發見し得られるものとして期待されてゐる

滿洲修養團 發團式へ
二木博士來る

榮養學界の權威として知られてゐる二木謙三博士は本年三月傳研、東大等すべての公職を勇退し修養團常任理事として活躍中であつたが二十五日新京において行はれる滿洲修養團の發團式に平沼團長代理として出席すべく十七日入港あめりか丸で尾形榮造氏帶同來連した（寫眞は二木博士）

柔道遠征軍 けさ出發
七年振りで

全滿の精銳を網羅して東京學生柔道聯盟並に全鐵道省柔道軍と對戰することになつた全滿洲軍三十三名の强豪は燦ある滿洲軍の歷史を飾るべく必勝の意氣に燃えて十七日出帆のばいかる丸で七年振の內地遠征の途についた【寫眞は一行】

ハルビンの路上に爆彈

【ハルビン特電十六日發】北電發電所爆破未遂で市民が極度に不安に驅られてゐる矢先又復十六日朝四時頃モストワヤ街の邦人密集地城內に爆擊用の爆彈を通行人が發見し大騷動を演じた、目下鑑定中だがハルビン入城當時の不發爆彈ならんと見られてゐる

水道掃除日割

大連民政署では來る十九日から左記日割によつて第三回の水道鐵管掃除を施行するから例によつて該當日は時々洞濁し又は斷水することがある

▲十九日　山手町、三春町、日吉町、秋月町、日出町、雲井町、明治町
▲二十日　朝日町、大江町、久方町、三室町、紅葉町、伏見町、松山町、常盤町、羽衣町
▲二十一日　山手町、大平町、香取町、千代田町、東山町、汐見町、常盤町、錦町、博文町、伏見町
▲二十二日　山縣通、東公園町、淡路町、紀伊町、彌生町、博文町、千歲町、大黑町、惠比須町、榮町
▲二十三日　龍田町、東公園町、須磨町、土佐町、淺間町、三笠町、明治町、鹿島町、初瀨町、惠比須町、宏濟街、平和街、西崗街、大龍街、得勝街
▲二十四日　千代田町、淺間町、初瀨町、汐見町、三笠町、鹿島町、寶町、西崗街、得勝街、大龍街、平和街、福壽街、永樂街、新起街
▲二十五日　櫻花臺、向陽臺、初音町、西崗街、同仁街、久壽街、春公街、德政街、財神街、雲集街

舞臺裝置家の八木畵伯來滿

洋畫家にして舞臺裝置の權威八木淨一郞氏は師弟關係にある故坪內逍遙氏の歌舞伎「名殘の星月夜」に背景し尾上梅幸の家藝とまでなつた「お夏狂亂」において名技に加ふるに名彩を以てし舞臺效果に名聲を博し以來西歐オペラの照明に傳統支那文藝の追求に特に新劇運動舞臺裝置の一人者として知られてゐるが、此度滿蒙新國家の舞臺研究のため來連し近く何等かの形式に於て作品發表の豫定である

金塊詐欺求刑

金塊密輸の事實を聞き込んで去る四月八日瀨川キヌが神戶から金の延棒八本（八貫五百匁）を市內千歲町二六伊藤義丈方へ持ち込んだのを見ると〻けて小崗子署の刑事と詐稱し件の金塊を詐取した靑島章邱路麻住太三郎(五四)靑木淸藤(三四)にかゝる詐欺被告事件の公判は十七日午前十時大連地方法院高木判官かゝり開廷、岡本檢察官代理は麻住に懲役二年、靑木に懲役十月を求刑した判決言渡は來る二十三日

揚子江大增水

【北平十六日發國通】漢口來電によれば揚子江の增水は日一日と尺度を增し十六日正午遂に四十二尺に達し民國二十年大洪水の水深より三尺高く既に漢口特別三區は浸水し益々增水の模樣あり、兩岸の住民は大恐慌を來してゐる

僞刑事捕はる

十五日午後十時過ぎ長者町停留所附近に現れた僞刑事は十七日午前二時頃長安街六八番地の街路上に於て逮捕した、犯人は金州管內黃咀廟會平家屯十一の李慶吉(二九)と云ひ長者町の僞刑事々件を始め同樣手段の犯罪數件を自白した

マ機消息不明

【蜆港十七日發國通】カムサツカ方面ペトロ方面もマターン機の機影を認めず消息不明である

大江氏結婚

大連新聞工務局職長として多年同社に勤務の大江淸美氏は今般三井爵水氏夫妻の媒妁で山田三平氏方鈴木きの女と婚約なり來る廿三日結婚式を擧げ同夜遼東飯店で披露宴を張る由

野球問合電話

左の電話以外の御問合せは絕對にお斷りいたします
午後五時迄　六三四八
午後五時より　四四九一

天氣予報　十八日
南東の風　曇り　驟雨模樣

滿潮（午前七時一〇分 午後七時〇五分）
干潮（午前零時〇五分 午後零時五五分）

各地溫度（十七日午前十一時）
大連 二三　奉天 二四
旅順 二〇　新京 二三
營口 二二　新義州 二五

家庭

母の日を前にして……【上】
皇太后陛下の御仁徳を仰ぎ奉る

慶城にて　和泉徳一

六月二十五日は皇太后陛下御生誕の佳日でありまず、この佳き日を迎ふるに當りまして陛下の御仁徳の一端を皆樣へお傳へ申上げ度く存じます。

□……□

顧みますと、大正十四年の恰度今頃でありました。武藏野は新綠に燃え立つて居りました。私は二三の學友とこの武藏野を賞でながら所澤方面へ出掛けたことがあります。その途次、東京から所澤街道のほとんど終る頃合の所で、全生病院なる一見病院らしくない病院を發見しました。道行く農人に尋ねますとそれは癩病院であるとのこと。幼な心に映じた癩患者の哀れな姿を思ひ出し、この病院を訪れることに議一決して、一同は刺を通じました。院長は快よく私共を招じ、癩に就ての近代醫學の説明をされ、更にその研究室を案内され、癩菌がどんなものであるかを顯微鏡を以て説かれ、各樣の病狀に就て一々標本を示し、熱心にこの病が傳染病であることを説明して下さいました。私共は茲で始めて癩病は血筋でも遺傳でもないことを知り、病人を隔離すれば癩病はなくなること、この病院はその隔離病院であることを知りました。

□……□

院長は更に倦むことを知らない如く、私共の先に立つて病室を案内し、一人々々の病人について説明して下さいました。病室の一巡が濟みますと、これは輕患者の家ですと云つて青々と繁る並木の下に立並ぶ家々を見せて下さいました。其處には私共が幼心に映じてゐる癩病人ならぬ溫かい家庭人としての癩患者を見るのでした。老人、若い者、女、子供、それが嬉々として戯れ、働き、勉強してゐるではありませんか。机もあれば飯臺もあります。座蒲團、繪畫、鳥籠、金魚、庭には花、泉水迄造られてありました。並木道を拔けますと、小學校、禮拜堂、工場、それから廣々とした農場、富士山を望見する牧場迄あります。その牧場に丸々と肥えた乳牛が夕陽に映えてゐました。この牛は田母澤號と云ふ牛で、重患者用の牛乳はこの牛が供給してゐるとのことでした。この牛に就て院長光田健輔先生は謹んで申し上げますと改まつて私共に次のやうな話をして下さいました。

□……□

皇后樣(只今の皇太后陛下)は外國の高貴な人々が傳道僧となつて我が國に渡來し、癩病人の不幸な有樣を見、これを我が國の各所で看病してゐるのを御承知になり常にこれらの人々に對し御慰問の御言葉を下さるとのことであります。殊に沼津の御用邸に近い復生病院へは、御用邸御成りの都度に御使御差遣のよし拜承して居ります。しかるところ先年陛下には日光田母澤の御用邸御成りの御途次、當病院のことを御承知になり直に御使を以て金一封の御手許金御下賜がありました。外國の人々への御慰問に感泣して居りました私共は、この突然の御下賜に恐懼申上げたのであります。私共は日本人としての當然の責務をなしてゐるに過ぎません。日本人が日本人の癩患者を看病するのは當然であると思ひます。熟議の結果、御坤徳を永くお傳へ致さればと存じその御下賜金を以て購ひましたのがこの乳牛であります。この二匹の仔牛はこの母牛の産んだものであります。御坤徳は永遠に擔つてもく盡きない乳となり、不幸な人々の血となり肉となるでありませう。患者達は朝夕この田母澤號を通じ、大内山なる陛下の御仁徳を伏拜んで居るのであります(御寫眞は皇太后陛下)

涼風呼ぶ夏の寵兒
紙張り扇子全盛の傾向
子供用に萬國旗扇子のお目見得

▼▼…一九三二年の夏を征服した絹張扇子も今年は心機一轉して日本趣味横溢の紙張扇子に移行して、この夏は紙張全盛の傾きがあります、勿論絹張が全然その姿を隱したわけではなく絹張も方面によつては歡迎されてはゐます

▼▼…殿方用としては從來の樣な大型から漸次細目になり地が短く七寸五分ところで開數が多くなり、色調は銀鼠、鼠系の無地ものが中心となつてゐます

▼▼…婦人物は地が六寸五分ところ、色調はやはり鼠系統に青色で、模樣は秋草模樣ぼかし雲次いで花模樣、中には祇園團子のダラリの帶姿等があり總體的に日本趣味豐なものが多くなつて來てゐます、紙扇子だけに、デザインが自由に取扱はれ、日本扇子の味はひを充分に發揮してゐます、お値段は三十錢位から一圓どまり

▼▼…絹張扇子は南洋方面に多く輸出される關係上、南洋植物とか南洋風景を入れたものが多いやうです、お値段は三十錢から一圓五十錢

▼▼…子供物として今年新しく出來たものに寫眞のやうな萬國旗扇子があります、萬國の旗を扇子の模樣にとり入れたものでお値段は二十三錢、それに子供に親みの多い童話のサルカニ合戰、カチカチ山といつた繪を描いたものが子たちの人氣を呼んでゐます、お値段は三十五錢

▼▼…團扇は別段これといつた變り型もありませんが、今年のモードとしては柳の柄に透し模樣が入つてゐる位でせう、何といつても上物は京團扇の黒塗柄でせう型はやはり楕圓形のものが一般にうけてゐます、模樣は御所車、秋草柳といつたものが中心で、お値段は十錢から五十錢、三本一組五十錢から一圓五十錢、五色團扇が五十錢、一圓

▼▼…團扇立は團扇以上に工風を凝されてゐます、型は帆かけ筏、水車と水に因んだものが多くお値段は一圓から一圓四、五十錢

▼▼…團扇籠は女竹、ごま竹が主で籠を荒く或は細く編み方に變化をつけてあるところが變化してゐる位でせう、お値段は四十錢から一圓(三越調べ)

子供のお話會　兒童圖書館で

電氣遊園内の大連伏見臺兒童圖書館では來る十八日午後一時から一二年生の兒童を中心としたお話會を開きますが、お話するのは南滿教育會の今永茂氏と元本社記者の青山捨夫氏です、なほ當日はお母さま方の來聽をも大いに歡迎してゐますが、會のあとで座談會を開くさうです

小河童を送り出す家庭への注意
先づお友達を選んでお遣り　泳ぐ時間は長きに亘らぬ事

六月も中旬を過ぎ暑さもいよいよ本格的となり焼けつくやうな陽光は、自由に水の世界を征服しようとする河童連を開設されたプール、海水浴場へと誘ひ、日曜毎に郊外は益々賑やかになつてゆきますが、放課後や日曜を待ちかねてプールへ繰出して行く腕白盛りの河童連を持つ親達にとつては心配ごとが一つふえたわけです。住宅近くにプール、海水浴場でもあればさして案じることもありませんが、家を離れ相當の遠距離を電車などで友人と海水浴に送らなければならない家庭の人たちは充分そのお友達を選び、なるべくなら知人で相當水泳の心得あるものと同道させることが必要です

そして　泳ぐ時間を定めて長時間にわたらせないことです一寸した不注意のため取返しのつかない悲劇を招くことがよくあります、又虚弱兒で醫師に止められてゐない限りはプールに海邊に連れ出して鹽風にあたらせる一方無理しない範圍で水泳の稽古をさせることも耐久力を作る意味で大切だと思ひます

風儀上の關係で裸體になる事は喧しくいはれてきましたが、室内や人目にふれぬ庭園などで裸體になる事は寧ろ奬勵したいと思ひます、裸體では禮儀を缺くといふ説を出す人もありますがこれも時と場所を考へて特別やかましくいつて重い着物などを行儀よく着せる必要はないと思ひます、出來る限り女兒の通學服も袖無しノーストッキングやランニングシャツの樣なものを着せ自然の生活に近づかせ出來る限り裸體主義に願ひたいものです(香川大連賓前校長)

コンボ ト ンタツミ

衣服の色合と容貌

衣服の色合はその人の容貌によつて違へればなりません、色の白い人はどんな色でも大抵は似合ふものです、その點黃色人種である日本婦人は餘程注意すべきであつて、お化粧することは顔を綺麗にするばかりでなく、衣服を引立たせることにもなるわけです、そのうちでも白色は色の白い晴れやかな顔の所有者によく似合ふもので、衣服の色が他の色であつても、衿とか袖口だけにでも白を使ふと引立つものです、けれども沈み勝ちなすぐれない顔色の所有者は白をさけてその代りにクリーム色などをあしらひ、その沈み勝ちな顔を目立たせない樣にすることです、黒色も色の白い晴れやかな方には上品でよいが、沈み勝ちな方にはその缺點を一層強く感じさせますから避けるやうにしなければなりません。

家庭顧問

顔一面にカブレやうのもの

【問】二十三歳の人妻で三月末から顔一面にカブレ樣のものが出來、醫師に診せましたら急性濕疹とかで注射を三本もしましたが一向よくなりません。ひどい時は癩病か梅毒みたいで髮の毛一本でもふれると蟲がゾロゾロ這ひまはるやうな惡感があり搔くと其處がカブレた樣になるのです、娘時代にも夏は吹出物でずゐ分なやまされましたが今年も今からこれではどんなに苦しめられることだらうと心配でなりません、何卒よき療法を御教示賜はり度う存じます(なやめる人妻)

賣藥で治療しても不可の時專門醫に

【答】濕疹やらカブレやら診察しないとわかりませんが試みに水楊酸〇・五グリセリン二〇・〇アルコール八〇・〇の調劑を毎日一回づゝ塗布してごらんなさい、暫くつゞけて見て段々枯れるやうなら連用し、若し反對に痒さが增したり顔がほてつたり汁が出たりするやうでしたら塗布をやめて專門醫の治療をお受けなさい(辻慶太郎)

下腹に大きな塊りがある

【問】二十七歳の人妻で結婚以來六年になりますが未だ一人も子供がございません、一昨年の春も昨年の春も月經が三ケ月もとまり下腹に塊りが出來て恰度姙娠の樣になりました、その度に醫師に診せましたが初めのうちはどちらも姙娠だと申されその度は腹帶まで致しました、そのうちにお腹の塊りも段々小さくなり月經がはじまりました今度も昨年の十一月月經があつたきりで今日まで一度も月のものを見ず下腹におへその上までの大きさの塊りがあります、別に姙娠したやうにも思ひませんが夜中になると胃に物でも閊へて來るやうに苦しくお腹を壓へると痛みます、體は九年前に一度チフスを致しましたきりほとんど病氣らしい病氣も致しません、何か病氣なのでせうか(惱むF子)

專門醫の診斷を是非受けなさい

【答】月經とお腹の腫物と何か關係があるやうにも考へられます、月經が無くてお腹に腫物が出來て月の經過につれて增大するとすれば普通の場合は姙娠でせうが又病氣で子宮内の輸卵管内に月經血が溜つて「ヘマトメトラ」「ヘマトザルピンクス」等の病氣もありますが極めて稀有の事です、專門醫の診斷が是非必要と存じます(岩男其一郎)

滿日各地版

縣長會議に現れた吉林省縣政改善策

討議をつくされた七項目要旨 今後の躍進期待さる

【吉林】吉林省各縣十六縣の縣長會議並に種々の用件を以て去る五日吉林發ハルビンに向つた熙省長三浦顧問、三浦總務廳長一行は十四日午前十一時半着列車にて無事用件を了へ歸吉したが、赴哈中に於ける主要問題であつた賓江、阿城、方正、富錦、双城、依蘭、楡樹、樺川、葦河、延壽、同江、密山、珠河、寧安、寶縣、勃利以上十六縣長會議は第一回の事とて可成りの收獲を擧げた、該會議に於て討議せる事項は大略次の如くである

第一項 地方財政＝各縣に於ては或は匪患に遭ひ或は水害を蒙り收支相償はざる點免れ難く縣に於てはこの收入不足に對し如何なる辦法を以て財政維持をなすか又今後如何にして收入の增加と支出の緊縮を圖らんとするか

第二項 私帖取締＝事變以來往々にして叛軍が强制的に私帖を發行せるもの多數有り或は又地方財政の窮乏に當りて私帖を發行せるもの等あるもこの私帖は實に商民に對して害を殘す事甚しく一方國家の幣政統一上より見ても大なる障害となり現在財政部に於て之が取締り方を嚴命し省に於ても本年中には回收すべき旨通令せる右期限内に回收出來得るか否かの辦法討議をなした

第三項 春耕＝去歲胡匪地方の擾亂を肆にしてより大半は今尙播種をなさず今や春耕の期に至りて各地方は比較的安穩に歸し地方春耕貸款の發給も既に濟み各縣に於てはこの機を利用し完全なる春耕を督催し尙又各縣長に於ても實情に則したる辦法を講じ實行すべきである、依つて此の實則辦法如何

第四項 剿匪＝各縣に於ける大匪團は既に掃蕩されたるも小匪の蠢動今尙跡を絶たず、今や繁茂期を控へて再び地方の擾亂を畫するやも計り難し之が徹底的掃討を期し以て萬災を未然に防止すべきである

第五項 警團並に自衞團＝地方の治安は警團及び保衞團の協力によりて確保されるものであるがこれに對しては法弱留强大いに内部の改善が必要であり、各縣近來の保衞團は鄕民の集合せるものに非ざれば匪賊を改編せるものにしてこれに如何なる訓練を施してこれを實際に有效なるものとし又警備自衞團における現在の缺點及びこれに對する改善方法等に關して縣長に實狀を說明せしめ完全なる辦法を作成毎日實施の要あり

第六項 實業＝農商工林礦等の事項は富國の根本である各縣における既設の事業成績及び今後の振興辦法を研究し天與の富を埋むる事無く之で新國家の富源發見を考究すべきである

第七項 教育＝文明國は教育の普及を最も重視す各地方に於ける學校の教授方法の改善及び一般人民の親國家に對する認識の促進過去における教育上の缺點の有無を如何に調査すれば將來の改善方法を明瞭にし得るやこれに對する討究

以上の如き内容にて今後遠からず新縣政も實施される運びとなつて居る、右に依る諸項の研究は實に實質的な參考となるべく今後の各縣長が努力せんとする新方針で大いに期待すべきであらう

本夫殺し 死刑執行

【旅順】昭和六年八月大連寺兒溝に於て本夫孫世宜を情夫李基昌(三一)と共に絞殺し原判決より終始死刑の宣告を受けてゐた孫祭氏(二九)兩名に對する死刑執行は十六日午後一時半旅順刑務所絞首臺において行はれた姦夫の李基昌は流石男だけに觀念の臍を固め係官に對し「自分が死んだら鄕里へ通知して呉れ」と云ひ殘し十二分で絶命したが姦婦の孫祭氏は未練にも「我的不知道―不是我一仰人哪……」を連發し五名の看守が總掛かりでする目隱しを雙手で剝ぎ取る大騷ぎを演じ漸く絞首臺に上らせこれまた十二分で絶命した、この日關東廳から立會した永田某＝假名＝はこの時腦貧血を起し大騷ぎとなつた

父母に置去られ二少年哀れ

奉天警察に保護願ひ

【奉天】頼む父親は情婦と出奔し頼る母親は働きに出たまゝ歸らず途方に暮れてゐる哀れな二少年……大分縣生れ野田しづえ(三五)は野田喜三郎と結婚し市内青葉町に居住し二人の間には四人の子供をなしたがその後夫の死亡後はしづえのかよわい細腕によつて一家を支持して來た、しかし女の身で充分な働きも出來ず川合もこうした一家をかゝへながら働かうともせず彼は女給と共に何處にか行方を晦ました

男の無情を恨む間もなく生活に窮したしづえは他所の家庭の手傳ひなどして僅かばかりの收入でその日の生活を續けて來たが女の身で十歲の男の子を頭に四人の子供を抱へて一家を支へることは容易なことではなかつた

そこでしづえは現在まで隣同志で面倒を見て呉れた孫王良方に三人の子供を預け一人の女の子をつれて出て行つた、その後時々送金はあつたが僅かばかりにしかも何時送つて來るか判らぬのでこれをあてにすることも出來ない有樣であつた

その後預けられた三人の子供の内最年少の三才の子供がこの程死亡し奉天署その他附近の人々の同情によりこれを葬ることが出來たが最近頼む母親の送金もトント絶えしかも今はどこに行つて働いてゐるのやら見當もつかぬので殘された二少年野田貝利(一〇)は目下加茂小學校の三年生それに可憐な哲ちゃん(六歲)は孫の妻を頼りに通學しお母さん〳〵と慕つてゐる有樣を見て何人も泣かされてゐるが十六日もその貝利が風邪の模樣で療養も出來ず遂に奉天署に保護を願ひ出た

面當に自殺

夫に情婦あるを知り 中年增女の嫉妬

【奉天】市内千代田通り一番地德昌公司自動車々庫普通店生れ李秋山(三五)の妻李周氏(三〇)が十五日午後四時ごろ多量の阿片を嚥下し苦悶中を家人が發見し大騷ぎとなり直に最寄の醫師の應急手當を加へたが間もなく絶命した、屆出により奉天署から永松警部補等が現場に赴き檢視をなし死體は夫李秋山に引渡した、原因は李周氏は鄕里にあつて夫と別れて生活してゐたが最近奉天で同棲することゝなつた何も知らない周氏は夫大事に忠實につとめてゐた處その信ずる夫には外に美しい情婦のあることを知り痴話喧嘩の末夫への面當てに嫉妬自殺を圖つたものであると

新しい苦難に喘ぐ東邊道の鮮農たち

經濟調査團歸奉語る

【奉天】東邊道南部地帶の土地經濟調査のため去月二十六日奉天總站から瀋海線で出發した朝鮮總督府の吉沛技師一行の調査班に加はり東邊道を東部に橫斷し鴨綠江を下り安東まで行程千四百支里、途中幾多の艱苦と闘つて警備の重任を果した奉天署の岩根部長以下十二名は十六日十九時二十五分の安奉線列車で

無事 歸奉したが岩根部長は疲勞の色も見せず頗る元氣で左の如く語つた

二十六日奉天を出發し瀋海線の南雜木に一泊、それから愈よ東邊道に入り永陵街で二泊、附近の調査を行ひ、六月一日永陵街を出發して二日夕桓仁に到着、同地では二日間調査をなし五日桓仁を出で沙尖子に向ひ同地から船に乘つて渾河を下り鴨綠江に出て朝鮮側の蓮潭に到着、八日に同地を出發し江岸の調査をなしつゝ永甸河口に行き十一日寬甸に着いた

寬甸 では一日間の調査をなし同地から二班に分れ長甸河に出で一緒になり十三日義州に到着對岸九連城の調査をなし十五日義州を出發して同日安東署に到着、調査班の警備を安東署に讓つて歸つて來たのである、一行の主なる調査は水田狀態であるが新賓、桓仁、寬甸とも多數鮮農が入りこんで水田耕作をなし早い處は植付をなしてゐる、事變當時主なる鮮農は引揚げて引揚げられなかつた鮮農が殘つてゐる關係か一般に鮮人の生活は

裕福 でない、賊とか不逞鮮人とか色々脅威を受けながら汗みどろになつて働いてゐる鮮農を見ると實に涙ぐましいものがある、事變前は小作料とか支那官憲殊に不逞鮮人から壓迫を受けてこの鮮農も泣いてゐたが現在ではかうした壓迫は除去され何れも王道政治を謳歌してゐる途中馬車又は步行を續けたが道路が惡いので隨分苦しめられた匪賊も小部隊の橫行はあるが大したこともなく一體に平穩に復し一行は

一度 も賊に出會せなかつた安奉沿線をしば〳〵襲擊した徐文海も今は桓仁で警察大隊長となり治安維持に當つてゐる

一齊射擊して頭目を逮捕

鞍山の六名組匪賊

【鞍山】十六日午前五時頃鞍山鐵西附屬地市場内南八番町一六農商聯合會々長高如九方に六名組の匪賊團が來襲したと云ふ急報に接した鞍山署では時を移さず非常召集を行ひ阪井、栗原兩警部補の一隊は直に現場に出場し、原田警部補の一隊は賊の退路を遮斷すべく乘馬にて五家臺方面に二軍、新村、本鄕の三部長の一隊は千山方面に出動、賊團を挾擊隊形を取り進擊中、阪井部隊は鞍山西方二邦里の南大路部落西端で賊影を認め一齊射擊を浴せて頭目滿天飛を逮捕した、此の頭目は高如九方に闖入の際咽喉部に貫通銃創を負つて居た慘虐飽くなき二十二歲の頭目滿天飛は咽喉部の重傷に喘ぎながら石川警察醫の注射に依つて斷末魔の峻嚴なる取調を受け恐ろしい犯行の數々を自供したが、賊團は三月二十二日夜鐵西永樂町福生祥方を襲ひ金票大洋五千數百圓を强奪し五月十一日五家臺賭博場を襲つて逃走の際鞍山署李巡捕長と遭遇交戰の上これを射殺し、越えて五月二十六日夜某遊廓で弓張嶺採礦所守衛高橋勝利及び相澤某の兩名を人質に拉去し途中無殘にも高橋を射殺した恐ろしい犯行を自供した

またも怪しげな鑛脈の鑑定家現る

奉天署で取調べ開始

【奉天】市内霞町五番地に心靈鑑定界の權威者有田靈鑑堂といふ看板をかゝげ本部は東京日本橋吳服町に置き鑑定を開始してから五十年間の多年の經驗を積み一度も誤つたことなしとして

一、鑛物の有無善惡及脈筋
一、石炭の有無善惡及脈筋
一、山林の立木有無
一、水脈、溫泉善惡

等實地に見ないで座居しながら地景を知ると大袈裟な宣傳をなし良民を惑はしてゐる一婦人あり、右は有田つれ(五五)と稱し本年三月八幡市から來住したもので常識から考へても之を見當るやうなことは想像も出來ず奉天署高等係では直にその内容を調査してゐる

鷄冠山附近逃亡匪出沒頻々

討伐軍の追擊愈々急

【鷄冠山】第二次三角地帶討伐にわが精銳なる軍隊の間髮を入れざる急追をうけて、本據を失したる匪賊共は四分五裂の狀態にて田舍の純朴なる農民の物資を荒し盡し野獸性のありたけを發揮し物資の比較的潤澤なる附屬地沿線に殺到し電信、電話の妨害、辻强盜的の暴狀或ひは邊鄙の地より匪賊の害を恐れて附屬地接壤地に避難してゐる、金になりさうな滿洲人の人質を目的とし、時恰も漸く繁茂期に入らんとする時期に際し、これら鼠賊の出沒も活氣つき、被害到る所に起り軍警當局も頭を痛めて居る、主なる被害左の如し

一、五月二十九日夕方鷄冠山南方の路傍畑に仕事中の王恒祥(六七)は二名の匪賊に拳銃をつきつけられ人質として拉去された山中に約十名程の匪賊同僚が居たらしいと

一、六月十日午後十一時頃當地を隔る五支里の林家堡子に系統不明の二十名位の匪賊襲擊し來り曹慶鳳宅に向け盛んに發砲遂に曹慶鳳を人質として拉去した、猶曹慶鳳長男書斌(一一)は腕に貫通銃創を受けた

一、通遠堡東方高地に六月十四日午前零時二十分頃約八十名の匪賊現れ附屬地に向けて一齊射擊の火蓋を切り一時は大騷ぎを演じたが軍警の果敢の應戰に算を亂して退却した

吉林の庭球戰

【吉林】愛と汗＝スポーツと健康惱ましき春は何時しか濃綠の滴る頃となつて日光と戰ひ身を鍛へ吹き出づる汗躍る肉世を擧げてスポーツ時代へ＝過般擧行のオール吉林四チーム野球リーグ戰は芽出度く終末を告げた、運動界は此度は庭球熱へと猛進することゝなり早くも滿鐵、滿洲國では猛烈な練習が續けられてゐる、依つて十八日日曜日を期して午前九時より滿鐵コートに於て猛練習の決算が行はれることになり各五組に入り組んでその日の來るを遲しと早くもファンの胸を躍かしてゐる

不良井戸檢査

【奉天】奉天署衞生係りでは傳染病の流行時期をひかへ滿鐵衞生係と協力して市内の個人所有の井水の水質檢査を行つたが井戸の數百五十餘個ありその中半數はアンモニヤ、クロール、亞硝酸を含有し飲料水には不適當でこれ等不良井戸の所有者に對し夫々濾過後使用すべく命じた

狂犬病豫防

【鷄冠山】本署に於ては左記の日割によつて注射を決行する事となり其の當日大牌を附せざる犬は愛見次第野犬として撲殺するとの事愛犬家諸子の注意を促す、又當日は附屬地接壤部落畜犬も無料注射をなすと

▲日割 六月十九日(自午前九時至午後四時)湯山城、高麗門 六月二十日(同)鳳凰城 六月二十一日(同)通遠堡、草河口 六月二十二日(同)鷄冠山

特務機關移轉

【チチハル】松室前特務機關長の熱河へ轉任後特務事務機關の事務は正陽街警備司令部顧問部内に執務中であつたが今回儀我中佐の着任を見十日より事務所も舊松室公館跡儀我公館内に移轉された

猩紅熱豫防注射施行

【公主嶺】警察署と地方事務所より各戸に注意書を配付した如く公主嶺に於ける猩紅熱の罹病者は本春より二十名の多數となりこれが豫防注射を十三日より二十日まで午前十時より正午まで公會堂にて一般に無料豫防注射を施行しつゝあるので此際もれなく豫防注射をせられたいと

陸上運動會猛練習開始

【公主嶺】公主嶺體育協會第二回陸上大運動會を來る二十五日新運動場に於て盛大に擧行することに決定したので出場五團體の選手は酷暑をものともせず猛練習中であるが本年は各團體とも選手に移動があり各種協議の勝敗に豫想がつかず頗る興味を以て一般より當日を待たれて居る

井上獨立守備隊司令官視察

【開原】獨立守備隊司令官井上中將は六月十六日午前十時二十分驛阪中佐外幕僚を從へ着開驛頭に出迎へた官民在鄕軍分會員青年團員及小學公學普通學校生徒に一々鄭重に挨拶して驛長室に入り休息の間もなく自動車にて通江口に向ひ午後五時歸開同五十五分發列車にて鐵嶺に向つた

故川上上等兵莊嚴な告別式

十六日市民俱樂部で

【瓦房店】故陸軍步兵上等兵川上武雄君の遺骨は五月十三日悲しき姿となりて到着したが松永〇〇隊長〇〇方面に出動中にあるので延期されてあつた告別式は松永〇隊長目出度凱旋準備も整ひ六月十六日午後三時より市民俱樂部において莊嚴に執行された

祭壇正面には故陸軍步兵上等兵川上武雄之靈の名旗を揭げ白布に包まれた悲しき姿の遺骨を上段に安置、ありし日の勇氣潑剌たる偉を偲ぶ半身像を奉安地方事務所より贈られた、供物を備へ武藤關東軍司令官、井上守備隊司令官、滿鐵正副總裁、岩田〇隊長、松永〇隊長、その他各方面から贈られたる花環を飾り小川昭和寺草部本願寺兩住職の讀經香煙縷々として立ち昇る松永〇隊長の部下を思ふ弔詞に一同哀愁の淚を誘ふ次ぎに戰友總代越川上等兵、越智地方事務所長、酒井在鄕分會長、石井地方委員議長、松尾副分會長の弔詞朗讀次ぎに久保中尉、武藤司令官、井上守備隊司令官、滿鐵正副總裁其他數十の弔電奉讀午後四時滿官民參列者一同故人の冥福を祈つて散會した

不良洋車夫橫行

出鱈目の賃金を强要 奉天署で徹底取締

【奉天】最近附屬地内における洋車夫は定額外の料金を要求し殊に婦人と見れば途方もない出鱈目の賃金を要求するので奉天署ではかうした不良洋車夫を徹底的に取締つてゐるが十六日午前十時ごろ南三條通りと彌生町十七番地との交叉點に於て皇姑屯興隆街居住の洋車夫が乘客に對し不當な料金を要求してゐたので直ちに申告され奉天署において一圓の科料に處せられた、一般市民も十五丁まで十錢奉天驛から中央廣場または滿鐵醫院までは五錢であるから御注意！

遼陽片々

二十有八年朝な夕な空中高く翻つて在住民を氣强く住はせた我が日の丸の御旗が去る卅一日限り仰ぎ見ることを得なくなつた遼陽は誠に淋しい感がする▲外務省が大藏省の豫算難とかで遼陽と鐵嶺の二領事館を撤廢したことは僅かに失敗と云はねばならぬ▲張學良軍閥當時は手も足も出し得ず帶のやうな附屬地に共食ひしてゐた邦人が滿洲事變で籠の鳥が放たれた如く何れの土地へも活躍し得る時期到來せるに撤廢とは氣がしれぬ▲二萬や三萬のはした金を彼れ之れ云ふ樣では滿蒙の開拓も外務省では到底やりきれぬ▲領事及館員の送別會に遼陽、鞍山其他からの出席者多く二百餘名に達して盛會ではあつたが何となく淋しい會であつた▲滿洲國の彩票二彩が地方事務所の小使君に當つた奉天では鮮人店員が一等に當つたと地方事務所の小使の顏頗る朗かである▲衞戍病院入院中であつた兵士二十名傷癒えて十六日再び前線へ向つた見送りの官民に御陸で全快前線へ參り盡忠奉公致しますと挨拶萬歲聲裡に出發した▲第〇〇團に屬する電信隊員〇〇名十六日夜到着▲鞍山守備隊の慰靈祭に遼陽時局委員會から代表者が參列した

各地片々

◇吉林 家屋の拂底と比例して騰貴する家賃中央銀行吉林分行では目下所有の家屋家賃が市中一般に比較して實に大なる差額があり却つて修繕費の方が高くなるので缺損續きの折柄この程一月につき約四、五元見當の家賃値上げを斷行する事となつた

◇營口 曩に海邊警察局長宮部光利氏は神戸川崎造船所に於て行はれる警備艇進水式に參列の爲め出發したことは既報の通りであるが今回艤裝完了せるを以て海鳳、海瑞の二隻受領の爲め同局警長以下三十四名は來る二十六日營口發神戸に向ふ筈

◇營口 十四日付左記通牒を石田組合長の名を以て會員全體に配布した

去る五月二十三日臨時總會に於て御說明申上候通り從來持口數五口以上と相成居候處今回は庶民金融本來の主旨に基き一口以上の出資と改定仕候に就ては從來五十圓以上拂込の分を御希望により一口分だけ出資金として据置き過剩金は御拂戾致し候も差支無之候間來る二十日までに御申出有之度右貴意候

◇奉天 奉天故宮博物館は二十日が恰度事變後滿一周年となるので在奉新聞記者其他知名士を招待し觀覽せしむることになつた

沿線往來

▲長山鐵嶺署長 十五日新京へ
▲山田鐵嶺地方事務所長 十五日大連本社へ十八日歸任の筈
▲森景樹氏(鞍山地方事務所長)遼陽領事館員送別會列席の爲め十五日來遼、同夜歸鞍
▲林清勝氏(鞍山地方委員議長)同上
▲加藤政人氏(鞍山實業會長)同上
▲野尻彌一氏(鞍山日日社長)同上
▲青木喉吉氏(滿銀鞍山支店長)同上
▲上田竹樹氏(鞍山驛長)同上
▲鈴木精一氏(正隆銀行鞍山支店長)同上
▲貴島奉天衞戍病院長 同上

讀者奉仕大福引

安東本紙販賣店計畫

【安東】滿洲日報安東販賣店文榮堂では最近愛讀者激增を記念し且つ謝恩の意味で愛讀者奉仕大福引を催すことゝなり月極讀者に漏れなく空籤無しの福引券を贈呈するが景品は次の如くである

等	本數	景品
一等	(一本)	金側時計
二等	(二本)	置時計
三等	(三本)	萬年筆
四等	(四本)	皮財布
五等	(五本)	クリ出鉛筆
等外	空籤なし	タオル

抽籤は七月十五日でその結果は滿日紙上に發表する

滿洲日報

陣鼓高く鳴り渡る 實滿定期野球戰(第一回)

雨雲を蹴散らし 空飛ぶ神秘の白球 陽光さんさん降り濺ぐ下 泡立つファン大衆

全滿野球ファン待望の一戰は明けて本社主催大連實業團對滿洲倶樂部定期野球爭覇戰第一回戰は十七日午後四時卅分より滿倶球場に於て擧行されたこの日數日來の熱風は何處へか、朝來の曇天はポツリポツリと雨を伴ひたゞならぬ風雲に一抹の殺氣を加へる、晝過ぎ頃より漸く雨足も止みグラウンドを掃くが如く清め水無月の空は紺碧ならねど白雲を漂はしその切れ間より陽はサンサンと降りそゝぎ南の微風またスタンドを切り絶好の野球日和、定刻前早くも觀衆は續々と入場し超滿員、その數實に二萬、午後二時半實業チームが入場續いて滿倶が入場、觀衆の拍手裡にフリーバッチングに移つたが數旬に亘る猛練習に兩軍とも當り出で打撃は物凄く吉田、松木、片岡、山下、濱崎の猛打に觀衆は昂奮の絶頂に躍つてゐる、午後三時四十分滿倶を先頭に工場バンドの奏するマーチにつれて入場式を行ひダイヤモンドを一周し本壘を中心に兩軍整列、滿倶水澤、實業安藤兩主將の手によつてセンター後方大ポールに君ケ代の奏樂に榮光に輝く日章旗は靜かに揚げられた莊嚴の氣場内を壓す裡に本社松山社長の手に滿倶水澤、濱崎、片岡と優勝旗、優勝盃の返還式あつて本社細野編輯局長一場の挨拶を述べシートノック終つて兩軍挨拶をなし**河本滿鐵理事の手より始球式の球は投ぜられ滿倶片岡捕手のミツトに收まつた、この一球に心魂とともに賭け滿倶五年連勝の望みなるか、實業敗辱の恨みをはらすか、**その第一戰を瀰むべく午後四時三十分井口新次郎氏主審のプレーボールの聲は球場に響き渡り、尾崎昇次郎、川久保喜一兩氏壘審の下に緊袢一番戰ひの火蓋は切つて落された

(滿倶)	原	澤	下	岡	谷	崎	須	田	池
	柴	永	山	片	杉	濱	高	和	小
	9	4	3	2	6	1	8	7	5
(實業)	川	兄	井	木	田	邊	澤	藤	原
		藤							
	中	安	玉	松	吉	渡	藤	因	野
	7	5	4	3	9	2	8	1	6

◇一回 ◇實業第一打者中川投手フライ後安藤兄良く選球し四球に出たが玉井第一球を打てば一壘直球となり安藤兄と併殺を喫す▼滿倶 柴原二―二後投手越ゴロを放つて單打と見えたが二壘よく取つて一壘に刺す永澤空振の三振山下ればつて二壘ゴロ

◇二回 ◇實業松木二―一後吉田投飛で二死後渡邊ストレートを叩いて遊撃右に直球單打して出たが藤澤の遊ゴロに渡邊二壘に封殺さる▼滿倶 片岡一―〇の後四球を選んで出で杉谷二度バントを失して二―一の後直球を右中間に二壘打し片岡三進滿倶絶好のチヤンスを迎へたが濱崎左翼フライに退き高須淺く守つた遊撃

實業	0	0	0	0	2	2	1	0	0	5
滿倶	0	0	1	1	3	8	0	0	A	13A

の正面をゴロで衝き二死となり和田左飛に空しく因藤好投してピンチを切り拔ける

◇三回 ◇實業因藤第一球を遊越單打し野原の投前犧バントに送られて二進し**中川ストレートの四球で一死走者二、一壘に據り實業好機を迎へれば**安藤兄一壘ゴロして因藤、中川三、二壘に進み玉井もストレートの四球で滿倶背水の陣を布く實業二死ながら滿壘となり松木期待されたが〇―一後高目の球を左翼に淺くフライし實業も機を逸す▼滿倶 小池ストレートの四球に出で柴原の三壘線に沿ふ犧バントに送られて小池二進し更に一壘の二壘高投に一擧三壘を占める、永澤一―一後スクイズバントを二回失敗して三振に退き二死後山下二―一後一越單打し小池**勇躍生還滿倶早くも一點を先取す**(山下の代走和田)續く片岡二―三後四球杉谷も二―一後よく選球して四球に出で和田、片岡三、二進し二死滿壘となつたが濱崎

近目の球を二壘ゴロ

◇四回 ◇實業吉田中堅フライ後渡邊二―三よりよく選球して四球に出でたが安藤(兄)の遊飛に二壘に封殺され因藤見送つて三振▼滿倶 選球主義に出で高須四球に出づれば(實業因藤を退け岩瀬投手となる)和田初球を投前に犧バントを試みたが投手高須を二壘に封殺し二壘手併殺をあせつて一壘に低投し和田一擧二進續く小池第一球を打つて一壘左を拔き和田二壘より長驅本壘を衝いて還る 柴原二―三の後盛んにればつて四球に出で小池二進し一死走者二、一壘寄りの好機に永澤三壘ゴロに小池柴原三、二進し山下二飛に退き、**滿倶再び一點を得る**

◇五回◇ ▼實業野原二―三より盛んにればつて四球に出で中川投前犧バントして野原を二壘に送り續く安藤(兄)**第一球直球を左中間に二壘打して野原を先づ還し**玉井一―〇の後三壘線にバントを試みて內野單打となり安藤(兄)三進す **實業の觀衆騷然と聲援する中に松木中堅に大きなフライを上げ安藤(兄)還り同點となり**玉井中堅より本壘に送球する間に二盜し吉田遊飛低投に生き玉井三進したが渡邊遊飛して吉田を二壘に封殺すこの回 **實業**

よく好機をつかんで二點を報い觀衆熱狂す▼滿倶片岡三度四球に出で續く杉谷第一球高目の內角に入るカーヴを打つて右中間に三壘打し片岡還り濱崎杉谷のスクイズバント見事になり杉谷還り前進して球を取つた遊撃これを一壘に高投して濱崎一擧二壘を得高須の右飛に濱崎三盜を試み成り和田の右中間單打に濱崎も亦還り續く小池も遊擊右に直球單打し和田二進柴原の二飛に小池二壘に封殺され和田三進したがみ澤の左線寄りの飛球は**左翼中川好進して轉倒しながらつかんだが滿倶再びリードす**

◇六回◇ ▼實業藤澤投前ゴロ後岩瀬近目のカーヴを中前單打し中堅の後逸する間に好走二壘を占め續く野原の三遊間單打にて岩瀬三進し中川の遊擊を襲ふゴロを三壘手飛び出して之を失し走者生き岩瀬還る野原二進走者二、一壘に據り向ほ好機、續く玉井直球を左中間單打し野原還り兩軍の差一點となる中川直ちに二壘より一擧本壘を衝いたが左遊捕の好リレーに惜しくも刺される▼滿倶(實業吉田退き松尾右翼に入る)山下中前單打し(山下代走和田)片岡も三壘強襲單打して出で和田二進、續く杉谷の三壘線に沿ふバント投手ひろつて一壘に投じたが間に合はず內野單打となり無死滿壘絶好のチャンスとなり濱崎好く選球して四球に出で和田押し出されて還り片岡杉谷三二進し依然無死滿壘高須も選球につとめ二―三より四球で再び片岡押し出されて得點を增し杉谷高須三二進し依然無死滿壘續く和田初球の直球を叩いて三遊間單打し**杉谷も亦還り左翼三壘送球を暴投し球が本壘後方に轉々とする間に濱崎高須も還りこの間に和田三進**(實業岩瀬ノックアウトされ退き副島投手となる)小池四球に出で二投後柴原も四球に續き再び無死滿壘に永澤二―二の後見送つて三振に退き漸く一死打順一順して山下二―三の後低目の直球を空振して三振し二死となつたが片岡二―一後直球を叩いて**左越二壘打し和田小池柴原の三者を一掃して益々得點を加へる**杉谷打者の時投手暴投に片岡三進し杉谷四球に出で二盜後濱崎右飛に滿倶の攻擊漸く止んだがこの回一擧八點を收めその差九點となる

◇七回 ◇實業(滿倶山口投手となり濱崎左翼に入り和田退く)松木左翼線寄りの二壘打して出で松尾右飛渡邊中飛で二死後藤澤の三壘左りを拔く單打に松木三進し更に左翼後逸に本壘に還り藤澤二進したが副島右飛に僅かに一點を酬いしのみ▼滿倶高須右飛山口三振、小池中飛

◇八回◇ 實業野原死球に出で中川左飛後立石(安藤代打)の二飛後玉井の一壘越短打に野原二進したが松木空振して三振▼滿倶(實業安藤退き立石三壘に入る)柴原中飛、永澤三匍山下右飛

◇九回◇ 實業最後の攻擊に入り五番の松尾の代打上本二匍後渡邊三遊間單打して出で藤澤投飛、副島の代打毘台利中前單打し渡邊二進したが野原左飛に空しく**十三A對五で滿倶大勝す**

蘆臺塘沽間 列車運轉開始

【天津十七日發國通】蘆臺、塘沽間の鐵道は十六日開通したので塘沽にゐた開灤鑛務局員カスチン氏は蘆臺方面の開灤炭狀況視察のため十六日同地に出張した

滿洲事變論功行賞 第八回分をきのふ公表

【東京十七日發國通】滿洲事變第八回論功行賞は六月十七日內閣から御裁可を經て公表された、今次の分は主として昨年五月より九月における滿洲各地において名譽の戰死を遂げた百七十六名に對するもので、內百七十一名は金鵄勳章を授與せられた、主なる殊勳者左の如し

	獨立守備隊第一大隊步兵曹長	芳賀芳次郎
同		池田 延藏
功七級旭日八等	獨立守備隊第二大隊步兵伍長	滿谷 忠司
功七級旭日八等	獨立守備隊第二大隊步兵上等兵	渡邊 春治
同	騎兵曹長	佐藤 君男
功七級旭日八等		
同	步兵伍長	丸田 清一
功六級旭日七等	同第三大隊步兵曹長	船戶 安次
同	步兵上等兵	關根伊之助
同		波木龜太郎
同		杉浦 重雄
同		渡邊 春次
同	步兵伍長	堀內 源市
功七級旭日八等	獨立守備隊第五大隊步兵上等兵	黑澤 興
同 旭日八等	步兵曹長	村山 成義
功七級旭日七等		
同	步兵上等兵	荒木 德一
同	同	安田 德
同	步兵伍長	遠藤榮一郎
功七級旭日八等		
	獨立守備隊第六大隊步兵伍長	渡邊 嘉幸
同		森川 幸次
同		藤谷金次郎
同	上等兵	春日井 清
同		士谷 政雄
功七級旭日八等		
同	步兵曹長	木脇 義盛
功六級旭日七等	關東軍野戰自動車隊輜重伍長	小澤 由藏
功七級旭日八等	關東軍鐵道中隊工兵上等兵	伊藤 周作
同		山口 定二
功七級旭日八等	關東軍憲兵隊憲兵伍長	纐纈 末松
功七級旭日八等		

本庄中將等の大將親任式

【東京十七日發國通】本庄侍從武官長、眞崎參謀次長、阿部臺灣軍司令官三中將の大將親任式は十九日午前十時宮中で齋藤首相侍立の下に執り行はれることに決定したなほ阿部臺灣軍司令官は臺灣にゐるため官記傳達さるゝ筈

參謀次長に 植田中將

【東京十七日發國通】大將昇任さと共に眞崎參謀次長は軍事參議官專任さなり參謀本部附植田謙吉中將が參謀次長に補せらるゝ旨發表さるゝ筈

陸軍の明年度豫算 臨時費四億圓 主なる新規事業計畫

【東京十七日發國通】陸軍では今後の重大なる國際情勢に對應するため明年度豫算新規事業につき各局課で計畫案を作成してゐるが、戰用資材整備完成は一日も急を要する關係上これが計畫については豫て議會で陸相より陸軍の計畫について大體意向を說明してあつたが、愈々明年度豫算では新兵器の充實戰用資材の兵備費二億二千萬圓、建築費(倉庫工廠の擴張)等三千萬圓、合計二億五千萬圓を要求することに首腦部の意見一致したが、更にこれに滿洲事件費を加へる場合は陸軍の明年度臨時費のみにて約四億圓に達するものと見られる

豫算方針と 各派批評

【東京十七日發國通】豫算編成方針に對する批評左の如し

政友 大口氏

例年と變りはない、各省で節約するは當然の事だが、今日迄實行したことは極めて稀だ、結局各省と大藏省とが妥協の外はない、明年豫算もそんなことだらう、只問題は赤字公債の增減如何を刮目して成行きを重視する

民政 小川氏

藏相の意見は現下の時局に最も必要だ、海軍では第二次補充計畫として繼續費約五億圓を、陸軍では二億四、五千萬圓を要求するらしいがその結果財政を非常に膨脹さすであらう、此際大臣は政治家的態度で行かればならぬ、從つて二、三閣僚が反對しても豫算方針は是非實現を希望する

國同 山道氏

齋藤內閣が明年度豫算を編成するとは實に意外だ、しかし編成するなら明後年度から眞の非常時が開始される故明年豫算にその對策をせねばならぬ、國防、外交、產業然り、新規公債の利子だけでも恒久財源で賄ふべきだ、滿洲事變費の特別會計を是非創設する必要がある

委員會開く

【ロンドン十六日發國通】十五日本會議で成立した經濟及通貨委員會は委員長コリーン、オランダ首相司會の下に十六日午前十一時三分(滿洲時間十六日午後六時三分)第一回會議を開いた

【ロンドン十六日發國通】經濟會議は本日より實質的討議に入り經濟、通貨兩委員會は午前十一時相前後し開催、兩委員會共形式を拔きにし喫煙を許す等自由討議に依り議事の進捗を圖らんとするものである、先づ通貨問題委員會で委員長コックス氏は通貨委員會の分科委員會組織に關する委員會設置の件を提議し次いで副議長より本經濟會議では通貨經濟兩問題を先づ分離して審議するものだが右は便宜に依るもので議事進捗の唯一の途であると述べ議事の手續問題を議し、午前十一時三十八分散會、同委員會は月曜日午前再開分科委員會の任命を完了することゝなつた、他方經濟委員會はコリーン委員長より同委員會の取扱ふ題目を

一、商業政策
二、國際問題に影響ある諸稅
三、小麥其他食料原料品並に產業カルテルを含む生產及市場統制
四、公共事業問題

以上に分類して本委員會に於ては一般的性質の演說は差控へられたいと駄目を押し、以上議題の四分類に基き夫々分科委員會を任命することゝし主として議事の手續問題を議した、斯くて午前十一時四十五分散會、十九日午前再開することゝした兩委員會共手續問題に終始した

米海軍の 空軍擴充

【ワシントン十六日發國通】米海軍は過般議會を通過成立した三十三億弗公共事業資金中、二億三千八百萬弗で新艦三十二隻建造計畫を發表したが、更に右新艦に搭載すべき二百九十臺の偵察飛行機その他多數の海軍飛行機を新に購入するに決し、その經費として別に該資金中より千五百萬弗を支出すべきことを勸告した

武藤軍司令官 北滿部隊巡察

【新京電話】武藤軍司令官は萬城目副官を帶同し北滿駐紮隷下各部隊巡察のため十七日午前八時四十分發列車でハルビンへ向つた

= 寫眞說明 = 國旗掲揚式(上右)河本理事の始球式(左上)優勝旗返還式(左下)スタンドを埋める觀衆(下)

社説
滿洲國金禁輸と買上の實效
大に期待すべし

滿洲國が、懸案となつてゐた金輸禁止法と、產金買上法とを決定し、愈々實施の運びに至つたことは、產金採金が直前の問題となつてゐる際、最も必要にして適切の處置で、吾人は寧ろ其の遲かりしを感ずる位である。而して金の禁輸法と買上法とは、必然兩立すべきもので、一方を差措いて他方だけ實施さるべき性能を有しない。畢竟禁輸のために買上の必要があり、買上ぐるために禁輸の必要が存するので、兩者の運用が併行して、初めて效果的であることは言を俟たぬ。然るに百般の國事に、搾取と重壓とを以て臨んだ舊軍閥は、禁輸を頻りに嚴重に觸れ廻りながら、毫も買上の方法を講ぜず、概ね之を沒收し、然らざる場合も二束三文に叩き落して、私腹を肥してゐたのだから惡虐言語に絶する。隨つて禁輸は實際的には效果なく、支那や其他の方面への密輸出が行はれてゐたので、滿洲建國後も其の風が習慣的に殘り、中央銀行當局は流石に商賣柄だけに、此の事に氣が附き、今回の法制を促進したのである。

◇

元來金を持出してはならぬが買つてはならぬといふのでは、假令採金禁止であつても、頗る無理な制度で、舊軍閥ならばこそ斯かる無法な處置も執れたのだ。苟も一國若くは一地方等が金禁輸を決するからは、當然產金の始末を考へねばならぬので、採金禁止だから產金はないといへばそれ迄だが、產金採金でなくても他に金を得る方法はあるので、これが悉く其の國若くは其の地方で、無効無益であり且つ無代價同樣に歸結するのでは、金は國民若くは住民の厄介物となるだけである。殊に支那、滿洲は、金の自由鑄造を許さない貨幣制度——金に關係なき銀貨幣——の國であるから、金本位國の自由なる鑄造と異なり、金を銀貨幣に對して商品化する外なきに之を許さず、賣ることも持出すことも許さず又買上げることもせぬのだから、金は何の役にも立たぬものになる。而も彼等の支配階級は、之を他に持出して利益を得てゐたのだから、密輸密賣の行はれることも、必須の事象となる譯である。

◇

最近金本位を離脱した國は、日本を始め各國共に、金の自由鑄造を停止した。此の點では恰も既往の滿洲と略同一の狀態である。併し其の次に來るものは民間に在る金——產金採金の處分法であつて、各國共に金禁輸を行ふと同時に金の買上を行ふか又はそれに代るべき方法を執つた。然るに過去の滿洲は銀貨幣國で實際は銀紙幣國である。而してその銀の準備さへせぬ程だから、まして金の準備等する筈がない。それ故に一向金の必要などはなかつた。加之外國貿易關係にすら金の必要はなかつた。それは輸出超過國で、對外決濟資金を要しなかつたのではなかつた。借りたものは返さぬ事、日本の借款に對するが如き態度を採つたのもその一因だが、すべての國際決濟は上海の金銀市場を介して行はれたから、滿洲が自ら金の世話を燒く必要がなかつたのである。誠に都合が好く出來てゐたもので、金に對する內外の貨幣價も商品價も何等頓着する所なく、採金禁止だから金が在る筈がないとして總べてを國法違反に卷き込んで見付け次第に取り上げてゐた。

故に殘る所は唯、首腦者自身の懷ろを肥すべき商品價の高低が頭の中に徂徠した位のものだ。今更云ふべきでもないが、隨分無法なことが行はれたもので、過去の銀貨幣國——銀紙幣國のいかさまからくりに就いて、再吟味の必要を感ずると頗る痛切である。

◇

如上の觀點に於て、滿洲國の金の禁輸法と買上法とは既往の虐政を如實に解消する正當の方法で、吾人は王道政治の具現を斯かる現實問題に就いて發見することを、最も欣快とするものである。而して其の取扱は日本と同一であるから、之を日滿統制經濟の線上に現はすと、結論的に共通幣制に落着く。而してその前提工作は金の蓄積である。これによりて見るも、產金國として囑望さるゝ滿洲國が何時までも銀本位國たることに滿足しないことを察知することが出來る。特に世界の金本位離脱國が貨幣制度の將來に惱みを持ちつゝ、互に經濟的交錯を生じ、又各國間に尖銳なる關稅鬪爭を起してゐる現勢から見て、此れが將來日滿兩國の頭上に齎らさるべき福音の豫告たる感なしとせぬ。誠に歡ぶべき事態といはねばならぬ。

爲替比率協定問題と帝國政府の態度
通商障碍撤去主義堅持

【東京十七日發國通】英米爲替比率協定が成立すれば日本にも參加要求があるものと見られてゐるが外務當局は大藏省側とも連絡を取り研究し、左の態度を持す事になつた

一、爲替ダンピング稅、ボイコット輸入禁止等通商上の重壓下にある我國として固定的爲替比率に束縛されるは損害はあつても利益は無い

一、從つて日本では上記の障碍撤去に關する國際規約が成立せれば無條件に比率協定に參加し得る

一、英米兩國の爲替比率協定主義に對して通商障碍の撤去主義を堅持して居る

他國の爲替も安定
英米佛爲替協定成立の影響
高橋藏相の意見

【東京十七日發國通】英米佛三國間に爲替安定の協定成立の報に關し高橋藏相は十六日左の如く語つた

英米クロス協定成立に關する報道は正金への電報でも同じやうな情報を見た、斯かる協定が進められてゐることは事實のやうであるが未だ確報に接してゐない、ただ英米クロス協定に關してル大統領が議會から與へられた權限については多少疑問の餘地もあるが若しアメリカがこの比率協定に失敗するならばアメリカは極端なナショナリズムに陷らざるを得なくなるであらう若し英米クロスが完全に成立したなら之により裁定を行ふ他國は便宜を得ることゝなる代りに英米クロスはそれだけ責任が重くなる譯だ、その例は南米爲替に對する砌、金解禁後の圓の裁定につき同樣な事がいへると思ふ、英米クロスの安定さへ出來れば他國の爲替も安定するが、たゞ戰債問題が片づかぬ限りこの解決は難しい、米議會が戰債棒引に反對してゐるのでル大統領も困つてゐるやうだ、若し爲替比率協定が出來れば各國中央銀行間で早晩實行することにならう、經濟會議はあれだけ大がゝりな會議だから爲替比率の協定位は當然成立せしむべきだ、なほ關稅については無條件最惠國約款が成功しなければ日本としては有條件最惠國約款と互惠主義とを併用して行く外はないだらう、印度が今回の行動を改めぬ限り日本は印棉を買はぬだけで、日本商品を買つて呉れるところから原料を買へばよいと思ふ

印度の休日參加は全く有名無實
わが外務當局指摘

【東京十七日發國通】印度の關稅休日案參加は既報の如く有名無實にして且つ政略的のものだが、右に關し外務當局は左の諸點を特に指摘した

一、印度政府は關稅休日案に參加したとはいへその條件として殆ど印度主要產業全部並びに英本國產業にして對印輸出に重大關係あるものゝ全部に對して將來自由に關稅を引上げ得べきことを留保してゐるのだから、印度の關稅休日案參加は有名無實だ

二、而して綿製品に對しては實際には今日まで印度の必要とする保護關稅引上げを終つてゐるので將來に對して綿業保護法による引上げを行はざるものと解し得るが、印度政府の所謂關稅休日案に參加せる犧牲は僅にそれのみだ

なほ印度政府が斯くの如く事前に關稅引上げを實施し、又はその準備をなしたる上關稅休日案に參加せるは經濟會議を愚弄せる行爲であり印度通商を有利に導かんとする政略的行爲と見られる

取殘された馮玉祥
今や進退全く谷まる
(上) 北平特派員 風間阜

馮玉祥が張家口で「抗日同盟軍總司令」に就任したのは五月二十六日で、時日支間和平解決の空氣濃厚であつて、週日後塘沽において兩國停戰協定が調印され、一般は長い間翹望してゐた平和到來でほつと安心した時であつた、從つて馮玉祥があらたまつて抗日の大旆をかゝげた意義について何人も疑念を抱いた。蓋し世を擧げて和平を希望せる際強ひて抗日を表明したのは抗日を看板にして蔣介石打倒へ驅るものであり、これには內部的に相當の聯絡と自信があるものと考へられたからである。閻錫山、韓復榘、東派との呼應、對日問題が一段落ついて再び熾烈なる內戰を惹起し、河北は戰禍を免れ得ないと觀られたのである。

×

しかるにその後一向蔣に呼應する者無く、その態度に深甚の關心を持たれた韓復榘は對內的保全に一切參加せざる旨を表明し、閻錫山自身は何等の意思表示をしないけれども閻の代表として徐永昌は何應欽と會見し、一切中央の立場に服從する旨を表明し、又閻錫山が何等實質的援助をなせる形跡が無く、各派代表の張家口會議は幾度か報ぜられたけれども、各方面の實力者にして實際行動を示したものは無い。

×

一報道によると廣東派は蔣に百五十萬元の軍費支給を約し、蔣の部下がこれを持ち行くことになつてゐたが一向約を實行せず、部下は廣東を離れ得ざる事情ある旨を蔣に打電し、蔣は廣東派の不信を憤慨して持つて來ることが出來なければ、こちらから人を派遣するとて、部下の李嘯麟を九日出發せしめたと傳へてゐる。恐らく廣東派は馮玉祥の反蔣運動が幾分物になる見込みがついた場合軍費も支給する算段であつたらうが、今の狀態では大金を捨てるに等しいと見て躊躇してゐたものであらう。

×

胡漢民は西南政府が馮を第三集團軍司令(軍制を革め陳濟棠軍を第一集團、蔣廷楷の十九路軍を第二集團に)に任命することを主張したが、陳濟棠も白崇禧も贊成せぬと傳へてゐる。反蔣の本尊が斯くの如き狀態であるから、爾餘の反蔣政客軍人は洞ケ峠から下らぬのは無理も無い。

×

馮玉祥としては乃公一度抗日の采配を揮へば、反蔣分子の糾合は一擧手一投足の勞に過ぎずと考へたであらう。しかしそれが、一二ケ月前であつて前線に自ら出馬したのであれば後日發言の機會もあつて人を納得せしむる口實もあつたらう。抗日戰線には一兵も動かさずして、一般が平和に傾いてから の抗日では氣のぬけたビールより も なほ相手にされぬばかりか却て有害無益として人を顰蹙せしめるものがある。

時期を早めた治外法權撤廢
日滿協議會開催近し

【新京電話】日本の滿洲國に對する治外法權撤廢は愈々議熟し、十六日新京で第一回治外法權撤廢協議會を開催したが、之により今後日滿聯合協議會が開催される氣運になつたものと見られるが、日本側が斯くの如き治廢時期を早めた理由としては

一、日本が滿洲國を承認した以上その獨立權を益々鞏固ならしめる爲、滿洲國司法制度の完備を急いでゐるのは在滿日本人の發展を積極的に助長する爲、滿洲國の司法警察制度が日本人に堪へ得られる域に達し政治的見地よりこれを速かに撤廢し而して徐々にその完備を俟つの可を覺つたこと

二、滿洲國の法令も着々その緖につき既に援用法令は司法部案を決定し、法制局に廻附し近く法制審議會の決定を見るはずで右援用法令は滿洲國の獨自の立場に適合せる基本的法律であり、日本の如き煩雜に過ぎる六法の如きは滿洲國としてはその必要を認めざること

三、滿洲國司法部にては愈々日本司法官の滿洲國入りを決定し近く日本司法部の權威の入滿を見るはずで、右は最高司法機關たる高等法院に配屬せしめて、これが實現後は滿洲國司法權の最高部門を主として日本人が掌握することになり、在滿日本人として さしたる不便なきことなど

法權撤廢促進有利
日本側の意嚮

【新京電話】滿洲國に對する日本の治外法權撤廢時期については從來種々傳へられてゐたが、最近日本出先官憲の意嚮は一時の情勢より著るしくその時期を早めんとする…

印度會議の隨員
經濟聯盟三氏を推薦

【東京十七日發國通】經濟聯盟の鄕島主事は昨日午後三時半外務省に栗栖局長を訪問して

一、印度行きの帝國代表出發延進

一、帝國代表に隨行する實業家には紡績聯合の阿部房次郎、宮島淸次郎、津田信吾三氏を推薦されたいと陳情した

シムラ會議の商工省代表

【東京十七日發國通】シムラ會議の性質上關稅貿易の技術的交渉を必要とするので澤田、三宅兩氏の外務側以外に商工省からも全權派遣と內定した候補者としては貿易局長寺尾進氏が最も有力でこれを機會に貿易對策の轉機を期待さる

聯盟事務局の對極東放送

【ジユネーヴ十六日發國通】聯盟事務局は來る十八日日曜日から每日曜日極東に向け放送を行ふに決定した、時間は午後十一時から四十五分間(滿洲時間月曜日午前六時から四十五分)波長は三十一・三及び三十八・四七メートル、英、佛、スペイン三ケ國語で各十五分間である

滿洲國側の準備進捗

【新京電話】滿洲國における日本の治外法權撤廢は今後一年乃至一年半を目標に着々その準備を急いでゐるが、既に基本法律たる援用法令に關しては司法部案の決定を見近く法制審議會を經て公布の筈である、又日本司法官の招聘は大同二年度豫算で十八名採用と決定既に判事二名、檢事三名、書記五…

八相 この頃の放送
自烈亭

(五十行以內 中傷はさらず 投書歡迎)

◇JQAKに御伺ひします。私はホックストンを附けレシーバーで聽取してゐますが、秋から四月末位迄は內地中繼も頗る明瞭に聽かれますが、其後は殆ど聽取不可能の事があり、亦強い南風の日は當地のも聞えぬのです

◇この狀態は每年の事ですが、去る四月上旬滿日紙上に「京城が十キロ?放送になると大連は五月上旬頃これをタッチする事によつて夏期における從來の弊が一掃され、晝間は內地のスポーツ放送も夜間は每晚內地中繼放送ができる。だから今迄のファンの不滿は完全に解消する」と發表された。

◇然るに今日の狀態は一向その樣樣がない。この記事は貴局のデマか、それ共技術か機械がそれに至らぬのか、或はホックストンなるが爲に不可能なのでせうかこの點をお訊ねしたい。

◇なほ未だ京城よりのタッチが不完全とすれば、右滿日記事の所謂ファンが惠まれるのは一體何日頃からですか以上につき首肯し得るお答へを希ひます。

お答へ ◇四月頃より夏にかけては一般に空中狀態が不良になりまして「ラヂオ」の聽取には都合の惡い季節であります。天候の工合で特にその狀態が不良となることもあるやうであります。

◇京城放送局十キロ放送の中繼は既に試驗的に實行致して居ります。未だ「プログラム」に載せるまでにはなつてゐませんが、過般の早慶野球戰の實況その他時々京城からとつて居ります、此等の場合は豫かじめ「アナウンサー」からお知らせして居りますから御承知願ひます(大連放送局)

遠矢少佐等に特殊の恩賞

【東京十七日發國通】滿洲事變第八回論功行賞百七十二名中拔群の殊勳者として特殊の恩賞に預かつた步兵第十六聯隊第五中隊長遠矢少佐は昨年七月十二日夜拉哈警備隊長として守備勤務中、九千の兵匪大集團の襲擊を受け僅かに百三十名の手兵を以て奮戰同地にある八十の邦人を安全ならしめ遂に名譽の戰死を遂げた人で當時本庄司令官より感狀を授けられてゐる、又富岡上等兵は步兵第十五聯隊第六中隊の初年兵として馬占山討伐戰に參加、昨年七月二十九日海倫東方約九里の正白旗六井の戰鬪で偉勳を樹て馬軍最後の據點と睨んだ獨立家屋を手榴彈四個を以て單身爆破に赴き、遂に我軍大捷の端を作つたものである

丁交通總長
日滿蘇代表招待

【ハルピン十七日發國通】來哈した交通部總長丁鑑修氏は十六日夜北滿鐵道クラブに日、滿、蘇人三千餘名を招待し酒席には日、滿、蘇の美妓八十餘名侍り空前の盛宴…

奉山鐵路輸送規程改正

通信會社募株
鮮銀で取扱ふ

人事

市況(十七日)

株式
東新保合

特產
大豆軟調

錢鈔

商品
綿絲保合

鈔票保合

市場電報

瀧川教授問題再び燃ゆ
學校當局を糾彈し大學教室に突入
『全授業をボイコットせよ』東大學生積極的に動く

【東京十七日發國通】豫て學校當局の集會彈壓に不滿を感じてた東大學生は十七日午前九時半より七番教室で經濟學部學生大會を開き瀧川問題の積極的支持態度を示し學校當局糺彈の氣勢を揚げ大擧して文科二十九號教室に突入し折柄授業中だつた井出教授の講義をボイコットせしめ直に一千餘の學生の學生大會に移り京大、東北大學の各代表アジ演説に移り「全授業をボイコットせよ」との決議をなし學生課を襲ふべく全學生スクラムを組み校庭に躍り出でたが急報に驅つけた四十數名の警官隊のため鎭壓され、内四名は檢束取調べ中であるがこれにより東大も積極的に動き出し尖鋭化して來た

小西京大總長辭表提出

【東京十七日發國通】小西總長の辭表を託された岸書記官は十七日午前八時半入京十時半から文相官邸に粟屋次官、赤間局長、菊澤秘書課長等と會見總長の辭表を提出することゝなつた、一方文部省側でも右辭表を受理すべきや否やを愼重協議中である

小西總長語る

【京都十七日發國通】文部省との最後的解決案も空しく十五日夜から各學部長評議員連の心配の慰留も效なく法學部教授團は十六日朝來續々小西總長に對し辭表の傳達方を要請し來たり大勢既に決したので同日午後四時から協議會では評議員側よりそれぞれに法學部教授連を訪問した模樣を報告し結局施すべき慰留の策なき旨を述べた、その結果小西總長は遂に辭意を評議員會に表明するに至つた、ついで學部長會議を開きその席上後任總長確定するまで總長事務取扱ひとして經濟學部長たる山本美越乃博士を推薦した、よつて山本部長は午後八時すぎから經濟學部の緊急教授會を開き總長代理受諾について同意を求め滿場異議なく可決されたので、これを總長に通告總長は岸書記官をして直に自身の辭表を携帶せしめ同夜九時四十五分東上せしめた、辭意を表明した其の夜の小西總長は悲痛なおもちで語る

今晩私としては何にも申し上げられません、私としては最善を盡したが事態茲に至つては已む[illegible]ません

保管中の辭表を如何に處置する
小西總長の態度注目

【京都十七日發國通】小西總長の辭意表明と共に最も問題となるのは總長の手許に保管中の法學部全教授の辭表を如何に處理するかであるが小西總長の最初からの意向はそれ等の辭表を文部當局に提出すれば最後的のものとなるとの信念から出來得る限り永く手許に保管を續ける態度を持するものと觀られてゐるが法學部教授側から辭表傳達要望の聲俄に至るのでその處置如何はなほ殘る問題として重視されてゐる

部長に來て貰つて正式に聽取したい」と述べ一先づ小西總長の辭表は岸書記官に預けた、仍つて岸書記官は電話で京都の小西總長に對し當局との會見顛末を報告し責任者の上京を求めた

執政夫妻への贈物を捧持し
愛婦滿洲支部發會式參列の三氏・門司を出發

【門司十七日發國通】二十一日新京において擧行の愛國婦人會支部發會式參列の軍人後援會副會長堀内文次郎中將、愛國婦人會の小原新三氏、國際聯盟協會婦人部長本野久子三氏は愛國婦人會總裁東伏見宮妃殿下より執政夫妻に各一着づゝ贈呈相成る繻二匹を捧持し十七日正午門司出帆の關東ウラル丸にて渡滿した

小西總長の辭表一先づ留保
『京大情勢を聽取の上に』と文部省側の意見

【東京十七日發國通】小西總長の辭表を携行し上京した岸京大書記官と文部省側粟屋次官、赤間專門學務局長、菊澤秘書課長との會見は十七日午前十時半より午後二時半迄四時間に亘り行はれたが席上岸書記官より京大問題その後の情勢を詳細報告した後「小西總長は健康その他の理由で辭意を表明してゐる」と述べ小西總長の辭表を當局に提出した、之に對し文部省側は「從來の慣例に依り辭職する時は後任總長を推薦して辭める事になつてゐる、夫れで小西總長が果して健康上留任出來ぬや又京大内の情勢を責任者から直接聽きたいから十九日小西總長か宮本法學

滿博追加豫算五萬圓捻出
福券の增收を棄て、設備費の節約に一決

大連市役所では滿洲大博覽會の驚異的人氣により各府縣の特設館激增しこれに伴ふ施設の擴張、内容の充實を期せねばならなくなつた爲め要する經費五萬圓の捻出を滿鐵會社の補助に求めたが滿鐵にも一蹴されたのでこれを聯合し今度は福券の增收によりバランスを合す可く追加豫算の成案を得、十七日午前十時より市長應接間に總務常任評議員會を開き提案協議したがその結果福券販賣により收入を計る事は危險が伴ひ易しとの理由の下に撤回し今度は全然根本方針を

變更

し歳出豫算中の建築費、陳列戸棚及び陳列臺設備費その他を節約し約五萬圓を捻出する事にしその更正により既定の豫算範圍内で前記施設の擴張、内容の充實を圖る事に決定し正午散會した

が右に就いて小川市長は語る
博覽會は豫想外の絶賛を博して豫算編成當時内地府縣の特設館など五棟か六棟位と思つてゐたのが十數棟に達しその他の特設館を合計する時は

五十棟

近くにも及んで了つた、從つて、これに要する街路、街燈なども擴張せねばならず國防館、教育衞生館、土俗館等の内容も充實せねばならなくなつた、それでこれに要する費用として五萬圓の補助を滿鐵にお願ひしたのであつたが滿鐵はこれを斷つて來たので止むなくその財源を福券の增收に求め追加豫算を行ふ事に肚を決めてあつたこの前の博覽會ですら七十三萬人の入場者があつたのだから今度の博覽會でも

豫定は

七十五萬人となつてゐるも百萬以上の入場者はあるものと確信する、だがこれは未來の問題であり今からこの心算で福券の增收を圖る事は非常に危險が伴ふのでこの計畫も全然放棄して根本の方針を樹て直し歳出を節約しこれを更生して既定の豫算範圍内でやつて行く事にした、つまり建築物などは終了後賣却する事になつてゐるたがこれを一時貸借する形式にして建築費を節約し或は

特設館

の增設により府縣の出品減少したのでそれだけ本館の建坪や陳列戸棚、陳列品の設備を縮小しその他の遣り繰りも行つて五萬圓程の金を浮かす事にした

滿洲國公使館園遊會

滿洲國公使丁士源氏は各國大公使並に各大臣以下を十五日午後三時より麻布の公使館に招いて新綠の庭園で園遊會を催した（寫眞は向つて左より内田外相、丁士源公使、眞崎參謀次長）

靠天匪軍と交戰し荒木大尉戰死
牛莊西方大高坎で

【奉天電話】牛莊西方四里大高坎の西北方當原において匪首靠天の率ゆる五百の匪賊は王殿忠軍に包圍されてゐたが十六日驍東南方に我が包圍圏脱出を企圖したが大高坎に在つた我が荒木隊成〇隊は十七日午前九時半大高坎西方ニキロの沙河口西方無名の部落においてこの敵を攻撃し交戰二時間の後これを東方に撃退したがこの戰鬪において荒木大尉は戰死し高橋少尉は負傷を負ひその他死傷下士官一名負傷二名を出したので川村少佐の指揮する〇〇名は十七日朝九時自動車にて牛莊を出動し進撃中である、なほ戰死した荒木大尉は廣島縣山縣郡西村山縣川土居村出身で家族はきよゑ(二七)夫人外子供四人ある

丹那トンネル最後の爆破
十六年間の苦心酬いられて十九日開通式擧行

【東京十七日發國通】一片の夢として一時はその實現を疑はれてゐた丹那トンネル隧道工事もその後大いに進捗十六日午後に至り水拔坑の殘り七十尺を切るに至つたので鐵道省建設局は緊急會議の結果この歴史的トンネルの開通式を十九日午前中擧行に決定、而して隧道式當日三十錢相は鐵道省大臣室で現場から有線で繋がれる電氣仕掛を押し最後の爆破のため殘された岩石約五尺を爆破し茲に東西の空氣相通じ、さしも世界の鐵工と稱された丹那トンネルも十六年間の苦心酬ひられ目出度く開通する譯である

抗日陣歿者追悼會延期

【天津十七日發國通】天津市黨部は近く官民共同して今回の抗日戰に於ける戰死者追悼會を盛大に擧行せんと準備し中央黨部の指令を仰ぎたるに中央黨部より今次戰爭は停戰協定成立後日淺き今日最も嚴密に之を擧行するは日本側の反感を招くやも知れず適當の時期迄延期すべしと命令して來た、また去る十五日舉行した孫文の廣州蒙難記念祭もその時期を考へ抗日及び打倒帝國主義等の口號は除かれてゐた

中國共產黨の華北工作進捗

【天津十七日發國通】中國共產黨の華北に對する工作は着々と進行するもの如く華北青年會の機關雜誌華北青年は六月一日創刊號を發行天津市執行委員會も十六日機關紙天津文化を發行した

張田中校着任

新たに東京本營より南滿大隊長並

慰安列車各地で大歡迎

【奉天電話】鐵路總局では海綫從業員及び沿綫居住者慰安のため特別列車を派遣したが各驛到る處大歡迎を受け施設の如きも生活必需品は先を爭つて購入し大騷ぎにて

凱旋部隊を歡迎慰問

大連彌生高等女學校では十七日午後一時より今回の凱旋部隊を慰問して歡迎慰問を行ふさ
▲二十一日午後一時より神明高女羽衣高女▲二十二日午前十時より南山麓小學校▲二十三日午前十時より朝日小學校

四人組強盜
奉天商埠地へ

【奉天電話】十七日午前六時頃商埠地八徑路テキサス石油會社員ジョージ・フリー方に拳銃外兇器所持の四人組の強盜が侵入し家族を脅迫して金品を強奪せんとしたるもフリーが應じなかつたので一名の賊はナイフ樣の兇器をフリーの腹部に突き刺して金品を強奪の上逃走したので目下瀋陽警察廳では犯人嚴探中である

滿洲修養團發會式
二十五日室町小學校で

【新京電話】修養團主幹蓮沼紋藏氏の來京を期し第五十三回修養團講習會を二十二日より二十五日に亘り南嶺に於て開催するが二十五日は午後一時より室町小學校に於て滿洲修養團發會式同じく大會を開催することになつた、これを機會に從來各地に散在してゐた滿洲修養團も完全なる統制を受くることになる譯である

は一日一千五百元から二千元小驛でも二三百元の賣揚あり地方民は非常な感謝の意を表してゐる、それで海龍と山城鎭を各一日延ばして慰安することになつた

常陸丸三十年祭典

日露の戰役に不朽の光彩を遺した常陸丸が殉難してから恰も今年は三十周年に當るので其の命日たる十五日午前十時より第一師團の主催で青山墓地に於て殉難者の遺族を初めとし荒木陸相以下陸海軍將星多數參列して嚴かに祭典が行はれた（寫眞は其の祭典、右側遺族席、左側參列の將星）

成層圏

飛んだ尖端稼業

堂々と手數料を取つて若い男女の縁談をとりもつてゐた尖端家業の男が風紀紊亂のかどで東京市西神田署に檢擧された、この男は神田郵便局の通信書記補で同市瀧野川區西ケ原一一四、鈴木隆(二七)といひ最近都下の各新聞紙に「男女の淸き交際をお望みの方は申し込んで下さい—趣味の社交機關葉蘭社」といふ廣告を掲載し、入會希望者から五十錢づゝを徴取して男女の自己紹介を滿載したパンフレットを送附してゐたもので、この中には十名の女學生が入會してゐた、例へば「廿四歳の女、毎日神田のY・W・C・Aに通つてゐます、趣味は音樂、映畫、若い男かなサラリーマンをお友達に欲しいのです」または「廿八歳の男、某省官吏、讀書と犬が好き、純眞な女性の友人を求む」

有史前の結婚式

生活の簡易化……から遂には文明から野蠻へ！までで叫ばれてゐる現在、これはまた超バーバリズムの結婚式が行はれた……ところはロサンゼルス、花婿が猿股一枚のドクトルでダブリユー・エッチ・クレープス氏、花嫁がこれまたズロースに下着のミス・キアロル・アニータ・ホーフアー、花婿の持物は靴一足、花嫁は唯一の持參品キユーピットまで簡易化さは少々氣味が惡くなる位だ

那須與一以上

四千年の歴史を有するインド弓術紹介のため來朝中の大家カニワレ

生涯無錢旅行

世の中にはイロ〳〵と變つた記錄保持者はあるがこれはまた無錢飲食せ

非常時『精神病』

安樂椅子

「僕の野球は古いもんで始校時代に仲間を集めてやつたんだ、隊附となつてからもこころで野球チームを作つて參いたが、ここに第十四聯隊長時代に作つた聯隊チームなんか當時北九州を風靡したもんだよ」と大變な氣焔。

「大連へ來るやうになつて第一の樂しみは野球見物が出來ることで、もうネット裏に四つ席を取つてあるよ」と熱心なものである。

颱風圏内 (30)

畑耕一作　山田喜作畫

蠟人形（六）

――晨也が、その家を出たのは灯ともし頃だつた。

わざと、半丁ばかり離れたところに待たせた自動車へ、彼は飛び乗つた。

二階の窓から織江の見送る顔が夕闇に白く浮んでゐた。

振り返りざま、晨也は右手をあげた。

白い顔もニコリと頤をさげた――やうだつた。

「蠟人形のやうに美しい……が、蠟人形のやうに……脆い」

彼は口の中で呟いた。

「すつとお歸りになりますか?」

運轉手は訊いた。

「いや、銀座へ出てくれ」

「は」

自動車は走り出した。

晨也は、また例の如くクッションに身を埋めて、瞼を輕く閉ぢた――。

尾張町の角で、彼は降りた。

まだ宵の口なので、鋪道はネオンサインや電飾や、五彩の光帶を搔き亂しつゝ、雜沓が續いてゐた。

その中を、晨也は中折帽の鍔を引きおろして、俯向き勝ちに縫つた。

カフエーへ入るのでもなく、飾窓をのぞくでもない。

なんの目的?たゞの氣まぐれな散歩なのか?

――と、彼はC百貨店の角まで來た。ちよつとそこで佇んだ。腕時計を見た。

「八時……」

彼はなにかうなづいた。葉卷を出した。火をつけた。

「相濟みません」

いきなり、どこからか、脊のヒヨロリとした會社員風の男が近づいて來て、輕く頤をさげた。指に卷煙草をはさんでゐる。

「どうぞ」

晨也は、點火器をパチンと開けた。

グッと押れ合ふやうに彼は顔をつき出した。

瞬間二つ三つの囁語を、低く口早に話した。火を貰ひながら――

「有難う」

彼はまた頤をさげて、雜沓にまぎれ込んだ。

ゆつくりした歩調で、晨也はそこから右へ――銀座裏に出た。

BOUQUETと紅色のネオンサインで書いた看板を見屆けて、彼はズッと入つた。

小さな家だが、流行ると見えて客はたてこんでゐた。テーブルもボックスも、空いてゐなかつた。

「いらつしやい」

愛嬌よく迎へたが、女給はやゝ困つたやうだつた。

「や、こゝを僕一人で占領してゐるのはいけない。君、どうですか僕と一緒におなりなすつては?、僕、相手なしで詰らながつてゐるところです。こゝの誰も構つちやくれないし」

一隅のボックスから聲をかけた紳士があつた。

「あら、お構ひしやうとしても、あなたのはうで、うるさいつて仰有るぢやありませんの?」

他の女給が口を尖らせる――眞似をした。

「難有う。お差つかへなければ」

「どうぞ」

「失敬します」

――晨也は彼と向き合つて腰をかけた。ミリオンダラアを註文した。

しばらくの間に、その紳士との會話がはずんで來た。

まつたくはじめての、見知らぬ同士らしい態度を兩人は持つてゐた。――が、客にも、女給達にも注意こそ引かなかつたが――彼等の眼は、時々妙に、合圖のやうにまたゝきかはされた。

新刊紹介

▲ソウエート聯邦事情（六月號）ソ聯を繞る歐米國際政局最近の動向、ソ聯内各地發電所破壞陰謀及間諜事件の眞相、ソ聯産業の心臟ドンバスの業態、都市農村の商品流通、ソ聯鐵鋼業の生産貿昂騰、東支鐵道紛爭問題とその前途、重要事項日誌（政治、外交、軍事、一般農、工、商、交通、財政一般、社會、勞働、文化一般、露領極東、滿蒙一般、日露關係一般）研究及資料、ソウエート經濟の貨幣問題、統計ソ聯輸出統計（價五十錢、取次販賣所大連市紀伊町九一滿洲文化協會）

▲經濟會議（六月號）ファシズムの經濟理論（向坂逸郎）銀問題の欺瞞性（木村禧八郎）戰債、賠償問題（香川保譯）アメリカ經濟危機の爆發と其發展（中澤辨次郎）月報經濟（清水生）數十會社の成績と前途豫想（本社調査部）消費經濟から見た五大百貨店等々（價三十錢、東京市日本橋區江戸橋二丁目六明正ビル經濟研究社發行）

▲滿洲公論（六月號）價五十錢、大連市紀伊町九番地滿洲公論社發行

▲警察協會雜誌（第三二二號）價三十錢、關東廳警務局内發行

▲日滿往來（六月號）價二十錢、東京市中野區沼袋南二丁目一五日滿往來社發行

▲國史研究資料（第二册）價四十錢、東京市小石川區原町六十四番地勿來社發行

▲プロレタリア文化（五月號）價三十五錢、東京神田區今川小路一ノ一江戸ビル内日本プロレタリア文化聯盟發行所

▲雜誌「考へ方」は第九回の數學英語、國漢の誌上綜合試驗を企てその問題を「考へ方」七月號に發表した、其の成績と講評とは十月倍大號に發表する、目下その懸賞答案大募集中で受驗準備に勵む學生諸君の應募を望んでゐる、而も特に今年は合格賞五百名の外に最優者十四名には副賞として高級文房具を贈り、又合格者を最も多數に出した學校へは大花瓶を贈呈するといふ右問題付答案用紙は東京市神田區一橋通町の「考へ方」研究社に申込めば無料送附

▲聯珠の友（六月號）價三十錢、東京市荒川區日暮里町三七七二聯珠の友社發行

▲批判（第六號）二千年前のファッショ革命（如是閑）神田孝平著者「農商建國辨」における誤謬の必然性（住谷悦治）獨逸ファッショ革命印象記（安孫子理兵衛）瀧川問題スクラップ（三谷七郎）サウエート同盟における貨幣と流通（H・ナグラー）社會ファシズムの價格論（パエルスナー）米國民に告ぐ（バーナード・ショウ）學問の傳統的意義と近代國家の教育（長谷川萬次郎）驅込より（爾保布）暗躍と大衆、ワシントン會商よりロンドンへ（市村）世界經濟會議と日本（四方田）東支鐵道賣買問題（嘉治）支那國民主義の現實（深尾）等がある（價三十錢、東京市中野區上ノ原町六番地我等社發行）

けふの放送

大連　JQAK　六月十八日

▲午前六時　ラヂオ體操第二

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一

▲午前十時　新譜レコード（コロムビア）

▲午前十一時五十分　講演（新京より）「滿洲國の文教に就て」文教部督學官岩間德也、ニュース

▲午後二時二十分　野球試合實況（實業對滿倶第二回戰、實業球場より）ニュース

▲午後六時　ニュース

▲講演（六時三十分）「軍用犬並動務犬に就て」帝國軍用犬協會理事淳下信義

▲大日本大相撲取組（七時、電氣遊園下相撲場より）說明大日本相撲協會行司木村庄三郎

▲ラヂオドラマ（八時）「直情」新進座一幕（場景）第一景東美容院の店内、第二景同二階中條夫妻の部屋、美容院主東富子（北村紫郎）同院見習おしげ（若柳光子）電車の車掌中條清（吉岡春彦）清の妻百合子（瀬愛子）寶石店番頭加川二郎（木村忠生）放送指揮岡村総

▲ニュース

▲氣象通報

東京　JOAK　六月十八日

▲ヴアイオリンと管絃樂（六時三十分、日比谷公會堂より）（一）管絃樂「レオノーラ序曲第三番」ベートーヴエン作曲（二）ヴアイオリン獨奏（管絃樂伴奏）「ロマンス長調作品五〇」ベートーヴエン作曲ヴアイオリン獨奏ロベルト・ポラック、管絃樂東京音樂學校、指揮クラウス・プリングスハイム▲小唄（七時）岡小多滿社中▲映畫物語（七時二十分）「つばさの天使」片岡醒夢、伴奏指揮宇賀神味津男▲浪花節（七時五十分）「近世遊俠傳和泉屋次郎吉」春日亭清鶴

冷酷極まる樓主に悲慘死の復讐

北滿の「籠の鳥」悲話

「きはらし」藝妓謎の自殺未遂

【チチハル】市内邦人料理店「きはらし」に於て續いて二名の抱へ藝妓の服毒自殺未遂事件があつた、樓主側では外聞を恐れ事件の内容を極秘に附してゐるが仄聞する所によれば今度の事件は世間よく傳ふる「冷酷なる樓主に虐げらる〻彼女等」の内面生活の悲慘な一斷層を暴露したものとして非常なセンセイションを捲き起しつ〻ある、事件の概略は次の如きものである

同店藝妓千丸こと内藤廣子(一九)＝靜岡縣田方郡錦田村生れ――は本月一日午後三時頃多量の阿片を服毒し苦悶中を家人に發見されたが樓主側では極秘を守つて昏睡狀態の同人を放置して醫師の診療を求めず二日を經過するうち同家の藝妓が氷囊用の氷を日本慈惠病院に貰ひ受けに行つた事から院長堀淸氏の聞くところとなり、往診の結果右事實が判明するに至つたが堀醫師は昏睡狀態の同人に應急處置を施したる結果漸く意識を恢復するに至つたが越えて四日には又々同樓抱へ藝妓梅千代こと高木さつき(一九)――廣島縣廣島市小在町生れ――が服毒自殺を計つた騷ぎに今度は本人の容體が險惡なので求めた處、ベロナルを服用せる事件の抹殺を恐れ堀醫師の來診を判明したので直に處置を施したる結果漸く一命はとりとめた

父の病氣を苦に

「きはらし」樓主談

斯く前後二回迄も同一店より自殺者を出すに至つた「きはらし」の内情は略想像に難くないが右に就き樓主は語る

千丸が自殺を計つたといふのはどうして外部に漏れたかしれませんがそれは梅千代との間違ひではないでせうか、梅千代は郷里の父親が病氣のため最近憂鬱さうにして居ました、それに國元へ送金を斷つた爲め思ひ餘つてあんなつまらぬ事をした事と思ひます、別に虐待云々といふ事はありません

千丸の事に就いては堅く口を緘して語らぬので記者は尙ほ「本人は事實多量の阿片を呑んだと言つて居るではないか」と追及すると漸くのことに一阿片は呑みましたがあれは客の置き忘れて行つたのを飮んだのです、自殺云々とは思へません、別に込み入つた事情はありません」と白を切つた

とにでもと一寸散歩に出かけて歸りが遲くなると「時間の線香代」をつけられます、そこでも私達は金で苛まれて居るのですが、せめて外出の自由位……私の口からはこれ以上樓主の惡口を聽かずに下さいと輕く逃げた

何所までも金が仇

千丸の話

一方千丸は

そんな事は新聞に書かずに下さい、それは私共へ毆つたり、監禁したりする樣なひどい事をした事はありませんが私共の萬事不行屆から樓主に歡迎せられぬ事は事實です、親兄弟に別れ金といふ名に縛られ遠い北滿の籠の鳥でたゞ一人暮らさねばならぬ私達の境遇は一面非常に生活をセンチなものにします一寸女將から叱られたりするとツイ氣が滅入つて死ぬといふ事まで考へさせられます、强くならねばならぬとは思ひながら、つい弱い女となつて仕舞ひます「きはら

吉林に大公園新設

名實備る山紫水明鄕

【吉林】山紫水明を謳はれつ〻奧山に淸く美しく華やかに徐々伸びんとする吉林都市、人口は日を追つて激增し諸種の施設工事は充實に向つて人口は正に二千五百萬を算ふるに至らうとしてゐる、天然の美は松花江畔を中心に東に西に延びて行かんとして居る、過般着手せし都市計畫も着々として進行し建國日淺き滿洲國の將來に向つて王政充實せる大吉林都市の實現に入らんとして居る、右に關し過般着手せる商埠整理委員會にては今回吉林名所たる大公園の新設が企劃され旣に土地の詮衡等が終つた模樣で現在新緑を誇つてゐる北山公園は其の第一候補地として算ぜられ北山より江岸に出で〻山水の美を右手に護岸道路の終點たる東大灘方面にも北山公園と纏を美にせる公園が新設さるべく從つて中央國道局よりは近く專門家實地檢分に來吉する筈で之れに依つて其の他詳細が建てられるのである

七勇士の慰靈祭執行

十六日鞍山で

【鞍山】去る七日東邊道羊祭臺附近で匪首鐵血の率ゐる約四百名の敵匪と激戰、實に四時間に亘り遂に之を擊退した本溪湖野坂○隊の宮川曹長以下七勇士は壯烈無雙の戰死を遂げ鞍山○隊本部に安置されて居たが十六日午後一時三十分から靑葉薰る練兵場で盛大な慰靈祭が執行された

練兵場の東端に設けられた祭壇には七勇士の芳骨と寫眞が祀られ滿鐵會社、製鋼所を始め各團體沿線各地から贈られた生花、花環、弔旗はさしもに廣き場内を埋め羽山少佐以下將兵在鄕軍人會、時局委員會、小中學生、靑年團、靑訓、時局婦人會、其他一般官民、滿洲國側代表、沿線代表と多數參列し佛敎團の讀經燒香あり弔辭、弔電の朗讀ありいとも嚴かに式を終つた

對外競射會

四平街對鐵嶺

【鐵嶺】鐵嶺體育協會大弓部では十八日全四平街大弓部選手を迎へて正午より滿鐵射場で本年始めての對外競射會を開催する、此の大會は近く奉天において行はる〻全滿選手權大會出場選手の豫選につき同好者多數の出場を希望するといふ

正義團内の『在家裡』四五千

小林正義團理事談

【奉天】在家裡の結社運動が滿洲において表面化して來たにたいし滿洲國正義團の常務理事小林德三氏は語る

近來支那の結社家裡會の名が今更ら世間に珍らしいもの〻やうに傳へられてゐるが、同會員中には滿洲正義團に入團してゐる者約四、五千名に達してゐる、家裡會と正義團の主義精神指導については能く似た點を見受けるが、相違してゐるところは王道主義精神によると國家意識を

明瞭に 正義團が有してゐることである、家裡會は聞くところによると約百年前南方支那に濫觴を有し、漸次北方に傳播し今では滿洲に擴大して來たもので、身分の高下を問はず兄弟分親分乾兒の精神があり、先輩長老を尊敬し、主義綱領に絕對服從を宣誓する根本方針としては弱者に對する强者の壓迫を斷然團結の力で排除するのが本願であつたやうに思ふ、然し彼等は一種の主義運動を表面化さず一種の精神的慰安として地下的に潛行運動をなして來たのである

正義團 としてはこれを人類愛の立場から正々堂々と表面化し世界正義を眞向に社會邪惡の打倒を叫んでゐるので、家族會員が多數正義團に加入してゐるのである、要するに彼等の主義を實行するには當然或種の犧牲を覺悟せねばならぬのであつて單に外部から何等かの方法で指導統制せんとすれば非常に困難でないかと考へる矢張り精神的指導といふものは團體の中樞神經系統となつて大衆が動かればならぬであらう

四平街辦事處

【四平街】滿洲國協和會四平街辦事處にては

神鹿獻納

鐵嶺守備隊の斡旋で

勳に支部の中堅高附氏が吉林事務局に榮轉以來甚だ不振狀態を續けてゐたが、今回京都帝大出の新人村上滿男氏をその後任に推薦本部の許可を得たので愈々本格的に活動を開始することゝなつた、同氏今後の飛躍が期待されてゐる

【鐵嶺】當守備隊於保少佐が瀋海線方面匪賊討伐出動記念として昨年鐵嶺神社に獻納した神鹿二頭は立派な建物の中に飼はれてゐたが間もなく雌が死亡し現在雄一頭のみなるを以て今回再び守備隊の斡旋で雌二頭が寄贈される事となり久しく獨身生活であつた雄君に花嫁を迎へるべく準備中である

鞍山中學寄宿舍を新設

滿鐵へ申請

【鞍山】鞍山中學校寄宿舍日新寮は今回製鋼所が滿鐵から分離し人員が激增するので製鋼所は此の寄宿舍を取上げ所員獨身宿舍に當ることゝなつたので、中學側は急遽寄宿舍設立の要に迫られ學校側では經費十二、三萬圓の豫算で寄宿舍設置方を滿鐵に申請中であるが、近々それが認可を見る模樣である此の寄宿舍は中學校南側の敷地に建設し來春四月に日新寮明渡しまでには竣工を見る豫定であると

勇敢に組みついて三名の滿人賊逮捕

鳳凰城白英植巡查補

【鳳凰城】十五日午後七時四十分頃鳳凰城々内領事館駐在所勤務巡查補白英植氏が事務室に於て簿冊整理中滿洲人三名突如表入口より侵入し同巡查補に組付き拳銃を强奪せんとしたのを逸早くこれを感知した白巡查補は内一名を組伏せたところ他の二名は背後より迫り拳銃のサックを捉へ奪取せんとしたる間一髮格鬪を續けつゝ拳銃を一發々々射したので賊は驚き手を弛めた瞬間白巡查補は跳起き樣一發を賊の頭部に盲貫銃創を負はせ駐在所表入口より逃走せんとするのを勇敢に追跡負傷したる賊一名格鬪の上逮捕し更に前方附屬地方面に逃走せんとした他二名を折柄立哨中の滿洲國兵四名に大聲で應援を求めたので同兵は發砲しつゝ迫り賊は其の退路を遮斷され狼狽してゐた折柄、一方白巡查補の妻女が夫の格鬪中氣轉をかし鳳凰城本署に急を電話したる爲め本署よりは警戒中の田坂警部補以下八名急遽出動し遂に一味三名を逮捕八時過ぎ本署に引揚げた、賊は原籍鳳凰城縣第一區四臺子現住所鳳凰城王某(二〇)外二名で某重大犯人なるものゝ如く鳳凰城署では渡邊司法主任の手により嚴重取調中である、なほ白巡查補の今回の勇敢且つ機敏なる行爲は署内は勿論一般からも非常に稱讃されてゐる

新鑛業條例八月中に實施か

全滿鑛區統一は困難

【奉天電話】新鑛業條例の發布は各方面にて一日も早く施行されることを期待してゐたが、新京の實業廳長、鑛務科長會議の結果、條例、細則その他に愼重審議の要あり八月中には實施される模樣であるが鑛山監督署の設置による全滿的鑛區の統一は稍鑛業行政上至難の點あるらしい、從つて實業廳の現行制度を維持する方針とみられてゐる

射擊會開く

十八日鐵嶺

【鐵嶺】鐵嶺在鄕軍人分會は十八日午前八時より衞戍病院東方の假射擊場で全鐵嶺市民の恆例射擊大會を主催する、從來の射擊は騎銃を使用したるも今回は時節柄機關銃の操縱と射擊法も一般に會得せしめ置く必要ありとし特に守備隊から現役指導官を招聘し機關銃の射擊大會をする由、射擊距離二百米、發射彈數十發、優秀者には第一種(在鄕軍人)三十等まで第二種(其他の者)二十等までの賞品を贈るにつき一般多數の參加を希望すると、なほ拳銃試射希望者には拳銃携帶者に限り特に便宜を與ふるにつき御婦人連も擧つて參加されたいと

體育協會、在鄕軍人會、其他後援の下に二十三、四日兩日間(雨天順延)每日午後四時より市内西四條廣場に於て開催さるゝが橫綱土俵入もあり多數の好取組あることであれば早くも人氣が上つてゐる尙入場料は次の通り

△正面棧敷一桝四人詰十圓△特等二圓△一等一圓五十錢△二等一圓△軍人、警察官、中學生五十錢

奉天商業學校新築懇談會

【奉天】日下内務局長と在奉有力者との間に奉天商業學校々舍新築問題につき十六日午後五時よりヤマトホテルにおいて懇談會を開催の結果日下局長より奉天商業學校開設に關する說明あり次いで東洋協會の設立に拘はる關係上なほ二萬圓の設立費不足につき在奉有力者より何分援助されたき旨の挨拶ありこれに對し充分の助力を惜まざる旨有志代表の挨拶ありて閉會したが右商業學校新築は本年九月頃より實施される筈である

なほ鞍氷用大プールは目下修理中につき七月一日より使用の豫定

四人組怪漢馬車夫を襲ふ

十四日チチハル南砲臺屯で

犯人は逃亡兵匪か

【チチハル】當地南方十二支里砲臺屯(飛行場附近)に十四日午前四時頃各自拳銃を携帶せる四人組の怪漢現れ通行中の滿人馬車夫二名を襲ひ、内一名を射殺し、馬匹六頭を强奪逃走した、急報に接した公安局では馬隊十四名を編成目下急追中であるが、被害者の談によれば、該匪賊の中一名は大尉、一名は中尉の肩章を附した正裝を便衣の下に着してゐた所より逃亡兵ではないかと觀られてゐる

建國記念の大運動會

【撫順】建國記念第二回撫順大運動會は滿洲國協和會撫順支部主催の下に十八日午前九時から午後三時まで靑葉薰る附屬地永安臺競技場で開催される

參加學生は日本側撫中、工實、高女、永安、千金、東七條、新屯各小學校、普通學校の八校滿洲側安師、女子職業、公學校、第一、第九、第十附屬、國語館

附設小學校、民立第一小學校の九校合計十七校一萬五千の日滿生徒が參加四十餘回に亘り運動競技を演ずることになつて居り殺到する日滿觀衆の雜沓さとも盛況を呈することであらう、なほ演技開始に先立ち全員整列の上滿洲國旗揭揚式を舉げ夏撫順縣長の開式辭があると

鮮農の樂土に巡查增配

【營口】鮮農の樂土營口農村に警察官派出所開設に依り旣に派遣せる上に尙巡查五名巡捕五名增配せらるゝ事となり不日到着の上直に同村に派遣されることになつた

西公園のプール開き

廿日撫順の

【撫順】河童跳躍の夏が來た、體協西公園プールは二十日午後三時半から開場式を行ひ直に開場する但し入場者は木札又は協會券を要しない者は入場料一回五錢を要す

鐵嶺の建國記念運動會

【鐵嶺】第二回滿洲建國記念陸上運動會は旣報の如く十八日午前八時より衞戍病院前の滿鐵グラウンドにおいて日鮮滿學童全部參加して盛大に擧行されるが競技は聯合體操各校對抗リレーを始め選拔選手の競技あり楊縣長以下鐵嶺滿洲側官民多數列席日本側も此の意義ある大會を盛大ならしむべく官民擧つて參加列席する筈で本日の大會は昨年度以上に盛大ならんと豫想されてゐる

旅順市參事會

【旅順】旅順市では來る十九日午後一時から左記議案に就き市參事會を開催する

一、旅順市起債の件

二、一時借入金を爲すの件

三、昭和八年度旅順市歲入歲出豫算追加更正の件

四、旅順市公告式規則中改正の件

大日本相撲

廿三日から撫順で

【撫順】大日本相撲協會の大相撲は撫順新報主催撫順[illegible]

二木博士の講演會

【撫順】二木式腹式呼吸法や玄米食の研究實行家として又本邦醫學界の權威として知られてゐる修養團常務理事東大敎授二木謙三博士の講演會は二十日午後七時から庶務課主催撫順高女講堂で開催さるゝと、尙講堂の履物は靴草履に限られてゐるので下駄の人は上履を持參されたい

料理講習會

【公主嶺】滿鐵地方課派遣、全權府、參謀及滿洲國警務司長等の紹介により家庭料理の講師松崎正風氏は十五日來公同日午前十時より午後四時まで公主嶺家事講習所に於て在住婦女子のため料理上の理論は別として安價なる諸材料を以て美味滋養に富み且つ手早く出來る安價料理を實習會得せしむるので多數の受講者であつた

鐵嶺商議の議員會

【鐵嶺】鐵嶺商議々員會は十六日午後三時より同所樓上で開催、決算豫算報告の後創立十周年記念祝賀會開催の件を附議したが暑さの折柄とて秋まで延期するに決し、書記長改稱問題は内地會議所同樣理事と改稱するに可決した

鐵嶺鄕軍定時總會

【鐵嶺】在鄕軍人分會では十八日の射擊大會を好機とし正午の休憩時間を利用して午後一時から射擊會場で定時總會を開催評議員の改選を行ふにつき會員多數の出席を希望すと

庭球大會

【鐵嶺】當地松屋運動具店主催第七回庭球大會は同店寄贈のカップを中心として本日午前十時半より松島町コートで開催されるが、出場選手五十名に近く盛會であらう

辰本氏赴任

【鐵嶺】鐵嶺署高等係巡查辰本亭氏は十五日附を以て巡查部長に昇任し依願免職沙河口警察署支那語通譯として近く赴任の筈なるが、巡查山本要助氏も部長に昇任近く某方面に轉任の模樣である

藤森氏榮轉

【鐵嶺】當地金融組合初代の理事として敏腕を揮ひ今日の良好な成績を示すに至つた功勞者藤森誠氏は今回四平街金融組合理事に榮轉の旨發表された、後任には營口金融組合書記玉利氏が來任すると

秋篠少佐榮轉

【チチハル】當地の憲兵分隊長として事變以來奮闘努力軍民兩方面に名聲嘖々たりし秋篠少佐は今回〇〇に榮轉さるゝ事となつた、同少佐の榮轉はさる事ながらチチハルより名隊長を失ふ事は官民共に惜別の極みである

聖德會招宴

【四平街】當地聖德會では旣報の如く十五日午後五時より驛構内食堂に在四新聞記者、通信員を招待來る二十七日大同電氣橫廣場に於て興行する東京相撲に對し何分の助力を懇請した

鐵嶺雜聞

▲十五日午後四時頃兵器部對地方事務所の野球を觀戰中だつた藝陽商行主人佐々木甚藏氏は猛烈な直球を顏面に受け眼鏡を壞し眼に負傷して病院に擔ぎ込まれたが引續き入院加療中

▲彩票に惠まれず一般に厭氣のさしてゐた鐵嶺へ福の神も憐れに思召してか一千圓を當籤させた幸運者は石炭組合の田上長吉君だといふが御本人は違ひますよと否定してゐる、コラ奢らんと福の神に見離されるぞ

▲惡疫流行の季節到來此處數日中に九名の患者が續出した患者は子供が多い父兄達は用心すべし

育兒の栞

母親の潜伏脚氣は乳兒の便で判る

醫學博士　小田美穗

消化不良の手當では癒らなかつた乳兒の綠便が、脚氣の手當で健康便になりました。

乳兒に綠便があると、大抵の母親は、すぐに胃腸病だときめて了つて、消化劑や整腸劑――つまり消化不良の手當に終始してゐる樣ですが、同じ綠便でも消化不良からでなく、乳兒が脚氣に罹つてゐる場合にも仲々多いものです。

かうした綠便には、勿論脚氣の手當が必要であつて、消化不良の

手當だけを施して

ゐては、到底恢復いたしません。

元來乳兒の脚氣は、母親に脚氣があつて、其お乳の中にヴイタミンBといふ榮養素が不足するのが最大の原因です。併し必ずしも母親に發病した後乳兒に現れるとは限らず、母親にはまだ少しも症狀が見えない、つまり潛伏してゐる內から乳兒だけに、その症狀として綠便の現れる事があるのです。

日外も一人の母親が、生後六ケ月目の乳兒を私の病院へ伴ひて、この子がひどい綠便が續くので、色々と消化不良の手當をしたが恢復しないと云つて診察を受けに來ました。

母親は、今では別に異常もないが、以前に一度脚氣を患つた事があるとの事なので、或は乳兒脚氣の爲ではないかと、脚氣の手當をしておきました處、乳兒は症狀が非常に早く輕快し、間もなく丈夫な赤ちやんになりました。之によつて、その乳兒の綠便は

果して脚氣の爲で

あつた事が分りましたが、しかもその後二ケ月ほどして、母親に明かな脚氣の症狀が現れました。

つまり母親には、前から脚氣はあつたのですが、身體の抵抗力が乳兒より強いために暫く潛伏してゐたもので、その乳をのんだ乳兒の方が、却つて早く症狀を現した事を物語つてゐます。

この母親に限らず世間には、愛兒の綠便に惱みながらも、原因を消化不良許りときめて脚氣に思ひを致さず、徒らに病氣を永引かせるのみか、昂じては心臟を犯され愛兒ばかりか、母親までも生命を奪はれて了ふといふ悲慘事も隨分多い樣に見受けます。

だから、母乳兒の綠便が、消化不良の手當で捗々しく回復しない場合には、是非共、乳兒にも母親にも脚氣があるのではないかと注意しなければならぬが、それよりも寧ろ、乳兒に綠便を發見した時は、躊躇なく、消化不良と脚氣の兩方に對する手當をしてやる必要があります。

そして其爲には、一つの藥でこの異なつた二つの病氣を、原因的に恢復に導くといふ面白い効果をもつたヘーフエ菌劑を用ひるのが最も賢明な方法でありませう。

この藥には、脚氣に著効のあるヴイタミンBが生物中随一といはれる豐富さの上に、A、C、D、なども含有し、而も消化を助け胃腸を丈夫にして、便通、利尿を整へ、或は全身の衰弱細胞に活力を與へて、新陳代謝を活潑にする等の作用ある成分が充ちてゐます。

鳩を人爲的に脚氣に罹らせ瀕死の狀態に陷つたものに、ほんの僅許りのヘーフエ菌劑を與へると、

三時間たてば恢復

して餌を拾ふ樣になる――といふ大學の動物實驗でも明かな樣に、この藥は乳兒脚氣にも大人の脚氣にも面白い程の効果を奏しますが、また乳幼兒の消化不良を正便に還し、衰弱を恢復して、非常に發育をよくする等の効果にかけても、優れてゐます。

この有効なヘーフエ菌劑が、日本で最初に家庭藥に造られたのは帝大の澤村名譽教授で「錠劑わかもと」がその藥であります。

離乳期の食物はどんな物がよいか？

與へる時期とその種類

赤ちやんの離乳は、生後いく月目頃にするのがよいか――と云ふ質問をよく受けます。素人が心配されるのも御尤も、醫學上でもきまつた譯はありませんが、前臼齒が二つ三つ生えて來た頃にするのが最も自然であらうと思ひます。卽ち、全く離乳して固形食に移るのは、生後十二ケ月から十五ケ月の間で、生後八九ケ月頃から準備としてボツ〳〵お乳以外の食餌に馴れさせます。

前臼齒が生える事は、自分で固形物を食べてもいい樣になつた――といふ無言の警告であり、その頃になると、赤ちやんの發育を完全にするには、もう母乳だけでは、榮養が足りなくなつて來るからであります。

それで、先づ最初にはごく薄い重湯を、お乳の前に盃に一杯づつ、一日に二回位與へ、異常がなければ、だん〳〵分量も濃さも增して行き其他ビスケット、かる燒など輕い菓子を時々與へます。

かうして、乳兒の身體の樣子に注意し乍ら、月が進むにつれ、母乳の回數を少くし、反對に重湯をお混りに、お混りをお粥に――と徐々に變へて行つて、ごく自然の裡にお乳をよしてしまふのですが、勿論それだけでは榮養が不充分ですから、副食物としてほうれん草、人參、豆腐の裏ごし、鰈の樣な淡い煮肴、果汁、牛熟黃卵等を少しづつ與へて、成るべく

廣い範圍に榮養を

攝らせる事が大切です。しかし榮養分だけ澤山與へても、これを吸收する胃腸の働きを度外視する事は大へん危險で、兎角離乳期の小兒が、消化不良に犯されるのはこの不注意が最大の原因です。

胃腸に消化吸收の働きをなさせる、つまり胃腸の油ともいふ物は、酵素といつて、大人でもこの力が衰へれば食物の消化吸收は素より、胃腸を始め全身細胞その物が衰へて、種々の病氣を起しますが、特に乳兒ではまだ酵素の分泌量が少く、且その力が弱い爲に、消化不良に陷り易いのです。

處が、最近この人體――特に乳小兒に缺く事の出來ない酵素、並に、優秀な各種の榮養素、リジンヒスチヂン等の小兒發育要素までが、ヘーフエ菌の體內に

都合よく含まれて

ゐる事が發見されました。そして澤村博士の『錠劑わかもと』がこのヘーフエ菌の全成分を內服藥に製へたものです。

之を離乳期の小兒に與へますと吸收容易な榮養素が補給されるのは勿論、夥しい酵素の作用で、胃腸はじめ內臟の組織細胞が著るしくその機能を發揮して、食物の消化吸收を非常によくしますので、食餌の變化から招き易い消化不良の心配もなく、自然榮養が佳良になつて來ます。

夜泣と寢小便

乳吞兒から三四歲までの子供は、夜泣きといつて夜中に急に物に怖えたやうに泣出し、容易に泣きやまず、親達をこまらせることがあります。これは神經質な子供に多いのです。さうしてかういふ子供は大概身體が瘦せて皮膚が蒼白く、榮養不良で、胃腸も丈夫でありません。

これには澤村博士の『錠劑わかもと』を與へますと、消化不良や便秘などの胃腸障碍が恢復に赴くと同時に、神經を養ふ効果もありますので、夜泣きも自然にやんで、身體も肥つて參る譯であります。

（記者付記）「錠劑わかもと」は二十五日分一圓六十錢、八十三日分五圓といふ奉仕的廉價で東京市芝公園大門際、榮養と育兒の會（振替東京一七〇〇番）から頒布されて居ります。希望者は右へ藥價だけ送付すれば送費は、會で負擔して急送されます。

「乳兒の綠便も」

私の產後衰弱も恢復

篠原みき

（前略）また生れぬ先から、丈夫で育つようにと、その弱い子供を見る度毎に思つてなりましたがいよいよ生れてから、その願ひは裏切られてしまひました。

お乳の不足するのを牛乳で補つてゐる關係でもありませうが、どうも發育がわるく、綠便にはいつも靑黑いぶつぶつがまじつてゐますし、それも毎日回數が定まらず、多く出たり、僅な時間に何遍も通じがあつて、きげんも惡いので困つてゐました。（中略）

夫が會社から歸りに、會社の人から手當をきいて來たことをやつてみてもだめです。全く困つてゐました。（中略）新聞ほどでもあるまいと思ひましたが、仕方がないのでためしに藥局から「錠劑わかもと」を一瓶買つて來て、お乳の度毎に少しづつのませてみました。

生れ

て四ケ月の初めまで、まるで不規則だつた便の通じが、お藥をのませた三日目頃から、何だかよくなつた樣に思つてゐましたら、案の定ひきつづいて、きれいな黃色の大便を、毎日するやうになりました。（中略）

その爲か、きげんも大變よくなつて、何だか肥つて來たやうに思ひます。夫も大變よろこびましてやはり藥が身體に合つてゐたのだなと云つてよろこんでゐます。

私も

產後大分身體がやせてゐましたが、「錠劑わかもと」の箱の中の記事を見ると、產後にもよいとありましたので、のんでみますと御飯もおいしくたべられ之まで秘結して困つた大便がさらさら出る樣になつてこの頃ではよほど元氣になりました。（中略）

赤んぼうは今月で七ケ月になりました。近所の人々が見てとてもかあゆい赤ちやんだと、ほめてくれるので、早く丈夫になつてよかつたと、私はうれしくてたまりません。（下略）

善鬼惡鬼 (109)

平山蘆江作　刈谷深隱繪

傳助殺し（二）

引窓から照すお濱の龕燈提灯に匕首が不氣味に光つた。片手につかんだ柄が、がく〳〵慄へるらしく、傳右衛門はしばらくまごついてゐたが、柄へ兩手をかけた。拜み突きといふ構へだ。

引窓の見張は、隨分氣を揉んでゐるのだが、中々はかどらない。思はず知らず、身もだえをしたので、引窓がガタリ。

途端に、傳助が寢がへりを打つたか、眼をさましたか、もく〳〵と蒲團の搖れたけはひだ。

傳右衛門は慌てた。只もう、無茶苦茶になつて

「エイ」と一突き、突きはづして又二太刀目を。

傳助が、悲鳴をあげてはね起きた。はねとばされた傳右衛門の上へ、蒲團をかぶせて

「どろぼう、どろぼう」と叫ぶ。

さうなると女の度胸はしつかりしてゐる。引窓の綱に手をかけるが否や、つる〳〵とすべり下りてすぐに傳助のうしろへ廻つたお濱片手をのどへ、片手を口へあて、老人のあたまを自分の胸へぐいと抱きしめた。

「ウッ、ウッ」と二三度呻つて、宙をもがいたが、立居も儘ならぬほど老いぼれた傳助である。女の力ながら、年増ざかりのお濱にとつて、手に立つ敵ではなかつた。

「こゝを、こゝんところを。早く〳〵」

お濱は囁いた。

「へイ、へイ」

漸く起き上つた傳右衛門も、助太刀が出來たと思ふと氣が強くなつた。

匕首を兩手に摑んで、老人の胸のあたりを、腹のあたりを、滅多斬りに斬りつけさいなんだ。

はげしい呻り聲。

七轉八倒のもだえ。

でも、三太刀四太刀は斬つたと思ふ頃、お濱は

「そんな事ぢやダメだよ」

あたまごなしに罵つて、老人の身體を傳右衛門へドンと投げつけるやうに突飛ばすと、傳右衛門は傳助もろとも、一たまりもなく、仰向けに打倒れた。

「こつちへお貸し」

さう云つて、傳右衛門の手から匕首を引つたくつたお濱、蒲團をつかんで這ひずりまはつてゐる傳助を、存分にえぐつて、到頭息の根をとめて了つた。

「だ、大丈夫ですかえ」

傳右衛門が、四つん這ひになつて、女の手許をのぞき込むのを尻目にかけて

「まだ少しあぶないから、お前さん、しつかりやつてお了ひ」

匕首を男の手に持たせる。

「お、お前さん、ついでにやつてお了ひなさいまし」

「へん、こんな手荒なことは、女のすることぢやないさ」

「ヘイ」

お濱の目が血走つてゐるので、傳右衛門は否も應もいひ得なかつた。

止むを得ず、本當に止むを得ず傳助をもう一度、ぐいと刺し通した時

「傳さん、一寸上を見て御覽」とお濱がつんと笑ひを含んだ聲で云つた。

「えッ」

何氣なしに、顏をあげた目の前に、ちかちかと光つた龕燈提灯、それは、何者か、眞黒な男の手に握つて、さしつけられてゐるのであつた。

傳右衛門は二度びつくりである

「あつ」と叫んで尻餅をついた頬桁を、コツンと蹴とばされた。

「そんなに手荒にするんぢやないよ、氣の弱い男だからさ」

女はから〳〵と笑つた。

「ちげえねえ役者見てえな色男だつけな」

眞黒な男も笑つた。顏も手も、本當に眞黒な男である。

近代やくざ風景

桃色のギャング映畫

『非常線の女』試寫評

近代やくざ風景を鮮彩に描いた桃色のギャング映畫である、セームス槇の原作、池田忠雄の脚色、小津安二郎の監督で、主演者は田中絹代と岡讓二、物語は大東京の暗黒街を背景とした與太者の義理人情、戀愛、そして友愛を扱つたもので近代的スリルの拔粹篇とも言ふべき作品

拳鬪家あがりの讓二(岡讓二)は相當顏の賣れた與太者だつたその情婦時子(田中絹代)は晝は會社のタイピストとなつて社長の息子に口説かれ、夜は姐御らしく振舞つてゐた、或夜讓二はダンスホールを荒す與太者をノシた、その男らしさに身内にしてくれと賴んだのは學生の宏(三井秀男)だつた、宏の姉和子(水久保澄子)の純情に打たれた讓二を嫉妬する時子、そして時子がまた和子の純情を見せられて讓二と共に稼業から足を洗はうとする時、姉の店の金を盗んだ宏が讓二に救ひを求めた讓二は時子を說き伏せて社長の息子から金を强奪して姉弟に與へたが、その時既に非常線は張られてゐた、そして時子は愛するが故にピストルで讓二を射つた

このストオリを小津監督は「また逢ふ日まで」に示したやうな良さを以て押し切り才腕を振つて與太者生活を描き、姉弟愛を絡ませてしがない與太者の悲しみを語つた日本映畫に珍しい作品である

岡讓二の與太者は勿論適役だし田中絹代もよく、三井秀男、水久保澄子、逢初夢子らのバイプレイも小津監督の優れた俳優指導でぴつたりとした氣分を出してゐる【寫眞は岡讓二の與太者と田中絹代のその情婦】

映畫國營論を提唱してゐる淺岡信夫氏が來る二十日頃東京を出發し來滿する▲要件は沖、横川兩烈士の三十年記念を迎へ再びこれが映畫化が計畫されてゐるので、そのロケハンを兼ねて各關係方面との折衝のため▲大阪で實演してゐる伏見直江が「女國定」などを呼び物に來演したいとの希望を傳へて來てゐる▲近來の名映畫として推賞されてゐる入江たか子の「瀧の白糸」はいよ〳〵月末映樂館封切と決り、それまでに寛壽郎の「山を守る兄弟」大會をやる▲來連中だつたパテーベビー輸入元伴野商店主は今朝の「はと」で北行

『叫ぶアジア』中央映畫館上映

松竹映畫『非常線の女』と共に

來る十九日から公開

本社主催で去る十二、三日兩夜協和會館にて一般公開に先だち有料試寫會を催し兩夜とも超滿員の盛況を呈し大好評を博した藤原義江主演トーキー「叫ぶアジア」は愈々來る十九日から中央映畫館にて華々しく市中一般公開することになつた、プログラムは「叫ぶアジア」及び松竹蒲田の特作品で才人小津安二郎監督、田中絹代、岡讓二主演のギャング映畫「非常線の女」興味ある近來の名映畫として期待されるもので、われらのテナー藤原義江が銀幕に愛國的軍歌「討匪行」を唄ふ人氣と共に全市の映畫ファンを熱狂せしめるであらう(寫眞は非常線の女の一場面)

本社特選 新棋戰（其二）

平手　先六段△飯塚勘一郎　六段▲齋藤銀次郎

【圖は二三歩迄の局面】

△飯塚氏持駒歩

▼齋藤氏持駒なし

△二二角成　▲同銀
△四八銀　▲八四歩
△八八銀　▲八五歩
△七七銀　▲四一玉
△五七銀　▲七四歩
△六八玉　▲三三銀
△七八玉

【土居八段講評】飯塚君の二二角成は手損ではあるが、角換へを止めて、若し四八銀では四四銀以下五筋より攻勢を採らるゝと味方の角の働きが薄くなるから、譜の如く直に角換へをしたのは局面上至當の對策である、但し四八銀の處は一旦六八銀と指し、而して後に四八銀と指す方が本筋である、齋藤君の八四歩は誤つた作戰で三三角打、八八角と打たせ、四四銀と上り、五筋より攻勢を採る處である。

【萩原七段解說】飯塚氏の二二角成は、茲で四八銀では敵に四四銀と指され、次に五五歩と五筋を壓迫されると面白くないから交換したのであつて、この角を交換しておけば位負けも逆襲の機會があつて響きが薄いのである、齋藤氏の八四歩は、此處で三三角と打つて敵に八八角と打たせ、次に四四銀と指して五筋を壓迫すると言ふ指方では、飯塚氏の二二角を交換したのが無効になる樣に思へるが、これは、二二銀の働きが重いと言ふ理由で八四歩と指したのである、飯塚氏の八八銀は、次に七七銀と上り敵の飛車先の歩の交換を避ける意味であつて、この局面に至つては先手は飛車先を切り後手は切れない、これが卽ち先手後手の微妙な差であつて、何れこの差が先手の徳として現れ形勢に大影響を及ぼす事になるであらう

來た甲斐があつた 今更認識不足を愧づ 滿洲國の前途も洋々
藤原王子製紙社長視察談

來滿と共に滿洲に於る製紙事業に新生面を展くものだと噂された王子製紙社長藤原銀次郎氏は豫定のコースを辿り十七日出帆ばいかる丸で內地に歸つた、離滿に臨みサロンで記者團に語る豫定の通りこの船で歸る來た事の無駄でなかつた事を痛感した、離滿の感想としては新京で鄭國務總理との會見席上滿洲國は立派に獨立國としての成長に歩一歩進んでゐるが、世界各國は未だに滿洲の實情に認識不足で貴國がそれの爲に國際聯盟を脫退し列國はまだ我國を差別視してゐる、從つて我々は機會均等門戶開放を聲明してゐるが、各國は未だに投資しようとしない、だから自然日本の資本家に對し大いに滿洲の產業開發に努力して欲しいと願ふものだといふ意味の事を鄭總理がいはれたが、これに對し自分は世界の人達が認識不足な許りでなく我々自身さへが

認識不足 だつた事を俄然感じた、滿洲の財政制度計畫がよくなつてゐる事には實に吃驚した自分はこちらに來て實地に調査して大小の違ひこそあれ、赤字を出してゐる日本の現狀よりもむしろ年收二千萬圓宛增えて行く滿洲の方がズツとしつかりしてゐると思つた、豫算で千三百萬圓を公債で借入れるつもりだつたものが、その必要が無くなつたと云ふ一事を見てもよく解る、滿洲は僅か一年たらずで收支よく償ふに至つた事を觀察し得て喜びに堪へないものだ明治維新の時ですらさう簡單にいかなかつた、それに中央銀行が難しい紙幣整理を處理し、やゝこしい奉票、吉林票等を一掃し國幣建にした上その發行額も既に一億となり、信用狀態も日本銀行札とパアパアで行つてゐるなぞはむしろ驚異に近い、もしもこの實情をすつかり歸つて報告し歐米に知らしめたら、日本許りでなく

世界各國 の資本家が翕然として集るであらうと云つたら鄭總理は非常によろこんでゐた、自分は餘り意外であつたので態々數字を取寄せて山成君や星野君に聞き直した程である、要するに日本人は軍事行動のみが優秀な許りでなく財政的に或ひは金融的にも立派な素質を持つてゐる事を知つた

御承知の樣に資本と云ふものは非常に臆病なもので安全で可愛がつてくれるところでなければ寄つて來ない、いぢめられるところへは決して寄りつかない、だから投資しようとするならどうしても生命財產の安全が保證されなければいけないと思ふ、それにはまだ各地にいきづいてゐる匪賊を一掃すべきである、そして投資の安全を計るべきだ、年收二千萬圓をもつて行政費警察費に當てれば好いではないか、それに停戰協定によつて日本の軍隊が大きなバックの力になつてゐる事だし、恐らく二年で匪賊は討伐し得ると思ふ、その時こそ世界の資本が滿洲に注がれる時である、自分は來滿の時諸君に話をした通り、昔日投資したものに對しそれが今どんなになつてゐるかを見に來た丈であるが

相當了解 は得たつもりである、要するに偵察と、しかし今も云ふ通り國家的に見てどうしてもしなければならない事業や投資に對しては論外として大體において資本は可愛がられるところへ集まるのだといふ事を銘記して貰ひたい、自分達が仕事を初めるにしても決心はついてゐるが、今少し安全でありたいものだと思つてゐる、最後に日本の大藏省は好い人達を澤山滿洲に寄越してゐるこの事が滿洲財政に驚異的な目鼻をつけたものだと思ふ、今日は八時着列車で來連、阿部三井支店長の案內で星ケ浦方面まで一走りして一時間一寸で大連見物をした、と語り終り「今度來るのはサア何日かね」と大きく笑つた

七年度消組賣上 開設以來の記錄
・前年對比二割六分强增 新京奉天の躍進的增加

滿洲財界の好轉と物價高から年來早くも一千萬圓突破を豫想された滿鐵社員消費組合の七年度總賣上高は豫想を遙かに凌駕し、實に一千九十七萬三千八百五十二圓と消費組合開設以來の最高記錄を現出した、即ちこれを前年度の八百六十九萬四千餘圓に比較すると二割六分强二百二十七萬八千九百八十二圓の著增、過去の最高記錄たる昭和四年度のそれよりも尚ほ百十二萬五千餘圓の著增である、これが原因は一般物價の値上りもあるが昨年下期に入りインフレ氣構濃厚化と物價先高豫想に一般の買氣をそゝつたこと並にこれに關聯して滿鐵社員の給與の向上等を擧げ得よう、今同年度中における重なる商品別につき賣上高を見ると衣服類が百八十一萬七千圓とその筆頭に位し白米の百五十萬七千圓がこれに次ぎ洋雜貨身廻品九十八萬一千圓、和洋酒飲料六十三萬九千圓、菓子類五十九萬九千圓、罐詰類五十六萬三千圓、魚肉五十萬三千圓、和洋煙草五十萬二千圓、小間物化粧品四十五萬三千圓、洋服三十二萬七千圓、野菜果實三十二萬七千圓、乾物海產物三十萬六千圓、鹽砂糖二十六萬五千圓、味噌醬油二十四萬五千圓、世帶道具二十四萬圓、履物類二十四萬圓、紙類十六萬六千圓等で

その仕入地別は滿洲地場仕入四一%內地仕入五〇%、其他九%といふ割合となつてゐる、次に各地別にその賣上高を見ると大連は總賣上高の四割一分强四百五十三萬六千餘圓と全滿の王座を占め撫順百三十二萬六千圓、奉天百二十三萬四千餘圓これに次ぎ、新京、鞍山、大石橋、安東等の順となつて居り前年度に比して遼陽が機關庫の移轉以來振はず減少した外は各地共增加、就中新京、奉天等滿洲中心地として著しい發展を遂げた結果その賣上高にも反映し、奉天四割四分三十八萬一千餘圓、新京四割四分十九萬五千餘圓を著增、大連も增加率は三割强とやゝ劣るが金額に於ては百六萬七千餘增と飛躍的增加を示してゐる、各支部別內譯左の如し（單位圓）

	七年度	六年度
大連	四、五三六、八四〇	三、四六九、三六六
瓦房店	二八三、一六八	二六五、〇四二
大石橋	四七四、六五五	三七〇、三六三
鞍山	五二六、二九〇	四八〇、二五二
遼陽	二四七、一七〇	二九九、三六四
奉天	一、二三四、六三二	八五三、三五二
鐵嶺	二〇五、〇〇〇	一七三、五三〇
開原	二一〇、四八七	一七七、四九二
四平街	三三六、六二三	二八七、一七四
公主嶺	一五五、九五四	一三〇、九三三
新京	六四〇、七二三	四四五、三六八
本溪湖	二二八、六二一	一八七、三三五
安東	四二三、三六	三二八、二三七
撫順	一、三二六、[illegible]	一、一五五、七〇五
其他	一〇四、四〇七	一〇〇、八六六

滿鐵監事會 總會事項承認

【東京特電十六日發】滿鐵では來る廿日の定期總會を前に十六日正午より麻布狸穴の社宅に監事會を開催した、大橋、原、小倉の三監事に滿鐵側より林總裁、竹中、大淵兩理事、橋本主計課長、林田支社總理課長等出席、竹中理事より七年度決算書利益金處分に關する件（民間配當八分、政府四分三厘三毛）その他總會における決議事項の諒解を求め承認を得たが監事一名選擧に關する件については既に內定した模樣であるが、二十日の總會まで極秘に附されることになつた、なほ八田副總裁は十八日午前八時半上京直に狸穴社宅に出動し林總裁初め在京理事の參集を求め總會における正副總裁の演說その他の重要問題を議決することになつた

支那紡績界窮態
爭議頻發に當業者惱む 救濟公債發行案傳へらる

最近南支よりの情報によれば排日貨に乘ぜんとする支那工業界も目下の處依然不況に沈淪、紡織、製紙、製粉、繰綿物その他輕工業は何れも苦境にあつて停業或は操短を斷行し賃銀切下げに伴ひ爭議頻發しつゝある、支那最大の近代工業たる紡績業も最近は二割五分の全國的操短を斷行してゐる有樣である

◇

國民政府は去る四月廿五日南京に實業、財政、鐵道各當局者及び紡績業者を招集して紡績業救濟會議を開催した、この會議には中國紡績製品の船車運賃輕減、各種稅金の減免、中央銀行よりの融資及び官民合同の一大販賣機關設置、外國品ダンピング防止策等の對策が議せられたが、この會議の結果纏まつたものが紡績業救濟二千萬元の公債發行案である、今までに大體諒解成つてゐると傳へられる發行條件は左の如くである

一、發行總額　二千萬元
一、中央、中國、交通三銀行引受
一、擔保は財政部が責任を負ふ
一、年利六分とし、中四分は政府又二分は紡績業者負擔

◇

支那紡績不振の原因は、根本的には世界不況による南洋市場への輸出激減及び戰禍と水災に依る奧地農村購買力の減退に歸さなければならないが、一面には又不自然な國貨提唱策に依り、支那製品が日本その他外國紡績製品より品質の惡いに拘らず値段だけが高くなつてゐる爲めでもある、三月末現在に於ける中國系の滯貨は十二萬俵といふ莫大な數量に達し、然も依然として漸增傾向にある、加ふるに銀價昂騰に依る原棉高と製品安の現象は一層支那紡績をして經營困難ならしめてゐる

◇

これが爲め去る四月二十二日より五月二十一日までの一ケ月間全能力の二割三分の操短を斷行した然し上海紡織の如き事實上は二割五分の操短を行つた模樣である、こう云ふ狀態は支那紡織史有つて以來の出來事である、然しその後形勢は一向改善されず上海、その他大都市の滯貨は依然として激增氣勢にあるため五月二十二日より更に第二次操短續行の已むなきに至つたのである、而も今回は操短率は二割五分に引上げられた、尙右操短斷行と共に極度に經費の節減を計り職工の淘汰、賞與の減廢を行つてゐる

◇

緊縮政策遂行上上海支那紡織は五月二十八日の端午節特別手當の全廢を決議したが、果然豫豐紗廠の職工四百四十三名はこれに反對して二十五日正午から一齊罷業を開始した、これは五月一日より皆勤手當の全廢を斷行してゐた申新紗廠にも飛火し、第一及び第八工場職工七千五百名は同日午後より突如罷業に入つた、又國民政府の對日安協策を反蔣介石運動の具に供しやうとする廣東派は既に活動を開始し、勞働者職人を煽動して上海で日支妥協反對の總罷業を計畫しつゝあるとの噂もあり形勢は樂觀を許さぬものがある、北支の形勢緩和に連れて在華邦人紡績製品の賣行は最近頓に改善が報ぜられる折柄、この支那紡績の窮狀は我が紡績界に取つては寧ろ强材料とも見るべきであらう

海運課稅改正を 關係當局へ要望
內外業者の均衡を期する爲

關東州の稅制をみると運送業に對する營業稅は千分の五、五、同代理業は報償金の千分の二〇であつて本店、支店、出張所を開設するものには運賃收入總額の千分の五、五を課稅し、代理店制によれば報償金即ち運賃收入に對する百分の二乃至四の口錢に對する千分の二〇の課稅となつてゐる、しかして當地に於ける外國海運業者は殆ど代理店制度を採り本、支店出張所を開設するものがない、これに反して本邦海運業者の主たるものは殆ど本店、支店、出張所を開設營業してゐるのであるが、これがために本邦船會社側は外國船會社側に比し十數倍乃至數十倍とも七倍の過重なる負擔をしてゐる結果となつて居る、かくて外國船會社側のみが破格の優遇を受け業務の實權を直接第一線に進めて港灣都市の發展に寄與しつゝある本邦船會社が特に虐待せらるゝの觀ある現在の營業稅は著るしく均衡を失してゐるので、これが合理的改正は一日も速かなるを要するとて此程主たる本邦船會社側では寄々協議中であつたが、いよ〳〵議が纏まり、大連海運聯合會から關係當局に對して近く請願書を發することになつた、改正の方法としては代理店に對する營業稅と同樣の形式を以て想定報償金制により即ち近海航路は總收入の百分の四遠洋航路は百分の二を報償金と想定し、これに對し代理業率の千分の二〇の稅率とすれば公平を保ち得るといふのである

海運界市況 漸く活況

歐洲向大豆の取引は先般來の買氣擡頭によつて滿船契約も、六月積七月積に於て七隻の成約をみた、これがため從來委微不振を繰返した大豆運賃は漸高の一途を辿り、前記七隻の滿船契約にあつては二十シル三片、最高二十一志を唱へて漸く活況を呈して來た、但し今回のドイツ政府の飼料粕に對する內國稅の急激なる引上げの結果、再び取引の停頓を來しつゝあるので更に低迷商狀を呈するのではないかと懸念されてゐる

關稅引上げ覿面 支那向日貨激減

【上海發】日本品に對する支那の輸入關稅引上げはその影響甚大にして現に郵船による日本品の上海輸入數量は從前に比し二割乃至三割の減少を示してゐるが、五月中における郵船の上海輸入積荷統計は一萬六千四百十噸にして、內長江向積換は百五十二噸である、これを四月の一萬九千九百三十九噸、長江向二百五十五噸に比較すれば前者は三千五百二十九噸、即ち一割八分弱後者は百三噸即ち四割强の激減を示した、更にこれを昨年同期の一萬九千七百四十噸及び長江向の五百九十八噸に比較すれば前者は三千三百三十噸後者は四百四十六噸の激減を示してゐる

鮮銀地金買上 二十錢方引下

【京城發】朝鮮銀行にては十四日より地金買上値を二十錢方引下げ八圓五十錢に變更した先行き尙ほ安見越しである

滿鐵消費組合 定時總會

滿鐵社員消費組合では十七日午前九時より本部會議室において第八回定時理事總會を開催、七年度事業報告、同決算報告、剩餘金處分案につき愼重審議の結果原案通り可決したが、本年度の剩餘金は開所以來の巨額に上り從つて本年度は昭和五年度來中絕してゐた特別割戾金制を復活、五、六、七年度中の出資金並に購買高に對應してこれを社員に分配することになつた

總收入	一〇、九七三、八五二
總支出	一、〇四三、八五六
差引剩餘金	五四二、九九六
前年度繰越金	八一、六五三
剩餘金合計	六二三、六四九

右處分

第一割戾金（出資額に對し年一割）	二九、四三七
第二割戾金（購買高に對し三分）	一八〇、七一六
從事員退職手當積立金	三〇、〇〇〇
特別割戾金	三四一、三〇二
次年度繰越金	四三、一九五

石炭液化の工業化は尙遼遠
英米の石油調査は注目
十七日歸連の水谷滿鐵顧問語る

液化燃料に關し關係各所と打合のため、永らく上京中であつた滿鐵顧問水谷光太郎氏は十七日入港あめりか丸で歸任語る

上京中は海軍その他と種々打合せ度々德山の燃料廠を訪れた今度も歸路德山に立寄り更に三田尻の生家にある松岡洋右氏を訪問して來た、同氏は何と云つても今人氣者だ、その人氣者が元氣で親孝行をしてゐる圖は何とも云はれぬ好いものだ、松岡氏は多忙なので一寸滿洲へも來られそうも無いがよろしくとの事であつた、德山の海軍燃料廠には石炭液化の問題やその他寄託して研究して貰つてゐる事が多いので時折東京さかけ持ちで德山行をした、石炭液化に關しては中央試驗所でもいつてゐるが何と云つてもこれは全くの試驗的なもので、これに反し

德山 は可なりな規模で研究に當り相當見るべきものがあるしかしまだ一般工業化するまではひまがある、と云つて今少しと云ふところで近き將來何とかなる目鼻がついてゐる、オイルセールの方は私の云へる範圍では大いに增產計畫があると云ふことのみだ、いづれにしてもこれ等の話は早く片附けねばならぬ、自分達は金儲けの仕事のみを選ばず、生きて行くに必要な仕事をも選ぶべきだ、石油問題について一說によると滿洲國が石油專賣制を布く樣になつたがこれは初耳だ、たゞ英米各石油會社が滿洲に對し色々調査をはじめた事は等閑に附せない、石油については何分母國日本がこれに困つてゐる際だ、本氣になつて考へなくてはなるまい、今のところ滿洲における石油に關しては具體的に調査が行はれてゐない、今知る範圍ではあまり出ない樣だ、だから出なければ出ないで供給の安定を計らうとしなくてはならない

熱河 については十年前より色々報告があるが、確たるものがない、今解つてゐるのは少しはシエールがある程度だらうと思ふ、軍の人達が苦勞してこゝまで引張つて來たんだ、自分達はこの努力に對してもそれを無駄にしない樣にしなくてはならぬ地下資源の開發に努むべきだ今度は當分本社になるつもりだ

株式氣配引緩

【神戶十七日發國通】格別の新規材料なくロンドン會議の狀勢待に休日を控へ買方手仕舞賣現れ、主要株中心の引緩みとなり、氣配聊か變調氣味であつた、鐘紡三十錢高新鐘一圓二十錢安、砂糖は灣糖一圓四十錢方低落東株は僞二圓十錢安新東二圓五十錢安に引けた

外人視察團 活動の準備に
一行九名來滿

新興滿洲で一稼ぎしようと上海、青島方面に居住する外國商人は昨年來續々と來滿してゐるが十七日入港のあめりか丸の一等船客中には何れも東京市內に相當の店舖を構へ十年、十五年と本國との貿易に從事してゐる露、西、英、獨各國の商人からなる滿洲產業視察團の一行九名が賑やかに乘込んでゐる一行はヤマトホテル投宿後十朝發の汽車で奉天、新京、吉林各地を約三週間視察して朝鮮を歸京する由である、一行の團長獨逸アルフレッド會社のス・フイッケル氏は日本に十年も住んでゐるとふだけに流暢な日本語で語る

一行は機械、時計、毛織等の貿易に從事してゐるものばかりです、視察の結果によつてこちらに代理店を設けたいと思つてゐます、東京に歸つた上で分達の視察の結果を同國の者に詳しくお話しする約束で來ました

東株の整理 主務省監視

【東京十七日發電】東株取引所は主務省より指摘された四項の中第一項は既に實施、第二、第三の兩項は日中に具體案を提出することに決定したが、第四項の不良債權處分に對しては頗る難色あるため主務省は嚴重に監視してゐる

大連輸入組合 五月中成績

大連輸入組合の五月中における業績は貸出において四十六萬九千七百八十七圓、そのうち普通信用七百四十九件、四十四萬二千八十六圓、特別信用貸四十二件、一萬一千五百八十二圓、擔保二千五百十一圓、普通信用七百二十三件、一萬五千二十圓にして、回收九千四百十一圓、特別信用三件、擔保十二萬六千九百圓であるなほ現在の組合員は三百五十七名にて口數一萬三千百五十五口出

神戶爲替市況

【神戶十七日發國通】爲替比率問題全然解決せぬ爲め警戒强く輸入商は上値期待で見送つて居る

安取株主總會

【安東發】安東取引所第二十三回株主總會は來る二十四日午後三時より同社樓上に於て開催することに決定した

茴香

…過般來傳へられた、米棉麥の借款五千萬弗は、銀に對する米國民政策から宋君の希望と容れず宋君折角の努力も結局失敗に歸して了つたとの入報である、これで國民政

市場電報（十七日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片二六分五
同 先物	一九片二六分一
紐育銀塊	三五仙四分一
孟買銀塊	五五留比一六分三
スチール	五四弗八分七
アナコンダ	一四弗八分五
英米爲替	四弗八仙四分一
米日爲替	二五弗五〇仙
米支爲替	二六弗五〇仙

神戶日米

第一回	三三弗四分一
第二回	三三弗一六分五
第三回	三三弗八分五

棉花

●米棉	
現物	九仙三五
七月	九仙三三
十月	九仙三五
十二月	九仙六八
一月	九仙七三
三月	九仙六
五月	[illegible]

大阪株式、東京株式、大阪期米、東京期米、神戶期米、大阪綿糸、大阪棉花、横濱生糸、印度麻袋、上海爲替情報、爲替相場、鮮銀、鈔票相場、特產、市況（十七日）、大豆强調、買氣ありて、錢鈔、當市下漉る、株式、内地株ボンヤリ、五品引安、滿鐵株（保合）、前場、大連埠頭着荷高、各地特產發送高、商品、綿糸保合、麻袋弱保合、一齊弱材料乍ら

童話　百合の宮

大塚正明

さよならお日樣赤い空
赤い海原潮が鳴れば
お舟歸る歸る赤い日浴びて
海よさよならお舟は歸る——

★★★

島の娘の萬里ちやんは、今日も渚の砂山で、歌をうたひながらお父樣のお舟を待つてゐます。

——其の日に限つて、お父樣のお舟はお歸りが遲い……そして夕燒の赤い海が蒼くなつた頃、お父樣も蒼い顏をして歸つて來ました

「どうかしたの?お父樣——どこかお體が惡いの?え?お父樣」

海から歸るとすぐ床の中へもぐり込んでしまつたお父樣は、萬里ちやんがいくら聞いても啞者のやうに默つてゐます——夜が明けました。けれ共今朝に限つてお父樣は起きません——よいお日樣が上りました。けれ共お父樣は起きません。どうしたことか、お父樣はいくら何を聞いてもお返事をしてくれません。唯口をもぐもぐさせるだけでちつとも聲が出なくなつてしまひました。さうして枕頭に坐つてゐる萬里ちやんや萬里ちやんのお母樣の心配顏を見てポロポロ涙をこぼしてゐるばかりです。島の人達も心配して毎日お見舞に來ました。啞者になつてしまつたお父樣はげつそり痩せてしまひました。そして風の強い或る晩——お父樣は急にどこへ行つたのか見えなくなつてしまひました。島の人達がいくら探しても見つかりません。

「神隱しだ、神隱しだ、萬里ちやんのお父樣は神樣に隱されたんだ……」

——島の人達は口々にさう言ひます。萬里ちやんはお母樣と一緒に暗い家の中で毎晩ぼんやりしてゐますと、どこからともなく

「水が無くなる……娘がかわいい……」

といふお父樣の絲のやうな細い聲がします。はつとしてお庭へ出て見ますが姿は見えません。そのうちに萬里ちやんのお母樣は心配の餘り氣が變になつて了ひました

「……お母樣、どうぞ靜かに休んで下さいね、お母樣——」

——萬里ちやんがいくら宥めてもお願ひしてもお母樣は、萬里ちやんを突きのけたり、怖い目で睨み付けたり、ゲラゲラと氣味惡く笑つてゐます。さうして

「水が無くなる……娘がかわいい……」

と、謎とも夢ともわからないことを口走つてゐます。

——そのうちに、どうしたことでせう、島の人々の命をつないで行く「綠の森」の、たつた一つの泉から湧いてゐた眞清水が急に一滴もなくなつてしまひました。仕方がないので島の人達はあちらこちらと井戸を掘りましたが、出てくるのはみんな辛い辛い鹽水ばかり、そして空も燒け地も燃えるやうな熱い日照りが續きます。

「全滅だ全滅だ!島が燃えるのだ……」

島の人達は氣違ひのやうになつてお助けを神樣にお願ひしました

そのうち恐ろしい嵐の晩、萬里ちやんのお母樣が又見えなくなつてしまひました。今度もいくら探しても見つかりませんでした。毎日お母樣を探し廻つてゐる萬里ちやんは、暗い夜——渚の砂山で泣き泣き眠つてしまひました——萬里ちやんの眼の前には美しい「綠の森」が現れました。さうして森の中の深い深い泉の底では、お母樣が恐ろしい魔物と戰つてゐるのでした。魔物の傍らにはお父樣が前のめりに斃れてゐます。魔物は水のやうな鎌、お母樣は姫百合の花を振りかざして、魔物が

「娘をくれ、娘をくれゝば水を出す——」

と叫ぶと

「娘はやれない!島を燒き盡す魔物のお嫁にどうして娘をやれるものか?」

と、お母樣は罵り返します。魔物は花を切取らうとしますが、花から落ちる露に打たれて手が痺れて鎌を落します。慌てゝそれを拾ひ上げて又向つて來ます。

×××

翌朝、萬里ちやんは、毎晩泊つてくれるお友達をみんな引つれて綠の森へ出かけました。さうして百合の花を澤山お友達に採つて戴きました。何時になくきれいな着物を着て來た萬里ちやんは其の姫百合を體一ぱいに着けました「百合の精——百合の精」と娘等が手を拍つてはやしたてゝゐますうちに萬里ちやんは泉の前へ來ました

島中の人がいくら飲んでも使つても盡きない眞清水が湧いてゐる筈なのに、今は一滴の水もありません。

「あゝ水がない、水が欲しいねえ」

娘達がみんな溜息を吐いた時、萬里ちやんはにつこりしながら

「皆さん、水は屹度出ますよ。さようなら——」

さう言つたかと思ふと萬里ちやんはさつと身を躍らせて泉の深い底を目がけて飛込みました。

★★★

滾々と玉なす水の湧いて溢れる泉の畔、一面の百合の花に圍まれた「百合の宮」!其處に二人の年の老いたお坊さんが住んでゐます

一人は男——一人は尼さん…(終)

こどもの考へ物 第五十一回

胴を斬られた人ではない 愉快な運動の一つ

これはまたナンと氣味のわるいかつこうでせう、しかし胴を斬られた人ではありません、トテモ愉快な運動で、皆さんの大すきなものです、何か當てゝください、わかつた方は來る六月二十五日までに大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてハガキでお答へください、正解者にはいつもの樣に二十名にご褒美を差しあげます

第四十九回の答 テッカブト

第四十九回の考へものは兵隊さんがかぶつてゐるテッカブトをさかさにして置いたのでした、抽籤して今度は左の人々にご褒美をあげることにしましたから、大連市内の方は本社からあげる當籤通知のハガキと引替へに新聞社でご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りいたします

當籤者

▲大連安田勇▲同吉野美代▲同今井信男▲同池田富美子▲同宮尾政雄▲同山本滿雄▲同武田米子▲同齋藤美代子▲同川田鐵子▲同豐田禎介▲同西田百合光▲同木下幸子▲吉林高橋淳▲遼陽中村しのぶ▲新京小野數馬▲奉天松本倉松▲遼陽原田安江▲瓦房店安生猛▲奉天鹿野光子▲旅順町田行輝

ご褒美の中にあるミルクキヤラメルの空箱は今森永製菓で「森永キヤラメル藝術」を募集してゐますからその材料に使つてください、つくり方は「ベルトライン」と書いた看板を出してゐるお菓子やさんで教へてくれます、なほ皆さんが應募した作品はお金にかへて傷痍軍人會に寄附されます

小學六年生の力試し室

お答は來週出します

國語

(一) 次の文を讀んで問に答へよ

裁判の目的は、決して人を爭はせ、又は人を罰することではない。此の世を不道理や罪惡の行はれない、平和な秩序正しい世の中にするのが其の目的である若し裁判がないとしたら人々相互の爭ひがはてしなく行はれてしかも其の爭は、力の強い者やわるがしこい者が勝つことになるであらう。若し又裁判が公平に行はれぬとしたら、せつかくの法律もねうちが無くなり、我々は安心して生活することが出來ぬ。

(1) 裁判の目的(なるべく簡明に)

(2) 裁判が公平に行はれない時はどうか

(3) 裁判が無いとしたらどうか

(4) 文中——のある「其の」はどんなにちがふか

(二) 次ぎの言葉の意味を書きなさい

(1) 越路の雪

(2) 諸將を配置して防備をさ怠なし

(3) 民事裁判

(4) やにはに斬倒されたり

(5) 島轉じ、海廻りて其の盡くる所を知らず

(三) 次の文を解釋しなさい

(イ) 春は島山かすみに包まれて眠るが如く、夏は山海皆綠にして目覺むるばかり鮮かなり兩岸及び島々、見渡す限り田園よく開けて、毛氈を敷けるが如く、白壁の民家その間に點在す

(ロ) 正國得たりと、力足をふんばりてはねかへさんとせしがふみそこれて、あはや谷底へ轉び落ちんとす。

(四) 次の文中——の語を比べなさい

(イ) さゞなみにくだける月の夜景は一段の趣あり

(ロ) 大連市は流石に内地の田舍とは趣がちがふ

(ハ) 大連市は大連灣に臨めり

(ニ) 市長が海軍記念式に臨めり

(五) 熟語二つづゝ作りなさい

伐　競　與　督　犯

算術　前週の答

(1)(イ) 2:1

(ロ)乙が速い

(ハ) 牛が仕事を多くします。

(ニ) 5日でよい

(2) 25日

(3) 1kg

(4) 1:1

(5) 2時24分

化石鳥のタマゴ　世界にタッタ六つだけ

東アフリカのカヴイロンド地方の土人の間では昔から蟻が一番おいしいご馳走とされてゐます、そして人々の求めに應じる樣に市場でも盛んに蟻を賣出してゐますが、大變景氣よく賣れます、ではそんなに澤山の蟻をどうして捕へるかといふと蟻の多いこの邊りではあちらにもこちらにも巣が小丘のやうに高く盛りあがつてならんでゐます、その巣の上で蟻取りの土人達はタッ、タッ、タッ、タッ、タッと音を傳へますと蟻どもはてつきり雨だと思つてぞろぞろ首を出すのです、それを土人達は實に素早く捕へるのださうです

蟻が一番ご馳走　妙な東アメリカ土人　アリの市場さへある

昔ニユージランドの森林に化石鳥といふ駝鳥のやうに大きくて兩翼がなく身長十尺餘りの鳥が棲息してゐましたが、時代の進むにつれて絶えてしまつて世界中にその卵がタッタ六箇だけ殘つてゐましたところ近頃になつてオークランドの博物館へ二箇寄贈されたので館では大喜びださうです、この卵は數年前ニユージーランドの或る山中で化石鳥の骨と一緒に發見されたものだといはれてゐます

われは海の子

沖の鷗をお友達に 愉快な海上生活

商船學校の練習船「海王丸」を語る

梯子一枚下は地獄——千尋の青海原を物ともせず荒浪を蹴つて元氣に満ちた生活をする海國日本にふさはしい海の征服者——商船學校の練習生八十五名を乘せた四本マストのブーケ型練習船「海王丸」(二千二百八十三トン)は三十二枚の眞白い帆をピーンと張つて、沖のかもめを道づれに、ホームポートの東京灣を船出してから八十五日目に われらの大連を訪れました

▼……▲

これらの生徒たちは、ついこの間まで教室でいろ／＼海の學問をしてゐたのですが、約一ケ年にわたつて實際について勉強するために「海王丸」に乘組んだものです、この實習では第一に海に慣れ、物事を耐へしのぶことの出來る力を養ふと共に、技倆をみがくのが目的です

▼……▲

海王丸の練習生は朝は早起き、夜は早寢、ほんとうに、うらやましいほど規則正しい生活をしてゐます、朝起きて、海の清らかな空氣を充分吸ひながら點呼を受けるとそれから甲板洗ひやら便所のお掃除といろ／＼の仕事を、リスさんのやうないそがしさと、快活さでいたします、そして午前八時には嚴かな君ケ代のラッパで國旗が船尾に揚げられ初めて樂しい朝のご飯を喰べます、航海中風が吹いて來ると當番のもの——練習生の半數は命令一下、お猿さんのやうに繩梯子を傳つて百二十尺のマストにかけあがり展帆(帆を張る)して、六、七マイルの速さで愉快な帆走を始めるのですが、風がやむと今度は縮帆(帆をたゝむ)して燒けるやうな船底にもぐり込み玉の汗を流しながら機關操縱によつてプロペラーで船を走らせるのです、當番の生徒が斯うして一生懸命に實習してゐる間に非番の生徒たちは教室でいろ／＼な勉強や氣象、海流の實際を教官から學びます

▼……▲

海上生活者にとつて一ばん大切なのは水です、一日生徒八人が使ふ水はバケツに一ぱいですが、それで口をすゝいだり顔や身體を洗つたりするのです、長い航海になると二ケ月位もかゝり自然野菜類が切れて、干大根や梅干ばかり食べてゐるのでフラ／＼に弱りますから、そんな時にはライムジウスといふのをのまされて元氣を恢復します、そして三日目位に來る時化にもまれ／＼てだん／＼練習をつんでゆきますが、かうした苦しみのうちにも生徒たちには別の樂しみがあり、ゆく港々で見聞をひろめ、月の夜などは靜かな海面を眺めながら、習ひ覺えた尺八やマンドリン、ヴイオリン等に旅愁をなぐさめるのです、かくて五年半の修業がつむとやがて立派な青年運轉士、機關士となつて大きい船に乘込んでゆく時の彼等のうれしさは格別なものなのです

手旗信號の練習

港に入つて船足を休めた海王丸

お猿さんのやうに 號令が下る、生徒たちはスル／＼ツとマストにかけ上り、大きく風にゆられながら帆を下したり、巻いたりします(上)は猿のやうにとまつた生徒が、教官の號令を待つところ(右)はお猿さんも降參するくらゐ早くマストにかけ上る場面です

帆走の舵取り 船が港を出て、四本マストに三十二枚の帆を張つて、心地よく走り出すと二人がゝりで、ドウですこんなに大きな舵を操縱するのです

ヤシのからで甲板みがき 潮風で赤銅色にやけた元氣な生徒たちは朝點呼をうけると、今度はごらんの通りヤシのからで甲板みがきです

家庭漫畫

猛獸使ひが細君に叱られるさ　佐方幸

落語 笑ひぐすり　柳亭花紅

昔、田舎に佛頂さいふ人が居りました、この人は生れて世の中に四十五年も生存して居ますが、只の一度も笑つたことがないさいふ餘程の變人で、人が面白い滑稽味のある話をするさ、その反對に腹を立てる、愛嬌のない人の事を世に佛頂面さ云ふが、此の人から始まつたらうさ噂をしましたが、これは判りません、それですから御内儀さんもお嫁に來て、今年で十八年にもなるが、旦那の笑ひ顔を一度も見たことがないので、何うか笑はせるやうな工夫は無いものかさ種々考へて見ましたが、他にこれさ云ふ分別もないので、懇意なお醫者に何か良い薬はないものでせうかさ相談しますさ、其の先生が

先「それには良い薬があります、それをお持ちになつて、刻んで酒に浸して置いて、その酒を燗をしてのませて御覧なさい、味に變りはないからのむ人も飲みよい、たゞ少し色がつくだけで別に害にはならないから」

女「へエ、どうも有難うぞんじます、先生これは椎茸ではございませんか」

先「イヤ〳〵、それは椎茸ではない、紅葉茸さ云ふので、紅葉の木の根に出來る茸で俗に笑ひ茸さいふのだ、此品を酒に浸してのむ時は、どんな人でも自然さをかしくなつて來て笑ひ出すさいふ不思議な効能のあるものだから、持つて行つて試めして御覧なさい」

女「へエ、どうも有難うございます……種々恐れ入ります、左様なら」

さ喜んで歸つて參りまして、早速お酒に紅葉茸を浸して置いて、その晩にお酒の燗をして持つて參りまして

女「サア、お酌をいたしませう」

佛「アイヨ、オヤ〳〵この酒は色が赤いやうだが、何うかしたのぢやないか」

女「イエ、別にどうもいたしませんが、實は薬が入つて居りますのです」

佛「エッ、薬――何の薬が入つて居るのだえ」

女「ネエ貴郎、妾が此方へ嫁入りましてからもう今年で十八年になりますわねえ」

佛「さうか、おれは別に年を數へもしなかつたが、早いものだなア、昨日今日さ思つて居たが光陰は矢の如くもう十八年になるかねえ」

女「その永い間にあなたは妾のまへで一度もお笑ひあそばした事がございませんが、何かお氣に召さない事でもありますのですか、此頃は慣れましたから、何さも思ひませんが、初めの内は御機嫌を損じたこさかさ、どの位心配したか知れませんですよ」

佛「詰らないことを云ひなさるな、なにもおまへが嫌で笑はぬのではない、おれにはどうしても他人のやうに笑ふこさが出來ないのだよ、世間の人がおかしさうに笑つて居るのを見るさ、何だか馬鹿々々しくなつて來て、却て腹が立つ、自分でも詰らな質ださは思つて居るが、これだけはどうも生れつきでなほらない」

女「それではまつたく、あなたは笑ふ事がお嫌ひなのですかねえ」

佛「ウム、さうだ、大嫌ひだ、おまへさ夫婦になつて十八年だが、おれはその前うまれた時から四十五年の間、一度も笑つた事が無いのだ」

女「それに就いて妾も一度あなたのお笑ひなさるお顔を見度いさ今日は湯島の先生のさころへ伺つて何か良い薬は無いものかさお願ひしましたさころ、それでは此の薬を酒に入れて、飲ませて御覧なさい、自然さ笑ひ出すこさは請合ふさ斯う仰しやつて、お薬を下すつたので只今お酒に入れましたのでございますから、何卒召上つて見て下さいまし」

佛「エッ、それでは先生のさころへ頼みに行つたのか、おまへは馬鹿だナ、下すつた薬は氣休めだ、世の中に笑ふ薬さ云ふ物があるものか」

女「それでも物は試しさいふこさがありますから、まあ話のたねに召上つて御覧なさいまし」

佛「さうおまへがすゝめるなら飲まない事も無いが、世の中に笑ふ薬があるなぞさ、ウム何だない、少し氣にすれば茸の香りがするやうにも思はれるサア悉皆飲んだが別にをかしくも何んさも無いよ」

女「どんな名薬を飲んださて直ぐ効くものではございません効くにしても身體へ廻るまでは少し間があります、そのかはり効いて來るさ自然さ笑ひ出します」

佛「おまへはさういふが、わたしは何んさもないよ」

女「イ、エ、いまにをかしくなつて來ますよ」

佛「アレ何さもないさいふのに」

女「駄目ですよ、いくらあなたが強情を張つても、お薬が廻つて來ますさ、お笑ひになりますよ」

佛「笑はないよ」

女「笑ひますよ」

佛「わたしは生涯笑ひませんよ、笑ひませんさいふのに、何故おまへはそこで妙な顔をして居るのだ、おまへこそ笑つて居るぢやア無いか、おれは笑はないよ、ウフ、、おまへがそこでウフ、、笑つて見たつて……ウフフ、、、アハ、、、ウフ、、おれは笑やアしないよ、ウフ、、、フア、、ハフフ、、アハ、、、、、」

女「それあなたおわらひ遊ばしたぢやアございませんか」

佛「ウフフハ、、アハ、、、、ナニおれが笑ふものか、ウフフアハ、、、」

女「それ御覧なさいナ、お笑ひになつてお在でゞす」

佛「ウフ、アハ、ウフ、、アハ、、何時俺が笑つたよ、ウフ、、イヤサいつ俺が笑つたよ、ウフ、、それはお前の氣のせゐだ、アハ、、ウフ、、おれが薬を飲んだから今に笑ふだらうさ思つて居るおまへの氣が笑ふやうに見えるのだ、ウフ、アハ、、ウフ、アハ、、、イヤ少し變だぞ、ウフハ、、ア、これは妙だ、アッハ、、ア、ウフ、、アッハ、、、ア、どうも可笑しいぞ、ウフ、、アハ、、、ア、イヤ人間さいふ者は妙なものだナアハ、、、ウフ、アッハ、、ア今までアッハ、、、、おれは笑つた事が無いのだが、アハ、、ア、ウフ、、、アハ、、、お前があんな薬をアッハ、、、ア飲ませたんで、さゝさめごゝさめごが無いアーウフ、、アッハ、、何うも苦しい口が利けねえ、アハ、、、、ア、エヘ、、、ウフ、、アハ、、、、、あゝをかしい、エヘ、、、アハ、、、妙なものだ、アッハ、、、ア、お前さ俺さは他人同士がフ、、夫婦になつてアハ、、、そゝそれが夫婦になつたさきにアハ、、、ア、ひゝ一つ違ひだつたが、アハ、、、、十八年たゝ經つてもアハ、、、ひひ一つ違ひだ、ア、どうも堪らぬ、エヘゝ、、アハ、、、夫婦になつた時にはアハ、、、、おまへは髷を島田に結つて居つたが、アハ、、ア、エヘ、、、今は丸髷になつた、アハ、、、その時おまへの顔には眉毛があつたが、エヘ、、、アハ、、、い、今はその眉毛も失くなつてしまつた、アハ、、、アお前の顔がのつぺらぼうになつてしまつた、アッハ、、、ア、ウフ、、、エヘ、、、アおまへの目が細くなる、變な顔になる、これは堪らぬアハ、、、エッヘッへ、、、ウッフ、、、アッハ、、、ア」

さ止度もなく佛頂は笑つて居る。

さて笑ふ門には福來るさ云ふは能く申した事で、世界中の黄金が笑に吸収されてのこらず佛頂の家へ自然さ集まつて來ました、それ以來何に手を出しても調子好く、世にいふトン〳〵拍子に儲かつて終に佛頂は笑つた爲めに大富豪さなり濟ませました、これも笑つたゆゑさその黄金を山のやうに積上げては毎日其の前に坐り、顔の形が崩れてゲラ〳〵佛頂は嬉しさうに笑つて居ります。

するさ大變なのは天國でございます、毎日毎晩だん〳〵黄金が何處へか消えて行く、サア捨て置けませんのは、お天道様やお月様、木火土金水の星なぞが急に生活難に襲はれて來た、そこで或る日臨時集會を催して、種々協議を開くさ、今日の隊長お天道様が卓の前に立ち、赤い顔を一層赤くして拳にて卓をうち

天「諸君……此頃天國に黄金がなくなつたのは下界に佛頂さいふ變り者があつて、生れて四十五年さいふ永い間一度も笑つたこさがない、さころがその女房のお福さいふ者が心配をして、醫者から紅葉茸、俗に笑ひ茸さ云ふ物を貰つて來て、それを佛頂に服ませた、然るに良薬の効目は恐ろしく、さしも永い間笑つたこさの夢にも無い佛頂も、薬の力に笑はされ、それから笑ひ出して少しも笑ひが止まらず今もつて笑つて居る、それは宜しいがこれがために永年天國に蓄へて在つた黄金は皆佛頂の家に集まつてしまつたのである、そこで諸君、此のまゝに捨て置けば、天國は貧國さなつて、果は滅却いたすであらう、就ては失ひし黄金を元の天國に呼戻すには天國にて下界の佛頂に負けぬやうに笑はんければ、黄金は再び天國には戻らぬ、さすれば天國はます〳〵不景氣さなり、銀行ギヤングなぞが再出しては大事であるから、向後は下界の佛頂の笑ひ聲を消すやうな大聲にて笑つて頂きたい、サア諸君、今や天國の起つ起たざるは偏に諸君の努力にあり、努めよや諸君、笑へよや諸君、予は第一に笑ふべし」

さお天道様が大きな口を開いて

「アハ、、、ア、ウフ、、、アハ、、、エヘ、、、ウフ、、、アハ、、、ア」

盛んに笑ひ初めた、これに次いでお月様が

「オホ、、、ハ、、、フ、、、アハ、、」

さ笑ふ、小さい星連中なぞはこゝぞ生活安定の、危機なりさこれも大口を開き

一同「アッハ、、、アハ、、、エッヘ、、、ウッフ、、、ヘ、、、アハ、、、ウフ、、、、ハ、、、、ウワッハ、、、」

さ後援をした、イヤその陽氣なこさ、するさ佛頂の家に居た黄金が此の笑ひ聲を聞いて、そろ〳〵天國へ出かけようさしたので、これは大變、天國へ戻られては折角集めた黄金が煙になるさ、佛頂は大口を開いて

佛「アッハ、、、ヘ、、、、、アッハ、、、アハ、、、、エヘ、、、アッハ、、、、」

さ笑ふさ黄金が一寸立止まつたから

佛「オイ〳〵おまへ方は、何處へ行くのだへ、、、」

金「へエ、、、あの通り天國で笑つて居りますから、天へ戻りますのでございます」

佛「アッハ、、、ア、そんなら天へ行くには及ばない」

金「へエそれは何う云ふ譯で」

佛「あれはみんな空笑ひだ……」

家庭滿洲語 紙上講座

第十三課

一
1 在(ツア(エ)イ)那兒(ナール)
2 在這兒(ツェ(ア)ル)
3 在那兒
4 在那兒

二
1 你(ニー)在
2 我(ウオー)在這兒
3 他(ター)在那兒
4 他在那兒

三
1 帽子(マオツ)在那兒
2 帽子在上頭(シァントウ)
3 鞋(シエ)在那兒
4 鞋在底下(テ(イ)ーシア)

四
1 狗(コ(ア)ウ)在那兒
2 狗在外頭(ワ(エ)イトウ)
3 猫(マオ)在那兒
4 猫在裏頭(リートウ)

【譯語】

一 (1)何處に在る(居る)か (2)此處に在る(居る) (3)何處に在る(居る)か (4)其處(彼處)に在る(居る)

二 (1)汝は何處に居るか (2)私は此處に居る (3)彼人は何處に居るか (4)彼人は彼處に居る

三 (1)帽子は何處に在るか (2)帽子は上に在る (3)靴は何處に在るか (4)靴は下に在る

四 (1)犬は何處に居るか (2)犬は外に居る (3)猫は何處に居るか (4)猫は内に居る

【說明】

在 は人又は他の物の在り所を表示する言葉である。

這兒は此處さいふ場所を示す言葉である。

那兒は第八課の**那個**の樣に矢張り調子が二通りあつて第四聲の**那。兒**は(そこ、あそこ)であるが、第三聲の**。那兒**は(どこ)さ問ふことに成る。

上頭の二字が上さいふことで、頭の字は別に深い意味が無いから第二聲の調子は無くなつて、只極く輕く言へばよい。

外頭(そと)**裡頭**(うち、なか)の頭も右さ同樣で有る。

底下も二字續けて下さいふことに成る。

發音上の注意

在 ツア(エ)イは口を明けてツアさ發音し、エさイの間で終るので、決してツワイさ口をすぼめるのではない。

底 テ(イ)ーはテーでもチーでもない、此音を出すには、舌の尖を齒齦につけて、奧齒を噛みしめる樣にし、口を横に開きテ(イ)ーさ發すればよい。

狗 コ(ア)ウは(ア)さ口を開け氣味にしてコを發し、後で口をウさすぼめるので、カオさならぬ樣注意されたい。

前週の答

(1)你去開門 (2)他沒來 (3)怎麼沒來 (4)關窗戶了麼 (5)沒開窗戶 (6)他出去了麼 (7)沒出去 (8)沒進來

【問題】 次の言葉を支那語に譯せ

(1)皆何處に在るか (2)皆中に在る (3)生徒は何處に居るか (4)皆外(ソト)に居る (5)一つは上に在る・ (6)一つは下に在る (7)貴方のは何處にありますか (8)私のは此處にあります (9)彼人のは無いか (10)彼人のはあそこにある

一年前の回顧

滿倶恨を呑む（六月十八日）

一勝一敗の戰績を殘してファンの人氣をいやが上にも沸騰させた本社主催の實滿第三回戰は十八日午後四時二十五分から實業團球場において擧行、兩軍よく攻め、よく守り第六回までは得點なく、息詰るやうな緊張を示しましたが、ラッキーセブンに入り、實業山田の二壘右後方に放つたフライを二壘手落して生かし、武井の三壘バントを投手一壘に高投して出壘せしめ、續く中川のバントを濱崎三投して間にあはず、無死滿壘さし、藤澤三振の後、次打者高橋のカーヴ、肘をかすめる死球さなつて山田生還、最初の一點をあげ、つゞく渡邊の三遊間ゴロに武井、中川勇躍生還、その後高橋三盜して刺れ渡邊本壘を衝かんさして憤死しましたが、これに反し滿倶は必死の奮戰も甲斐なく遂に三對零で涙を呑みました

滿洲國少女使節（同十九日）

滿洲國最初の國際使節として日本に使する滿洲各民族の花――津田靜美子、和泉美幸、金君姫、俞福順、楊雲、雷靜肅の六孃に石田豊子女史に引率されて、十九日朝大連につきましたが、大連驛頭は出迎人で大賑はひを呈しました

滿倶雪辱成る（同上）

十九日午後二時四十分から滿倶球場で擧行された實滿第四回戰において、滿倶は前日の慘敗を雪辱せんさの意氣に燃えつゝも第一、二、七回に各一點を實業に物されたが第四回に一點を返したのみであつたさころ、第七回裏に至つて必死の攻撃遂に功を奏して一擧四點を入れ大逆轉、實業の挽回成らず、五A對三で勝ち、兩軍二勝二敗の同率さなり、興味いよいよ最高潮に達しました

湯崗子襲撃さる（同二十日）

二十日午前零時五十五分、頭目海寬の部下約七十名の騎馬隊が湯崗子驛、温泉玉泉館および守備隊分遣隊等を三隊に分れて襲ひ來つたので、玉泉館にあつた澁谷上等兵はこれを邀撃して即死、菊地二等看護長、渡上等兵は急を守備隊に報告せんさして何れも名譽の戰死を遂げました

實業覇圖空し（同二十一日）

昭和七年度の覇者を決する實滿第五回戰は二十一日午後四時二十五分から實業球場で擧行されましたこの日滿倶は充分休養した山口をプレートに送り實業は木下を連投させましたが、滿倶の鋭鋒は最初から物凄く、一回一點、三、五回各三點、八回一點さ計八點をあげたるに反し、實業ナインは前日の元氣なく僅かに九回裏一點を得たのみで滿倶に四年連勝の名を爲さしめました

温度うなぎ登り（同二十二日）

たど〳〵しい歩みをつゞけてゐた滿洲の温度も、二三日前から鰻のぼりに登つて、營口以北は三十度臺、大連は二十二日正午二十七度を示し、滿洲の夏はいよ〳〵本腰さなりました

少女使節晴の入京（同二十三日）

滿洲國少女使節六名は二十三日夜石田女史に引率されて東京入りしましたが、一行を歡迎する群衆は驛頭を埋め、物凄い熱狂振りでした

滿洲國不承認要求（同上）

十九國委員會を前に支那代表は事務總長に秘密覺書を提出しましたが、その内容は、わが國の滿洲國承認決議につき注意を促し、調査報告が總會で審議されるまで滿洲國の既成事實を有效さ認めずさの原則を確認すべしさ要求したものださいはれました

福本海關長罷免（同二十四日）

總税務司メーズ氏は二十四日一つの聲明を發するさ共に、福本大連海關長が保管銀行に寄託してある税收を送金せよさのメーズ氏の命令を履行しないことを攻撃し、宋子文の許可を得て福本海關長を命令不服從の廉で罷免したさ發表しました

今週の獻立　山崎さとえ

	朝	晝	夜
日	豆腐の味噌汁 燒海苔	トーストパン ほうれん草スープ フルーツサラダ	胡瓜肉詰め ホワイトソース あわびの三杯酢
月	蕗の味噌汁 小蝦の佃煮	鯖の鹽燒 卸し大根	牛片さ三つ葉の清汁 すずきのフライ 春菊のおひたし
火	小蕪のみそ汁 白魚の卸し和へ	茹り玉子 さろろ昆布のお汁	茗荷竹の清汁、鯛の刺身 ちさりいもさごじゆんさいの甘酢
水	あさりの味噌汁 らつ京	あんかけ豆腐 かぶらの甘酢	鯛のうしほ、燒豆腐さ莢いんげんの煮つけ、胡瓜さしその酢の物
木	落し玉子さ葱のみそ汁 鹽昆布	鮭のコロッケ 生キャベツ	青豆のスープ ビフテキ 野菜サラダ
金	若布のみそ汁 生玉子	かしわのライスカレー 福神漬	やまさ芋のふわふわ汁 鯖ずし ほうれん草ひたし
土	ふだん草のみそ汁 ざぜん豆	海苔巻 椎茸さ三つ葉のすまし汁	ロールキャベツ 鯛さマカロニの南蠻燒 うごの三杯酢

關東軍參謀部原作

叫ぶアジア

{これは聖戰に殉じて藝術を捨てた若き聲樂家の愛國物語です}

★…蒼茫と暮れかゝる滿洲の野を、南へ南へとひた走つてゐた歐亞連絡の國際列車は、ほの暗い夕闇の中で長槍と青龍刀とモーゼルをかざした匪賊のために包圍され非常號笛を聞いて我が日本軍の先驅車が驅けつけた時には、既に各國人四名の人質が拉致された後であつた。人質となつた二名の外人と一名の日本人は冷酷な鞭の下に喘ぎながら雪の曠野を數日間引き廻されて、やうやく北滿の或る部落、匪賊唐聚山の根據へと到着した。本陣は酒と女と歡とに、ごつたかへしてゐたが、人質の四名は物置小屋で鎖のやうに痛い寒風を防がねばならなかつた

★…その夜が明けて……、唐聚山は人質を金と替へるべく四通の要求書を作り人質の署名を強要した、だがその中で、唯一人の日本人、歐洲からの歸途を襲はれた聲樂家藤野義人だけは、署名をどうしても肯じなかつた、そのため鞭は風を切つて鳴つた、鞭は彼の身體に飛んだ、だが……

「この屈辱が日本人の俺にどうして忍べるものか」

と、藤野は目を瞑り、唇を嚙んだ

そして遂に藤野は銃殺されることになつてしまつた、陰慘な監禁室に銃殺の前の夜は明けて行つた

★…突然！藤野に救ひの手が伸びた、しかも支那服姿の美しい乙女が救ひ主だつた、匪賊の目をかすめて村外れまで導いて來た乙女は、數日間の食糧をつけた馬と、一つの磁石を藤野にあたへた

★…南へ、南へ、どこまでも南へ！、意外、乙女は凛とした日本語で云つた、驚きつゝも藤野は乙女の好意に無言で感謝し、教へられたまゝ南へ！荒涼たる曠野を走つた、そして漂泊の三日間、食盡き馬も斃れて唯死を待つのみとなつた時、天の助けか、遠くに鐵道線路を發見した……藤野が我に歸つた時、彼は溫かい日本軍人の手に看護されてゐた、乘りすてられてゐたモーターカーを無意識で藤野は運轉してゐたが、そこを北村中尉が發見して救つてくれたのだつた、歐洲に於て苦學中覺えた自動車の運轉が彼の身を助けたのだ

★…それから數日……藤野はすつかり元氣になつたが、突然北村部隊に出動命令が下つた、出動！強行軍！藤野は故國に歸るべく、この北村部隊に從つて數里離れた驛に向つたが粉骨碎身國家のために活躍する皇軍の勇士を鼓舞するため、行軍しながら即興の「討匪行」を聲高く唄ひ始めた

どこまでつゞくぬかるみぞ
三日二夜を食もなく
雨ふりしぶく鐵兜

反復して唄ふ歌、唯感激の歌だ、この歌に泣く者の中に苦力通譯として臨時に傭はれ從軍してゐる支那少年があつた、この少年こそ、かつて藤野を救つた匪首唐聚山の娘紅蘭で、彼女は母を日本人に持つてゐたゝめ、日本戀しく、又藤野戀しく、彼の後を慕つて來たのであつた

★…北村部隊は豫定通り小驛に到着したが、既にその時驛は匪賊に遠巻きにされ、危急は迫つてゐた、鐵道は破壞され、電話線は切斷されてゐる、しかも大事な裝甲モーターカーの運轉手は斃れてしまつてゐた、軍の行動は休止を許されない

「ようし、モーターカーなら私が運轉しませう」

決然として云ひ切つた藤野は直に滿鐵社員の帽子をかぶり、少數の兵士と修繕工を乘せてまつしぐらに匪賊にとりまかれた中へ飛び込んで行つた、小刻みに震へる機關銃、兵士も滿鐵現業員もつぎつぎに斃れて行く、最後に藤野も匪賊がさか落しにして來た貨車を顚覆さすべく、脫線機をとりつけんとして傷いてしまつた、その時應援の我が裝甲列車が到着した、前進だ、前進だ！

「藤野しつかりしろッ」

北村中尉は云ひすてるなり部下を指揮して敵の中に斬り込んで行つた、血なまぐさい硝煙、雨霰とふる彈丸、戰ひは尙續く、討匪行、討匪行、討匪行！

藝術を捨てゝ聖戰に殉じようとした藤野は今重傷に斃れ、純情の乙女紅蘭の手厚い看護をうけてゐる

匪賊團國際列車を襲擊す

唐聚山討伐に出動の北村部隊……(島耕二)

日本を慕ふ匪首の娘紅蘭

匪賊に襲はれた國際列車內

○○驛奪還の滿鐵現業員

紅蘭を私刑に處せんとする匪賊

聲樂家藤野を救ふ紅蘭
(藤原義江と千葉早智子)

國際列車を救援の先驅車